



未来に繋がる東山 2018

クラブ創立50周年

京都東山ロータリークラブ 創立50周年史

ROTARY CLUB OF KYOTO HIGASHIYAMA
DISTRICT 2650 CHARTERED April 13.1968

1968 – 2018



2018

認証状



国際ロータリー会長 ルーサーH.ホッシズ
第365地区ガバナー 平 澤 興

新名称ニューバナー



創立総会

1968年4月2日(火)
ホテル東山閣

●創立記念



当日は24名のチャーターメンバーが出席し、前田特別代表司会のもと取り行われ、平澤興ガバナーや在京パストガバナー・市内5R.C.会長・幹事ご臨席いただき、仮クラブの産声を上げました。

●創立当初の例会場、ホテル東山閣



チャーターナイト

国際ロータリー加盟認証状伝達式

1968年11月23日(土)・勤労感謝の日
国立京都国際会館

●ご挨拶の平澤ガバナー



●クラブ会員の紹介風景



チャーターナイト実行委員長 大野木繁夫会員のもと
プログラム委員長(吉田良武)・登録委員長(立石亨三)
式典委員長(藤川福二郎)・祝賀委員長(但吉英太郎)
宿舍交通委員長(池田龍潤)・財務委員長(柳田昌男)



祝 辞

国際ロータリー元理事
ロータリー財団元トラスティー
(公財)ロータリー日本財団 理事長

千 玄室

この度、京都東山ロータリークラブが創立50周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴クラブは、京都東ロータリークラブをスポンサーとされ、京都山科ロータリーとしてチャーターメンバーの熱意あるクラブ創りにより誕生し、40周年を機に現在の京都東山ロータリークラブへ名称変更されました。東山・山科地域に留まることなく、内外に対してもロータリーの理念に基づいた奉仕を実践し続け、素晴らしいクラブとなりました。特に、故 増田房二氏(10代会長)にガバナーとして出ていただき、地区に大きな貢献をしてくださったことは、貴クラブにとって歴史的にも大きな誇るべきことであります。

小澤三郎 初代会長をはじめ、歴代会長や役員を中心として会員各位が、クラブ創立の意図を自覚し、半世紀の業績・実績を積み重ねてこられました。現在会員数は約70名とお聞きしておりますが、地域に根ざした奉仕活動を展開し、2017-18年度の小森直也会長は『未来に繋がる東山』のテーマを掲げられ、未来に向って活力あるクラブの基盤を創るべく努力しておられます。1つ1つはささやかな奉仕でも、メンバーが力を合わせれば、大きな奉仕となり、そして、奉仕の働きに協力しようとされる有為の同志の輪を少しずつ広げていくことができれば、更なるクラブの飛躍にも繋がります。

貴クラブの今後のご活躍を期待すると共に、75周年・100周年へ向けより一層のクラブの向上発展と、地域社会に対する奉仕を拡大されることを念じます。そして、会員各位のご多幸をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。



京都東山ロータリークラブ 創立50周年記念誌掲載祝辞

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 田中 誠二

このたび、京都東山RCが、創立50周年の記念すべき節目をお迎えになり、心よりお慶び申し上げます。

貴クラブは京都東RCをスポンサークラブとして24名のチャーターメンバーで1968年4月13日にスタートされました。創立以来、増田房二ガバナーを輩出され、また、スポンサークラブとして、京都洛東RCを創立後、海外は台湾・新竹RCと、国内は金沢南RCと姉妹クラブを締結し、ロータリー運動の拡大にも多大なる貢献をして来られました。

貴クラブの奉仕活動の足跡に、第1回から続く京都マラソンでの給水ボランティア活動や、地域の子どもたちのふれあいの場となる「魚のつかみ取りと昔遊びのワクワク体験」をはじめ、地域や文化の発展に貢献する奉仕活動の実績を数多く残されております。さらに、チベットでの小学校建設国際奉仕事業にも目を見張る功績があります。

今年度は特に、人類の進歩と京都の文化発展にも尽力され、創立50周年記念事業としてノーベル賞受賞者の山中伸弥氏の特別記念講演や、京都市・大津市主催の琵琶湖疏水通船事業への協賛など、大変積極的な活動に頭の下がる思いです。

今年度、小森会長のテーマ「未来に繋がる東山」のもと、クラブ、並びにロータリーに愛着と誇りを持ち、次なる60年、100年にむけた奉仕の心を育み、地域に、国に、世界に変化をもたらす奉仕活動を展開される事を期待します。

結びに、貴クラブ益々のご発展を祈念いたしまして、私のお祝いの挨拶といたします。

挨拶

京都東山ロータリークラブ

会長 小森 直之



1984年4月2日に発足いたしました京都東山ロータリークラブは50周年の節目を迎えることができました。

京都市長 門川大作様、国際ロータリー第2650地区ガバナー 田中誠二様、国際ロータリー元理事・ロータリー日本財団理事長・ロータリー財団元トラスティ 千 玄室様をはじめとするたくさんの来賓の方々をお迎えし、記念例会・祝宴を開催させて頂くことができたことは、我が京都東山ロータリークラブ会員一同大きな喜びであります。

現 京都東山ロータリークラブは昭和43年（1968年）4月2日に京都東ロータリークラブをスポンサークラブとして、当時第365地区ガバナー 平澤興ガバナー、特別代表前田勝様、京都東ロータリークラブエクステンション委員長 梶原基宏様の御教示の下、山科ロータリークラブとして発足しました。

そして、10年前、40周年においては、当時の会長 中村翠嵐が「これから、もう1度、クラブを大きく変える」というメッセージを込め、“京都東山ロータリークラブ”と名称を変更しました。

50年を迎えた本年度、京都東山ロータリークラブは、“未来に繋がる東山”を目標とし、75年、100年に繋ぐためクラブ会員一同邁進してまいりました。平成29年8月5日には平成24年にノーベル生理学・医学賞を受賞された京都大学iPS細胞研究所 所長・教授 山中伸弥先生をお招きし、『iPS細胞がひらく新しい医学』と題し、当クラブ創立50周年記念事業特別記念講演会を開催いたしました。地域の皆様からも多数の応募があり、当日は1,800名もの方にお越しいただきました。講演の最後に、当ロータリークラブから、iPS細胞の研究の今後のための寄付をお願いしたところ、一般来場の皆様から、多額の寄付を頂戴致しました。諸外国とは異なり、研究資金を集めることが難しい日本で、『iPS細胞』という新しい未来へ、来場された皆様が目を向けて頂ける機会となりました。

現在、当クラブは30代 4名、40代 8名、50代 17名、60代 15名、70代 16名、80代 9名の会員構成です。そして、未来を担っていく若い会員たちは、言うまでもなく我がクラブの“宝”であります。

その宝が、未来に向けさらに輝きを放つロータリアンとなっていく為には、我がクラブ会員各々がこの創立50周年という節目に、創立の原点への感謝を深め、時代の流れを見つめ、“変化をもたらすこと”への努力をし、またクラブへの“愛着と誇り”を持ち、今後も力強く活動していくことと確信しております。

今後も、京都東山ロータリークラブへのご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

創立50周年ご挨拶

クラブ創立50周年記念

実行委員長 中村 翠嵐



京都東山ロータリークラブは、昭和43年4月2日に創立会員24名で親クラブ 京都東ロータリークラブの熱心な御指導と援助のもとに発足して50年が経過致しました。その年の秋には新しく三名の会員を迎えて、チャーターナイトを開催し千名を超える方々が全国より駆け付けて頂いたと当時の資料に記されています。新しい京都市内6番目のクラブ発足とクラブの歴史を語る状況が目に見えます。

本日は大変お忙しい中を門川京都市長様、田中ガバナー様、千玄室R・I元理事長様含め地区役員の皆様、23R・Cの会長・幹事様、姉妹クラブの台湾ロータリークラブ、金沢南口ロータリークラブの皆様を迎えてこの様な式典を開催させて頂きご参加下さいまして有難うございました。

一時は我クラブも会員数111名になったこともありましたが、時代の背景も変わり、R・Iの理念の変遷もあり、現在は70名を切り寂しい限りです、善し悪しは別にして、私達は先輩から引き継いだ50年の過去と、実績を未来へと繋げねばなりません、記念事業等の報告は記念誌の中での報告とさせて頂きますが、この創立50周年を境として、現実を直視して次への50年に歩みを進めて行かねばなりません。厳しい現実ではありますが、目指すべきクラブ像を会員皆んなで共有して新しいステージに登りましょう。活力あるクラブを創造しようではありませんか。

このことが私達に与えられた創立50周年の使命だと想っています。

クラブ創立 50 周年

《記念例会・式典》



* ご来賓ご祝辞 *



京都市長 門川 大作様



R1265 地区ガバナー
田中 誠二 様



RI 元理事
千 玄室 様



姉妹クラブ 金沢南 RC
会長 浜上 満 様



姉妹クラブ 台湾新竹 RC
会長 陳 世郷 様



チベット人歌手
バイマーヤンジン 様

クラブ創立 50 周年

《記念祝宴》



～祝舞～
安倍 秀風会員
神心流尚道館家元

～祝賀狂言～
茂山忠三郎会員
狂言師五代目当主



アトラクション (バンド演奏)



飛び込みで、チベット歌手の
バイマーヤンジンさんの美声に
万雷の拍手。



東山クレージーボーイズ (東山 RC 軽音楽同好会)



野球同好会は本年度ガバナー杯で
3月24日決勝戦で大津RCに勝利し
初優勝に輝く。



20時30分盛会を納め全員和やかに“手をつないで”

クラブ創立 50 周年

《記念事業 Part1》

特別記念講演会



“iPS細胞がひらく新しい医学”をテーマにノーベル賞受賞された、京都大学 iPS 細胞研究所 所長の山中伸弥教授を招き、特別記念講演会を開催。
※京都市民の皆様方に講演会場に招く



当日は2000名の市民の方々が来場され山中教授の講演に多くの方が感銘を受け、来場者から研究基金にと50万円余の寄付が集まり研究所に寄贈される。



当日“iPS細胞研究基金”としてクラブから300万円を寄付

クラブ創立 50 周年

《記念事業 Part2》

“琵琶湖通船復活” 協賛事業



京都市民の生活や産業文化の発展の礎となった土木の
大事業を成し遂げた琵琶湖疎水にかねてから船下りの
計画があったが、この度大津三井寺乗船場から、京都
蹴上下舟場までの通船復活に当クラブが50周年記念
事業として協賛。



当クラブ名の入った平成号（白）・明治号（ベージュ）が
大津と京都を往きかうことで、新たな観光資源を創出します。

船体には、東山ロータリークラブの
名前が入っている。



協賛金として建造費や諸用具等
にと 500 万程を寄贈。



創立50周年記念史



目 次

第1部

創立年度～25年度足跡

第2部

25年度～50年度あゆみ

第3部

会員メッセージ

《私とロータリー雑感》

第4部

資料編（26年度～50年度）

第 1 部

創立年度～25年度足跡

初年度 1968～1969（昭和43年～44年）



R.I.会長 東ヶ崎 潔(日本) 第365地区ガバナー 原田 秀雄(大阪北)

初代会長 小澤 三郎

1968年4月2日、京都東ロータリークラブを母に呱呱の声を上げ、チャーターメンバー24名は今日まで出席率100%を保持し、全員心を合わせて手を握り平和の幸を祈りつつ、友情の花を培う努力を精一杯続けております。7月の新年度からは京都6RCの一単位として、自他ともに認められるよう成長したいと念じます。

会 長(理事) 小澤 三郎
副 会 長(理事) 砂崎 政雄
幹 事(理事) 廣田長三郎
クラブ奉仕(理事) 大野木繁夫
社会奉仕(理事) 池田 龍潤
国際奉仕(理事) 柳田 昌男
職業奉仕(理事) 藤川福二郎
会 計 杉田 信夫
S. A. A. 武田 文男

〈年度末会員数29名〉



●1968年11月23日 国際ロータリー加盟認証状の伝達を受ける

2 年度 1969～1970（昭和44年～45年）



R.I.会長 ジェームス・F.コンウェイ(米国) 第365地区ガバナー 塚本 義隆(大阪)

2代目会長 説田 武

会長のみならず、他のロータリアンとの親睦と会員へのロータリー情報の普及徹底を図り、クラブ例会出席の意義と愉しさを体得させて、前年度に引き続き補填によるクラブ出席率100%を維持するように努め、会員増強と財政面の補強策を考究して、出来る限り地域社会や国際社会に奉仕活動をなし得る方法を見出したい。

会 長(理事) 説田 武
副 会 長(理事) 柳田 昌男
幹 事(理事) 吉田 良武
クラブ奉仕(理事) 廣田長三郎
社会奉仕(理事) 西田 武
国際奉仕(理事) 杉田 信夫
職業奉仕(理事) 大野木繁夫
会 計 奥田政次郎
S. A. A. 畑 與一
副 幹 事 武田 文男
副S.A.A. 諏訪 修
直前会長 小澤 三郎

〈年度末会員数36名〉



●万国博開催に当たり、交通安全対策用道路標識を贈呈し、4月2日に親睦家族例会を万国博会場にて開催する

3 年度 1970～1971（昭和 45 年～46 年）



R.I.会長 ウィリアム・E.ウォークJr(米国) 第365地区ガバナー 絹川 清(京都)

3代目会長 柳田 昌男

とにかくクラブに出席することが“楽しいものだ”としたいものです。
一人でも味気ない思いをされないよう、ルールの中において運用の妙をはかり、明るく楽しいクラブにしたいと考えています。

会 長(理事)	柳田 昌男
副 会 長(理事)	塹江 誠夫
幹 事(理事)	杉田 信夫
クラブ奉仕(理事)	立石 亨三
社会奉仕(理事)	奥田正次郎
国際奉仕(理事)	西田 武
職業奉仕(理事)	浅見五郎助
会 計	増田 房二
S. A. A.	諏訪 修
副 幹 事	佐藤富士男
副S.A.A.	由井 稔
直前会長	説田 武

<年度末会員数40名>

●1971年6月20日
クラブ創立3周年を記念し、
天智天皇ゆかりの地・山科駅前
児童公園に時計塔を設置。その
事業が、京都新聞に掲載される。
※以後十分なメンテナンスが滞り
「時計表示が正しくない時計」の
苦情が寄せられ、やむなく撤去
した(1990年)



4 年度 1971～1972（昭和 46 年～47 年）

テーマ

“素直にものを言い 素直にものを聞く”



R.I.会長 アンスト・G.ブライトホルツ(スウェーデン) 第365地区ガバナー 野崎 貫一(大津)

4代目会長 桜井 英徳

増強拡大を最重要命題にとり上げます。来年度当クラブ創立5周年を迎えるに当たり会員50名、500%
クラブ実現を目標として本年度は少なくとも8名の新会員を獲得します。

会 長(理事)	桜井 英徳
副 会 長(理事)	廣田長三郎
幹 事(理事)	増田 房二
クラブ奉仕(理事)	太田 馨
社会奉仕(理事)	但吉英太郎
国際奉仕(理事)	小山 信男
職業奉仕(理事)	奥田正次郎
会 計	畑 與一
S. A. A.	佐藤富士男
副 幹 事	由井 稔
副S.A.A.	堀部 泰弘
直前会長	柳田 昌男

<年度末会員数48名>

●山科に国際留学生寮が出来たのを機に電気洗濯機3台を寄贈する(1971年12月7日)



・国際留学生寮



・寄贈した洗濯機

5 年度 1972～1973（昭和 47 年～48 年）^{テーマ} “ 友情と融和のもとに 清新澁刺たるクラブ発展 ”



R.I.会長 ローイ・D.ヒックスマン(米国) 第365地区ガバナー 田中 豊(京都南)

5代目会長 廣田 長三郎

本年は特に創立5年目にあたり一つの節としてあらゆる面でも一度見直すべき時ではないでしょうか。上記のテーマを目標に共に手をつなぎ歩きたいとおもいます。

〈I.C.G.F.ホスト役〉



●1972年11月11日 京都ホテル於
I.C.G.F第3組のホスト役をクラブ創立5年目にして見事につとめることが出来た

※ゼネラルリーダーは平澤 興PG
参加者は市内6クラブの他、宇治・亀岡・京都乙訓・城陽(187名)。
登録料1,800円。ちなみに当時 1\$ 303円。

・1972年10月17日
山科消防署に広報車1台を寄贈する



会 長(理事)	廣田長三郎
副 会 長(理事)	大野木繁夫
幹 事(理事)	岡村 博
クラブ奉仕(理事)	増田 房二
社会奉仕(理事)	諏訪 修
国際奉仕(理事)	太田 馨
職業奉仕(理事)	畑 與一
会 計	大木 博
S. A. A.	小坂 進
副 幹 事	田中 久雄
副S.A.A.	廣岡 泰
直前会長	櫻井 英徳

〈年度末会員数52名〉

6 年度 1973～1974（昭和 48 年～49 年）^{テーマ} “ 皆が参加し とともに友情を深めよう ”



R.I.会長 ウィリアム・C.カーター(米国) 第365地区ガバナー 小田 成就(奈良)

6代目会長 大野木 繁夫

クラブは各個人個人のもの、参加することにより運営や活動が円滑に行われる。ロータリーの本質をより理解し、ルールより離脱することなく、品格ある明るいクラブ作り。



・1973年8月21日 六甲山納涼家族会

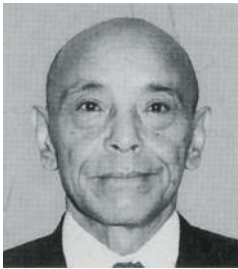


・1973年5月25日光明寺・花の寺・大原野

会 長(理事)	大野木繁夫
副 会 長(理事)	杉田 信夫
幹 事(理事)	西田 武
クラブ奉仕(理事)	岡村 博
社会奉仕(理事)	大木 博
国際奉仕(理事)	諏訪 修
職業奉仕(理事)	浅田喜八郎
会 計	西川 善六
S. A. A.	奥田政次郎
副 幹 事	廣岡 泰
副 幹 事	磯田 好計
副 会 計	松崎 貞聰
副S.A.A.	田中 久雄
副S.A.A.	野村庄三郎
次年度会長	立石 亨三

〈年度末会員数58名〉

7 年度 1974～1975 (昭和 49 年～50 年)



R.I.会長 ウィリアム・R・ロビンス(米国) 第365地区ガバナー 佐藤 裕治(福井)

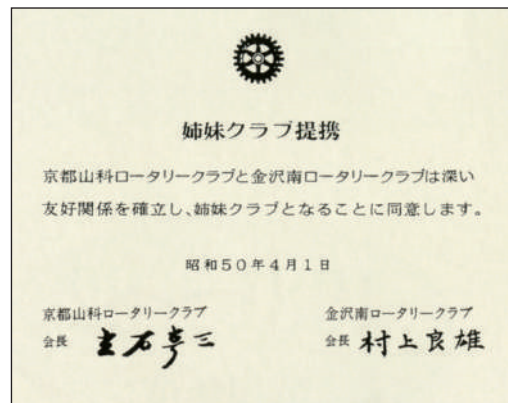
7代目会長 立石 亨三

外はR.I.会長が示された指針と、地区ガバナーの方針にもとずき、内は歴代会長がきずかれた栄誉ある当クラブの面目を汚さぬよう、特に大野木前会長のつくられた金字塔を護り得るよう、そして会員相互より親睦をはかり「あかるいクラブ」をつくりたいと思っております。

会 長(理事)	立石 亨三
副 会 長(理事)	増田 房二
幹 事(理事)	武田 文男
クラブ奉仕(理事)	大木 博
社会奉仕(理事)	佐藤富士男
国際奉仕(理事)	小坂 進
職業奉仕(理事)	廣岡 泰
会 計	松崎 貞聰
S. A. A.	浅田喜八郎
副 幹 事	砂崎 道夫
副 幹 事	木村 秀雄
副 会 計	磯田 好計
副S.A.A.	西川 善六
副S.A.A.	黒澤 厳
次年度会長	杉田 信夫

〈年度末会員数62名〉

＝ 金沢南ロータリークラブと姉妹クラブを締結 ＝



●1975年4月1日 小京都と言われる古都 金沢のロータリークラブ。そして例会日も同じ(火曜日)である金沢南ロータリークラブと姉妹クラブ特別委員長の諏訪蘇山会員の尽力により締結が実現。

・1974年11月4日
ボーイスカウト京都第5団と山科疏水公園の清浄を実施



8 年度 1975～1976 (昭和 50 年～51 年)



R.I.会長 エルネスト・インバッサイ・デ・メロ(ブラジル) 第365地区ガバナー 千 宗室(京都)

8代目会長 杉田 信夫

私たちはロータリーの原点にたちかえり、会員一人一人がロータリーの心を考え、その心を活かす時ではないかと存じます。どうか会員の皆様には、クラブで、職域で、地域社会で、国際奉仕の場で、それぞれがロータリアンらしく、ロータリーの心を活かしてください。

会 長(理事)	杉田 信夫
副 会 長(理事)	但吉英太郎
幹 事(理事)	廣岡 泰
クラブ奉仕(理事)	浅見五郎助
社会奉仕(理事)	由井 稔
国際奉仕(理事)	堀部 泰弘
職業奉仕(理事)	田中 久雄
会 計	山中 鉄一
S. A. A.	小田 義彦
副 幹 事	嶋村 昭平
副 幹 事	横田 治男
副 会 計	木村 秀雄
副S.A.A.	野村 泰三
副S.A.A.	山田 全一
次年度会長	但吉英太郎

〈年度末会員数69名〉



●会員事業所の優良従業員表彰 4月6日

・11月22日 金沢南姉妹クラブ
会員家族を京都市内観光に案内

9 年度 1976～1977（昭和 51 年～52 年）^{テーマ} “ 相互理解と親睦 ”



R.I.会長 ロバート・A・マンチェスタ・Ⅱ(米国) 第265地区ガバナー 足立 義雄(京都西)

9代目会長 但吉 英太郎

ひたすら過去の実績を守り、その軌道上の肉付と充実に専念致したいと考え、表向きの討議もさることながら、地味な炉辺会合にも注目し、会長及び幹事は率先して必ず出席する慣行を作りたいと考えています。

会 長(理事)	但吉英太郎
副 会 長(理事)	岡村 博
幹 事(理事)	佐藤富士男
クラブ奉仕(理事)	浅見五郎助
社会奉仕(理事)	嶋村 昭平
青少年奉仕(理事)	野村庄三郎
国際奉仕(理事)	西川 善六
職業奉仕(理事)	松崎 貞聰
会 計	木村 秀雄
S. A. A.	田中 久雄
副 幹 事	堀部 泰弘
副 幹 事	小林 一恵
副 会 計	横田 治男
副S.A.A.	横原 一雄
副S.A.A.	布垣 裕嗣
次年度会長	増田 房二

〈年度末会員数71名〉

- 1976年 山科区誕生
これを記念して10月1日に
山科公園に植樹を実施



- ・10月12日 青少年功績賞をボーイスカウトリーダー・ガールスカウトリーダー達5名に贈る。

10年度 1977～1978（昭和 52 年～53 年）^{テーマ} “ 心の奉仕、心のかよう奉仕、心と心を結ぶ奉仕 ”



R.I.会長 W.ジャック.デービス(バミュダ) 第265地区ガバナー 山口 善造(大津)

10代目会長 増田 房二

クラブで、職域で、社会で、また国際間でどんな形で具体的に実践するか、今年の課題にしていきたいと思います。創立10周年という重大な意味を持つ年度の会長を拝名した栄誉を、身にしみて有難く思います。

会 長(理事)	増田 房二
副 会 長(理事)	奥田政次郎
幹 事(理事)	田中 久雄
クラブ奉仕(理事)	諏訪 修
社会奉仕(理事)	堀部 泰弘
青少年奉仕(理事)	磯田 好計
国際奉仕(理事)	嶋村 昭平
職業奉仕(理事)	岡村 博
会 計	砂崎 道夫
S. A. A.	横原 一雄
副 幹 事	竹本 昌生
副 幹 事	若山 基良
副 会 計	由井 稔
副S.A.A.	井上 勝
副S.A.A.	稲本 初弥
次年度会長	太田 馨

〈年度末会員数72名〉

- 1978年4月8日（土）



- 国際ロータリー東京大会に会員・家族49名が参加（5月14日）



11年度 1978～1979（昭和53年～54年）



R.I.会長 クレム・レヌフ(オーストラリア) 第265地区ガバナー 杉山 嘉一(奈良)

11代目会長 太田 馨

職場で会場で、街に出て、広く世界で、手をさし伸べるためにクラブ活動を見直し、真に充実した立派なクラブづくりに向かって前進したいと思います。ヘレン・ケラーのいわれた言葉「われわれの祈るべき事は、自分の力にふさわしい任務が与えられることではなくて、自分の任務に相応しい力が与えられることではない」

会 長(理事)	太田 馨
副 会 長(理事)	広岡 泰
幹 事(理事)	由井 稔
クラブ奉仕(理事)	吉田 良武
社会奉仕(理事)	砂崎 道夫
青少年奉仕(理事)	諏訪 修
国際奉仕(理事)	大木 博
職業奉仕(理事)	堀部 泰弘
会 計	石本 常利
S. A. A.	川澄 季央
副 幹 事	横原 一雄
副 幹 事	井上 勝
副 会 計	若山 敬祐
副S.A.A.	横田 治男
副S.A.A.	中崎 信悟
次年度会長	松崎 貞聰

〈年度末会員数76名〉



●クラブにとって、執行部にとって年度最大の行事であるガバナー公式訪問はお迎えする様々な多くの準備と心構えを整える当日を迎えます。例会を無事終えガバナーを囲み会員と一緒に写真に納め、その後懇親会をもって終了です。(10月3日)

12年度 1979～1980（昭和54年～55年）



R.I.会長 ジェームス・L.ボーマーJr(米国) 第265地区ガバナー 久津見 専(福井北)

12代目会長 松崎 貞聰

R.I.会長の「奉仕の光、友好と理解の光」をもたらすため、また、さらに大きな決意をもって平和のビジョンを一層強化する活動に乗り出すため、奉仕の灯で道を照らすように心掛けることであります。

会 長(理事)	松崎 貞聰
副 会 長(理事)	吉田 良武
幹 事(理事)	砂崎 道夫
幹事代行	佐藤富士男
クラブ奉仕(理事)	田中 久雄
社会奉仕(理事)	川上 進也
青少年奉仕(理事)	谷口 良三
国際奉仕(理事)	横原 一雄
職業奉仕(理事)	石本 常利
会 計	黒澤 巖
S. A. A.	野村庄三郎
副 幹 事	布垣 裕嗣
副 幹 事	桑嶋 一
副 会 計	中崎 慎悟
副S.A.A.	竹本 昌生
副S.A.A.	北路 勝亮
次年度会長	岡村 博

〈年度末会員数80名〉

・2月3日
交通遺児を慰問の餅つき大会を実施する



●8月9～10日にテリトリー内の母子家庭児・交通遺児を琵琶湖蓬莱海水浜に招待し、会長(松崎貞聰)の中央信用金庫寮に宿泊させる事業を実行。

13年度 1980～1981（昭和55年～56年）



R.I.会長 ロイフ・J.クリッチ(フィンランド) 第265地区ガバナー 渡邊 彌蔵(福井北)

13代目会長 岡村 博

R.I.会長のターゲット「時間を捧げよう奉仕のために」を前面に掲げ、クラブ全員一丸総力を集中發揮する為、意義付けを図っていきたいと考えており、クラブ内の和やかなムード作りが第一です。

諸事業に楽しく出席していただく配慮を特に強調致し、諸行事の出席率アップに重点を置きたいと考えております。

会 長(理事)	岡村 博
副 会 長(理事)	金沢三四郎
幹 事(理事)	堀部 泰弘
クラブ奉仕(理事)	由井 稔
社会奉仕(理事)	谷口 良三
青少年奉仕(理事)	小西 貞雄
国際奉仕(理事)	川澄 季央
職業奉仕(理事)	布垣 裕嗣
会 計	磯田 好計
S. A. A.	嶋村 昭平
副 幹 事	北路 勝亮
副 幹 事	雑賀 順一
副 会 計	田村 和夫
副S.A.A.	榎本 兼弘
副S.A.A.	村田 経松
次年度会長	藤川福二郎



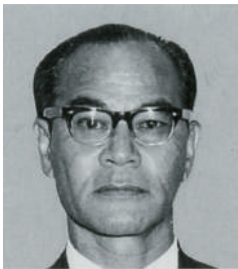
●1981～1982年度の年次大会ホストを来年に控え、そのPR予報を掲げる。

●山科消防少年クラブの発足に当たり、帽子とお祝金を贈る。



〈年度末会員数85名〉

14年度 1981～1982（昭和56年～57年） “ 友情と理解 ”



R.I.会長 スタンレー・E.マッキャフリー(米国) 第265地区ガバナー 川島 春雄(福井北)

14代目前期会長 藤川 福二郎

在任中は第265地区の地区大会ホストクラブとしての榮譽ある大役を果たさなければなりません。また、本クラブも海外R.C.との友好関係を結びたく思っております。そしてローターアクト設立につきましても前年度に引き続き継続審議致し、設立に向かって全力を尽くしたい。

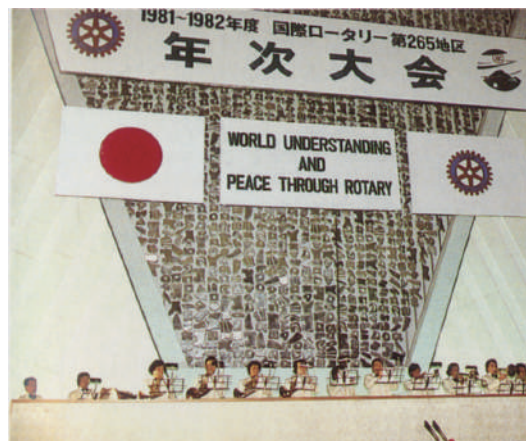


14代目後期会長 佐藤 富士男

年度途中で会長が替わるという事態に至りました。上半期の藤川会長の方針をそのまま継続することになり、会長交代によるクラブの運営に支障をきたさないよう考慮すると共に、「クラブ運営の可否は大会の成功に直接繋がっている」ということを今一度思い出し責任の重さを痛感する次第です。

会 長'81(理事)	藤川福二郎
会 長'82(理事)	佐藤富士男
副会長'81(理事)	〃
幹 事(理事)	石本 常利
クラブ奉仕(理事)	布垣 裕嗣
社会奉仕(理事)	木村 秀雄
青少年奉仕(理事)	谷口 良三
国際奉仕(理事)	横田 治男
職業奉仕(理事)	磯田 好計
会 計	田村 和夫
S. A. A.	小林 一恵
副 幹 事	稲本 初弥
副 幹 事	小野 富造
副 会 計	高谷 壽一
副S.A.A.	黒澤 巖
副S.A.A.	山田 英二
次年度会長	奥田政次郎

＜地区大会ホスト＞ 京都国際会館
1982年4月2日(金)・3日(土)・4日(日)



●1954年に台湾で第5番目に創立した新竹クラブと1981年9月15日に“友好クラブ”を締結する



〈年度末会員数81名〉

15年度 1982～1983 (昭和 57 年～58 年) “呼び起こそう信頼と強調”

テーマ



R.I.会長 向笠 広次(日本)

第265地区ガバナー 堀場 雅夫(京都)

15代目会長 奥田 政治郎

1. 創立15周年記念例会並びに記念事業の遂行、其の一環としてローターアクトの創設
2. 地域社会への奉仕活動
3. 国際奉仕活動の強化

〓学童野球大会〓

- テリトリー内の学童野球連盟加盟のリトルリーグ19チームを集め、トーナメント方式の大会を開催

＜山科ローターアクトクラブ設立＞



- 創立15周年を記念して設立

1983年4月2日に京都ロイヤルホテルに於いて開催 (チャーターメンバー20名)
1983年6月5日にチャーターナイトを都ホテルにて開催



※第20会まで続けてきた青少年奉仕の活動

会 長(理事) 奥田政治郎
次年度会長(理事) 浅見五郎助
副 会 長(理事) 諏訪 修
幹 事(理事) 横田 治男
クラブ奉仕(理事) 浅田喜八郎
社会奉仕(理事) 小林 一恵
青少年奉仕(理事) 川上 進也
国際奉仕(理事) 稲本 初弥
職業奉仕(理事) 横原 一雄
親睦活動(理事) 砂崎 道夫
会 計 高谷 壽一
S. A. A. 井上 勝
副 幹 事 村田 経松
副 幹 事 山田 英二
副 会 計 今村 晋平
副S.A.A. 木下 明弘
副S.A.A. 浪越 章
〈年度末会員数85名〉

16年度 1983～1984 (昭和 58 年～59 年)



R.I.会長 ウィリアム・E.スケルトン(クリスチンパーク)

第265地区ガバナー 財津 晃(奈良)

16代目会長 浅見 五郎助

私達ロータリアンは個々のロータリアンに内在する奉仕の力を発揮する牽引車であります。
個々のローターアクトはロータリーを必要とし、ロータリーはロータリアンを必要としております。
共々手をつないで歩んでいきたいと思ひます。

1983.7.7「クラブ・デー」の誕生



- 月初めの第1例会を“クラブ・デー”と称し
会員が自由に席を移動して親睦を図り
食事バイキング形式で大変好評を得る。
後に市内クラブの多くがこれを取り入れています。

- 12月17日

国際学友会京都留学生寮生を
ボーリング大会に招待



会 長(理事) 浅見五郎助
次年度会長(理事) 金澤三四造
副 会 長(理事) 武田 文男
幹 事(理事) 小林 一恵
クラブ奉仕(理事) 石本 常利
社会奉仕(理事) 川上 進也
青少年奉仕(理事) 井上 勝
国際奉仕(理事) 北路 勝亮
職業奉仕(理事) 榎本 兼弘
親睦活動(理事) 稲本 初弥
会 計 浪越 章
S. A. A. 村田 経松
副 幹 事 今村 晋平
副 幹 事 西村 孝之
副 会 計 城山健太郎
副S.A.A. 谷川 博造
副S.A.A. 細谷正八郎
〈年度末会員数88名〉

17年度 1984～1985（昭和59年～60年）^{テーマ} “和敬の心をもってロータリー活動を”



R.I.会長 カルロス・カンセコ(メキシコ)

第265地区ガバナー 羽根 實(檀原)

17代目会長 金澤 三四造

重点的な規格の実行を信念とし、奉仕に当たりたいと思います。クラブの流れを尊重し、より良い方向に向かうよう渾身の努力をもって、その責を果たす覚悟でございます。

会 長(理事) 金澤三四造
次年度会長(理事) 小坂 進
副 会 長(理事) 北路 勝亮
幹 事(理事) 田中 久雄
クラブ奉仕(理事) 榎本 兼弘
社会奉仕(理事) 宇野 久夫
青少年奉仕(理事) 桑島 一
国際奉仕(理事) 榎原 一雄
職業奉仕(理事) 村田 経松
親睦活動(理事) 小野 富造
会 計 山田 英二
S. A. A. 高谷 壽一
副 幹 事 城山健太郎
副 幹 事 磯田 好計
副 会 計 西村 孝文
副S.A.A. 西尾 重雄

〈年度末会員数88名〉

＜台湾新竹R.C.との友好クラブから姉妹クラブに＞



●台湾新竹R.C.創立30周年記念式典に
13名の会員が参加し、当日友好クラブから
「姉妹クラブ」の締結を行う

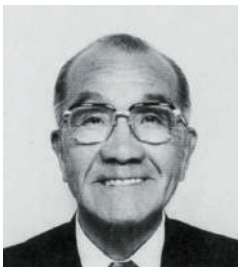
〓葵杯争奪少年剣道錬成大会、

●1985年2月2日岡崎武道センター
において少年・少女剣士304名
参加で開催。



※第5回目でひとまず終了する。

18年度 1985～1986（昭和60年～61年）^{テーマ} “温故知新”



R.I.会長 エドワート・F.カマン(米国)

第265地区ガバナー 増田 房次(京都山科)

18代目会長 浅田 喜八郎

- ①筋は基準なれども、全てにゆとりが必要。
- ②親睦を更に深めて、楽しいクラブ運営を心掛ける。
- ③新しい発想を打ち出す。
- ④諸経費の削減に努めて、金を重点的に使う。
- ⑤各々の任務の理解に努めて、共に助け合う。

会 長(理事) 浅田喜八郎
次年度会長(理事) 大木 博
副 会 長(理事) 砂崎 道夫
幹 事(理事) 磯田 好計
クラブ奉仕(理事) 谷口 良三
社会奉仕(理事) 竹本 昌生
青少年奉仕(理事) 中崎 慎吾
国際奉仕(理事) 黒澤 巖
職業奉仕(理事) 村田 経松
会 計 井上 勝
S. A. A. 榎原 一雄
副 幹 事 西尾 重雄
副 幹 事 石原 隆光
副 幹 事 小野 富造
副 会 計 西村 孝之
副S.A.A. 柴田 篤男
副S.A.A. 横井 康治

〈年度末会員数93名〉

●増田 房二ガバナーの掲げた 三つの重点目標

- ①青少年奉仕
- ②ロータリー財団
- ③会員の増強

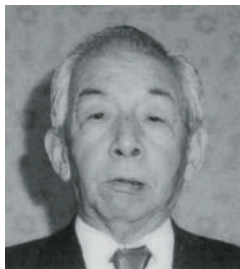
※1985年1月9日より、京都ロイヤルホテルに
ガバナー事務所をオープンしクラブ上げて
その責務を全うする。

幹事：岡村 博
幹事長代理：佐藤富士男
会計：杉田信夫
公式訪問幹事：吉田良武

＜増田ガバナー誕生する＞



19年度 1986～1987（昭和61年～62年）^{テーマ} “ 幸せの輪をひろげよう ”



R.I.会長 M.A.T.カパラス(フィリピン)

第265地区ガバナー 佐々木 勝順(鯖江)

19代目会長 大木 博

当クラブは昨年ガバナーを送り出し何かと多忙な一年を過ごしたこと、また、来年度は創立20周年を迎え、いわゆる成人式を行う年で、これに対応しなければならない問題が多いと思います。

次の飛躍に備えて、十分足腰を鍛え、力を貯えなければならない年。

＝「よろず相談」を開設＝

●1986年9月27日（土）

京都相互銀行山科支店ホールにて地域の市民を対象に、＜健康・教育・法律・税金・金融・保険・年金・財テク等＞の悩み、疑問等をアドバイスする奉仕活動を実施し大好評を得た。



会 長(理事)	大木 博
副 会 長(理事)	田中 久雄
幹 事(理事)	井上 勝
クラブ奉仕(理事)	堀部 泰弘
社会奉仕(理事)	高谷 壽一
青少年奉仕(理事)	若山 敬祐
国際奉仕(理事)	茨木 弘三
職業奉仕(理事)	小澤 利夫
会 計	細谷正八郎
(代行)→	稲本 初弥
S. A. A.	竹本 昌生
副 幹 事	増田 紘明
副 幹 事	木村 茂
副 会 計	稲本 初弥
(代行)→	小野 富造
副S.A.A.	今村 晋平
副S.A.A.	前林 正典
次年度会長	広岡 泰

＜年度末会員数103名＞

20年度 1987～1988（昭和62年～63年）^{テーマ} “ 初心忘れず ”



R.I.会長 チャールズ・C.ケラー(米国)

第265地区ガバナー 小谷 隆一(鯖江)

20代目会長 広岡 泰

本年度は当クラブ創立20周年を迎える意義深い年。これを機会に初心に立ち返って気持ちを新たに、全員の力を結集して実りのある奉仕を進めようと思っています。

●1988年4月26日

クラブ創立20周年記念式典・祝宴を挙行し、台湾新竹R.C.から14名の会員が出席され、3回目の姉妹クラブ更新を結ぶ。



会 長(理事)	広岡 泰
副 会 長(理事)	石本 常利
幹 事(理事)	稲本 初弥
クラブ奉仕(理事)	小林 一恵
社会奉仕(理事)	布垣 裕嗣
青少年奉仕(理事)	野村 泰三
国際奉仕(理事)	鈴木 敏治
職業奉仕(理事)	小野 富造
会 計	城山健太郎
S. A. A.	今村 晋平
副 幹 事	柴田 篤男
副 幹 事	井上 武雄
副 会 計	木村 茂
副S.A.A.	佐貫 将一
副S.A.A.	末松 哲夫
次年度会長	中川 正文

＜年度末会員数105名＞

21 年度 1988～1989（昭和 63 年～平成元年）



R.I.会長 ロスイ・アビー(オーストラリア)

第265地区ガバナー 細田 誠一(大津)

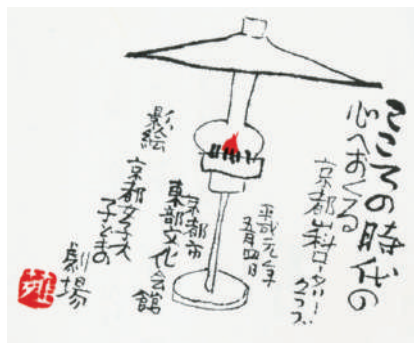
21代目会長 中川 正文

今年はR.I.会長の目標やガバナーの方針もあるので屋上屋を重ねるより、それらの方々のいわば願いをどのように具体化し実践するかを課題にして発足したいと考えました。

＝影絵公演 ガバナー賞受賞＝ 京都女子大 子どもの劇場

●1989年5月10日(日)

東部文化会館にて“地域の子どもたちに健康で明るい児童文化”をテーマにテリトリー内の福祉施設や幼稚園児1,000名を招待して開催。中川会長自ら出演される。



会 長(理事)	中川 正文
次年度会長(理事)	小澤 利夫
副 会 長(理事)	堀部 泰弘
幹 事(理事)	小野 富造
クラブ奉仕(理事)	磯田 好計
社会奉仕(理事)	川中朝次郎
社会奉仕(理事)	今村 晋平
青少年奉仕(理事)	山田 英二
青少年奉仕(理事)	浪越 章
国際奉仕(理事)	宇野 久夫
職業奉仕(理事)	中崎 信悟
職業奉仕(理事)	前林 正典
会 計	西尾 重雄
S. A. A.	鈴木 敏治
副 幹 事	石原 隆光
副 幹 事	佐貫 将一
副 会 計	木村 安輝
副S.A.A.	村元 健真
副S.A.A.	井上 武雄

〈年度末会員数108名〉

22 年度 1989～1990（平成元年～2 年）

テーマ

“ロータリーに情熱とロマンを”



R.I.会長 フュー・M.アーチャー(米国)

第265地区ガバナー 津田 佐兵衛(京都西)

22代目会長 小澤 利夫

老化現象とは年をとることではなく情熱を失うこと、ロマンを求めなくなることだと、哲人が喝破しております。ロータリアン、ロマンの花咲く道を行く。

＝意義ある業績賞受賞＝ “いきいき老人の集い”

●1989年4月1日（日）

東部文化会館においてテリトリー内の老人会メンバー500名を招き「いきいき」とした一日を過ごしていただく催しとなった。



※当日、「よろず相談」コーナーや、お茶席チャリティバザー、お食事なども催す。



会 長(理事)	小澤 利夫
次年度会長(理事)	小坂 進
副 会 長(理事)	黒澤 巖
幹 事(理事)	鈴木 敏治
クラブ奉仕(理事)	野村 泰三
社会奉仕(理事)	小野 富造
青少年奉仕(理事)	小西 貞雄
国際奉仕(理事)	城山健太郎
職業奉仕(理事)	村元 健真
会 計	西村 孝之
S. A. A.	谷川 博造
副 幹 事	中村 正機
副 幹 事	川中 丈嗣
副 会 計	今村 晋平
副S.A.A.	安倍 秀風
副S.A.A.	橋本 幸男

〈年度末会員数109名〉

23年度 1990～1991（平成2年～平成3年） “ われらの天体 地球の保全 ”



R.I.会長 パウロ・V.Cコスカ(ブラジル)

第265地区ガバナー 中野 重宏(奈良)

23代目会長 小坂 進

小さい、そして気の付かないことが環境を悪化させ、また反対に改良を行うものであります。そのため小さいことを改善の方に積み重ねたいと思っています。

会 長(理事)	小坂 進
次年度会長(理事)	吉田 良武
副 会 長(理事)	川上 進也
幹 事(理事)	今村 晋平
クラブ奉仕(理事)	小田 義彦
社会奉仕(理事)	石原 隆光
青少年奉仕(理事)	増田 紘明
国際奉仕(理事)	西村 孝之
職業奉仕(理事)	木村 茂
会 計	坪井 嘉蔵
S. A. A.	末松 哲夫
副 幹 事	木村 安輝
副 幹 事	今川 武志
副 会 計	杉田 信夫
副S.A.A.	内海 貴夫
副S.A.A.	岸 信太郎

〈年度末会員数105名〉



●11月17日

国際学友会京都留学生寮に、ウメ、ツバキ、コブシ等を植樹。

・9月23日
山科区主催「ちびっ子ふれあい山科」に協賛する。



24年度 1991～1992（平成3年～4年） “ 再検討し、刷新しよう ”



R.I.会長 ラジェンドラ・K.サバー(インド)

第2650地区ガバナー 西村 大治郎(京都)

24代目会長 吉田 良武

クラブの運営を船舶に例えれば、長い航海を終え帰港した船が、入念な点検整備を整え、再び限りのない航海に備えるようなものです。創立25周年を間近に控えた山科丸は、今まさにその時宜にあると判断し、取り上げた次第です。

会 長(理事)	吉田 良武
次年度会長(理事)	武田 文男
副 会 長(理事)	布垣 裕嗣
幹 事(理事)	増田 紘明
クラブ奉仕(理事)	砂崎 道夫
社会奉仕(理事)	山中 鉄一
青少年奉仕(理事)	末松 哲夫
国際奉仕(理事)	谷川 博造
職業奉仕(理事)	太田 美実
会 計	中村 翠嵐
S. A. A.	宇野 久夫
副 幹 事	井上 澄男
副 幹 事	手塚 充
副 会 計	田中 久雄
副S.A.A.	茨城 弘三
副S.A.A.	安倍 秀風
副S.A.A.	高山 雄

〈年度末会員数110名〉

●「宮廷王朝時代」の衣裳の勉強と交流を



●6月6日(土) 京都市国際交流会館にて
京都の留学生、21カ国168名を招待
“ガバナー賞”受賞



25年度 1992～1993 (平成4年～平成5年) “おもしろ たのしく ロータリー”

テーマ



R.I.会長 クリフォード・L.ダクターマン(米国)

第265地区ガバナー 林 一彦(武生)

25代目会長 武田 文男

このターゲットを実践に移していくなかで、ロータリー活動を活性化していきましょう。そのためには、もう一度ロータリーの仕組み、ルールを研究して、それを早く身に付けることが肝要かと考えます。

会 長(理事)	武田 文男
次年度会長(理事)	小田 義彦
副 会 長(理事)	野村 泰三
幹 事(理事)	川澄 季央
クラブ奉仕(理事)	井上 勝
社会奉仕(理事)	小原 晃
青少年奉仕(理事)	前林 正典
国際奉仕(理事)	西川 憲一
職業奉仕(理事)	木村 安輝
会 計	高倉 信夫
S. A. A.	井上 武雄
副 幹 事	宮本 博史
副 幹 事	西村 正一郎
副 会 計	石本 常利
副S.A.A.	今川 武志
副S.A.A.	植野 清富

第一部/記念ピアノリサイタル

ピアノリサイタル 演奏 花房晴美

演奏曲目

ベートーヴェン	ソナタ 第14番「月光」
ドビュッシー	月の光
	亜麻色の髪のおとめ
	花火
ショパン	ボロネーズ「軍隊」
リスト	愛の夢 第3番
	メフィストワルツ 第1番



※会長エレクトは川上進也君でしたが 93.3.6 逝さる

〈年度末会員数110名〉

記

念

事

業

第二部/記念式典

司会 横原一雄

開会点鐘	会長 武田文男
国家斉唱	
ロータリーソング「奉仕の理想」	ソング 高山 雄
来賓・来客紹介	会長 武田文男
物故会員に対し黙祷	司会 横原一雄
会長挨拶	会長 武田文男
創立25周年記念事業報告	実行委員長 説田 武
記念事業目録贈呈	1 京都府に記念植樹
	2 京都市に奨学金
来賓祝辞	会長 武田文男
	京都府知事 荒巻 慎一様
	京都市市長 田辺朋之様
	RI 元理事 千 宗室様
	RI 会長インフォメーションカウンセラー
	RI 第2650地区ガバナー 林 一彦様
祝電披露	司会 横原一雄
永年在籍会員表彰(20年以上)	会長 武田文男
閉会点鐘	会長 武田文男

京都山科ロータリークラブ創立25周年記念例会



第三部/祝 宴

司会 安倍秀風

乾 杯	京都東 RC 会長 竹内光男様
祝 辞	京都 RC 会長 宮崎幸一様
	新竹 RC 会長 揚 克裕様
	金沢南 RC 会長 越桐弘夫様
閉会の挨拶	副会長 野村泰三
閉会の挨拶	
ロータリーソング「手に手つないで」	ソング 高山 雄
閉 会	



地球環境保全に
鴨川堤「花の回廊」に植樹



国際交流と親善に
留学生奨学金制度を創設



第 2 部

創立26年度～50年度のあゆみ

行動に信念を 信念は行動に

BELIEVE IN WHAT YOU DO

DO WHAT YOU BELIEVE IN

国際ロータリー第2650地区



1968年4月13日認証

京都山科ロータリー・クラブ週報

ROTARY CLUB OF KYOTO-YAMASHINA

WEEKLY BULLETIN

テーマ「個性を生かした行動」

1993年～1994年 会長 小田 義彦

例会
フラメンコ舞踊家
山本秀実さん

本年度例会スピーカーに
歌舞伎の市川團十郎
野球界の福本豊
評論家の藤本統紀子
新喜劇の藤山直美
料理研究家の鈴木その子



年忘れ家族会

・12月21日、RAC合同で開催(173名)

鴨川べり記念碑
「友愛」設置

・創立25周年に鴨川畔に
記念植樹した場所に
「友愛」の記念碑を設置



友達になろう

BE A FRIEND



1968年4月13日認証
国際ロータリー第2650地区

京都山科ロータリー・クラブ週報

ROTARY CLUB OF KYOTO-YAMASHINA

WEEKLY BULLETIN

テーマ「和の輪を広げよう」 1994年～1995年 会長 谷口良三

初例会風景

- ・「和の輪を広げよう」を会長テーマとされ、
会員増強・情報の徹底・出席参加活動を
重点項目とされた初心表明



地区大会

- ・4月22・23日「立命館大学びわこ草津キャンパス」
で開催。47名が登録

少年野球開会式

- ・11月20・23・27日の3日間で
勸修・宇治川グラウンドで第13回目
を開催。22チーム参加。





1968年 4月13日 認証

京都山科ロータリー・クラブ週報

ROTARY CLUB OF KYOTO-YAMASHINA

WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第2650地区

1995年 7月4日 火 第1357回例会 (28-1)

事務所／〒604 京都市中京区河原町通二条下ル 京都ホテル・アネックス3階
電話 (075)255-0588 ファクシミリ (075)256-5289
例会場・例会時間／〒605 京都市東山区蹴上 都ホテル 電話 (075)771-7111
毎週火曜日12時30分

1995年～1996年 会長 田中久雄



青少年交換学生 (95.8～96.7)
ウエリントン君 (ブラジルD4170)



年忘れ家族会
(12月19日)

・親睦委員会全員が日本舞踊「乗合船」に挑戦。
委員長 (杉崎会員) 自ら常磐津を語る。 (195名)

●歴史に残る奉仕活動



「乗鞍サマーキャンプ」 (8月18日～20日)

・クラブ事業で阪神淡路大震災で被災した小学生や交通遺児、外国人留学生などバス2台で乗鞍登山に招待し、一ノ瀬キャンプ場に1泊して楽しい思い出のひとつを過ごす。

※意義ある業績賞 } を受賞
国際RI会長賞



・乗鞍登山



・乗鞍高原にて魚つかみ大会



1968年4月13日認証

京都山科ロータリー・クラブ週報

ROTARY CLUB OF KYOTO-YAMASHINA

WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第2650地区

1996年 7月2日 火 第1405回例会 (29-1)

事務所／〒604 京都市中京区河原町通二条下ル 京都ホテル・アネックス3階
電話 (075)255-0588 ファクシミリ (075)256-5289
例会場・例会時間／〒605 京都市東山区蹴上 都ホテル 電話 (075)771-7111
毎週火曜日12時30分

テーマ「意義の共有と新年」 1996年～1997年 会長 堀部素弘



再発見「日本のこころ」

クラブ事業報告活動として取り組み(3月9日)

- ・外国人留学生を招き、日本の伝統文化を体感する1日と成り大きな成果をあげた。

再発見「日本のこころ」



再発見「日本のこころ」



アジア大会参加(バンコック)

- ・10月25日～27日に開催され、クラブから10名の会員が参加





ロータリーの心を
Show Rotary Cares



ROTARY CLUB OF KYOTO -YAMASHINA

1968年4月13日認証

国際ロータリー第2650地区

京都山科ロータリークラブ

WEEKLY BULLETIN

1996年～1997年 会長 野村 泰三

- クラブ創立30周年記念式典・祝宴を
ウエスティン都ホテルで開催（4月 日）



- 30周年記念事業を3事業行う



1998年9月18日 JR山科駅前
・創立30周年を記念して「しだれ桜」植樹



パーソナルコンピューター寄付
・社会福祉施設 京都「やましな学園」へ



琵琶湖遊覧船「ミシガン」に招待
・知的障害者を招く



1998-1999年度 国際ロータリーテーマ

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

ロータリーの夢を追い続けよう



1968年4月13日認証
国際ロータリー第2650地区

京都山科ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KYOTO - YAMASHINA WEEKLY BULLETIN

会長のメッセージ：質素にして楽しいロータリーを。

1998年～1999年 会長 山中 鋈一



- 社会奉仕委員会が活動の一環として「東部山間埋め立て処分地見学」催し、42名の会員が参加。
総工費500億円の日本最大のスケールを誇る処分所を見学。

10. 18

「お隣さん、集まれ
—山科ルネッサンス」だより

☆山科ルネッサンスはもうスタートしています



京都市やましな学園の知的障害者のみなさんが10.18山科ルネッサンスに出品するために
お皿に絵付けをしているところです



絵付けする留学生のみなさん



1998年12月22日

「京の顔見せ」

スピーチされる 片岡秀太郎さん



1999年2月9日夫人同伴例会

「私のシンクロナイズスイミング」

ゲストに 奥野史子さん



京都山科ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KYOTO - YAMASHINA WEEKLY BULLETIN

1999年7月6日(火) 第1548回例会《32-1》

＊姉妹提携クラブ＊ 海外：D3490 新竹扶輪社 / 国内：D2610 金沢南ロータリークラブ

ROTARY 2000: ローター2000:

ACT WITH
CONSISTENCY
CREDIBILITY
CONTINUITY

活動は一貫実、
信望、持続

事務所／〒604-0924 京都市中京区河原町通二条下ル京都ホテル・アネックス3階
☎ (075) 255-0588 FAX (075) 256-5289

例会会場／都ホテル 〒605-0052 京都市東山区蹴上 電話(075)771-7111
例会時間／毎週火曜日 12時30分 E-mail: yrckyo@sa2.so-net.ne.jp

1968年4月13日認証
国際ロータリー第2560地区



1999-2000年度 国際ロータリーのテーマ

会長のメッセージ：豊かな心で、出会いに感謝。

1999年～2000年 会長 今村 晋平

●やましな学園障害児をを祇園祭り鑑賞に招待



参加、ロータリアンの皆様です



うなぎまつり (ロータリー出店)

や
っ
た
ね
!
秋
ま
つ
り

11月3日(祝日・水)
於:山科合同福祉センター



お手伝い ローターアクトの皆さん



秋まつり開会です



晴れやかな顔が揃いました。

記念植樹の風景



今村会長と栗津区長さん



「山科川の清掃」きれいになりました
(3月5日)



京都山科ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KYOTO - YAMASHINA WEEKLY BULLETIN

2000年7月4日(火) 第1596回例会 《33-1》

姉妹提携クラブ 海外：D3500 新竹扶輪社 / 国内：D2610 金沢南ロータリークラブ

事務所／〒604-0924 京都市中京区河原町通二条下ル京都ホテル・アネックス3階
☎ (075) 255-0588 FAX (075) 256-5289

例会場／都ホテル 〒605-0052 京都市東山区蹴上 電話 (075) 771-7111
例会時間／毎週火曜日 12時30分 E-mail: yrckyo@sa2.so-net.ne.jp

1968年4月13日認証
国際ローター第2650地区



意識を喚起しー
進んで行動を

...私達のクラブで
...私達の地域社会で
...私達の世界で

2000 - 2001 年度 [国際ロータリー] のテーマ

「友ら集いて 奉仕の道」

2000年～2001年 会長 横田 治男

“チベットに教育の花を咲かそう” ※ガバナ特別賞受賞



表彰授与式と学校内風景



・8月29日小学校の開校式が催され、クラブ会員やご夫人、それに金沢南姉妹クラブ会員ら総勢31名が出席。

・9月23日チャリティーコンサートを開催。バイマーヤンジンさんが民族衣装で素敵な歌声に来場者を魅了させた(1411名)

・地区の百々小学校で学童達が野焼きを体験し、その作品をチベットの小学校に贈る。



チベットの子供 (写真：エレクトーン 伊藤照子さん)



開校式の様子、コスモスが咲き誇っています



♪ヤンジンさんの歌声にうっとり…チベットの民謡も衣装もステキ！



ステージに上がり一人一人表彰された子供たち



「学童と野焼きを楽しもう」風景

(写真提供 左：城山さん)

(写真提供 右：増田絃さん)



京都山科ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KYOTO -YAMASHINA WEEKLY BULLETIN

2001年7月3日(火)第1644回例会《34-1》

*姉妹提携クラブ*海外: D3500新竹扶輪社/国内: D2610金沢南ロータリークラブ

事務所/〒605-0052 京都市東山区栗田口華頂町1 都ホテル6F

TEL (075) 762-5630 FAX (075) 752-3309

E-mail: yrckyo@sa2.so-net.ne.jp

例会/都ホテル

TEL (075) 771-7111 毎週火曜日 12時30分

1968年4月13日認証

国際ロータリー第2650地区



人類が私達の仕事

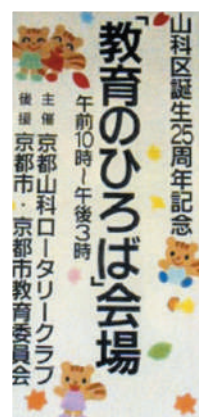
2000-2001年度
国際ロータリーのテーマ

「21世紀は 共生の時代」

2001年～2002年 会長 小林 一 恵

●「21世紀の文化と教育を求めて」

親子の関係、教育環境について再考する
一助として開催。



・子供達が風作りに挑む



・児童が野焼で作った作品を展示



・幼稚園の先生達がぬいぐるみをかぶる



●「やったね秋まつり」やましな学園の
知的障害者を招く恒例に行事に協賛
(11月3日 文化の日)

・2001年やったね! 秋まつり
雨のなか笑顔が絶えません。

2002-2003年度
国際ロータリーのテーマ



慈愛の種を
播きましょう

京都山科ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KYOTO -YAMASHINA WEEKLY BULLETIN

2002年7月2日(火)第1693回例会《35-1》

＊姉妹提携クラブ＊海外：D3500新竹扶輪社／国内：D2610金沢南ロータリークラブ

事務所／〒605-0052 京都市東山区栗田口華頂町1 ウェスティン都ホテル京都6F

TEL (075) 762-5630 FAX (075) 752-3309

E-mail: yrckyo@sa2.so-net.ne.jp

1968年4月13日認証

国際ロータリー第2650地区

例会／ウェスティン都ホテル京都 TEL (075) 771-7111 毎週火曜日 12時30分

会長の
メッセージ 愉快にやろう 輪になろう 奉仕をしよう



2002年～2003年 会長 井上 勝

2003年3月25日 創立35周年記念例会 講演会・祝宴を開催



記念講演会では山下泰裕先生をお招きして、650名を超える聴講者が来場され盛大におこなわれました。



●《第20回学童野球大会》

1998年に開催された「学童野球大会」が本年度20回を迎え、今回をもって終了することになった。



35周年記念事業として
JR山科駅に設置予定の
ブロンズ像「風」
制作：柴田篤男氏



・青少年活動センターのスタッフが地元の子供達にクリスマスプレゼント活動にサンタの衣装や、ツリーなどを贈呈。



・青少年活動センターに雛人形を贈呈。



Lend a Hand

2003-2004年度
国際ロータリーのテーマ

京都山科ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KYOTO -YAMASHINA WEEKLY BULLETIN

2003年7月1日(火)第1740回例会《36-1》

善意と親睦をポケットに奉仕の心を学びます。

テーマ「親睦と研鑽」 2003年～2004年 会長 稲本 勝

「ハートフルPOPコンサート」(4月18日 於東部文化会館)

※障害者に優しい社会をテーマに、地域の障害者を招き開催

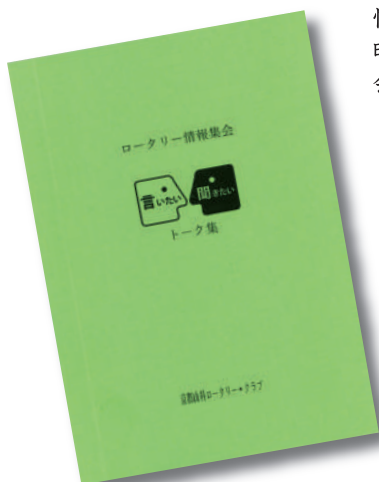


・「ハートフルPOPコンサート」in山科・醍醐

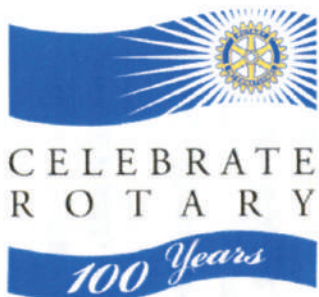
●9月28日洛東RC合同の家族例会を亀岡で



- ・「ロータリーの基本理念は慈善団体ではなく、奉仕の心を持った人を育てる会」を基本に1年14回に亘る情報集合が開催され、時々のテーマを元に会員の意見を集録した「トーク集」を発行。



※前期・後期を7組に分け(組変え)
計14回が開催される。
特別ロータリー委員長の元に



2004-2005年度
国際ロータリーのテーマ

京都山科ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KYOTO -YAMASHINA WEEKLY BULLETIN

2004年7月6日(火)第1786回例会《37-1》

人の輪・知恵の輪・奉仕の輪

2004年～2005年 会長 鈴木敏治

●「国際ロータリー創立100周年記念事業」特別講演会：日本化学未来館 館長 毛利衛氏



※小学生・中学生・高校生たちに化学の楽しさ、面白さを伝える



※子供達も熱心に、毛利衛先生に質問をする。

●2014年10月31日 洛東RCとの合同家族会



●大徳寺において青少年を対象に座禅体験を実施。





京都山科ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KYOTO -YAMASHINA WEEKLY BULLETIN

2005年7月5日(火)第1832回例会《38-1》

人に愛と光を、若者に夢とロマンを!

2005年～2006年 会長 西村 孝之



●歴史に残る納涼家族会!! 8月27日 於:しょうざん



家族有志が1ヶ月に亘り、京都水会でシンクロナイトスイミングの練習を重ね、当日「しょうざん」のプールで披露する。

・オリンピック・シンクロメダリストの武田美保選手の模範演技に大歓声。

●アイスランドからのお客様



・アイスランド共和国から かわいい親善大使

・当クラブが継続して来た奨学金に対し
国際交流館よりお礼状が届く



・元横綱大乃国関と招請された平田さん



京都山科ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KYOTO -YAMASHINA WEEKLY BULLETIN

率先しよう

2006年7月4日(火)第1878回例会《39-1》

2006～2007年度
国際ロータリーのテーマ

敬天愛人 明るく元気に一生懸命



2006年～2007年 会長 小山 信一

●「生き生きシニアの装いの集い」 11月19日 於:国際交流会館



※地域の老人会メンバーから(64歳～94歳)の有志28名が出演。



●例会スピーチには多彩なゲストが登場



・ゲストの女優 土田 早苗さんを囲んで



・プロ野球 梨田監督



・長野県からみえた 南 正文 画伯

12月19日(火) 年忘れ家族会

7月22日(土) 納涼家族会を琵琶湖ビアンカ遊覧



・年忘れの親睦委員会の皆さん




 ROTARY CLUB OF KYOTO - YAMASHINA 1968年4月13日認証 国際ロータリー第2650地区

京都山科ロータリークラブ

新 下 照 顧

足許を見つめ奉仕の心を育くもう

2007年～2008年 会長 中村 翠 嵐

●「クラブ創立40周年記念」式典・祝宴を盛大に開催。

4月1日 於：ウエスティン都ホテル京都



※京都山科RCを京都東山RCに改名を来賓に披露

●40周年記念講演 4月13日 於：ウエスティン都ホテル京都
入場者1,000名

・人気作家 渡辺淳一氏 「男と女」演題



●記念事業の「学童野球大会」開催
「心」「技」「体」の3イベントも開催し
全てに大成功を納める。



・翌日金沢南姉妹エクスカーシー京都御苑迎賓館見学



京菓子作り体験



1968年4月13日認証

国際ロータリー第2650地区



京都東山ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KYOTO -HIGASHIYAMA WEEKLY BULLETIN

「心」

2008年7月1日(火)第1971回例会《41-1》

京都東山ロータリークラブのテーマ
会長 木村 安輝

おおらかな心で



2008年~2009年 会長 木村 安輝

水に輝こう! 障害者水泳フェスティバル

2008年9月21日(日) 於: 京都アクアリーナ



・障害のある方の25m競泳 ・障害者シンクロ演技発表会
《踏水会シンクロチーム、井村シンクロチーム、山城高校ウォーターボーイズ》



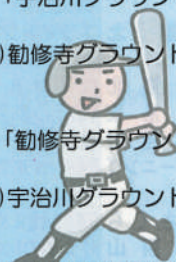
●社会奉仕協賛事業 5月7日(日)
子どもの文化フォーラム 於: 東部文化会館



新世代事業 「学童野球大会」

- 第3日目
11月29日(土) 「宇治川グラウンド」
試合開始 8:30 ~
(予備日: 11/30(日) 勸修寺グラウンド)
- 決勝戦/閉会式
11月30日(日) 「勸修寺グラウンド」
閉会式12:00 ~
(予備日: 12/6(土) 宇治川グラウンド)

※駐車場について
昨年同様、勸修寺グラウンド北西角の空き地
をご利用いただけます。



ROTARY CLUB OF KYOTO-HIGASHIYAMA



DISTRICT 2650

WEEKLY BULLETIN

CHARTERED April 13, 1968

09.10年度
京都東山ロータリークラブ
会長テーマ

3つの好き

ロータリーが好き
奉仕が好き／親睦が好き

Sister
Club | Hsin-ChuTaiwan
Kanazawaminami

ロータリーが好き、奉仕が好き、親睦が好き



09.10年度
RIテーマ



09.10年度
RI第2650地区テーマ

京都東山ロータリークラブ

事務局 〒605-0052 京都市東山区栗田口草頂町1
ウェスティン都ホテル京都6F
TEL.075-762-5630 FAX.075-752-3309
URL : <http://higashiyamarc.com>
E-mail : info@higashiyamarc.com

2009年～2010年 会長 城山 健太郎

留学生のための体験フェスティバル

2009年10月24日(土) 於：京都市国際交流会館



※“留学生が肌で感じる平安の世界”をテーマに
京都在住の留学生に日本文化をより深くの理解と体験を



・十二単衣の着付け体験



・百人一首のカルタ取り



●8月23日(日)細涼家族例会を「宝塚歌劇観劇」
会員・家族93名が参加。

※宝塚ホールにて例会開催

ROTARY CLUB OF KYOTO-HIGASHIYAMA



DISTRICT 2650

WEEKLY BULLETIN

CHARTERED April 13, 1968

2010-11年度
京都東山ロータリークラブ
会長テーマ

ドキドキ
はらはら興味津々

Sister
Club | Hsin-ChuTaiwan
Kanazawaminami



ロータリーを良く学び、
変化を知り、
忘れたことを思い出そう

2010-11年度
R.I.テーマ

2010-11年度
地区スローガン

京都東山ロータリークラブ

事務局 〒605-0052 京都市東山区栗田口単頂町1
ウェスティン都ホテル京都6F
TEL.075-762-5630 FAX.075-752-3309
URL : <http://higashiyamarc.com>
E-mail : info@higashiyamarc.com

2010年～2011年 会長 今井 武男

●「子ども達に素敵な一日を」

11月21日(日) 東部文化会館にテリトリー内の子供達を招き、施設の子供や障害児と共に様々な催しで楽しんでもらう。



●5月31日(火) 音楽プログラマ例会

「愛の唄～日本とドイツの歌曲～」

夫人同伴の例会で音楽に魅せられたひと時



●5月24日(火)

「異文化を超えて

～日本に嫁いできた私の思い～」

※クラブにゆかりのあるチベット声楽家の
バイマーヤンジンさんのトークも歌声も…。



ROTARY CLUB OF KYOTO-HIGASHIYAMA



DISTRICT 2650

WEEKLY BULLETIN

CHARTERED April 13, 1968

2011-12年度
京都東山ロータリークラブ
会長テーマ

温故知新

Sister Club | Hsin-ChuTaiwan
Kanazawaminami



京都東山ロータリークラブ

事務局 〒605-0052 京都市東山区粟田口草頂町1
ウェスティン都ホテル京都6F
TEL 075-762-5630 FAX 075-752-3309
URL : <http://higashiyamarc.com>
E-mail : info@higashiyamarc.com

2011年～2012年 会長 川中 丈嗣

●11月27日(日)「青少年音楽コンクール」 於：京都堀川音楽高等学校

※将来性豊かな青少年アーティストの発掘・育成・支援



※13組28名出場 金賞には50万円の奨学金を贈る。

●「山科かるた」制作事業 ・NPO山科醍醐こどもの広場主催の「町たんけん」に協賛し、子供達が山科界限を散策し、歴史や名所を「かるた」に絵や文字で作製。大好評を博す。



※3月4日(日)
東部文化会館で完成した「山科かるた」で“かるた取り大会”を催し、大勢の子供が競い合った。



● JR山科駅前に2003年のブロンズ像横に「4つのテスト」の石碑を設置。又1998年に植樹した「しだれ桜」をライトアップするLEDランプを3基を増設し、見事に成長した桜を輝らす。





ROTARY CLUB OF
KYOTO-HIGASHIYAMA
DISTRICT 2650 CHARTERED April 13, 1968



Bridge the Gaps

京都ロータリー会2012-13年度

MEETING ON TUESDAY 12:30
THE WESTIN MIYAKO KYOTO
Sister Club : Hsin-Chu, Taiwan
Kanazawaminami

京都東山RC会長テーマ

ONE FOR ALL, ALL FOR ROTARY

“ひとりはおみんなのために、みんなはロータリーのために”

2012年～2013年 会長 松井 信五

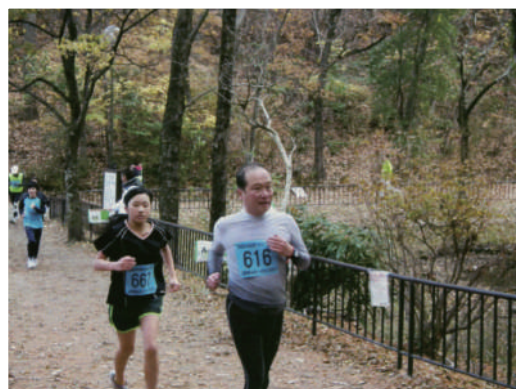
●クラブ創立45周年記念式典・祝宴を4月16日(火) ウェスティン都ホテルで挙行

京都東山ロータリークラブ 創立45周年記念式典例会

・記念講演をバルセロナオリンピックメダリストの有森裕子氏を招く。



●「宝ヶ池公園ファミリーマラソン」12月1日開催 親子づれや、障害者ら200名余が参加され大成功を博し、ガバナー賞を受賞する。



●東山中学・高等学校インターアクトクラブを設立し、「認証状伝達式」が3月26日に行われた。なを、メンバーは18名をもって11月25日(日) 創立総会を執り行う。





Rotary Club of Kyoto-Higashiyama

DISTRICT 2650 CHARTERED April 13, 1968

京都東山ロータリークラブ会長テーマ 「向上心」



地区スローガン
あなたの善から、
みんなの善へ
- from Your Good
to Our Good -

MEETING ON TUESDAY 12:30
THE WESTIN MIYAKO KYOTO
Sister Club : Hsin-Chu, Taiwan
Kanazawaminami

2013年～2014年 会長 杉崎 則夫

● 1年を通して、有名人のスピーカーが次々と登上。例会が盛り上がった!!



10月15日 (火) 波乃 久里子様



8月27日 (火) 浜 矩子様



9月10日 (火) 今井 政之様



● 3月4日金沢南RC創立45周年記念式典
杉崎会長以下30名(会員25名・夫人4名・事務局1名)
が出席。翌日金沢卯辰山工芸工房見学。



・中村翠嵐会員が地区ガバナー補佐
に推挙される

● 「小・中学生による“作陶&茶会”」

テリトリー内の小・中学生を募り (1,000名) 催す。

2月8・9・22・23日に会員の陶芸家が指導し、作陶を実施。

4月3日、焼き上がった作品で各々の小・中学生が茶会に参加し、お手前を体験 (豊国神社にて)



2014年～2015年 会長 小野 富 造



- 11月24日(祝日)東部文化会館
「地域のこどもたちに歓声と笑顔の一日を」テリトリー内の幼児・園児・小学生を招き、NPO「山科だいき」子供の広場の共済で入場者550名の超満員の有意義な活動が実施された。
1部 アニメ映画「ドラえもん」 2部「山科かるた」取りたい会
3部 「やまのしな醍醐こどものひろば」創作劇観賞



- 12月23日～25日
「台湾新竹RC創立60周年記念式典」に
会員14名が出席し交流を深める。



- 野球同好会が誕生し、2月21日(土)開催
のガバナー杯に出場し、大健闘。



- 4月7日(火)～8日(水)
金沢南RC姉妹提携40周年記念式典に会員・夫人
ローターアクト26名が出席し、翌日のエスカ
ションも楽しむ。



- 8月24日(日) 納涼家族会に「伊勢神宮・
鳥羽水族館」を催す。
※積年遷宮で新しくなった内宮に入場し、特別拝殿
を経験。参加者127名。



会長テーマ “今、を知り、未来を語ろう。Rotary！”

2650 地区ガバナーズローガン
『クラブに「個性」と「憧れ」を！』

MEETING ON TUESDAY 12:30
THE WESTIN MIYAKO KYOTO

Sister Club: Hsin-Chu, Taiwan
Kanazawaminami

2015年～2016年 会長 岩橋 忠昭



●4月21日(火)～13日(水)
金沢南姉妹クラブとの交流会

1日目 アサヒビール吹田工場見学の後、合同懇親会を
南禅寺「八千代」で

2日目 観光組 大徳寺観光
ゴルフ組 由良ゴルフ倶楽部



●4月10日(日) 特別事業

「魚つかみと昔遊びのわくわく体験」

京都私立百々小学校において、テリトリー内の小学生に
魚つかみを体験と昔の子供が遊ぶ(コマ回し・ヨーヨー釣り、
輪投げ・メンコ・綿菓子・お菓子釣り)
で、一日楽しんでもらった。

参加小学生150名

●6月25日(土)

留学生に「禅と精進料理の体験会」開催
於：天龍寺にて 参加者18名



京都東山ロータリークラブ

会長テーマ ～ 奉仕の心を大切に ～ 奉仕を通じてロータリーを楽しもう

2016年～2017年 会長 渡辺 剛士



●11月22日(火)

夫人同伴例会で「弦楽四重奏コンサート」を催し、会員夫人11名の出席者と共に大変和やかな一時を過ごす。

演奏者

田村 安祐美(ヴァイオリン)	京都市交響楽団メンバー
山本 美帆(ヴァイオリン)	京都市交響楽団メンバー
山田 麻紀子(ヴィオラ)	京都市交響楽団メンバー
城甲 実子(チェロ)	フリーランスチェロ奏者

●2月19日(日)

「家族マラソン」吸水ボランティア活動

本年度第5回目を迎えた吸水ボランティア活動は大多数の会員とローターアクト3名とインターアクト14名の参加により若い方々の活発な行動に活気づいた奉仕活動でした。

※会員の福留 幸一君、中村 晴君がランナーとして出場され見事な記録で完走されました。



●5月20日(土)

留学生を「お茶会と精進料理の体験機会」に招く。

於：大徳寺山内 大慈院

留学生15名

(中国5名、ベトナム4名、インドネシア2名、アメリカ1名、イタリア1名、ギリシャ1名、韓国1名)

●5月30日(火)

音楽例会開催

「HIGASHIYAMAの春・音楽会」

ソプラノ	藤井 里紗 (大阪音大卒)
ピアノ	本多 千紘 (大阪音大卒)



京都東山ロータリークラブ

会長テーマ「未来に繋がる東山」

例会 火曜日 12:30～ ウェスティン都ホテル京都
姉妹クラブ：新竹ロータリークラブ（台湾）、金沢南ロータリークラブ

2017年～2018年 会長 小森直之



- 50周年記念事業パートⅡ
「琵琶湖疎水通航」事業に協賛備品費等
500万円程寄贈

- 50周年記念行事パートⅠ
8月5日(土) ロームシアター京都において、iPS細胞の発見でノーベル医学・生理学賞受賞の山中伸弥教授による特別記念講演会開催。京都市民 2,000 名の来場者のもと開催した。「iPS細胞研究基金」として300万円を寄贈。



- 野球同好会が、本年度ガバナー杯で優勝の快挙を遂げる

- 京都東山高等学校インタラクティブが本年度2650地区のインタラクティブ地区大会ホストを務めるにあたり、当クラブは青少年委員会を中心にクラブ協力に務める。
10月21日(土)～22日(日) 東山中学高等学校で開催。



- ・永年(45年)務められた例会のエレクトーン奏者の伊藤照子さんに変わり、新しく演奏を務めて下さるピアノ奏者の伊藤裕子さんです。

第 3 部

会員のメッセージ
《私のロータリー雑感》

安倍 秀 風

入会：2016(平28) 7-5
誕生：1986(昭61) 6-28
趣味：ドライブ、映画鑑賞



ロータリアンになって早2年の月日が流れていきました。18歳からローターアクトクラブでお世話になり、30歳までの12年間と比べるとあっという間に時間が過ぎていった感じがします。

父が平成27年11月に急逝し、入れ替わりのような形でロータリーでお世話になり、多くの先輩方からも父の代わりのように可愛がって頂き、本当に感謝の念しかありません。京都東山ロータリークラブの50周年を父も一緒に迎えたいという気持ちがあったとは思いますが、残念ながら叶う事はありませんでしたが、今度は私自身の子供と100周年を迎えられれば父への最高の土産話になるのでは無いかと考えています。

多くの先輩方が続けて来られたからからこそ迎えられたこの創立50周年。これを契機にさらに発展し、継続していく為の一糧となれるよう、精進して参りたいと思っておりますので、今後とも皆様宜しくお願い致します。

「やっぱり、ロータリー」

ふり返れば、入会して13年。

「もう、やめてしまおう」と思ったことも、何度かありました。「ちょっと話があるから」と呼び出されたときから、いつのまにかロータリアンになっていました。分不相応であるという思いが強く、入会したことをまわりに気づかれないようにしていた1年目でした。3年目に、SAAとなりました。「絶対に、例会に出なければいけない」という思いだけしかありませんでした。初めて100%出席ができたのはこのときだったと思います。微笑ましい達成感とともに、「石の上にも3年」という言葉をしみじみと感じました。

それからの日々、さまざまな経験をおして学び、人と人とのふれあいをおして心動かされながら、ロータリーならではの喜びがいくつもありました。「七年の病に三年の艾を求む」、7年目にして、日ごろの心がけが大切であること、つまり、「まずは例会に」いうことが理解できたように思いました。

亀のようにのろのろ、そしてうろうろと歩みながらも、とうとう13年。人生にたとえると、13参りの節目です。小学校を卒業し、中学校に入学するところです。何もかもが新鮮で、きらきらと輝いて見えたあのころのように、素直な喜びと感動する心を忘れず、さらに歩み続けたいと思っています。

ここまで書いてきたとき、「もう、やめてしまおう」という気持ちを引き留めたものは、いったい何だったのだろうと考えました。きっとそれは、ガバナーズローガンにある「愛着と誇り」ではなかったかと感じています。

青山 真由美

入会：2015(平27) 6-2
誕生：1965(昭40) 1-7
趣味：テニス、水泳、読書、ピアノ



私とロータリー雑感

木々もすっかり芽吹き、新緑の葉が茂る季節となりました。

2018年4月に50周年を迎える東山ロータリークラブに在籍させて頂き、また参加出来ることを本当に有難く思います。

50周年記念事業とし山中伸弥教授講演記念、琵琶湖疎水通船、記念例会、式典、祝宴に携わられた実行委員会の方々大変ご心労等ありがとうございましたと存じます。本当にお疲れ様でした。

私も入会させて頂き早くも丸3年が過ぎようかとしておりますが、初年度は本当にロータリー活動に関し地に足がついていない状態であつという間に一年間が通り過ぎました。

今、思い返せばよく理解出来ていないまま「親睦委員会」に入っておりお役に立ててなかったと思うのですがクラブ内で初めて、人生で初めて!?「親睦活動」を体験し京都マラソンのボランティア、夏冬の家族例会準備、お手伝いと様々経験し特に夏の家族例会場所に貸し切りバスで下見に行った時には「ここまでする!?!」と衝撃を受けたのを思い出します。また初年度より野球、ゴルフ同好会に入会し各同好会の中で右往左往していた私に優しくロータリー活動についても教えて頂き本当に同好会に入会して良かったと感じまた沢山の先輩会員と親睦を深められました。

そして50周年を迎える2018年に野球同好会においてはガバナー杯優勝の瞬間にグラウンドに立てていたことは誠に光栄ですし力不足ではありますがこの年度にゴルフ同好会会長を務めさせて頂いたことも感謝しております。

次回周年事業時には少しでもお役に立てるよう東山ロータリークラブ会員として精進して参りますので今後ともご指導宜しくお願い致します。

深海季生

入会：2015(平27) 6-2
誕生：1968(昭43) 4-24
結婚：2009(平21) 3-3
趣味：ゴルフ、野球、温泉



私とロータリー雑感

ロータリーが何かという事を語れる程の知識や経験を私は持ち合わせていませんが、我がクラブが50周年を迎えるにあたり感じる事があります。それはロータリーでさえも、もれなく時代の流れに影響され日々変化しているのだろうという事です。私が入会した十数年前から考えてもメンバーや雰囲気、規則などだいぶ変わってきています。そこから察するに50年前から比べれば私の想像をはるかに超える変革があるのだろうと推測できます。もちろんそれはいい方向へ変化していると信じていますが。

個人的には30歳そこそこの若輩者としてロータリーに入会させて頂き、たくさんの方々に色々なことを勉強させて頂いたことで今の自分があると考えています。「職業奉仕」という概念に驚いた記憶がありますし、4つのテストを頭の隅に置き、「みんなの為になるかどうか」を考えるようになりました。そしてそれは今の経営者としての自分に多大なる影響があったことは間違いないでしょう。一見、仕事に関係の無い無駄なことであったとしても、その無駄なことが人間を豊かにするものだと感じる事ができる。ロータリー活動は自分次第で何倍にも自分を成長させてもらえる。とても素敵な事ですね。

そしてこれから先10年、20年と我がロータリークラブはどのように変わっていくのか楽しみにしている自分がいます。微力ながらコツコツと東山ロータリークラブに恩返しができればいいなと感じています。

福留幸一

入会：2006(平18) 7-18
誕生：1974(昭49) 8-13
結婚：2004(平16) 4-4
趣味：スキー、マリンスポーツ



私とロータリー雑感

長い間、ロータリーへの入会を勧められていましたが、65歳で入会させて頂きました。

会社を60歳で長男に譲り、5年間は見守り、65歳で口出しを止めました。

今年、古希を迎えます。残りの人生を妻の為30%、世の為30%、自分の為30%と後はオマケです。そこで、世に尽くす為に、ロータリーに入会させて頂きました。大した事は何も出来ないと思いますが、何事にも自分の出来る限りの努力はする心構えは持って行こうと思って居ります。山科で育ててもらい、山科で発展させて頂いたお礼をさせて頂きたく思っています。

今年の3月には5年連続100%出席の表彰を受ける事が出来ました。一先ずは安心致しました。

入会して、まず例会に出席すること、事業になるべく参加し見聞を広める事を目標にしています。

京都東山ロータリークラブ入会当初は、例会出席100%が宿命でした。欠席した時は、何処のクラブにメイキャップ行こうか悩みましたが、各クラブ色々なタイプが有り、又懐かしい知り合いにも、多数の方にお逢い出来、楽しいひと時を得る事が出来、嬉しく思いました。

今は、例会100%は義務化されてはいませんが、若い会員の皆様には毎日のお仕事は大変だと思いますが、自分なりのスケジュールを作り、協力を得ることで例会100%出席は可能になります。しばらくは大変だと思いますがやってみれば出来るものです。私も若いころに経験しましたが、今思うと、そのことが今の自分の人生にとって最良の訓練をさせて貰ったと思っています。若い会員の皆様のやる気を応援します。

布施 栄一

入会：2013(平25) 2-5
誕生：1948(昭23) 6-28
結婚：1974(昭49) 3-24
趣味：スポーツ



七年目

私が東山ロータリークラブに入会させていただいて約七年が経ちました。入会させていただいた理由としてやはり父親が属していたという事に尽きると思います。

父はロータリーを愛していました。八年前に父が亡くなり出棺の時の音楽がロータリーソングだった事を覚えています。それから入会の勧誘を受けたわけですが葬儀が終わり火葬場に行き遺体を焼いて待っている喫茶店で一回目の勧誘を受けました。その時はまだ「父は焼きあがってないので勘弁して下さい」と丁重にお断りさせていただきました。その当時、なんて恐ろしいクラブだと、絶対に入会なんて無理だと思っておりました。

それから一年間逃げ続けていたわけですが、なぜかよく魚を届けて頂ける会員さん、母親の主治医をして頂いていた会員さん、店の内装工事をして頂いている会員さん、ホームページの管理をして頂いている会員さん、父を見送る会や、フランスまで散骨に旅行に行ってもらった会員さん、気が付いた時にはロータリー包囲網に囲まれ逃げ場などありませんでした。

そして入会させていただいたわけですが、やはり最初は場違いな所に来てしまったなと思っていました。

毎週、昼間に出てくるのも大変でした。これは今でも大変ですが…。

ただ入会して良かったと思える事は、今まで伝統産業や人形関係の方としか知り合う機会がなく、全く重なり合わない異業種の方と出逢う事が出来、そして話が聞けるこの事は大変新鮮でした。何か気になることや困ったことがあると聞くことができすぐに解決ができ、これは凄いことだと思います。この交友関係は宝だと思います。まだまだロータリアンばくなく私ですが、七年経ちますと周りの取引業者さんや従業員も火曜日の昼は居ないものと認知してくれるようになりました。

どうやら少しは前に進めているようです。

微妙な一歩でも少しずつ進んで行けるようにこれからも火曜日の昼にウェスティンにランチを食べに行くつもりです。

橋本 幸司

入会：2011(平23) 10-4
誕生：1977(昭52) 12-1
結婚：2008(平20) 7-20
趣味：スノーボード、ダーツ



「私とロータリー」

「ロータリアン」素敵な響きですね。私の入会は2008年1月8日ですから、早くも10年が経ち、たくさんの先輩、友人に囲まれ、楽しくロータリー活動をさせて頂いております。「真のロータリアン」となれているかは疑問点だらけですが、せめて「素敵なロータリアン」となれるよう、これからも精進してまいりたいと思います。

さて、私の職業はゴルフクラブの製造・卸業ですが、ゴルフは審判がないスポーツとして有名です。審判がいなくてもゲームとして成り立つのは、ルールブックの第1章が「ゴルフの精神」というものから始まり、「ゴルフはプレーヤーの一人ひとりが他のプレーヤーに対しても心くばりをし、ゴルフ規則を守ってプレーするというその誠実さに頼っている。プレーヤーはみな、どのように競い合っているときでもそのようなことに関係なく、礼儀正しさとスポーツマンシップを常に示しながら洗練されたマナーで立ちふるまうべきである。これこそが正に、ゴルフの精神なのである。」とあるからなのです

どこかで聞いたような？そうです「四つのテスト」そのものなのです！ゴルフの精神とロータリーの精神はつながっているのです。

私は創立50周年を迎えた東山ロータリークラブの伝統に恥じぬ「素敵なロータリアン」となることと「素敵なゴルファー」になることを夢見て、頑張ってます。皆様これからもご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

平 野 俊 雄

入会：2008(平20) 1-8
誕生：1960(昭35) 10-13
結婚：1986(昭61) 11-3
趣味：ゴルフ

KYOTO MARATHON 2018



我が人生、第3コーナーへ

創立50周年、我が年齢65歳、

そして未来に繋がる新たなチャレンジ

1つ目のチャレンジは、奉仕委員会を3年制委員会にする。私の考える奉仕委員会のあるべき姿とは、1年目に奉仕プランと予算計画の立案、2年目に実行、そして3年目に社会への貢献度を検証する。この繰り返しが出来ると委員会構成にすれば良いと考えています。1年目は委員として勉強をし、2年目は副委員長として委員長をサポートし、そして3年目に委員長になって自分の考える奉仕事業を実行する。できるなら、もう1年頑張って事業検証をしてほしいのですが？

そして次なるチャレンジは、やはりグローバル補助金を活用した奉仕事業だろう！

50年の歴史の中で一度もない、ロータリー財団グローバル補助金を使った奉仕事業を、2650地区ロータリー財団地区委員会で学んだことを、クラブメンバー全員の協力で4～5年先に実現したいものです。

50周年記念誌発刊にあたり、この2つの事を実現すべく、私のチャレンジ目標に掲げたいと思います。

本 田 修 造

入会：1999(平11) 9-7
誕生：1952(昭27) 8-28
結婚：1980(昭55) 10-28
趣味：ゴルフ



私とロータリー雑感

東山ロータリークラブに入会させて頂いた年がちょうどクラブ40周年目の年であったことから、クラブが50周年を迎えたこの年でちょうど入会10年目。

先輩の方々をひたすら見上げていた入会当時と比べると、この10年の間に新しいメンバーも加わり、だいぶ年齢構成が若くなったように感じます。

自分自身も若い世代の部類になりますので、同世代での和気あいあいとした現在の雰囲気はすごく過ごしやすく感じております。

さて、自分自身の10年目、そしてクラブ50周年を迎えた一つの節目を機会に、今後自分自身がどのようにロータリークラブと関わり、どのように貢献していくことが出来るのかといったことについて考えてみました。

それは、とにかく継続して自分自身がロータリーの精神に対する理解を深める努力をしていく必要があるのではないか。そのためには常にメンバーの一員であることを意識し、毎週の例会を含めクラブの行事に積極的に参加し、学びを求めていくことが大事なことのひとつであると考えます。

また同時に、その精神を共有しあえる仲間を増やしていくということも大事なのでは・・・

これらのことを意識しながら行動し続けることで、結果として何かしらの貢献につながればと考えております。

井 川 正 隆

入会：2008(平20) 4-1
誕生：1974(昭49) 3-22
結婚：1999(平11) 6-6
趣味：ゴルフ



私とロータリー雑感

1981年1月入会、ロータリーとは？入会当初、綱領、四つのテスト、超我の奉仕、職業奉仕、クラブ奉仕、国際奉仕、社会奉仕全てに於いて感銘を受け、少しでも仲間入り出来ればと自分なりに努力し、在籍していることに喜びを感じておりました。

日本国は神道ですが、イデオロギーとして国民は憚ることはありません。当家は浄土宗で、法要の度、何も分からないまま経本を見ながら経を唱えてきました。年を取ると神社仏閣にかかわることが多くなり家系、地域、業界、友人それぞれの繋がりに必然性を感じ生活の中に取り込み、神社のお世話役、臨済宗との関わり、家内方の真言宗、社内に祭っている稲荷神社のお火焚き祭、ことある毎に「般若心経」が出てまいりますので、経本を見なくても唱えられるようになりました。「般若心経」の内容について何度かお参り時に講話を受けましたが、未だ全体の意味は分かりません。しかし、仏の教えは、厳しい修行及び、長い過去の経験則から導き出されたものであります。ロータリー精神も当初の考え方から、組織の拡大と共に変化、仏教思想ではと思われる「決議23-34」のようなロータリー哲学論が取り上げられ、特に日本人には感銘を受け拡大してきたものとお思います。

四半世紀前に感じていたロータリー感と、現状とは、大きく変化、RI規定審議委員会が開催されるごとに、ロータリー哲学が薄められ、崩されてきていることが残念でなりません。新しく入ってこられる方々の認識も相違、例会出席の重要性について、我々が教えられ守ってきたようなこともなく、会員が増えればよいという風潮になってきているように感じられます。我がクラブだけでもこの創立50周年の節目に、RIの方向に影響されず頑なに守り続けられればと夢のようなことを思う毎日になりました。

今 村 晋 平

入会：1981(平56) 1-13
誕生：1939(昭14) 8-3
結婚：1971(昭46) 3-24
趣味：スキー、無線、音楽



40年のロータリーで身についたもの

私の本籍は滋賀県の五個荘で近江商人の発祥の地の一つである。商人は普段は質素儉約お金が貯まれば世の為人の為に使いなさいと聞かされていたが、若い頃は全くそんな気持ちになれず自己の利益の為にただひたすら働いてきた。

ロータリーに入ってからその考え方に大した違いは無くむしろ自利他利の他利を考えると闘争心が無くなり自滅して行くのでわなないとさえ思っていた。会長を受ける様になった頃やっとこの矛盾した心の葛藤を和らげてくれるのがロータリーだと云う事が少しは理解出来る様になり、会長テーマとして「親睦と研鑽」を掲げ7回の情報集会を14回行い、ロータリー哲学を皆で勉強して見たいとこれを実践した。

その後大病を患ったりして仕事をリタイアしてしまったがロータリーに入って良かったのか、そうでは無かったのか時々考える事があるがロータリーのお陰で少しは人間性が向上したのは間違いなくお金では買えない人格が少しでも身に付いた事、弱者の事が少しでも考えられるようになった事、それらを総合して40年以上も続けて来た又続けられたロータリーに私は満足している。

稲 本 初 弥

入会：1976(平51) 6-1
誕生：1936(昭11) 9-11
結婚：1964(昭39) 11-20
趣味：ゴルフ、ヨット、旅行



私とロータリー雑感

皆さんこんにちは。京都東山ロータリークラブに入会させて頂いて、早五年が経過しました。『花屋のぎんちゃん』こと銀花園の井上です。よろしくお願い致します。

ロータリーでの思い出は、話せば色々ありますが、まず最初に入った時の印象といえば、その場の雰囲気に圧倒されて、このままやっていけるのだろうかという思いでした。しかし入会時に同世代の村岡会員と中村吉晴会員が入会されていて、とても仲良くして頂き、どんどん楽しくなってきました。そうこうしてる間に、福川会員、山田会員、中西会員、深見会員、布施会員など色々な後輩が入ってきて、より一層楽しくなっていました。又、ヤレヤレ会や家族例会で谷川会員から色々なコスプレの指示を受けました(笑)。その時は嫌だなと思ってましたが、実際やってみると中々楽しく、今となっては良い思い出となりました。

ロータリーの良さは何かという話になった時に、自分は「かけがえのない友人が出来るよ」と言っています。これは自分自身が体験してきたことですし...。これからも、例会・同好会など様々なイベントを通じて交流を深め、皆様と一緒に歩んでいけたら良いなと思っております。

これからも多々ご迷惑をおかけする事になると思いますが、今後ともより一層の御指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

井 上 正 博

入会：2012(平24) 10-2
誕生：1968(昭43) 9-27
結婚：2012(平24) 2-2
趣味：映画鑑賞、旅行



ロータリーと出会い

入会させて戴き34年、ロータリーとの長いお付き合いで私の人間の幅を大きく広げさせてくれました。

地区の米山委員を少しさせて戴き又、少しですが世界のRCを訪問させて戴き、お蔭で今迄見なかった新しいロータリーの世界を垣間見ることが出来ました。

個人的には、米山の事案に興味を持ち、多くの奨学生のカウンセラーをさせて戴きました。

奨学生の皆さんは日本に対して好印象を持って頂き、将来その国と日本との親善の橋渡しをしてくれるものと思っています。

最近は仕事も一段落、夫婦揃って海外旅行に出かけるようになりました。旅は私にとって精神の若返りの泉だと思っています。日本を離れ、非日常を楽しむのが目的の一つで、日本の常識は世界の非常識を感じ、やがて、旅が終わりに近づくと緊張が少しほぐれ、私には帰る場所があると云う安堵感が広がります。

私は香港にある顧客へ、出張で行き始めて40年程になりますが、行く度に、商売の厳しさと同時に人間の暖かさを感じ、何故か私のロータリーでの目標である思いやりの心を学ぶ、と云うことを教えられる気がしています。

魅力ある人間には心ひかれるものです。

井 上 武 雄

入会：1984(昭59) 3-13
誕生：1939(昭14) 10-24
結婚：1968(昭43) 3-2
趣味：読書



私とロータリー雑感

早いもので入会して6年がたちました。クラブ50年の歴史の中では、ほんの少しだけのクラブ歴です。入会当初はご高齢の会員さんのお元気なことに驚きました。例会に出席されるからお元気でいられる様に思えてきました。

入会早々から大先輩の皆様に本当に大事にいただき何とかクラブに在籍していただけるのかなと思っていますし、自分が新入会員に、同じことができているのか考えると不安です。

クラブで印象の残る活動は年に一度行っている京都マラソン時の給水ボランティアではないでしょうか、晴天の日も小雨の日もあり又風の強い寒い日もありますが朝早くから会員みんなで重い水を運んだりゴールされた走者の皆様に水をお渡したりと夕方まで休む暇もなく動き回り、夕方にはみんなくたくたになります。しかしゴールされた走者の方の（ありがとう）の声で充実感を味わえるのも事実です、そして終了してからのみんなの和やかな顔が疲れを吹き飛ばせてくれると思います。クラブ員として充実できる一日のような気がする私です。

上 村 承 生

入会：2011(平23) 12-22
誕生：1959(昭34) 3-20
結婚：1990(平 2) 11-25
趣味：スキー、茶道、陶芸



私とロータリー雑感

一昨年の7月に入会させて頂きました加藤晃久と申します。早いものでもうすぐ入会して2年となります。諸先輩方の立ち居振る舞い、考え方などからたくさんの事を学ばせていただき密度の濃い経験をさせて頂いております。この場をお借りして感謝申し上げます。

50周年という素晴らしい節目を経験することが出来、大変嬉しく思います。チャーターメンバー並びに諸先輩方が築いてこられた歴史そのものだと感じております。私は株式会社加藤順漬物店で取締役を務めております。もうじき80年を迎える会社です。私の祖父が興し、父が後を継ぎ、おかげさまで皆様からご愛顧頂いている会社もまた一つの歴史を京都に静かに刻み続けております。もしもこのまま私の代でも事業継続ができたならば、100年という節目を迎えることも可能です。先日とある会社の100周年記念パーティーにお招き頂き、周年という歴史はそこに携わり関わるたくさんの人が築き、続いていって欲しいという多くの方の願いや様々な想いも重ねられているのだと感じました。

京都東山ロータリークラブが今後も愛されるクラブとして長きに渡り歴史を重ねていく事を、私も微力ながら一員として願っております。この度は誠にありがとうございます。



加 藤 晃 久

入会：2016(平28) 7.5
誕生：1985(昭60) 5-27
結婚：2017(平29) 2.7
趣味：読書、サウナ



私とロータリー雑感

いつも皆様に大変お世話になっている川勝裕之でございます。

私が東山ロータリークラブに入会させていただいたのは、10年前の中村翠嵐会長の年度で40周年でした。

山科ロータリークラブから東山ロータリークラブに変更があった年でもあります。

その時私は27歳で会社も創業してたった2年あまりで、入会させていただき、不安と希望と楽しみと色々な気持ちで、例会の度ドキドキしていた事が今でも忘れられません。そしてあっという間に10年が経ち、気がつけば50周年・・・

正直、もう入会して10年が経った・・・というよりも、よくここまで会社もやってこられてこの場所（ロータリークラブ）にいられたなあ・・・というのが本音です。

私は人生の一番大事な時期を東山ロータリークラブと共に過ごし、そして成長させていただきました。先輩方にもすごく可愛がっていただき、ほんとに僕は幸せもんだな！と思っております。

ただ、50周年を迎えて一つだけ悲しいことは会員数が10年前に比べると約30名減ったことです。

増強し、本来あるべき姿である東山ロータリークラブにしたいのです。50周年の節目の年でもあります、スタートの年でもあると思っております。

これから先、私に何が出来るかわかりませんし、偉そうな事は何一つ言えませんが、東山ロータリーを未来に残すため頑張っていきたいと思っております。

こんな私ですが今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

川 勝 裕 之

入会：2007(平19) 7-17
誕生：1980(昭55) 6-28
結婚：2007(平19) 5-30
趣味：ゴルフ



私とロータリー雑感

京都東山ロータリークラブ創立50周年。まずもっておめでとうございます。

そしてこの記念すべき式典に立ち会えたこと、ほんとうにうれしく感謝しております。2年後には日本のロータリーも100周年を迎えます。

2017年～18年度RIテーマ「ロータリー、変化をもたらす」が掲げられ、幾多の時代の流れと共に人の考えも変わり、クラブ運営に大幅な柔軟性の導入といった事で独自性が尊重されることになりました。

振り返りますと、我クラブもCLP（クリップ）の導入により、従前の広報委員会がクラブ広報（理事）に格上げされ、クラブの存在や意義を地域社会に広く知らしめる公共活動を行う「イメージと認知度の向上」が叫ばれる中、活動もアイサーブ（職業奉仕）からウイサーブ（社会奉仕）へと移りつつあるのではと感じます。

社会奉仕や地域貢献といった自分の善行を他人に知られないように行うのが「陰徳の思想」であり、反対に人に褒められたり見返りを期待して行うのは「陽徳の思想」であり、それは恥ずべきこととも言われております。

然し、ロータリーは立派な活動をしているにも拘わらず、広報が下手といわれております。ある外国の評論家は、「自分の主人はロータリーの米山奨学生として4年間世話になって東大へ行くことができた。過去は1年間に1000人もの奨学生が世話になっていた時代があった。奉仕の精神の立場からもっと宣伝することが社会に貢献しない人に影響を与える」と申しておりました。

私もこうした時代の変革時期には、自己改革しなければの思いの今日であります。京都東山ロータリークラブは現状に満足することなく、本年度会長テーマであります「未来に繋がる東山」の下、60周年、100周年と維持、飛躍しなければとの期待をし、私の雑感とさせていただきます。

川 中 丈 嗣

入会：1986(昭61) 9-2
誕生：1945(昭20) 5-11
結婚：1973(昭48) 2-3
趣味：スポーツ一般



在籍34年・今思うこと

（ステータスを求めて）

ロータリーのエンブレムに憧れを抱き入会、例会出席が誇らしく感じる日々。上下関係やへりくだりが少なく、親しみと共に親睦が深まっていくのを実感する。

（道場への期待）

例会を通じてルール of 習得や実践、対外事業への参画により自己を成長させ、更には他クラブへのメーキャップで新たな世界への広がりを身をもって体験、自己改革や人間形成に繋がっていく。

（マンネリと惰性）

出張との兼ね合いで苦慮、少しずつクラブとの解離が始まる。クラブへの情熱が薄れ、ロータリーへの期待感や自身の盛り上がり欠ける。挫折さえ感じるが多くなり、在籍する意味がなくなってくる。

（初心に戻る）

ある事が切っ掛けで一念発起、例会皆出席を心に誓う。気持ちが前に向くことで、今までと違ったロータリー観が生じてくる。

（最後の踏ん張り）

自己改革やスキルアップの基となったロータリーにお礼と感謝の気持ちをもって職務に取り組む。無論やるからには手抜きをせず真面目で正直に。

（今の心境）

育ててもらったロータリーに感謝の気持ちを表わし例会に出席。公式な場ではネクタイを必ずしめ、会場入口で一礼をして入室。感謝、感謝の毎日です。後輩に伝えたいこととして

- ・ 時間の励行
- ・ 出欠の返事を速やかに出す
- ・ 頼まれたらNOを言わない

ロータリーバンザイ！

木 村 安 輝

入会：1983(昭58) 8-2
誕生：1942(昭17) 1-11
結婚：1974(昭49) 2-2
趣味：車



ロータリー雑感

2008年4月に入会させて頂きまして、早や10年が経過致しました。言い訳にはなりますが、仕事の都合上、例会すら出席がおぼつかない状況が続いております。

ただ、ロータリーの根源でもありますように「職業奉仕」には日々邁進しております。

一方で、自己の存在意義や価値を自分に問いかける事も年齢がかさむにつれ最近は特に増えてまいりました。奉仕という言葉からも「人の役に立つ」ことを念頭に精進する事が自己を納得させるに最も必要な要素と感じています。即ち、仕事を通じて「人の役に立ち、人の記憶に残してもらう」ことが自己の存在意義や価値と捉えて、今後も「職業奉仕」に全身全霊努めて参りたいと思います。

岸 弘 祐

入会：2008(平20) 14-1
誕生：1969(昭44) 11-10
結婚：1997(平 9) 9-14
趣味：旅行、食べ歩き



私とロータリー雑感

私は、勧誘では無く、自ら望んで当時の京都山科ロータリークラブに入会させていただきました。

1989年(平成元年)アメリカ オクラホマ州タルサ 医学部薬学科大学院時代に遡ります。

当時、大学院からの奨学金と、さらに、オクラホマ州タルサのロータリークラブから、特別奨学生として、高額の奨学金を頂いたのです。働かずして、この様なお金を頂くことは。私の人生で2度とは無いだろうと思いました。

その時、頂いた奨学金の意味を随分と思案しつつも、お陰様で、金銭的な苦勞なく、研究に打ち込むことが出来ました。

そして、私は、ご恩返しすることなく、日本に帰国することになったのです。

帰国後、大学院での研究を基盤とし、外科医として忙殺される日々を送る中、「そろそろロータリークラブに入会したらどうだ？年齢的に、今更、青年会議所でもないだろう」と。

月日が経つのは早いもので、その時、既に、帰国後、6年が経ち、と同時に、奨学金をいただいて研究に没頭した日々が走馬灯の如く蘇ってきました。

今こそ、ご恩返しの時！

私のような者が、ロータリークラブに入会できるのだろうかと疑問に思いつつも、入会させていただけるならば、勤務先の病院がある“山科ロータリークラブ”しかないとも心に決めていました。早速。仕事関係で既に存じ上げていた松井先輩に相談させて頂きました。

そして、小沢 利夫先生と小山 信一先生を、ご紹介いただき、お二人にスポンサーをお願いし、晴れてロータリアンとなったのです。

かつて、弱冠30歳の私は、ロータリアンたちの浄財で、貴重で有意義な大学院生活を経験させていただき、そして、今の私があります。入会して、20年となりますが、まだまだ、ご恩返し出来ていません。当時の感激、そして感謝を忘れることなく、“ペイフォワード”！

今後も、ご恩返しに邁進して参ります。

小 森 直 之

入会：1997(平 9) 12-9
誕生：1960(昭35) 7-6
結婚：1988(昭63) 5-7
趣味：ダイビング、旅行





50年誌

今、私は80才でロータリーは34年。

元は眼科診療所を経営していたが数年前にやめてしまい、入会資格に問題があるかもしれないと、少し心配しています。

今シーズンはスキーに9日行き、7日滑りましたが東山RCのスキー同好会は1回も催行されませんでした。スキー指導員の井上(勝)さん、横尾さんが退会されたのが大きく、非常に残念です。来シーズンは是非、活動再開して下さい。

ソバ同好会?を楽しませてもらっています。中村翠嵐さんにソバ一切を調べてもらって、松下さん、中村吉晴さんに世話係を引き受けてもらって、年に3回おいしいものをおなかいっぱいいただいています。

将棋の対局を見るのが好きな私にとっては2018年度はとてもおもしろい1年でした。藤井聡太という少年が14才3ヶ月で四段になり、加藤一二三 九段の14才7ヶ月を抜いて、歴代最年少棋士となり、デビュー以来負けなしの29連勝し歴代一位となり、全棋士中(162名)連勝、勝率、勝数、対局数の四部門制覇となりました。又、羽生善治が永世七冠となり国民栄誉賞を受賞しました。

社会と関わることの少なくなった私にとって、会員であるRCが社会により事をして下さることを喜びたいと思っています。

小 山 信 一

入会：1983(昭58) 5-17
誕生：1937(昭12) 9-18
結婚：1965(昭40) 4-26
趣味：碁、将棋



創立50周年 おめでとうございます

私がロータリーに入会させていただいたのが1990年平成2年山科ロータリー22周年で私自身42才の時でありました。山科RCで育てて頂き、多くの事を学ばさせて頂き、39周年には幹事をそして45周年には会長という大役を若輩者の私に仰せつかわり、今年50周年であります。

今、私は古希を迎えて自分が自分の年齢に驚き本当に年が入ったものだなと改めて深々としみじみと感じる次第であります。

RCに入会して若手、若手と言われ自分もいつまでも若い感覚で変わらない自分が居ましたが世間のスピードは早いもので、知らない間に平均年齢を大きくオーバーして大変な間違いをしている次第であります。

何ひとつ成長していない自分がここにいます。しかしながら、有難い事はRCに入会していつまでも年をとらない感覚、そして若いメンバーとの交流が出来るという事、元気でいられるという、そんな気持ちにさせてくれるのがRCであり、それでいて長老の人々からの多方面にわたる示唆が心の栄養となっています。

私もこれからは下山の心の準備から実行する時に入ります。過ぎ去った事やって来た事ゆっくり余裕をもって振り返る時かも知れません。より内面を充実させて成熟した行動を心がけ、創立50年の歴史を振り返り先人の偉業と伝統を引継ぎこれからの未来への橋渡しを少しでもしていきたいものです。

ありがとうございました。

松 井 信 五

入会：1990(平 2) 5-8
誕生：1948(昭23) 3-27
結婚：1974(昭49) 3-12
趣味：マリンスポーツ、音楽鑑賞



私とロータリー雑感

ロータリーの活動を振り返えると、様々な奉仕事業がまず思い出されます。2012年5月に入会し、「宝ヶ池公園ファミリーマラソン（2012/12）」、「作陶と茶会（2014/2～4）」、「魚つかみと昔遊びのわくわく体験（2016/4）」や、山中教授の講演会（2017/8）、などに参加させていただきましたが、いずれも、規模の大きさと内容の充実に、ロータリークラブ、就中、我が京都東山ロータリークラブの実力を再認識し、また、事業が終われば達成感、充実感を味わっています。

ある先輩が「事業がクラブの足腰を強くする」とおっしゃっていました。少し意味が違いますが、事業を通じてクラブは結束を高めているように思います。

ロータリーと同様の団体は他にもありますが、クラブ員同士がここまで仲良くなれるのはロータリーだけではないでしょうか。週一回という高頻度の例会に加え、一つの事業をみんなで成し遂げたという達成感を共有できるからだと思います。

もちろん、奉仕事業の本来の目的は違うところにありますし、ロータリーの核心は職業奉仕ですが、奉仕事業も楽しみに、これからも豊かなロータリーライフを送っていききたいと思います。

松 下 明 史

入会：2012(平24) 5-15
誕生：1964(昭39) 7-25
結婚：1997(平 9) 7-6
趣味：アウトドア



50周年記念誌原稿

入会させていただいた年度が45周年の年でした。なにも分からず周年事業にあたっていたことを記憶しております。入会3年目から、副幹事や副SAAとして理事役員会に出席する機会を与えられ、組織の中身がようやく見えてまいりました。例会での幹事報告などを聞いているだけでは、ほぼ何も自クラブのことは理解できていませんでした。特に、クラブ独自に決められた部分（細則）も多くあり、ロータリークラブをというより、自クラブの内情を理解する為にも入会后早めに理事会に出席できる機会を与えてもらうことが、自クラブを理解する上では重要ではないかと思います。

ほぼ毎週のようにある例会。真面目に出席すれば、家族、職場の仲間、の次くらいに会う頻度が高い仲間がロータリアンです。年齢や入会が近い仲間は、自然と集まり連帯感が湧くのですが、長老の方々や先輩方とは、なかなかお話するのが難しかったです。私の場合は、入会后、ゴルフ同好会とスキー同好会に入れていただいたことで、お話する機会の少なかった先輩方とも交流できる機会が増え、次第に例会でもお話することが出来るようになりました。その後、野球同好会が出来、対外試合などを通じて今度は、他クラブの方々とも交流できる機会が増えました。その経験から、私の後から入会された方々にも積極的に同好会に入るように勧誘しております。このように同好会を通じ、私は私なりのロータリーライフを楽しく続けさせていただいております。何事も楽しくないと続かないと思っておりますので、積極的に自分が楽しめることを探しながら、出来る限り長く続けたいと思っております。

私自身も1968年生まれでクラブと同年であります。人は、寿命に向かって、いろんな部分がどんどん下降線をたどっていきますが、クラブは、先輩方々が築かれてきた50年という歴史の重みを感じつつ、この先永遠に歴史を重ねていけるよう、時代に合わせた新しいカラーを打ち出し、下降することなく続くことを目標に微力ながらも活動が続けていきたいと思っております。

村 岡 正 浩

入会：2012(平24) 10-2
誕生：1968(昭43) 1-19
結婚：1992(平 4) 5-21
趣味：スポーツ全般



私とロータリー雑感

自分は何者なのか、何の為に今を生きるのか、自己の完成へと向かう道は修業やカタチに囚われるのではなく、日常生活の中での過ごし方にあると思います。常に心穏やかに過ごすには達成感を実感する感性を得ることかもしれません。人が好き、人と関わることが嬉しいと思えるだけでも素晴らしいことです。ロータリアンにはそんな人が多いように感じます。

人生は縦糸と横糸の接点にあるものだと考えます。私の目指す創作活動においても、縦糸で繋がる伝統を習得する所から始まり、現代の感性を盛り込み、感動をカタチに変え次世代に繋ぐことを願っています。その為にも同時代を共有する人との関わりも大事かと思う。

ロータリーに入会して良かったことは、自クラブのみならず、職業の異なる多くの良識ある人々との交流により、人の行動から学ぶ中で私なりの多くの発見があることです。大層な事をしなくても温かい気持ちに接するちょっとした心遣いの中にも感動があります。理論や理屈ではなく感動こそ人の心に豊かな情感を与え、生きる喜びを感じる素晴らしいものだと思います。

私は職業柄 自作の作品を身につける事もありますが、笑顔こそ最高のアクセサリーだと思います。会員同士がいつも笑顔で楽しく接する上で自然に湧き出る信頼感の中で心豊かな交流が生まれ、より強固な人生の横の糸を伸ばし、自己の発見、自己の完成へと結びつけて行ければと感じる今日この頃でございます。

村 田 好 兼

入会：2009(平21) 3-24
誕生：1956(昭31) 8-30
結婚：1981(昭56) 5-17
趣味：渓流釣り



私とロータリー雑感

2016年9月に入会させていただき、早くも1年7ヶ月が過ぎようとしております。

入会前には数回のオリエンテーションから始まり、当時の渡辺会長よりロータリーバッチの授与をしていただいたのが昨日のように思い出されます。

最初のオリエンテーションの中で「現在、約70名の会員がいる。皆さんの業種もそれぞれであり今後は70冊の専門書を手に入れたと思いなさい」とお言葉を頂戴したのが強く印象に残りました。

私の今の仕事は、国内外よりより多くのお客様に京都にお越しいただくことが、役割の1つであります。

世界を旅することの価値が、世界の平和に貢献できると私は信じております。そして旅行者に貴重な体験をもたらし、その体験を創造する重要な役割があると考えており、それが我々にできる職業奉仕の一つだと考えております。

今後も京都東山ロータリークラブに入会させていただいたことに感謝し精進してまいります。

内 藤 葉 子

入会：2016(平28) 9-6
誕生：1966(昭41) 7-16
趣味：旅行、食べ歩き



私とロータリー雑感

皆様、こんにちは、ロータリー歴は、6年になりました中川公孝(49歳)です。

自己紹介をさせていただきます。

生まれは、京都市西京区の桂で1970年4月に生まれました。

小学校は、地元の桂の「川岡小学校」、中学校も地元の、「桂川中学校」、高校も地元の「京都成章高校」、大学も京都の、「龍谷大学」を卒業しました。本当に私は、京都に「ご縁」がありました。

大学を卒業してからは、「浄土真宗西本願寺派 僧侶」を経て一般企業に就職しバブル時代を経験させていただきました。

その後、サラリーマン時代に会った妻(千佳ちゃん)と出会い交際約6年を経て目出度く2004年4月に結婚し現在結婚14年目に突入しました！2人の男の子にも恵まれ順調な生活でした。

転機が訪れたのは、結婚して5年目の2009年9月(平成21年9月)に義理の父が立ち上げた会社(現在の株式会社京コーポレーション)になります。

義理の父から、設立直ぐに私にあと余命半年と宣告されているから新しい会社を頼むと告げ約1年半後に亡くなりました。亡くなる前に、『私は、裸一貫で地方から出てきて色々苦勞しながら25年間、会社をやってきた。君は、私に無いものを持っている』と言い残して亡くなりました。義理の父は、仕事に対する情熱やガッツがあり、それを受け継ぎつつ、私の父に相談しアドバイスを受けながら自分の信念である、お客様第一主義を全面に出し今現在に至っています。

京都東山ロータリークラブに会ったのは、設立後3年目(2011年9月)にサラリーマン時代に会った友人である川勝さんと会う機会があり、会社を辞めて代表をしていることを話したところ、すぐに小森さんと川勝さんと一緒に食事に誘われてロータリーについて熱心にお話をいただき、ロータリーの奉仕の精神と仏教の精神が重なっているように思い、また、これも何かの「ご縁」だと感じて入会の意思がかたまり2011年12月に川中年度に入会させて頂きました。

ロータリー入会後は、数々の委員や委員長等をさせていただきましたが、私自身、満点と言えるような活躍もなく諸先輩方にご迷惑をお掛けしていますが、ロータリアンの友情に免じてお許しください。

これからも経験豊かな京都東山ロータリークラブの諸先輩方に囲まれ、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

私にとって、『京都東山ロータリークラブ』の創立50周年を迎えられた事を誇りに思い、これからのロータリー生活を楽しんでいきたいと思います。

合 掌

中 川 公 孝

入会：2011(平23) 12-22

誕生：1970(昭45) 4-23

結婚：2004(平16) 4-11

趣味：スキー、テニス、ドライブ



思い出すこと

私が当時の山科RCに入会させて頂いたのは1985年10月1日ですので、この50周年で32年6カ月が経過したことになります。

入会時は浅田喜八郎会長、磯田好計幹事、そして増田房二ガバナーの年度です。10月末の新入会員歓迎会に現職のガバナーに出席戴き周りの方々から「これは凄いことだよ」と口々に言われましたが、入会直後の私にとって、抑々ガバナーが如何なる立場の人なのか全く理解できず唯ニコニコしていたのを覚えています。今思えば冷や汗ものですが、激務の中お顔出し戴いたのもガバナーがご自身の出身クラブを大切に、愛されていたのだと教えられ深く感謝致しております。

私は入会后、仕事柄、20年程は余り会のお手伝いもすることなく、職業奉仕に専念してまいりました。この様な私にクラブでの友人が多く出来たのは、当時、40歳代を中心とした“勝手会”という一種の同好会の様な集まりがあり、その会に呼ばれたのが切っ掛けでした。年に数回集まって食事をし、酒を酌み交わし、会の名の通り基本無礼講で、何を聞いても、何を喋っても良いというものでした。そういった中で自然とロータリーは何ぞやとの知識や考え方が養い培われ、気の合った友も出来ました。

今のロータリーはあの頃とは随分様変わりしましたが、それが良かったのか、間違っていたのかを、40歳代の会員を中心に、話し合い考えて行って頂きたいし、またそれが出来る東山RCだと思います。

そして次の50年に進んで行きましょう。

中 村 弘 吉

入会：1985(昭60) 10-1

誕生：1946(昭21) 9-6

結婚：1976(昭51) 10-21

趣味：ゴルフ、車



私とロータリー

振り返れば早いもので、ロータリークラブに入会させて頂いて34年目を迎えています。

入会当時のクラブ名は京都山科ロータリークラブでした。推薦者は、今は亡き榎本、諏訪の両氏で商と工の違いはありましたが両氏共に陶磁器業界の大先輩でした。私41才9ヶ月の秋でした。

誘いを受けたときの第一声は、お前もそろそろロータリークラブに入ったらどうやとの話でした。え～私が・・・、そんな資格ありませんと答えると、いや前から何時声掛けしようかと思い、お前を見ていたとのこと。そろそろ入ったらどうだと勧められました。その時、推薦する前に聞けども親しい身内に金貸している人はおらんやろな。クラブではこれは厳しいのや、それと入会する迄は女性関係には気を付けて問題を起こさぬよう気を付けてくれ、との二点がインフォメーションでした。私の感じていたロータリークラブのイメージとは少し違和感はありましたが、入ったらお前にとっての人生に絶対に役に立つと思うとの勧めに従うことにいたしました。

しかし、自分の考えではやっていけるのかとの不安の方が大きかったのを覚えています。

結果として、入会させて頂いて本当に良かったと思っています。

人生には『もし』と言う言葉は無いかもしれませんが、下を向いて仕事をする自分にとって、人生について色々の勉強の場を与え、提供してくれましたのは、正しくロータリークラブです。入会無くば、人との接触の場は狭く閉鎖的な職場環境のもとで独りよがり的な人間になっていたように思います。色々な役職を無理に（NO）は無いと教えられ、能力の限り務めて参りましたのは事実です。少しは成長したのでしょうか？ロータリーよ、有難うございました。

ただ一言付け加えるならば、R・Iの方針に対して、将来に対してこのままで良いのか老婆心ながら少し心配しています。

中 村 翠 嵐

入会：1984(昭59) 10-2
誕生：1942(昭17) 12-30
結婚：1966(昭41) 5-8
趣味：読書、そば打ち



私とロータリー

私は、京都東山ロータリークラブ創立45周年の年に45歳で入会させて頂きましたので、クラブ創立50周年を迎えた今年、入会5年が過ぎ、クラブと同じ50歳を迎えます。

楽しい時間はあっという間に過ぎると言いますが、瞬く間の5年であったように思います。素晴らしいクラブに入会させて頂いたこと、尊敬する先輩や素敵な同期、仲間にも恵まれたこと、例会出席などを支えてくれる家族・従業員がいてくれること、すべてに感謝しなければなりません。

クラブが毎年行っている京都マラソン給水ボランティアを通じて、私自身がフルマラソンを走るという機会に恵まれ、今では走ることが趣味の一つとなりました。昨年、一昨年と2年続けて京都マラソンを走らせて頂きましたが、ゴールでクラブの先輩、仲間たちが待っていてくれることが走る力になりました。

マラソンに例えれば、クラブ入会5年というのは42.195キロのうちたったの5キロ走ったに過ぎないと思います。35キロを過ぎてからが本当のマラソンと言えます。ロータリーについて学ぶことはまだまだ多く、ロータリーも35年を過ぎてからが本当のロータリーだとすると、ロータリー35年地点に到達するまであと30年かかる計算ですが、マラソンと同じように一步一步の積み重ねで、ゴールを目指せばと願っています。



中 村 吉 晴

入会：2012(平24) 10-2
誕生：1968(昭43) 5-21
結婚：1995(平 7) 10-10
趣味：マラソン、囲碁



私が京都で旅館を営む事

京都には近年、国内外から多くのお客様が入洛されておられます。特にインバウンドと呼ばれる訪日外国人旅行関係については、飛躍的に京都の地元の方にも認知されるぐらいスタンダードになりました。

私が営んでいる旅館「南禅寺 八千代」は1964年に開催された東京オリンピックの時よりインバウンドに積極的に携わって参りました。

当時、京都の老舗はあまり訪日外国人を受け入れる事はなく、最上のお客様の接待を大切にしておられました。八千代は南禅寺という別荘地に在ることもあり、長期滞在を中心とした海外のお客様を外務省など国の機関から紹介して頂いておりました。そして時代が大きく変わり、私が経営に参加した2000年には旅行需要の変化、外食産業の発展とともに旅館・料亭の利用頻度は下がり非常に厳しい時代となりました。弊館も漏れなく非常に経営が厳しく、日本・京都ならではの宿文化をお客様にお伝えする機会を有する事が非常に厳しく、日々耐えるばかりの時代でした。

そんな最中、世の中にインターネットが普及した事が八千代にとって大きなターニングポイントとなりました。ある日、暇を持て余していた私に父がインターネットプロバイダと契約したからホームページでも作ったらどうか持ちかけてきました。当時はYahooというポータルサイトページしかない時代で一企業がホームページを持つ意味もよくわからない時代でした。当時の旅館業は旅行会社からの電話を待つのが当たり前で受け身の業界でした。私は暇を持て余しておりましたので、独学で八千代のホームページを作成しました。ここで初めて知ったのがメールアドレスでした。『Yachiyo@biwa.ne.jp』これが始まりでした。

とある日、一通のメールが届きました。英語のタイトルでホームページを見て八千代に宿泊したいとの旨、記載されていました。また、外国人用のホームページはないのかともありました。私は当時インターネットが世界と繋がっている認識などありませんでした。ホームページは日本人客の誘致のために作成しておりました。日本人からのメールや問い合わせは一切なく、初めに届いたのが外国人からのメールだったので非常に驚いたのを今でも覚えております。

私は英語が非常に苦手でホームページを作成するよりも英語文章を作成することに苦勞しましたがアメリカやフランスのホテルのホームページと辞書を片手にわずか1週間で作成しました。それからは、お客様から多くのメールを頂き、ご予約と共にお客様のご指摘で日々ホームページは進化していきました。例えば、「日本は島国なのでインターネットの回線スピードが非常に速く、写真やホームページの表示がスムーズですが、アメリカでは大陸間を全て電話有線で繋がっているで写真一枚を表示するのに数分かかります。ですので、旅館の画像よりも説明文をたくさん掲載してほしい。」当時これに対応した事により、日本の旅館のホームページでは唯一、八千代のホームページだけが世界中のお客様のストレスなく閲覧して頂いておりました。

それから今日に至るまで多くのお客様に指導して頂き、今の私と八千代はございます。当時若輩であった私は、人との繋がりや職業を通して社会に奉仕する事など考える余裕もありませんでした。きっかけは一つのメールでしたが、インターネットを通じてお会いした事のない世界中の方と繋がり、今はロータリアンとして世界の一員であることに誇りを持ち、日々精進して参る所存でございます。

中西敏之

入会：2013(平25) 2-5
誕生：1977(昭52) 7-31
結婚：2011(平23) 6-26
趣味：ウィンタースポーツ



私とロータリー雑感

我京都東山ロータリークラブが創立50周年を迎える今年、私は入会12年目を迎える。

50年のクラブの歴史のうち12年の時間を共有させてもらった。入会当時のクラブ名称は『京都山科ロータリークラブ』だった。このことだけでもなんとなく歴史を感じる。

当時の会長は小山さんで会員数は83名、会員の平均年齢は確か68歳だった。まわりは立派な大人の先輩方ばかりで自分にとってクラブは場違いだと感じていた。それだけ独特のロータリーの雰囲気が残っていたように思う。

当時は例会の100%出席は勿論、入会3年未満はとにかく何にでも参加することが当たり前と言われ必死に着いて行こうと頑張っていた記憶がある。もともと何にも拘束されず強制されない自由が欲しくてサラリーマンを辞め経営者になった自分がよく今まで辞めずに来れたものだと思ってしまう。そんな当初はロータリーの価値を見出せないままの時間を過ごしたが、新しい会員も増えクラブの雰囲気も変わり、心に多少の余裕も出来たことでやっと仕事や利害関係のない友人や先輩と語り過ごせる時間が楽しいと感じられるようになって来た。ロータリー歴12年にして未だ発展途上のロータリアン、ロータリークラブの本質を真に理解し、王道を進んでいるとはとてもいえない状況であるが、極めていきたい二つの本質『職業奉仕と親睦』を中心にロータリーライフを楽しみつつ自分磨きをしていきたいと思う。

中塚浩

入会：2006(平18) 7-18
誕生：1961(昭36) 3-28
結婚：1986(昭61) 3-9
趣味：ゴルフ



私とロータリー雑感

創立50周年という記念すべき節目の年に立ち会えた事を心から慶びたいと思います。

平成9年、創立30周年の年に45歳で入会させて頂いて早や20年在籍させて頂いています。在籍年数と年齢だけは、いっていますが優秀なロータリアンであるかと言われるれば否と自問自答せざるを得ない自分が、これほど長きに渡っていられるのは会員諸兄のご指導とご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。振り返ってみると公私共に節目の年であります。

私の会社も、今年4月1日で父親により創業されて55周年を迎えました。創業して15年目の年、大学を卒業して4年の26歳のまだ修行中の時に父が49歳で他界しました。入院して3日という急逝により何も分からず、社長職を引き継いで無我夢中で40年経ちました。その過ごしてきた半分以上、ロータリーと共に有るというのは誠に感に堪えないものがあります。

考えてみると、クラブも入会時と今では大きく変化した事がいくつかありました。

事務局が京都ホテルアネックスから都ホテルに移った。会員数が最大111名から70名弱に減少した。職業分類の一業種一人が廃止された。100%出席義務が守られなくなってきた。四大奉仕に青少年奉仕が加わり五大奉仕となった。山科ロータリークラブから東山ロータリークラブに名称変更された。インターアクトクラブが創設された。eクラブが創設された。

時代の流れで価値観や考え方がちがうのはいたし方のないことであるが、東山ロータリーアクトクラブが今年創立35周年を迎えながら休会のやむなきに至ったのは誠に残念な事であります。一日も早い再開を祈ります。

名 筋 淳 二

入会：1997(平 9) 9-30
誕生：1952(昭27) 3-13
結婚：2012(平24) 6-26
趣味：映画鑑賞、読書



出会いと別れの25年間

両親との別れ。幹事の年、例会日に父が、その9年後に母が亡くなりました。

国内外の多くの方の出会い。

誕生日のハプニング。出会いの後に、突然私の誕生日会が始まり、お祝いとして奈良ゾーンアクターの全員の寄せ書きをいただきました。

初例会にいただいた大先輩からの祝電。お亡くなりになる数日前、病院からでした。

わがままでお酒好きの会長でした。無事に任期を終えられたのは植野幹事さんのおかげです。有難うございました。

優しかった小田会長、木村副会長、川上会長エレクト。感謝。

西 村 孝 之

入会：1981(昭56) 4-21
誕生：1947(昭22) 2-1
結婚：1974(昭49) 3-24
趣味：アマチュア無線



私とロータリー

私のロータリーでの一番の思い出は、2015-16年度の岩橋年度で幹事を務めさせて頂いたことです。岩橋会長の一番身近にいたことで、岩橋さんのロータリーに対する思いの深さを実感しました。当年度の活動を振り返りますと、地域貢献・青少年奉仕を体現した『魚のつかみどりと昔遊びのわくわく体験』（4月10日、百々小学校）、姉妹クラブ「金沢南RC」との交流実現（4月12日：アサヒビール吹田工場見学、八千代での懇親会、4月13日：比良ゴルフ倶楽部、大徳寺鑑賞）、「米山奨学生」との交流、等々。文字通り目の回るような1年間でした。

岩橋会長は「親子クラブ・兄弟クラブとの関係を大切にしたいといけない」とおっしゃられ、京都東RC、京都洛北RC、京都洛東RC、京都北東RCと京都東山RCの5クラブで、会長・幹事の懇親会を開催したいと切望され、ホスト役を買って出られました。当初2016年1月に開催予定でしたが、岩橋会長ご本人の体調不良のために“延期”となりました。それでも岩橋さんは諦めず、年度最後の市内24RCの会長・幹事会の際、改めて会長・幹事の懇親会を呼びかけを行い、2016年10月1日「八千代」で、5クラブの前年度・現年度の会長・幹事の懇親会が実現されました。その宴席での5クラブ岩橋さんの本当に嬉しそうな顔は、今でも心に焼き付いています。



岡 武 和 暁

入会：2010(平22) 10-19
誕生：1967(昭42) 5-12
結婚：1996(平 8) 4-20
趣味：読書、スキー、将棋、
バスケットボール



私とロータリー雑感

東京に引っ越して、5年半になります。当初朝夕の通勤ラッシュに驚いて出来る限り電車は朝10時以前夕方5時以降は電車に乗らないようにしています。

今、世田谷区千歳台の青山学院理工学部跡地に建った10棟1036室のマンションに住んでいます。赤煉瓦の外壁や緑の多さは大学当時の面影を残しています。

こちらでは何ヶ所かのロータリークラブでメーキャップしました。

帝国ホテルの東京ロータリークラブの例会に参加した時はメンバーの多さに驚きました。受付をすると席札を渡されて座る席を決めていました。例会が始まる迄はウェーティングバーみたいなのがありお酒も飲みました。私は飲みませんでしたがいや飲みませんでした。

あまりゲストが多くてゲスト紹介は最初無くて、テーブルごとに自己紹介するシステムでした。メンバーの平均年齢は70台半ばだそうです。当時会長は美津野の水野さんで、例会中に森ビルの会長の死を悼んで黙祷しました。財界の大物が多かったです。

ウェスティンホテルの恵比寿ロータリークラブは半分近くが女性メンバーで松島トモ子さんが受け付けをしてくれました。彼女は例会が始まるとソングリーダーとして前で歌っていましたが、とてもお上手でした。司葉子さんもメンバーで、当日いらっしゃらなかったのですが後日もう一度行きましたが、欠席でした。しかしそのあと偶然に六本木の料理屋で相田祥子さんと孫さんとお食事されているのを見かけました。相田さんはとても綺麗でした。青山ロータリークラブは30人くらいの出席者でしたが京都ロータリークラブから転勤の為移籍された方がいらして、是非スピーチしてくれと引っ張り出されました。もう一度行った時もスピーチをお願いされました。成城ロータリークラブの例会に参加した時は20人くらいの出席者でしたが、名刺交換した方の半分以上がマンション賃貸や駐車場経営など元農家の地主さんでした。話をされているのをそれとなく聞いていると3ヵ月かけて海外旅行してきたとか優雅な生活を送っているようでした。ここでもスピーチをお願いされました。東京ロータリー以外は帰りに入会案内を渡されました。東京でも会員は減少しているんだと感じました。

大 木 義 秀

入会：2010(平22) 12-14
誕生：1953(昭28) 7-28
結婚：1977(昭52) 11-6
趣味：ゴルフ、テニス



奥田 歓 信

我が国には、古来より春夏秋冬という四季だけでなく、二十四の気である二十四節季という季節があります。例えば、立春から冬至など二十四の季節を表現しますが、もっと細やかな季節を感じていたようです。それは七十二候という季節の変化です。旧暦で生活していた時は季節のうつろいを細やかに感じとって生活をしていました。初ものをいただき、季節の風物詩を楽しみ、祭りをして色々な願いを込めてきました。自然の流れと共に暮らしていた先人たちは心身共に豊かに暮らしていたのです。

七十二候は「東風凍を解く」に始まります。季節それぞれの出来事をそのまま名前にしております。このように花や鳥や草木や自然現象にまなざしを向ける七十二候という暦は、生きとし生けるものの息吹に満ちた暦であり、田植えや稲刈りの時期など農作業の目安になる農事暦でもありました。

そして、桃の節句や端午の節句などの五節句や、節分、彼岸、八十八夜、入梅、土用などの雑節と呼ばれる季節の節目は現代社会に溶け込み、年中行事としてなじみ深いものが少なくありませんが、今が旬の魚や野菜、果物のこと、季節の花や鳥のこと、その時季ならではの暮らしの楽しみや行事のことなどを今一度思いを致さねばと感じております。

便利に快適な生活を求めつつも、自然と共に生活を楽しむ豊かさを持ちたいものですね。

入会：2013(平25) 5-21
誕生：1945(昭20) 10-27
結婚：1971(昭46) 3-6
趣味：空手(剛柔流)



小野 富造

入会：1979(昭54) 4-3
誕生：1940(昭15) 1-26
結婚：1965(昭40) 1-20
趣味：柔道、水泳

40年のロータリー生活で学び教わったこと ”そしてロータリーの古今”

私がクラブの一員になったのは、クラブ創立11年目の春でした。当時私にとってのロータリーは、雲の上の存在で、別世界のことでしたし、心の片隅にも関心すら無かった者が…。僕にとっては「誘拐入会」のときで出来事、クラブとしても大変イグライマーな出来事だったのではと…。その経緯については又の機会にとして。僕にとっての別世界のロータリーとは「世間に数多ある奉仕を掲げる集まりの中で、【自分の職業を通して奉仕すること】を目的とした集まりは唯一ロータリーだけ」と聞かされ、「そのためには、奉仕の心を育み、身に付けるための【人生の道場】がロータリークラブクラブである」と。「貴方は厳しい条件をクリアし、入会されましたが、クラブのテレトリでの業界の代表者であることをしっかりと自覚し、良いロータリアンになるために己を磨きなさい」と諭されたことを記憶しています。

●入会から3年間は、クラブ例会に皆出席すること。●ロータリーでは依頼されればノーはない。●品性や品格を身につけること。等等多くの厳しく煩ひたい教えを受け、僕のロータリー生活が始まりました。1年、3年、5年と時が過ぎる中で、いろいろの役が回ってくる度に、ロータリーのルーツを紐解いたり、経緯や変化をロータリーやロータリアンが刊行されている数々の冊子（先輩の田中久雄氏から頂いたり）に目を通し、少しずつ「ロータリーとは」を知って来たのです。特に入会4年目の年度に副幹事を仰せつかり（稲本先輩と一緒に）毎例会後、事務局に詰めての仕事は週報原稿作りを始め、多くの作業が待ち受けていて、それを必死にこなす1年でした。が、クラブ運営の仕組や、財務内容等の知識を得ることとなりました。時には事務局にこんな電話が入ってきます「○○クラブです。本日貴クラブの○○委員会がメーキングアップに來られましたが、途中で退席されましたのでお伝えしておきます」と早速、幹事さんは○○会員を呼び出し、厳しく注意されるのです。当時はこのような行為はクラブの会員教育の怠慢とも受け止められたのです。今では考えられない程の、厳格さと厳しきで理解に苦しむことでしょうが、それは全て我が為の成長の糧と受け止めれば…。会員のほとんどの方は、社長、先生、等裁量権のあるトップの方ばかりで、日常では、誰からも注意や、諭しを受けることが無く、大方は自分の意見が通る立場だからこそ、己を戒める機会に巡り会える場となるロータリークラブには、人格を育む環境が備わっている場所なのだと思えたのです。

1916年に発刊された『ロータリーの心得』に『ロータリーの理念は会員の事業を倫理基準の高い正しい経営に導くと共に、個人生活も律するものである』とあり、これは我が国においては、ロータリーが誕生する前から二宮尊徳や石田梅岩等々多くの賢人が、事業に対する信条や心得を説かれていて、ロータリー精神の定義にマッチしています。しかし、「言うは易し、行うは難し」で、洪沢栄一の有名な言葉「右手にソロバン、左手に論語」のごとく難しい課題ですが、それをロータリー生活で、己の「欲望の自己制御」を身に付けることだと思っています。

時の経過と共に、世の中の環境が大きく変化し、グローバル化や、資本主義経済の暴走により、人の思考や、価値観にも大きな変化をもたらす中、ロータリーも御多分に漏れず、本来の目的をかなぐり捨て、数多あるボランティアに存続させる方向にチェンジしたのではないのでしょうか。

このような疑念は20年前から「ロータリアンの友」の「声の欄」に多くのロータリアンが危惧し、予見されていたのを目にしてきましたが、それが現実のこととなりました。今後我々が国際ロータリー下で、ロータリアンの一員として席を置くには、「奉仕を目的とすること」に特化して行かなければならないでしょう…。つまり、これはロータリー創業時に先相取りしたのだと受け止めれば良いのかも…。

1905年設立当時、定めた定款は、その目的として、1) 本クラブ会員事実上の利益の向上。2) 通常社交クラブに付随する親睦及びその他特に必要と思われる事項の推進。と綱領に掲げています。その後、クラブ内では会員が自己利益の為に集い「ぎすぎすした空気が漂うた」と書かれています。1908年にアーサー・フレデリック・シェルドンという「経営学者」の入会により、経営学のモットーが唱えられ「自分の儲けを優先するのではなく、職業を通して社会に貢献する」考えに多くの賛同を得て、これが従来のロータリーの基礎となり、世界中に広がって来たのです。急激に進化したテクノロジーの社会にあって、従来のロータリーの精神は、いなくて『浪花節的』なのかもしれません。

私がクラブに入会させてもらい、人生の半分以上のロータリー生活で身に付けた多くのことは語り尽くせませんが、近年のロータリーの思想、信条を理解して行くには、今までの教えや、身に付けてきたことを否定することから取り組まなければ在籍を継続することが出来ないのですが、自分にはその自信の程はあるのかを問いつ、クラブ創立50周年を迎えます。



私とロータリー

私は、平成6年7月に当時の京都山科ロータリークラブに入会しました。思い出として残っているのは、入会式の当日、偶然千玄室大宗匠がクラブにお見えになり、直接ロータリーバッジをつけてくださいました。私の記憶では、その後、大宗匠が当クラブにお見えになった記憶がありませんので、大変な幸運だったと今になって有難く思っています。谷川さんに過分な新入会員紹介をしていただきました。当時クラブ会員は110名を超え大変活気があったと記憶しています。印象に残った先輩としては、諏訪先生、谷口先生、説田先生、中川先生、金澤先生などで多士済々でした。皆さん自信に満ち、自由の気風があって、しかも重厚であるという、とてもいい雰囲気でした。長く竹市さんや村元さんに親しくさせていただき、充実したロータリー生活を体験させていただきました。

その後、平成17年6月に一旦退会し、同20年7月に再入会しています。退会中に竹市さんと飲んだり横尾さんにスキーに誘われたりしたことが再入会の遠因になっています。再入会后1年ほどしてから、幹事候補の岩本さんからSAAをやってくれないかとの依頼がありました。あまり熱心なロータリアンでなかった私をよく信頼していただいたなあと、その度胸に頭が下がる思いでした。このSAAをきっかけに、私はロータリーと初めて真面目に向き合うことになりました。今でも岩本さんには感謝しています。

ロータリーは人の縁で繋がれています。

平成30年7月から会長を仰せつかり、平野さんに幹事をしていただきますが、これから、クラブの若い方々とどのような縁で結ばれていくのか、胸がわくわくしています。

坂 田 均

入会：2008(平20) 7-15
誕生：1953(昭28) 1-22
結婚：1980(昭55) 11-10
趣味：絵画史



私とロータリー雑感

当クラブも50周年を迎えましたが、83年に入会しまして、今年で35年目になりました。これも会員の皆様方の御指導と御厚情の賜物と感謝しております。後何年在籍できるのか分かりませんが、これから先もどうぞよろしくお願いします。

さて、私が入会した年度と今の年度を比較しますと次の様になります。

例会場 京都ロイヤルホテル→都ホテル
会員数 91名→71名
最年長者年齢 88歳9ヶ月→88歳
最年少者年齢 34歳10ヶ月→31歳
平均年齢 54歳2ヶ月→61歳

会員数については、これからも増減が生じるものの、平均年齢はできるだけ若い人の入会をクラブ活性化の為にも促進していきたいものです。

今までの事業を振り返り、思い出の一つは、私が実行委員長をさせて頂いた【生き生きシニアの装いの集い】です。京都女子大学の泉教授の研究室に毎日半年以上通い詰め63歳～94歳の高齢者にシニアのおしゃれと健康のファッション・セラピーの効果を説明し、いかにおしゃれが心身共に元気になるかを知ってもらい、モデルとして出演して頂きました。そして、打ち上げの日に最高齢の94歳の男性が「人生の最後にこんなよい晴れ舞台を造って頂き、最高の死に土産になり、もう何も思い残すことはありません。本当にありがとうございました。」と感謝の言葉を聞いた時、今迄の苦労が吹っ飛び、この事業をやって本当によかったと思いました。

又、その時お手伝い頂いた会員の皆様、良い思い出をありがとうございました。

佐 貫 将 一

入会：1983(平58) 8-2
誕生：1943(昭18) 10-11
結婚：1974(昭49) 4-13
趣味：ゴルフ、麻雀



私とロータリー雑感

京都東山ロータリークラブに平成23年に入会させていただき、早6年余りの歳月が流れました。初めの3年間というものは、ロータリークラブの右も左も分からず右往左往の連続でしたが、諸先輩型方のご支援ご助力でなんとなくロータリークラブの意味が分かり始めてき、そして、皆様からお誘いいただいた同好会活動により他の会員様とより親密にお話や行動をさせていただけるようになりました。

特に、3年前に出来きた「野球同好会」では、火曜日のスーツ姿から一変しユニホーム姿になり皆が一つの白球の行方の一喜一憂、そして、ガバナー杯優勝という目標に向かって一致団結し、個々の小さな力を集結し目標の達成に向かいました。そして、クラブの50周年という節目の年にその目標を達成できたのは同好会員全員の思いが同じだったからだとおもいます。

そんな事を考えながらガバナー杯を戦っていて、ふっ！と気づいたことがあります。

一人一人の小さな力をを集結し目標に向かって団結していく！これが正に「ロータリー」そのものだ。

佐々木 虚 室

入会：2011(平23) 12-22
誕生：1964(昭39) 7-27
結婚：2016(平28) 5-14
趣味：野球観戦、
少年野球指導



私とロータリー雑感

私は東山ロータリークラブに入会させていただいてから6年目を迎えました。

ロータリーに入会した時、娘はちょうど北海道の酪農大学に入学したところでした。小学校から獣医になりたいと思い、夢をもって頑張っている娘を応援し、女手1つで悪戦苦闘の毎日を送っていました。又、私の職場は女社会の中でとても細かい事で揉めたり、とても小さい人間関係で話し合いになったりします。まさに大奥の世界であります。20年間その中で生きてきた私にとって毎週の例会で先輩方のお話や考え方、仕事やロータリーに対しての熱い情熱はとても刺激になり、毎日の活力となっています。

娘も今年無事大学を卒業でき、獣医師になることができ、1人で生きていける道を作れました。これからの私の人生 幸せの条件は何なのかと考えると 心が豊かであるかどうかだと思います。

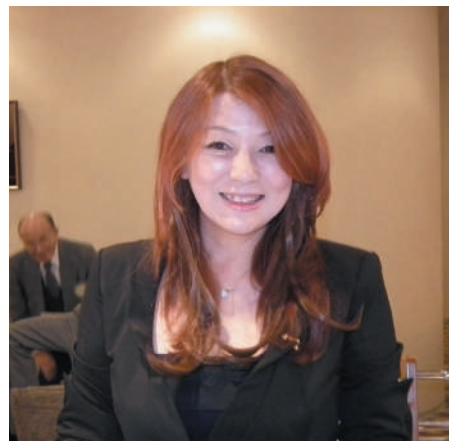
毎日が`充実している、`張りがある、`やりがいがある、自分のためだけでなく、人のためにも小さな心から大きな心へ自分らしく最後まで挑戦し、人生を勝利で飾りたいと思います。

この6年間ロータリーに入会した自分と入会していなかった自分を考えると、思考や視野は確実に広がっていると思います。ロータリーは最高の出会いと人生を学べる学校で心の持ち方ひとつで向上心さえあれば無限に学べる場所です。

この素晴らしい環境をもっと広げていきたい！！ もっともっと知ってほしい！！ と思い、これからも会員増強に力を入れ、毎日を頑張りたいと思います。

澤 田 敦 子

入会：2013(平25) 2-5
誕生：1967(昭42) 7-5
結婚：2016(平28) 5-14
趣味：ブリザードフラワー



女性会員 2 人…… 4 人。

クラブ入会 2010年12月14日 大木義秀と一緒でした。(安心)
その時、すでに女性会員がお二人(20代・30代)いらっしゃいましたので、ちょっと気が楽で、いろいろとお話(女性のおしゃべり)が出来ると、勝手に考えてホッとした事を覚えています。

ところが、しばらくして、大変積極的なしっかりとした女性会員(20代)にお子様が授かり、今までのように会員として週一の例会出席が難しく、大切な子育ての為、泣く泣く退会されました。(残念)

すぐに当クラブ45周年記念行事があって、もう一人の女性会員(太陽)の陽子さんとも、楽しく参加させて頂きました。が、まさかの転勤の為、やむなく退会されました。(寂しい)でもお一人、又お一人と若い女性の会員が増えて、現在四人です。

2018年4月2日、当クラブ50周年記念を機会に、今後女性会員の増加と、女性同士ゆっくりとおしゃべりできる機会があればと思っています。(期待)

いままで「はい。」の一言で、しっかりとした考えもなく、何事もスローペースながら歩んでまいりました私です。今後もきっと増々スローペースで歩むと思います。

ロータリアンの皆様、ご指導の程よろしくお願い致します。

関 根 淳 子

入会：2010(平22) 12-14
誕生：1946(昭21) 4-9
結婚：1972(昭47) 6-4
趣味：観劇、ドライブ



私とロータリー

私がロータリーに入会させていただいてから、早20年が過ぎました。入会時には何の団体なのだろうと、例会場に行くのが楽しみでした。

委員会や同好会にわからないまま入りました。いろいろな同好会がありましたが、ゴルフ同好会はよく覚えております。

ロータリーがわからないままゴルフに行きました。今は体調を崩しゴルフはしておりませんが・・・。

未だによくわかりませんが、100名のロータリアンの考えを全部もらう訳ではなく自分が感銘をもった部分を100人分頭に入れようと、よく思った事です。自分はロータリアンとして、衿を正し、どこへ行ってもバッジの名に恥じぬようにしようと。

さて、その事が20年保っていられているか自信はありませんがロータリアンとして誇りを持っていきたいと思っております。ロータリーの本分をが分かってはいないと思われそうですが、仕事で選ばれた者として働いております。

私の職業では、まだ新しい方はおられませんので代表として頑張ってます。私が動き回れる間は、ロータリアンとして邁進していく所存です。

今後、何年活動していけるかわかりませんが楽しく過ごしたいものです。1つでもロータリーの本分を解釈して前に進もうと思っています。

同好会にもたくさん所属して皆を盛り上げていき、少しでも増強できるように仲間が増えるように、がんばります。

柴 田 義 典

入会：1998(平10) 8-11
誕生：1956(昭31) 11-15
結婚：1982(昭57) 4-4
趣味：魚釣、ゴルフ



「笑い」

「笑い」が私たちの心身に好影響を与えることが医学的に明らかになりつつあります。幸福感をもたらすだけでなく血行促進、免疫力・記憶力向上など良いこと尽くしです。日本人はこのことに大昔から気づいていたようです。狂言は600年以上も前から日本人に笑いを届け続けてきました。庶民の生活をネタにした狂言の笑いはいつの時代でも誰にとっても面白いものだったはずです。

健康寿命という言葉が定着した昨今、狂言を楽しむことにはかなりの付加価値が生まれたと私は内心にんまりしております。

私が当主をつとめる忠三郎家の家訓は「細く長くそば近く」、まさに狂言の笑いのあり方だと思います。あとからふっと思い出し笑いが生まれるような身近な笑いの種でありたいものです。

ロータリーの職業奉仕の理念は人間同士の繋がり。その根源には笑いがあると信じています。

ロータリーに入会してまだ2年と若輩者ではありますが仲間とのご縁も細く長くそば近く、少しでも笑いをお届け出来ればと考えております。



茂 山 忠三郎

入会：2016(平28) 7-5
誕生：1982(昭57) 8-20
結婚：2013(平25) 3-28
趣味：ドライブ（自動車、
大型二輪）



私とロータリー雑感

山科ロータリークラブの35周年の年に入会させていただいてから15年が経ち、その間社会の様々な変動の中でクラブの名称も変わり、50年を節目としてこれからのクラブの在り方にも変化が起こっても不思議ではない時代になるように思います。

15年の「クラブ活動」の中で思うことは、学生時代に「学業」と「クラブ活動」の両立とよく言われたものですが、社会人になり、経営者となって「仕事」と「クラブ活動」を両立させていくことで「職業奉仕」を実践し、自身の仕事を「天職」として務め、社会に貢献するという意義を改めてロータリークラブに入会して強く、また深く感じました。

私は、より多くの人との「ご縁」を求めて入会させていただきましたが、望んでいたとおり、多種多様な職業の経営者の皆さんと親交を深め、多くの事を学ばせていただき、大変ありがたく思っています。

同好会活動を通じて今まで以上に気持ちが通じ合ったことや、ご迷惑をおかけしたこともたくさんありましたが、「ロータリーの友情」に深く感謝申し上げます。

私の思い出の写真は、入会5年目の納涼家族会で「ビアンカ」乗船前の1枚が年次報告書の表紙に使われ、後姿ではありますが家族4人を子供と一緒に見つけた懐かしい思い出の1枚です。

清 水 泰 博

入会：2002(平14) 7-16
誕生：1956(昭31) 12-9
結婚：1993(平 5) 10-17
趣味：軽音楽



私とロータリー雑感

京都東山ロータリークラブ50周年おめでとうございます。
少し動くと立止まり、物忘れが多くなるこの頃。この伝統あるクラブとすばらしい先輩や後輩の集まりの中に仲間入りしている75歳の私。今に至る私のRC劇場は、水も滴る33歳の春 友人と同窓生の集うゴルフコンペの戦場に向かう車上の会話から始まります。

「世間知らずで、世の中の勉強をしたいので、経済同友会に入会しようと考えている。」と話を持ちかけた時、友人が偶然同じ考えで「京都青年会議所という所に入会したんや、そこの方が合うと思うけど一回調べてみたら」と話を受け、入会へ。会議所卒業と同時に当クラブへ谷川博造さん 田中久雄さんの推薦を頂き入会。

入会当日 例会終了後、例会場出口で小西諏訪両先輩に肩をたたかれ、「何をしているの？早く行こう。」と誘われ ローターアクトの例会に出席。（当クラブ15周年記念でアクトクラブを提唱されたすぐ後、アクト会長安倍秀風さん）以後、ローターアクトクラブに出席。アクト10周年の年にローターアクト委員長となり、アクトメンバーを歴代最多の30名に増員する事が出来、ひそかな自慢です。

私は幼い頃から物を育てる事が好きで、60歳から自然にとけ込み、進める人生設計。今現在突き進んでいる真っ最中であります。

その中、ロータリーの先輩、友人と同好会を通して語り合い。楽しくロータリー人生を歩ませて頂き誠に感謝申し上げます。

私の中のロータリーとは。目の前の扉、突き進めば進むほど扉も同じ様に前に進み、扉に手を掛け開ける事が出来ない。「生きる力にもなり、学びそして楽しさ」でもあります。

追記 「書中 友人は当クラブの佐貫将一さんです。」

末 松 哲 夫

入会：1984(昭59) 2-14
誕生：1943(昭18) 8-26
結婚：1970(昭55) 9-24
趣味：ゴルフ、テニス



ロータリーは本屋さん

動物は自分の年令がどうなのか理解していない。しかし、無邪気に生きている。人間は自分の年令を数える。

ロータリーも五十年と言って数えている。その善し悪しは神にしかわからない。と言う、私もああ五十年のうち三十年在籍していたのだと数えている。

一番感謝しているのは、入会の頃百人会員がおられました。入会のスピーチで百人イコール百冊の専門書が手に入り、本屋さんに行かなくなりましたと言いました。今は七十冊になりましたが新しい会員様の話を聞くと新刊が入った事をつくづくと感じます。

法律の事は坂田会員、犬の事は福留会員、法事の事は戸田会員、松井会員、経営の事は小坂会員、ゴルフの事は平野会員、病気の事は小森会員、元気の源泉は谷川会員、茶道は関根会員・・・・・・といとまがありません。

これからも新しい新刊すなわち新入会員が入会されます事を楽しみにしております。

私みたいな古本もたまには読んで下さいね。

杉 崎 則 夫

入会：1986(昭61) 9-2
誕生：1941(昭16) 6-12
趣味：ゴルフ、常磐津



十五年、前を振り返って

平成十六年度の会長に推挙され、副会長に石原会員（松原警察署長を最後に退転して華道家元池坊総務所の事務長に就任）幹事に岩橋会員を指名させて頂きました。

此の年度は、国際ロータリー創立百周年に当たるので、グレン・エステス会長より各々のクラブが、それなりの記念行事を行う様にとの御指示が有りました。

当地区の神谷ガバナーは「築こう奉仕の第二世紀－未来を託す子等の為に」とのテーマを掲げられました。

当クラブのメッセージは「人の輪・智恵の輪・奉仕の輪」とさせて頂き、何よりも先ず厳粛な中にも融和のある楽しい例会の運営を心掛け、会員相互の親睦を深めると共に退会防止と会員増強に努め、全会員参加の活力あるクラブ作りに努力して参りました。

創立百周年の記念行事は、池坊会館を貸しきって、文部科学省と経済産業省とが共同で創立された国立の日本未来科学館の初代館長であり、我が国宇宙飛行士「第一号」の毛利先生（北海道余市町出身・北海道大学院理学研究科修了・オーストラリア、フリーダス大学に留学されて理学博士を取得）を講師としてお迎えし、京都の若き中学生、高校生七百名に「夢を持ち続ける大切さ」を伝えて頂く講演の開催を立案致しました。しかし全国からの依頼が殺到し大変むずかしい状況なので一度は諦めかけましたが、京都市教育委員会（門川大作委員長）との共同主催とし、京都新聞社・前原衆議院議員初め多くの皆様の友情とご協力によって実現致しました。

我々ロータリアンが、手を結び合って世界の親善と平和の推進、若い人々の夢と希望の実現に邁進することが如何に大切であるかを痛感した次第です。

鈴木 敏 治

入会：1979(昭54) 1-23
誕生：1933(昭 8) 8-27
趣味：旅行、盆栽



私とロータリー雑感

私が東山ロータリークラブに入会させていただいてからもう9年がたちます。月日が過ぎるのはあっという間です。

クラブへお誘いをいただき、「一応考えます」と返事したものの、断ることができる状態ではございませんでした。また、クラブのホームページを見ますと、面識のある方がいらっしゃり、その中には私の仲人さんがいらっしゃるではありませんか。ますます「これは入会するしかないな」と思い、「入会させていただきます」と返事いたしました。

2回目のインフォメーションが終わるとそのまま入会式という流れでした。私としては翌週の例会で入会式と思っておりまして、「えっ？」という感じでバッチをつけていただいたのを覚えております。入会する以前は、「ロータリークラブ」は奉仕団体で、変な歌を歌うところやと思っておりまして。しかし、入会させていただくとそういった概念は吹き飛ばされ、入会して良かったと思っております。

他の団体でも異業種交流はありますが、ロータリークラブのように「芸術家」や「医者」や「宗教」関係の方とはほとんど関わりがないことでした。会員さん分の辞書ができたと言ったものです。

入会してからの一番の思い出は45周年記念式典であります。その時に実務作業を手伝わせていただき、大変勉強させていただきました。先輩方から教えていただいた時は「目からウロコ」の状況で、入会させていただいて良かったとつくづく思ったものでした。自己研鑽の為に入会させていただいたので、本当に感謝しております。

今後ともよろしくお願いいたします。

竹之内 米 貴

入会：2009(平21) 3-24
誕生：1968(昭43) 3-27
結婚：2001(平13) 10-8
趣味：旅行、ドライブ



「私のハングリー人生」

平昌五輪も終わりました。選手のプレー1つ1つが見る私たちに感動と感激与えてくれました。選手達の魅力は結果だけでは有りません。「挑戦する姿」ではないでしょうか。はたして彼、彼女たちのエネルギーは何か。どこから生まれてくるのか、おおいに興味を誘います。感動、感激こそ神様が人間に与えてくれた最大のプレゼントだと思います。

私のロータリー在籍35年、よくぞ続けられたとつくづく思います。そのエネルギーは何か、もし一つを選ぶとするならば、「ハングリー精神」だと思います。ハングリーと聞くと生活、お金とか経済的なニュアンスを強く思い浮かべますが、私の考える「ハングリー精神」はそれだけではありません。ハングリーな気持ち、ハングリーな向上心、進む力、希望の強さ、趣味、夢、その他毎日毎日自分のまわりに起こる生活の全てのことを指し、毎日を「強く生きる気持ち」のハングリーです。子供の頃から「生きる気持ち」を強く持ち続けてきたことが現在まで元気に過ごしてこられた原因だと思います。

これからも「ハングリーな気持ち」を失わないように前向きに進みたいと思っています。しかしながら気持ちが強すぎる為、まわりの人たちに気配り出来ず、不快な思いを与えることが多いと思います。この場をお借りしお詫び申し上げます。

先輩、後輩の皆様、素晴らしいロータリークラブ、学びの道場、人間の宝庫、今後に活かします。

重ねてお礼申し上げます。有難うございます。

谷 川 博 造

入会：1981(昭56) 10-6
誕生：1939(昭14) 2-26
結婚：1966(昭41) 10-12
趣味：ゴルフ、麻雀



私とロータリー雑感（道可道、非常道）

そもそも私が当時の山科ロータリーに入会させていただいた動機は甚だ、いい加減なものでした。義父が北ロータリーの会員でしたが、亡くなりまして、その後何人かの北ロータリーの方から入会のお誘いが有りました。また知り合いのライオンズの方からのお誘いがありました。さて、どうしたものか、ロータリーがどんなものか、それまでは義父の言動や、ときおり寺内で会合？が行われたりしていましたのでおおよその見当はついていました。ただ当時の私の心情から言えば、小金持ちの道楽としか思えませんでした。

当時、今もそうですが、表千家流の茶道の宗匠の社中として不真面目ながら時折御稽古に通っていました。其の社中の中に此の後生涯の友となる手塚充氏がいました。其の手塚氏、幸か不幸か山科クラブの会員でした。其の手塚氏から山科クラブへの入会を勧められました。暫くは躊躇していたのですが、会員の中に表千家の宗匠の御一人、林正良氏も会員だと聞き入会をお願いする事に致しました。ただその当時は手塚氏は入会一年目くらいか・・・少し遠慮されたのか推薦者は、中村翠嵐氏と林正良氏となりました。

私の入会は平成元年、それ以来約30年、その間の約15年は、本山事務局での宮使い、その後も何だかんだでの雑用の為ロータリーでの活動は中途半端、またその間、親しくさせて頂いていた会員諸氏が病気や死亡などで退会されて寂しくなるばかり。

とは言え、私のロータリー活動は中途半端、いや、それ以下とはいえ、様々な活動に参加し、異業種の方々と知り合えたことは私の日常生活、宗教活動、心の有りように大きく影響を与え励ましてくれました。

その事に関して深く感謝しています。

戸 田 義 高

入会：1989(平 1) 11-28
誕生：1941(昭16) 10-3
結婚：1970(昭45) 2-3
趣味：歴史散歩、茶道



50周年記念の盛儀に寄せて

今年の冬は存外に厳しく毎日が氷結する様な日々を過ごしたが、3月中旬突如としてやって来た夏日に彼岸明けを待たず桜が開花、梅と桃と桜が同時に艶やかな姿を見せてくれている。

平成30年4月2日午前6時、本日の盛儀の無魔成満を祈願することから私の一日は始まった。朝刊には大リーグでの大谷選手の活躍、加山雄三さんの光進丸炎上、中国の高関税報復措置などと共に最高気温が高いと書かれていた。

一張羅の正絹の着物に袖を通し、愛機オリンパスを肩から下げて、女房とは現地で落ち合う約束で、戒光寺の満開の桜に見送られてウエスティン都ホテルへ向かった。

本日のお役は市内クラブの方々の受付対応と写真班である。少々混乱や不手際がありつつも、ご来場の方々には大きなご迷惑を掛けず和顔施で対応できた様に思う。

スナップ写真は事務局へデータをお渡ししてしまい、確認は出来なかったもので少々不安ではある。

数年前からお骨折りの会員方々にとっては、近年入会仕立ての私とは景色も感動も違うのだろうと思い乍ら、50年と言う歴史の重さとそれを語り継ぐことの大切さを感じ、その時に同席出来たことに有難さと感激を体感できた素晴らしい一日でした。

お世話を頂きました先輩諸氏に感謝とご慰労を申し上げます。本当にお疲れ様、ありがとうございました。

渡 邊 恭 章

入会：2016(平28) 8-2
誕生：1962(昭37) 12-30
結婚：1988(昭63) 5-15
趣味：アウトドア、スキー
茶道



国際奉仕事業「座禅と聞香」そして しょうざんプールでの夏の家族会

私はロータリーに入会して今年で26年、多くの奉仕事業に携わって来ました。特に木村安会長の幹事のときに行った「障害者水泳フェスティバル」や松井会長の時、実行委員長として企画運営した「宝ヶ池ファミリーマラソン」が主なものですが、それ以外に特に印象深いものがあります。

今回はそれをご披露したいと思います。

まず2002年に井上勝会長と橋本幹事の年度、私が初めて理事に任命されました。役職は国際奉仕でした。その年の事業として外国人留学生を招いて「座禅と聞香」そして「ホームビジット」を行いました。戸田さんをお願いして大徳寺をお借りして座禅は大徳寺の本坊で、留学生や我々ロータリアンも一緒に座禅を体験しました。そして聞香は松栄堂さんにお世話になり、場所も戸田さんの大慈院で、お香を体験して香りを当てる本格的な聞香を皆で楽しみました。

その後、留学生の皆さんを二人か一人に分かれてロータリアンの家庭に招いて夕食を振る舞うという企画でした。多くの会員の皆さんにお世話になり、留学生の皆さんは良い体験になったと思います。私は世話役なので、食べ物に制限があるイランの留学生夫妻を引き受けました、その後もこれがきっかけで交流があり家に招いたり一度はご夫妻のアパートでイラン料理をご馳走になりました。お二人、今はテヘランに帰ってご主人は日本で勉強した地震の研究をテヘランの大学で教授として頑張っておられます。

次に、2005年私が親睦活動委員長をお引き受けした年の夏の家族会は、鷹ヶ峰の「しょうざん」で行いました。まず最初に早く来られたご家族はプールで楽しんで、夕方より最初の出し物は親睦活動委員会メンバーによる、ウォーターボーイズの演技でした、大先輩の小野さん、佐貫さん、井上武さん、松井さん、後輩の柴田さん、私などが参加しました、踏水会での数回にわたる厳しい練習を経て無事演技を終えました、演技の曲づくりや振り付けは上の娘に、現場での練習の指導は下の娘に手伝ってもらいました、当日は我々に加えて踏水会の若い女性のインストラクター二人と下の娘にも加わってもらいました。その後プールでは娘の友達のオリンピックメダリスト武田美保さんにシンクロの演技をご披露してもらい解説は娘が行いました。演技中はプールサイドで飲み物を片手に楽しんで、その後皆さんレストランに移動してもらい食事を楽しんでもらいました。食後は武田美保さんと娘の千晶、に私が加わりインタビュー形式でオリンピックのことや井村先生の厳しい練習のことなどを伺って、五つのメダルも皆さんに鑑賞してもらい家族会が終了しました。大変たくさんの皆さまに参加していただき楽しい家族会だったことが思い出されます。



渡 辺 剛 士

入会：1992(平 4) 6-16
誕生：1948(昭23) 1-18
結婚：1973(昭48) 10-6
趣味：旅行、水泳



私とロータリー雑感

25年も経つが落第しそうな夢を今だに見ます。ロータリー1年目、知らない人ばかり、例会出席、ソング、手に手、委員会やイベントなどなど、戸惑っていました。えらいところに入ってしまった。きっと将来、夢に出て来るに違いない。

挨拶から始まり、そうこうするうちに親しくなり、仲間ができ、人となりが分かり、ご近所づきあいのような、部活の先輩後輩のような、知らぬ間にという感じです。週一で会い続けてきたことの証であり、得難いものです。

クラブには色々な委員会があり、そんなに要らないんじゃないの？こんな感覚でいましたが、少なからず委員を務めると、そうは思うものの、これまた一つ一つに意義を感じます。突然ですが、うちの町内では運動会後の足洗いがなくなり、町会長は選挙制から当番制へ。でも前に進まなければなりません。様々なシーンで、新たな局面にさしかかっています。ロータリーも仕事もそう。

仕事は学生の頃から好きです。しかし、会社人間が肌に合わず、居場所を求めて独立しました。職業上、箆ってオタクになっていることが多いため、できる限り外との接点は持つようにしてきました。そんな折、岩橋さんからのラブコールで東山に入会した。仕事のことは横に置いてのお付き合いにも関わらず、時代の新たな局面を共に歩んでいるような感覚です。

実は福井の実家の父も、かつてはロータリアンで、若者を引き連れてどうのこうの、甲子園に出たとか、記憶の片隅にあります。家業を継がず、田舎から飛び出したが、今となれば同じような道にいるものだとしみじみと思います。

入会してから、昔は良かったとか、時代に合わないとか、残念なことによく出くわします。少し面倒なんだけど、仲間と共に楽しく充実している。それが良いと思っています。

山 田 幸一郎

入会：2014(平26) 7-29
誕生：1969(昭44) 4-7
結婚：1998(平10) 4-11
趣味：スイミング



私とロータリー雑感（道可道、非常道）

ご縁があり、入会させて頂いてからまだ日も浅く、ロータリーについて語る事など、とても出来るものではなく、ほんとうに困っております。

そのような右往左往の毎日の中で感じた事があります。それは会員の皆様がご家族を大切にしておられることです。特に奥さんを大事にしておられることは申すまでもありません。私は今まであまり家庭を振り返らずに来ました。物の本によりますと安澤の「安」は「家の中に、るすをまもる女の人がいて安心していられること」を表した字だそうです。そうだったのかと深く反省いたしている今日この頃です。

難しいことはできませんが、家庭の平和から始まって、電車やバスで立っておられるお年寄り、早朝自宅の前を通る小学生、道に迷っている外国人観光客など目の前の身近な人を大切にすることを心掛けていきたいと思っています。周りの人達の笑顔を見たいですね。これが「奉仕」の小さな第一歩かなとも思っております。

田舎での小学校時代は、朝礼でいつも倒れ、保健室に担ぎ込まれていました。青白い顔の、人見知りの強い私は校長先生から体育の授業を禁止され、体育館の角で女子生徒と見学をしていました。それなりに努力はしましたが、今日まで当時の体力の弱さと性格は克服できておりません。野球をしたり魚を釣ったり野山を駆け巡るような普通の少年時代を送っていないのです。体育系が苦手なためゴルフ同好会や、野球同好会にも参加できません。そう言う訳で、皆さんとの交流の機会も少なく、我ながら「付き合いの悪い会員」であります。誠に申し訳なく思っています。そんな私が今日まで何とか続けてこれましたのは、会員諸兄の暖かいご指導と励ましのお陰と深く感謝致しております。

今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。皆さんありがとうございます。

謝謝

安 澤 英 治

入会：2007(平19) 7-17
誕生：1949(昭24) 8-3
結婚：1978(昭53) 3-1
趣味：山歩き、中国語会話
居合道



50周年記念の盛儀に寄せて

入会3年目のまだまだの新米会員です。

私が日頃生活の軸にしている事が三つありますが、一つは仕事が一番の軸ですが後の二つはボランティアとスポーツです。

ボランティア活動は地元の消防団活動で23年前に入団し分団長を4年務めさせていただき今年3月で退団いたしました。今後も地域の防災活動にかかわって行きます。

スポーツは生涯スポーツとしてソフトボールを体が健全である限り続けます、スポーツ系は全般に好きでスポーツ少年団の野球部コーチや地元体育振興会の役員も務めてきました。それが京都東山ロータリークラブに入会させていただきその三つの軸がダブルとなりました。仕事・ボランティア・スポーツ会員さんご依頼の仕事もありがたくさせていただき、奉仕の精神でボランティア活動に、スポーツは野球同好会に入会させていただき好きな野球をまさかのこの年で復活。また先輩会員さんの粘り強いお誘いでいずれはやり始めたいと思っていたゴルフも始めることが出来ました。

入会当初毎週の例会出席は無理だろうと思っていましたが、今では例会に出席し皆さんに毎週会えることも楽しみとなりました。

世の為、人の為、地域の為、将来のある子供たちの為、そして世界の平和を願いロータリアンとして奉仕活動に携わりながら日々学び、自身の成長と仕事に生かし、お役に立てるよう努めてまいりたいと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

寄 本 猛

入会：2015(平27) 7-7
誕生：1958(昭33) 10-13
結婚：1988(昭63) 6-26
趣味：ソフトボール



私とロータリー

豊国神社の宮司という役職を先代と交代する際、京都東山ロータリークラブに籍を置くという点も引き継げるように、とのお達しがあった。鎮座地周辺地域に貢献する団体に所属する、その意義については何ら異論をはさむ余地なく、入会の許可を得て八年半。楽しく且つ有意義に過ごしてきたと感じている。

特に入会六年目での幹事という大役と、その任期中での事務局員交代。その事態は、会長自らが幹事役のかなりの部分をカバーして下さらないと乗り越えられるものではなく、今も己の未熟さを猛省している。しかしそれも又、良き教訓であり思い出となった。

その後暫くは心穏やかにロータリーライフが過ごせるかと思いきや、次は山中教授講演会の司会進行役との仰せが。決して自分から手を挙げるタイプではないので、「ロータリーにも『NO!』があれば…」と思いながらも、プレッシャーと戦いつつ当日を迎えた。

質疑応答の事前打ち合わせで、山中教授と十五分程対話をさせて頂き、ノーベル賞の受賞者と世間話を交えて談笑できたことがこの上ないご褒美だと思っている。

山を一つ乗り越える度に、年代や立場を超えて友愛の輪が広がり、更にその輪が強固な絆へと育ちゆくロータリー。今度はどんな険しい山が眼前に現れる事やら…

吉 田 武 雄

入会：2009(平21) 8-4
誕生：1958(昭33) 4-26
結婚：1983(昭58) 10-2
趣味：映画・美術・音楽鑑賞、
マリンスポーツ



チャーターナイトの思い出

京都東山ロータリークラブの誕生は、1968年の4月2日であります。チャーターメンバーは24名で、その年の11月3日に宝ヶ池に出来たばかりの国立国際会議場を貸し切りにしてチャーターナイトを挙行了しました。

準チャーターメンバーの中に後にガバナーを務められた増田房二会員がおられましたが、早速アトラクションに由紀さおり・安田祥子姉妹を呼んで来られるなどの活躍をしておられました。

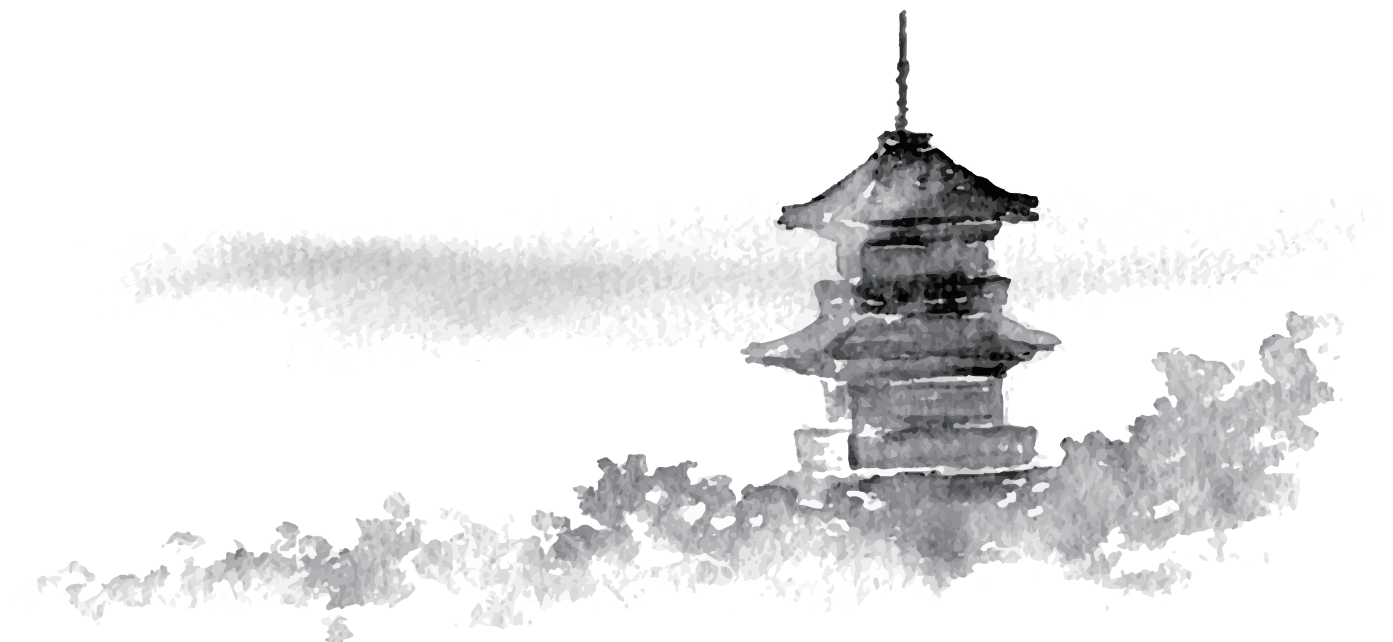
何しろ六か月足らずの期間で、会員夫人には一切頼らず会員のみで準備をするのが大変でした。

しかし来客やRC会員合計1,000名を迎えてのイベントですから、何としてもやり遂げなければならないとの気持ちでいっぱいでした。

気候は正に秋たけなわで、庭園の庭に白鳥が戯れる絶好のロケーション。お天気は武田会員の長年の記録によれば、「11月3日は雨が降らない」との託宣付きであった為に、安心して事が運べた1日でありました。

吉 田 良 武

入会：1968(昭43)	4-2
誕生：1931(昭 6)	4-1
結婚：1955(昭30)	1-27
趣味：釣、碁	



《投稿いただけなかった会員》



今井 武 男

入会：1986(昭61) 9-2
誕生：1934(昭 9) 5-5
結婚：1966(昭41) 1-10
趣味：社交ダンス、囲碁、
水泳、写真



磯 田 好 計

入会：1971(昭46) 10-19
誕生：1935(昭10) 8-22
趣味：ゴルフ



大 藤 光 夫

入会：1992(平 4) 6-16
誕生：1928(昭 3) 7-3
結婚：1957(昭32) 12-1
趣味：旅行



植 野 清 富

入会：1987(昭62) 11-10
誕生：1939(昭14) 3-12
結婚：1968(昭43) 5-19
趣味：ゴルフ、旅行



荻 下 清 三

入会：2002(平14) 4-23

誕生：1942(昭17) 1-5

結婚：1973(昭48) 3-8



山 本 眞 也

入会：2007(平19) 7-17

誕生：1967(昭42) 3-8

結婚：1993(平 5) 5-12

趣味：コントラバス



横 井 康 治

入会：1995(平 7) 10-3

誕生：1932(昭 7) 3-27

結婚：1961(昭36) 3-3

趣味：ゴルフ

《掲載できなかった会員》

※ロータリーへの強いお気持ちを何頁にもわたってお書き頂きました小林さん。
あまりにも多くの文章でしたので掲載できませんでした。申し訳ありません。



小 林 一 恵

入会：1974(昭49) 6-4

誕生：1935(昭10) 2-16

結婚：1966(昭41) 3-30

趣味：囲碁、スポーツ

第 4 部

資 料 編
(26年度～50年度)

目 次

クラブ概況	1
年度別RI会長・地区ガバナー・クラブ三役	2
歴代会長報告	3
国際大会一覧	25
地区大会一覧	26
I.M.一覧	27
会員別役職一覧	28
年度別理事・役員・委員会構成	32
特別委員会構成(クラブ創立記念実行委員会30周年・35周年・40周年・45周年・50周年)	57
地区委員	60
会費・寄付金等	61
年度別財務推移	62
特別会計収支決算書(クラブ創立記念事業30周年・35周年・40周年・45周年・50周年)	87
S. A. A. ・ソング	90
クラブ管理	92
親睦・出席委員会	93
プログラム委員会	98
会報・記録委員会	127
姉妹クラブ委員会	129
ニコニコ箱委員会	131
雑誌委員会	132
会員選考委員会	133
ロータリー情報委員会	134
規定審議委員会	135
高齢者委員会(1993～2000)	137
ボランティア委員会(2000～06)	137
環境保全委員会(2000～06)	137

健康管理委員会(1993～2000).....	137
奉仕プロジェクト.....	138
職業奉仕委員会.....	139
国際奉仕委員会.....	141
社会奉仕委員会.....	143
青少年奉仕委員会.....	145
ローターアクト委員会	147
インターアクト委員会.....	149
会員増強・職業分類委員会.....	150
会員入退会一覧.....	152
物故会員.....	155
職業分類表.....	156
広報委員会.....	161
ロータリー財団委員会	162
米山記念奨学委員会.....	163
米山奨学生一覧	164
青少年育成奨学基金委員会(2012年で廃止).....	165
京都東山RC基金のルーツと経緯.....	166
京都マラソン委員会.....	167
クラブ戦略策定委員会.....	167

クラブの概況

(2018年6月30日現在)

(1) 名称及び所在地区

- 名 称 京都東山ロータリークラブ 2008年4月2日～
- 所在地区 第2650地区
- 事 務 所 京都ホテル・アネックス3F (1990年12月～2002年6月)
現在 ウェスティン都ホテル京都6F 2002年7月1日～
〒605-0052 京都市東山区栗田口華頂町1
Tel(075)762-5630 FAX(075)752-3309
Mail. Info@higasiyamarc.com
- 例 会 場 ウェスティン都ホテル京都
- 例 会 日 毎週火曜日 12時30分～13時30分

(2) 沿 革

- 創立総会 *1968年4月2日
- R.I.承認 *1968年4月13日
- 認証状伝達式 *1968年11月23日
- スポンサークラブ 京都東ロータリークラブ
- ガバナー特別代表 前田 勝氏
- エキステンション委員長 梶原 基宏氏
- 区域限界 京都市山科区及び京都市東山区全域
- 姉妹クラブ 金澤南ロータリークラブ 1975年4月1日提携
台湾新竹ロータリークラブ 1981年9月15日提携
- 会員の構成 キーメン5名(2018.6.30現在在籍者0名)
チャーターメンバー24名(2018.6.30現在1名在籍)
会員数69名

年度別R.I.会長・地区ガバナー・クラブ三役

年 度	国際ロータリー会長名(国名)ターゲット 地区ガバナー名(クラブ名) テーマ	年度	会 長	副 会 長	幹 事
1993/94	ロバートR・バース(スイス)「行動に信念を、信念を行動に」				
	本田 茂(北)「明るいロータリー、行動するロータリー」	26	小田 義彦	木村 秀雄	西村 孝之
1994/95	ビル・ハントレー(英国)「友達になろう」				
	二橋 貞雄(八日市)「地域の人々と友達になろう」	27	谷口 良三	川澄 正彰	嶋村 昭平
1995/96	ハーバートG.ブラウン(米国)「真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身」				
	坂部 慶夫(洛中)「ロータリーの原点に立つ」	28	田中 久雄	横田 治男	谷川 博造
1996/97	ルイス・ビーセンテ・ジテイ(アルゼンチン)「築け未来を、行動力と先見の目で」				
	中野 重宏(奈良) 足高 晋(大和高田)	29	堀部 素弘	高谷 寿一	井上 武雄
1997/98	グレン・W・キンロス(オーストラリア)「ロータリーの心を、貴方の住む所、私達の世界 そこに住む全ての人々に」				
	山田 三郎(亀岡)「ロータリーの心を」	30	野村 泰三	小林 一恵	木村 安輝
1998/99	ジェーム・L・レイシー(米国)「ロータリーの夢を追い続けよう」				
	宮崎 茂和(福井)「あなたのクラブに、地域社会に、ロータリーの夢を」	31	山中 鎧一	小野 富造	中村 翠嵐
1999/ 2000	カルロス・ラビツァ(イタリア)「ロータリー2000;活動は一堅実、信望、持続」				
	大日方 弘明(洛西)「一灯照一隅、万灯照世界」	32	今村 晋平	井上 澄男	川中 丈嗣
2000/01	フランクJ.デブリン(メキシコ)「意識を喚起し 進んで行動を」				
	山崎 時雄(彦根)「善意志を喚起し-善意志を行動する」	33	横田 治男	鈴木 敏治	城山健太郎
2001/02	リチャードD.キング(米国)「人類が私達の仕事」				
	西村 次郎(南)「意識を喚起して進んで、人類が私達の仕事」	34	小林 一恵	稲本 初弥	小原 晃
2002/03	ビチャイ・ラタクル(タイ)「慈愛の種を播きましょう」				
	岡村 吾郎(奈良)「愉快にやろう 輪になろう 奉仕しよう」	35	井上 勝	井上 武雄	橋本 幸男
2003/04	ジョナサンB・マジニアベ(ナイジェリア)「手を貸そう」				
	福井 正典(城陽)「楽しく 素直に 美しく」	36	稲本 初弥	中村 翠嵐	手塚 石雲
2004/05	グレンE/エステス・シニア(米国)「ロータリーを祝おう」				
	神谷 保男(敦賀)「築こう法師の第2世紀-未来を託す子供のために」	37	鈴木 敏治	石原 隆光	岩橋 忠昭
2005/06	カール・ヴィルヘルム・ステンハマー(スウェーデン)「架け橋の年～行動するロータリー～」				
	大久保 昇(西南)「架け橋に年～行動するロータリー～」	38	西村 孝之	小山 信一	植野 清富
2006/07	ウィリアムB・ボンド(ニュージーランド)「率先しよう」				
	平井 茂久(洛中)「絆」奉仕の感動を分かち合う」	39	小山 信一	谷川 博造	松井 信五
2007/08	ウィルクリッドJ・ウィルキンソン(カナダ)「ロータリーは分かち合いの心」				
	橋本 長平(東)「思いやり」	40	中村 翠嵐	手塚 石雲	小野 富造
2008/09	李 東建(韓国)「夢をかたちに」				
	川端五兵衛(近江八幡)「次の世代にときめきを」	41	木村 安輝	末松 哲夫	渡辺 剛士
2009/10	ジョン・ケニー(スコットランド)「ロータリーの未来は あなたの手の中に」				
	富田 謙三(京都)「育てよう、人」	42	城山健太郎	今井 武雄	小坂 文夫
2010/11	レイ・クリンギンズミス(米国)「地域を育み 大陸をつなぐ」				
	栗田 幸雄(福井北)「地域を育み 大陸をつなぐ」	43	今井 武男	横尾 浩志	岩本 一
2011/12	カルヤン・パネルジ(インド)「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」				
	今西 信弘(京都南)「良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう」	44	川中 剛士	岩橋 忠昭	本田 修造
2012/13	田中 作次(日本)「奉仕を通じて平和を」				
	河本 英典(大津)「ロータリーの主役は個々のロータリアン」	45	松井 信五	杉崎 則夫	小森 直之
2013/14	ロンD.バートン(米国)『ロータリーを実践し、にんなに豊かな人生を』				
	坂本 克也(京都八幡)「貴方の善から、みんなの善へ」	46	杉崎 則夫	渡辺 剛士	坂田 均
2014/15	ゲイリーC.K.ホアン(台湾)「ロータリーに輝きを」				
	北河原 公敬(奈良大宮)「ロータリーは心配り」	47	小野 富造	薮下 清三	吉田 武雄
2015/16	K.R.”ピラ”ラビンドラン(スリランカ)「世界へのプレゼントになろう」				
	中澤 忠嗣(南)『クラブに「個性」と「憧れ」を！』	48	岩橋 忠昭	戸田 義高	岡武 和暁
2016/17	ジョンF.ジャーム(米国)「人類に奉仕するロータリー」				
	刀根 莊兵衛(敦賀)「夢を語り、現在を刷新」	49	渡辺 剛士	中村 弘吉	清水 泰博
2017/18	イアンH.S.ライズリー(豪州)「変化をもたらす」				
	田中 誠二(京都東)「愛着と誇り」	50	小森 直之	坂田 均	中塚 浩

歴代会長報告

1993～94

第26代会長 小 田 義 彦

《 個性を生かした行動力 》

本年度R.I.会長ロバートRバース氏は「行動に信念を、信念は行動に」をテーマとして掲げ、それをうけて当地区本田ガバナーが『明るいロータリー、行動するロータリー』『ロータリー信念を体得し、行動に移そう』と提唱されました。

これらはロータリーの精神・理念を知識のレベルだけではなく、自らの中に採り入れ、身につけるための行動を大切である事を強調されたものと受け止めました。

そこで、当クラブの目標として、一人一人が行動の必要性を自覚し、実践しやすい雰囲気を作り上げることへの取組みを推進することを試みたわけです。

雰囲気づくりと言っても、これは形として目に見え、確かめることの出来ないものゆえ、「これこれ、しかし」と記することはできませんが、各奉仕部門の担当理事・役員報告を通して読み取ってほしいと思います。

○クラブの運営について

当クラブは平成5年4月2日、創立25周年を迎え、その取り組みにおいて、メンバーの生き活きとした行動が証されました。

せっかくこうした節目を越えたエネルギーを一過性のものとして消滅させることのないように、さらに30周年へのステップとして繋げていくことを、本年度クラブ運営の柱と位置づけました。

メンバーは、その年齢、経験、人生観、正確特性、更にはロータリー経歴などによる行動特徴があることは言うまでもありません。

山科ロータリー・クラブの伝統尊重という伝統志向型、山科クラブに新しい息吹をと願う創造志向型。それぞれがそれぞれを尊重し、協調し合う事によって、クラブの凝集力が高まり、行動力が生まれてくるのだという信念に基づいて「個性を生かした行動力」を目指したつもりです。

例会ごとに明るい笑顔が一つでも二つでもと願ったのも、そのためです。

○奉仕活動について

各奉仕部門の具体的な活動については、各担当理事・役員の報告を読んでもください。

ただ、言える事は、親睦活動については確実性を重視し、新規の活動については、まさに積極的に、思い切った企画と活動が推進されたことでした。しかも、これらが比較的若い層のメンバーを中心に成された点が評価されます。

会員増強も十分とはいえませんでしたが一応、目標充足はいたしました。今後こうした新しい会員が意欲を持って行動し、新しい波の輪の広がりが生まれることを期待したいものです。

なお、拡大について、本年度も拡大準備委員会を設置し、活動しました。しかし、予想されて以上の困難が、実際には横たわっていることを実感させられ、その実現への歩みが踏み出せなかったことは残念でなりません。

○新竹ロータリー・クラブとの締結更新について

国際交流が一人一人にとっても、クラブにとっても大きな意味をもつことは言うまでもないのですが、幸い、当山科ロータリー・クラブは台湾、新竹ロータリー・クラブと姉妹クラブの締結をして12年目になります。

本年度はその締結更新の年に当たり、会長、幹事以下16名が6月14日訪台し、更新の調印に臨みました。これを機に、更なる友情と信頼の絆が強まる事を念じるものです。

以上、あらましの年次報告をしましたが、あらためて、歴代会長のお力添え、理事、役員、委員長のご尽力、会員みなさんのご協力を感謝いたします。

1994～95

第27代会長 谷 口 良 三

《 和の輪を広げよう 》

本年殿R.I.会長ビル・ハントレー氏は、BE A FRIEND(友達になろう)なるテーマを掲げられました。それも、まさかのときに立ち上がり、心を尽くして対応する友達に、と言うことであります。

また、これを二橋地区ガバナーは、「友達として思いやりの心でロータリーの活動を展開して欲しいと言う願いも入ったテーマである」と訓される一方、「心根の優しいロータリアン育成」を目差すと共に、ロータリーの奉仕の場では「相手の立場に立つこと」「思いやりの心をもつこと」を心と体で覚えるように述べられた。

私もまた、それに加え「和の輪を広げよう」と訴えると同時に。会員増強・情報の徹底、出席参加を活動の重点項目としました。

さて、世間の景気は低迷し、いつ這い出せるのか検討もつかない経済状況のため、会費は据置きとしましたが、途中、GSE派遣や、交換学生の派遣と受け入れ、及び阪神大震災の発生とこれの義援活動。あるいは、実施には至らなかったものの、被災児童・生徒らを対象とした京都市教委主催の「ラーニング・スティ京都」"やましの家"支援活動等、当初、事業には編み込まれていなかったものが、今年度、活動のうちに大きな巾を持ってしまいました。

また逆に、震災に関連して、本来メイン・イベントになるべき、金澤南R.C.との姉妹クラブ提携20周年記念の合同行事は、企画・準備も大詰めに入りながら自粛延期から中止の羽目になったことは非常に残念でした。詳細は、各項目で述べているので省略しますが、ガバナーの呼びかけとは別に、即刻103万円の義捐金が集まり(この分2650地区に送金)また、5月の公開講座では、受講者等から5万円が寄せられた(この分京都新聞に寄託)ことなどは、まさかの時に立ち上がり、心を尽くした小さな実践であったと喜んでいきます。

なお、会員増強については事情があり、残念ながら1名で終わってしまいました。ご栄転で1名、3名のご逝去。通産しますと、3名減であります。今の努力がいずれ実を結んでくれるものと信じています。

また、出席参加ですが、納涼例会、台湾新竹慶祝訪問、年忘れ会員・家族会、ライフ・アドバンス講座にと、ご家族および従業員の方々にもまでご協力頂きましたことを感謝いたしております。

その他、ニコニコ箱、R財団、米山記念奨学委員会では夫々目標額を達成されましたこと、有難うございました。これは、R.I.から「社会への思いやりに対するRI会長賞」と、米山記念奨学会からは功労賞が届けられますでしょう。

最後になりましたが、勿体ない気持ちとクラブ経費節減と言った意味から2つの勇気ある発案がありました。1つに例会の食事に残ったパンであります。ホテル側のご理解により持ち帰れるようになりましたのと、もう一つ、今年度中にも、再々再修理か新調かを迫られていた例会場演台の件ですが、同じホテル例会場とされる京都東RCに話しましたところ、快諾頂き、共用することになりました。目下、親クラブの備品を使わせて頂いております。

以上、要点のみを取り上げ、年次報告といたします。

1995～96

第28代会長 田 中 久 雄

「人間は2種類に分類できる」

人間は2種類に分類できる、私はそう考えています。例えば「退屈な人間と、創でない人間」と言った具合に。山人間と海人間にも分類出来そうです。私は、幼い時から夏は若狭の海岸で過ごしました。ヨットにこ凝りかけた時期もあります。冬はお節句の時期。商売が忙しく、雪山に遊ぶゆとりがないのです。

きません。真摯とか誠実といった内容なのでしょうか。ActとServeとWork、三つの関係も正直はつきり分かりま

それやこれやで私は「海人間」、山には全く縁のない人間です。寝るのは豪華なキャビンか、海辺のしゃれたリゾートホテルが夢です。それに私は、自分の子供も孫も位置でも抱いたことがないほど、子供大嫌い人間です。そんな子供嫌いの海人間が、あろうことか小学生のガキ何十人も山に連れて行って、ベッドでなく野宿する羽目になりました。我が家の子供や家内は、因果応報と面白がるだけで少しも同情してくれせん。

幸い副会長の横田さんは山人間で、彼に実行委員長を引き受けてもらい、言い出した張本人の谷川幹事が機関車役、ご兩人に全てを任せ、会長の私は一切ノータッチで過ごしました。

それでも、最後の最後まで心配は続きました。高速道路の広い駐車場で、小学生のだれかが行方不明になりはせんかと。だからこの次、似たことをだれかがやると言い出したら、私は多分反対すると思います。

唱和の始め、長野県の小学校の登山で、先生・児童数名の犠牲者が出た事があります。その遭難の本も読みました。でも、所詮私は海人間、山のことが分かる道理がありません。さりとして神仏のお加護にたよる信仰心も持ち合わせないのですから、準備の会合でも会長は収支発言無し。ひたすら心の中でジュモンを唱えるだけでした。『案じるより 団子汁』

終ってみれば、お名前を上げればきりがなほ沢山の方々の努力で、久し振りの大イベントを無事成功することができました。「シンドかったがクラブに入会以来、はじめてヤル気が出てきた」という会員の声も聞きました。涙が出るほど嬉しく思いました。有難いことです。

乗鞍登山で、行方不明の探索に駆けずり廻った会員。はばった小学生を背負って下山してくれたアクトのまなさん。乗鞍だけではありません。米山奨学生やウエリントン君を1年間お世話下さった方々。年忘れ家族会の歌舞伎のために忙しい時間を割いてお稽古なさった会員。金沢南のお客様を、寒さに震えながら広沢の池に出迎え、接待していただいたアクトの会員。多くの方々のご協力で、この年度は見後棚盛り上がりを見せてくれました。感謝と、良かったという思いを込めて、祝杯を何回も傾けたい気持ちで一杯です。

一ノ瀬キャンプ場では、息を飲むような星空に出会いました。生まれて初めての経験です。私にとって恐ろしいほどツキに恵まれたこの一年でした。人間には2種類あると申しました。「運のいい人間、悪い人間」があるとするなら、こんな年度に会長をつとめさせていただけるなんて、正に運のいい人間といえそうです。運を恵んでいただいた会員の皆様に、しんそこ御礼申し上げます。ありがとうございました。

1996～97

第29代会長 堀 部 素 弘

《 意識の共有と信念 》

我々のテーマは“築け未来を 行動力と先見の眼で”であり、特に次世代を担う若い世代を育てることに照準を合わせました。もう一つは“小さなクラブ”であり、これは昨今の社会・経済情勢から見ても、当然要求されることでありました。

行動の成果＝考え方×能力×熱意。

この算式を年度始めに皆様に示しました。熱意はPassionです。考え方と能力は皆さん申し分ないのですが、熱意の意味を再認識したいのです。

Passionとは

profit(利益)、ambition(願望)、sincerity(誠実)、strength(真の強さ)、innovation(創意工夫)、optimism(明るく前向きに)、never give up(決してあきらめない)です。

こんな意味を共有し、執念を燃やして実践した各委員会報告をご参照ください。

ただ、思う存分やらせていただいた事を感謝申し上げます。1996～97年度RI会長賞をいただいたことを最後にご報告いたします。

1997～98

第30代会長 野 村 泰 三

《 ロータリーの心 》

本年度の活動はキンロス会長の地域社会に「ロータリーの心を」考慮した奉仕活動を各委員会の皆様に計画して頂きました。

年度中、特に印象深い事柄を取り上げて見ました。

(会費の値上げ) 今年度は堀部会長の緊縮財政の路線を継承したにも関わらず、消費税、会食費の値上げ、地球温暖化防止京都会議の協力金、2004年国際大会の負担金等の出費のため年会費を2万円値上げさせて頂きました。

(インターアクト) 創立30周年を機会にインターアクトの結成をしようと計画しましたが、会員皆様のご意見も賛否両論あり、また調査の結果も維持を続けるにあたり困難も予想され時期尚早の結論の下に近い将来に結成されることを期待して計画変更をいたしました。

(ボランティア委員会) 手続き要覧に従い年度途中ですが、ボランティア委員会を設けました。横尾ボランティア委員長は早速11月と5月に山科学園を対象に活動を開始して頂きました。

(会員増強) 前期は4名の新入会員を得て会員総数は111名となり会員増強は順調に見えましたが、後半に退会者が続出して、一年間の退会者数は9名でクラブ創以来ワースト2、会員の純減は5名でワースト1の記録を残す事に成ってしまいました。

特に会長経験者の浅田会員、幹事経験者の嶋村会員、ベテランの林会員、布垣会員、楨原会員……クラブに衝撃が走りました。

(創立30周年記念) 4月7日の創立30周年記念式典・祝宴に山田ガバナー始め多数のロータリアン、地元関係者、ご家族の皆様を合わせて300余名の参加の下に盛大に行なうことができました。

この一年間クラブ会長を無事勤める事が出来たのは会員の暖かい友情のお陰と皆様に心より感謝申し上げます。

1998～99

第31代会長 山 中 鎧 一

《 ロータリーの夢を追い続けよう 》

本年度ロータリー会長の方針「ロータリーの夢を追い続けよう」を受けて、夢とは一つの目標を見つけ、努力することにあると思う。私は「質素にして楽しいロータリー」を今年の目標といたしました。この一年を振り返ってみると、幸い、会員の方々からもその主旨にご賛同いただき、様々なご協力をいただいたおかげで、華美に陥らず、質素儉約を心がけることができました。こうした努力の結果、余剰の資金をもってニコニコ基金を創設したり、臨時会費を少なくすることができましたので、ある程度目標を達成することができたのではないかと考えています。あらためて皆様のご協力に感謝する次第です。

ただ一つ心残りでありましたのは、昨年10月18日に予定しておりました、山科ルネッサンスの台風による中止であります。このイベントはロータリーの関係諸団体と地域の諸団体の交流を深める絶好の機会でありましたが、ご承知のように「天 我に味方せず」で中止となりました。しかしこのイベントの準備から中止の決定にまで至る過程での、会員の皆様の目を見張るご活躍と、中止決定後のあざやかな処置は、今も深く心に残っております。今後、この種のイベントを催すにあたっての貴重な財産となるでしょう。

会費の節約をはかり、さらに魅力あるロータリーづくりに邁進する旨聞いております。私どもの微力で達成で一年間私どもを支えてくださった会員の皆様本当に有難うございました。次年度は、ライトランチを設け、きなかったことも、来年度には実現できることと、ご成功をお祈り申し上げます。

1999～2000

第32代会長 今 村 晋 平

《 豊かなところで、出会いに感謝 》

R.I.会長カルロ・ラビッツァのテーマ「ロータリー2000;活動は一堅実、辛抱、持続」のもと、恒例の事業を主に行政の催事及び地域施設との交流を深め信望を得るべく活動をして参りました。又、今年度当初に提案いたしました地球環境保全を統一事業として取り上げ、地域住民の環境に対する意識の高揚をめざし、

京都市及び、山科区役所の協力のもと4部門(清掃奉仕、記念植樹、公園、親子エコツアー)に分け実施いたしました。

全て目標以上の成果を揚げられたものと思っております。小さな芽ではありますが、これから生長していくことと楽しみにいたしております。

会費につきましては出来るだけ節約するよう努力、会費の値下げをいたしましたが、今年度は事務局員2名の内一人が期中で辞められ長年勤めて頂いておりました三浦氏も年度末で希望退職されることになり、急遽10月より事務局員を2名採用、又、台湾に大震災が発生、姉妹クラブの台湾新竹ロータリークラブへ見舞金を送るなど、当初予算より運営費及び奉仕部門において増となりました。これらにつきましては、今後のためということでお許しいただきたくぞんじます。

急遽の会長ということで、先輩や各会員の方々が、暖かい心で、積極的にご協力をして下さいましたので、特に問題も無く任務を遂行させていただきました。ただ、残念なことは、クラブに大変ご貢献されました小田義彦会員、木村秀雄会員がご逝去されました事、又、いろいろ事業があったとはいえ、退会者が7名も出たことであります。景気低迷下、会員増強が難しい時ですが、クラブのためにも是非会員増強を次年度にお願いしたいと思っております。

今年一年間、ご協力いただきました皆様に、心よりお礼申し上げ年次報告といたします。

2000～01

第33代会長 横 田 治 男

《 友ら集いて 奉仕の道 》

本年度R.I.会長て一ま「意識を喚起し、進んで行動を」を受けて、「チベットに教育の花を咲かそう」という事業を行う事が出来ました。

この事業により、学校に行きたくても学校の無いチベット方牧地区に小学校を建設し、図書、教材などを進呈する事が出来ました。

これを基に京都百々小学校と現地との交流、この事業への理解と協力を一般市民の方々にも広く求め、1,400名程の参加を頂けたチャリティーこんさーと、また、一連の活動が新聞等に掲載されたことによるロータリー方法活動など、事業の裾野を広げることが出来ました。

これによつて、地区に於ける三つの最重点課題のうち「地域社会との連携強化」、「広報・情報活動の推進」の二つに僅かながらでも繋がったのではと、嬉しく思います。

これ等の事業は「ガバナー特別賞」、「新人道的補助金9,000ドル」、「RI広報賞」をもたらしました。

また、地区最重点課題の最後の一つである『会員増強、拡大、退会防止』のも、5名入会、1名退会、純増4名という形で貢献しましたお陰で、「会員増強功労賞」をいただける運びとなりました。

その他、委員会活動も順風万帆に歩むことが出来ましたこと、これも会員皆様のお陰と感謝しています。

思えばこの一年前、会長メッセージにしました「友ら集い手奉仕の道」のもと、諸活動を進める課程で様々な感銘を受けましたこと心より有り難いと思っています。

最後にこの一年、力不足の拝聴にお付き合いくださった理事・役員の方々始め、会員の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

2001～02

第34代会長 小 林 一 恵

《 21世紀は 共生の時代 》

「人類が私達の仕事」ー非常に難しい、理解しにくいー哲学的意味のある深いテーマでのあった。ロータリーの基本、寛容と善意、奉仕の心、そして癒しの心が欠かせない。だから「21世紀は共生の時代」だと私自身痛感しました。時には基本に縛られすぎ、ややもすれば形や、形式的になりがちな面が気になった。ロータリアンの人間関係が希薄になるのではないかとも思った。ロータリーの理想を追いすぎて、人と人との和を忘れがちなのが、ロータリークラブの楽しさが自然に失われていくような感じがする。この時代に思いきって今までの奉仕の在り方を原点に戻し、不安な時代でも耐える力、足腰を強く力を身に付くロータリーを期待したい。ロータリアン自身、発想の転換が必要だと考えます。

ガバナー公式訪問の例会前におこなわれた会長・感じ懇談会の時、西村ガバナーよりご指導と質問を戴きました件ですが、今日的問題として奉仕活動の財源が、即ちニコニコ予算が少し気になる、これだけの目標が達成できるかどうか、ローターアクトに対する補助の見直し等、現状を踏まえた奉仕活動を期待するとのご指導がありました。生かされたロータリーを思考するなら、この時こそ地域の皆さんと共に人と人のコミュニケーションを、心と心の和合の精神をもつ機会を目標に、子育て支援の発信基地として「教育のひろば」を開催しました。未来に生きる子供達のために、地域住民の人々と体験学習の機会を実践できたこと、理事・役員の方々始め、会員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

2002～03

第35代会長 井 上 勝

《 愉快にやろう 輪になろう 奉仕をしよう 》

我がクラブ創立35周年にあたる今年度、会長の務めを無事終えることができ、皆様のご協力に深く感謝いたします。

さて、ロータリーも大組織になり、ともすれば「原点」を忘れがちになっているとよく言われます。しかし、時代とともに変化するということは必然、当然という面もあります。

ただ、ほんらいの目的から逸脱した「管理」の部分が肥大しすぎている印象は否めません。私の方針は、本年度R.I.会長方針『慈愛の種をまきましょう』とベクトルをあわせ、「愉快にやろう 輪になろう 奉仕をしよう」としました。人は自分の意見を尊重され、傾聴されることを愉快に思います。管理や規則強化もさることながら、それが自然に人の輪を広げ、絆を深め、組織を豊にする前提だと思うのです。そこで、「異見も意見」として受け入れることを自らの1年間の心の目標にいたしました。

35周年の奉仕事業を決めるにあたっては、ロータリーを一般の方々に広報すること、それもできれば「感

動」とセットで印象を強くしていただくことを大切に考えました。その結果、実現の苦勞の末に、柔道家の山下泰裕氏を迎え、公開講演会を開きました。当日はたくさんの市民の方が感動を分かち合い、意義ある創立記念日にできたと思います。

また、JR山科駅前にブロンズ像「風」を寄贈建立しました。刻ませていただいた小文は本年度の理事・役員と私の未来へのメッセージです。是非、会員の皆様も現場でご確認いただきたく存じます。さらに、橋本幹事からは高価な雛人形の寄贈を受け、青少年活動センターに贈りました。京都の伝統技術の粋の贈り物に大喜びしていただきました。

記念事業はこれらを三本柱に、他の奉仕事業も積極的に完遂していくことができました。ただ、予算の都合もあり、長年続いた山科学童野球大会は20回を区切りに、本年度で一応終了させていただきました。

年度が過ぎ、1年の短さを感じますが、理事役員の方々は毎月の理事会にほぼとんど皆出席という素晴らしい協力をいただきました。この場を借り、喜びと共に報告させていただきます。ありがとうございました。

2003～04

第36代会長 稲本初弥

《 親睦と研鑽 》

昨年私は会長を引受けるに当たってロータリーのことを勉強いたしました。

2650地区史の「ロータリーの課題と展望」言う座談会の中で千パストガバナー始め多くのパストガバナーがロータリーは今や衰退の道を辿っている。何かを見つけなければならない。そして千パストガバナーは「このままでは訳の分からんロータリーになってします」とおっしゃっておられ私も兼々ロータリーの機軸と目標がぼやけい来していると言う事を感じておりましたので、そのことをRIや地区の上部に委ねて文句をブツブツ言っ居っても何にもならない。たとえ小さなクラブであっても一度原点に返ってロータリーを見つめ直そとの想いから本年殿テーマである「親睦と研鑽」をやろうと決意致しました。

実施内容としては情報集会(旧炉辺会合)を年に14回行う。その14回の会には会長・情報集会特別委員長(新設 小野委員長)は必ず出席する。そして全員のロータリーに対する根本的な考え方を聞き出す事を実施致しました。

その結果会員間にロータリーの基本的な理念にかなりのバラツキがあると言う事が解かりました。そしてロータリーは「奉仕団体」か?或いは「人生哲学」を学ぶところか?とか決議23-34の社会奉仕に対する考え方等々相当会員間の考え方に開きがありました。

これは時代や世代やロータリーの基本(根の部分)だけはしっかりと共有していなければならないとの思いをイッッ強く感じました。

そして14回集会を終えて得た私なりの結論とは

①魅力あるクラブを作れば会員も増える。

②では、魅力ある理想的なクラブとは?

勉強が出来て楽しいクラブ」であると結論に達しました。

しかし、ここで考えねばならない事はクラブによってロータリー理念の基準が違います。厳し過ぎとそのクラブの会員レベルにとっては楽しくないかもしれません。又、ルーズ過ぎるとロータリークラブの意味をなさない只

の団体になってします。大切な事はそのクラブの基準を見極めて一步一步前進して行く事でしょう。

次に自分自身会長をさせていただきまして本当に研鑽したのは私自身であったとおもっています。

ロータリーは普通の人の団体ではない。一応各界で成功した人の集まりであり、何か優れたものを持っておられ又、人でも物でも悪い事も良い事もあり程度見抜く力を持っておられます。

そんな中で自己研鑽をするのですから非常にレベルが高い厳しい自己研鑽を強いられます。副会長・エレクト・会長とこの3年間私自身大変な研鑽をさせていただきました。

以上のように本年私は自分の想いと自己研鑽が出来て本当に幸せであったと感謝しております。

これも素晴らしいロータリアンである中村副会長、手塚幹事と小野情報集会委員長、クラブ奉仕関係の谷川・佐貫・末松会員、そして横尾、井上春峰、小山会員とその実行委員会のなされた障害者と一体になれた「ハートフルPOPコンサート」はまさに地域の人々の共感を得られた素晴らしい事業でした。

この様にまさに「紅い花も緑の葉に助けられる」ごとく理事役員、全会員の皆様、事務局の女史、音楽・ホテル関係の皆様に力を貸して頂き成就することが出来て本当に有難うございました。心からお礼申し上げます。

最後に会長をさせていただいてクラブのキーワードは『人』であるとおもいます。

私の推奨するロータリアンの心構えとして

初級 ― ルールとマナーをおぼえる

中級 ― ロータリーを好きになり研鑽を積みクラブや社会に進んで奉仕する

上級 ― クラブを指導し人を育てる

本クラブの発展をお祈りすると共に重ねて厚く御礼申し上げます。

2004～05

第37代会長 鈴木 敏 治

《 人の輪・知恵の輪・奉仕の輪 》

本年d0国際ロータリー100周年の記念すべき年に当たり、RI会長のテーマ「ロータリーを祝おう」、第2650神谷保男ガバナーのテーマ「築こう奉仕の第2世紀―未来を託す子等のために」に沿って、青少年育成に関わる事業を当クラブのメイン事業とし、宇宙飛行士であり、日本科学未来館々長の毛利 衛氏を講師とした”特別記念講演会”を催しました。

今日本の子供達はかつてないスピードで変化する時代の流れの中にあって、稀有な夢とロマンを実現された講師のお話を身近に聞くことで、今の自分に見出すきっかけになればと願った事業でした。

予想を大幅に超える大簿者の中から650名の中・高生を中心に選び、講演に先立って化学を志す高校生の研究発表もどうせw台の参加者には良い刺激にもなったようです。

クラブにとっては、会員自らの責任を遂行する中で会員挿画の親睦と友情を深め、地域社会と交流の実を挙げると共に、広報活動によりロータリーへの市民の理解も深まり、それなりの成果を上げることが出来ました。

又、姉妹提携クラブにあっては、台湾新竹RCとは25周年となりクラブ創立50周年も迎えらるる事から訪台し共に祝い、金澤南RCとは30周年となり京都で同伴家族例会及び懇親会を含め2日間に亘り相互の親睦と交流の輪を広げることが出来ました。更に新竹RCから「阿里山の桜」の苗木25本が記念として贈られ、これを「友和の桜」と命名し京都市に寄贈、勧修寺公園に植樹し環境の美化にも貢献でき、「ロータリーを祝おう」プロジェクトとなりました。

その他多くの奉仕活動やクラブ事業を实践致しましたが、これ等を通し改めて我が山科ロータリークラブの「イザ」という時の底力と団結力の強さを再認識させられました。最後に改めて理事役員及び会員皆様の温かいご指導、ご支援に心から感謝申し上げます。

2005～06

第38代会長 西村孝之

《 人に愛と光を、若者に夢とロマンを！ 》

今、世には何を求めているのか、又、ロータリーとその会員は何を望んでいるのか、21世紀は心の時代と言われているように人を愛し思いやる、友を神事助け合うと言う人間としての基本であろうと思います。ロータリーの今年度の行動の方針となるテーマにはその精神が込められています。

超私の奉仕、架け橋の歳、有益な事業の継続に少しでも沿う事ができたならクラブとしての存在価値に繋がったのではなかろうかと思っています。

組織は忍の力が集束することが、更にクラブを愛する事が継続と発展に寄与することとなります。新しい組織への移行への準備、ご意見の集約、何時かはすべきメンテナンス、例会の充実、寄付金の獲得等、委員会主導の下、皆様が最善を尽くしていただいたことに心より感謝申し上げ方向といたします。

次年度、次々年度、大きな事業が続きます。ご健勝にてご活躍賜りますようご祈念しております。

2006～07

第39代会長 小山信一

《 敬天愛人 明るく元気に一生賢明 》

C. L. P. 導入にため、定款・細則を改定して、理事・役員の組織変立にクラブをあげて協力頂いた。この際戸惑ったのは、法師プロジェクトの中に社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕が入っており、4大奉仕の3/4奉仕が入っている。元のクラブ奉仕は3分割され会員組織、クラブ広報、クラブ管理運営になり、元国際奉仕の中にあつたロータリー財団と米山奨学会は独立することになった。あまりよく解からないまま走り出しました。

3組I. M. のホスト役をしました。3組会員の多数のご登録、千玄室ゼネラルリーダーの長時間の熱演、会員皆様の多大なご協力に大盛会となりました。

11月には「生き生きシニア装いの集い」を催しました。京都女子大学 泉研究室の皆様、(株)ワコール 板東敬子様のご協力、地区のシニアクラブの方々にファッションモデルをお願いして、平井ガバナーの激励を得て、爺団より補助金を戴き、立ち見が出るほどの多くの市民の方にご観覧いただき、新聞・テレビにも報道され、地区大会において広報賞をいただきました。

納涼家族会・年忘れ家族会も楽しく過ごさせていただきました。グアム・タモンベイR. C. への訪問、金沢南R. C. との相互訪問、女優 内田早苗さんを招いての夫人同伴例会はじめ興味ある卓話を庸意していただきました。

名称問題も70%を越す指示を得て「京都東山」に決まり、40周年を期して改名することになりました。各種特別委員会、委員会、会員皆様のただいなるご尽力に感謝します。ありがとうございます。

2007～08

第40代会長 中 村 翠 嵐

《 脚下照顧～足許を見つめ、奉仕の心を育もう 》

本年度R. I. 会長はて一ま「ROTARY SHARES～ロータリーは分かち合いの心～」を定められ、奉仕通じて分かち合いの心を育み、四大奉仕を強調され新y貯めて職業奉仕の重要性を説かれました。

このR. I. 会長のテーマに基づき、第2650地区橋本ガバナーは「おもいやり」を地区テーマとされました。私は、この2つのテーマに基づき、クラブテーマを「脚下照顧～足許を見つめ、奉仕の心を育もう～」と致しました。

創立40周年を迎えるクラブにとって周囲を見渡し、足許を見つめて為すべき事を、このテーマに従い考えて実行したつもりです。

- ①創立40周年記念事業は地元密着。心・技・体の3部構成の学童野球大会。指導者、父兄、チームリーダーを対象とした講演会の開催。プロ野球選手・コーチによる野球教室と学童選手の体力測定と一言アドバイスを実施しました。
- ②本年4月2日よりクラブ名が変更になり、永年親しんできた京都山科ロータリークラブから京都東山ロータリークラブへとかわりました。
- ③記年式典は、極力予算を抑え、質素にして拡張高くを合言葉に、4月1日に開催しました。記念講演は清水寺貫首 森 清範猊下をお迎えしての「天に偽りなし」のお話は参加者一同に深い感銘を与えました。
- ④創立40周年記念事業パートⅡとして、地域の方々に文化講座を催す。これにあたり、今話題の渡辺淳一詩をお招きし「男と女」を演題にして3月13日に開催致しました。予定していた来場数が応募2日目でオーバーし、急遽2倍の入場者を迎えると言う、うれしい誤算となり大好評を博した記念事業となりました。
- ⑤ローターアクトクラブ創立25周年記念事業と式典。当初、活動可能会員数は4名と聞き、この状態で提唱クラブとしての責任を果たすことが出来るのか頭の痛い事でしたが、これは危惧に終わりました。委員長を始め、アクト会員諸君のその後の努力で見事に会員増強を果たし、記念事業の「病院内児童への奉仕活動」は本年度最優秀ガバナー賞に輝きました。同慶の至りです。

そうして、この様な事業、丈二すべてが、会員増強と並行してクラブ活性化の為と捕らえ取り組ました。増強無くしてどんな立派な行司や業績を挙げてみても、ロータリークラブは生き残れないと思うに至りました。

前年度は近來にない6名の新会員を迎えましたが、退会者も7名を数え1名減となり、会員数も最多111名から80名でのスタートとなりました。

増強理事も頑張り、9名の新会員の入会を見るに至りましたが、本年も退会者7名となり2名の増強しか出

来ませんでしたが、会員の平均年齢は確実に低下し、何かしら例会に活気が出てきたように思うのは私最
 前でしょうか。なかなか大幅増強とは参りませんが、地道に継続して増強に取り組めば、いつに皮下振り返
 えれば私達にクラブも若くて元気なクラブに返信している事でしょう。

最後になりましたが、副会長、感じ、理事、役員の皆様、40周年実行委員長・担当委員長様、会員諸兄
 事務局員様の温かいご支援有難うございました。心より感謝と御礼を申し上げます。

2008～09

第41代会長 木村安輝

《「心」 おおらかな心で》

本年度 李 東建R.I.kaityou ha,世界で毎日3万人もの子供達が亡くなっている現況を憂いて、その子供
 達に生きる希望とチャンスを与えたいとの願いから、「夢をかたちに」をテーマにされました。

このR. I. 会著雲テーマを基にして川端五兵衛ガバナーは、氏の持論でもある地域の町づくり、すなわち
 子孫に対して常にときめきを覚えることのできる環境を残したいとの思いをもって、テーマに「次の世代にと
 きめきを」と掲げております。

これらの方針を念頭におき、メインテーマに「心」、サブテーマとして「おおらかな心で」と定め、

＊おおらかな心でクラブ運営を

＊おおらかな心で事業活動を

＊おおらかな心で会員交流を

の気持ちで運営、事業、交流に一年間努めてまいります。

先ずは、本年のメイン事業、水に輝こう！『障害者水泳フェスティバル』においては、あいにくの土砂降
 りの雨にもかかわらず、予想を大きく上回る約1,700名の参加者を得て実施しております。

障害者と健常者がともに手を携え、熱い心で会場全体が一つになり、共生の社会の一端を垣間見るこ
 とができました。

参加された障害者の皆様は、日頃の鍛錬の成果を十分に発揮され、真剣な中にも楽しく水と親しまれま
 れており、とくに、目の輝きが印象的で、今でも忘れることができません。

又、エキビジョンでご協力頂いた皆々様、森田先生はじめ、行政の強力なご支援、関係諸団体のご協
 力を得て成功に導く事が出来ました。この事業が栄えあるガバナー特別賞に輝き、当クラブの団結力の強
 さを改めて実感しております。

次に、昨年に引き続き「学童野球」に取り組み、爽やかな太陽の下で汗をかく素晴らしさや、白球を追って
 無心に躍動する楽しさを身をもって体験していただきました。

三位一体の教育の内、親からの教育、社会からの教育の二つのチャンスをこの学童野球を通して与えら
 れ、彼らの規律正しい姿を目の当たりにして感銘を受けたしだいです。これを機会に、心身ともに大きく羽ば
 たいて頂きたいと願っております。

更に、内なる事業の会員交流では『納涼家族会』、「クリスマス家族会」、「金澤南R. C. 創立40周年記念
 式典」、「清水寺花見例会」等々何れも盛り上がりのある事業が展開でき、当クラブらしい特徴を醸し出すこ
 とができました。

その他C. L. P. については、導入三年目の年として、我がクラブに最適な組織は如何にあるべきかを常に討論と思考を繰り返し、柔軟な対応を心掛けてまいりました。

尚、細大の課題である会員増強については、数多くのアタックを試みましたが、結果として3名の増強に大使、退会者が6名と残念な結果に留まり、改めて力の無さを痛感しております。

最後になりましたが、末松副会長、渡辺幹事始め、理事・役員の皆様、各委員会委員長、多くの会員諸兄、事務局員さまの一年間の温かいご支援、ご協力に対し心より御礼申し上げます。

2009～10

第42代会長 城 山 健太郎

《「三つの好き」 ロータリーが好き、奉仕が好き、親睦が好き》

初めて、一年間ご協力いただきました会員諸氏そして会長エレクト、会長としての20ヶ月間理事会をサポートしていただいた理事・役員の皆様に、心より感謝申し上げます。

その上で一年間を振り返ってみますと、

2009～2010R. I. 会長テーマ「ロータリーの未来派、あなたの手の中に」

R. I. だい2650地区 富田謙三ガバナーテーマ「育てよう、人」

いずれも世界のR. C. が発展成長するには、人の教育と会員増強が細大の課題であることを示されていると思います。

計らずしも、京都東山R. C. (2009～2010)会長テーマとして「三つの好き」(①ロータリーが好き、②奉仕が好き、③親睦が好き)も同じ方向を示していましたので、自身を持って「三つの好き」を基本にクラブを運営させていただきました。

主な活動を振り返ってみますと、8月24日「宝塚歌劇観賞と納涼家族会」、10月24日「留学生のための体験フェスティバル」、12月22日「年忘れ家族会」等々多くの会員のご参加と担当された委員会のご活躍で成功裡に実行することが出来ました。

最後に会員増強は、クラブにとって活力維持に大切です。この点に関し理事会におきましても女性会員の入会にご理解をいただき、会員増強委員会のご活躍で5名の新入会員を迎えることが出来ました。特に内2名が女性でクラブ最初の女性会員として入会していただきましたことは、この年度の一つの道を付けた特筆すべき事であったと思っております。

2010～11

第43代会長 今 井 武 男

《はらはら ドキドキ 興味津々》 「教わったこと」

京都クラブ発行の創立75周年記念誌(2000年12月発行)をひもときますと、古き良き時代のロータリークラブは、1980年に崩壊したと述べられています。1986年に入会しました私としては、崩壊後のロータリーを体験中ということになります。1905年シカゴで、友情と相互扶助を求めて設立されたクラブが100年の

月日を経て、国際化の波を潜りながら現在に至るまでの道程は平坦なものでは無かったようです。

私の入会しました年代(山科クラブ19台会長大木博氏)には、前年まで盛んに論争されていたアイサーブとかウイサーブの問題が火の消えたように沈静化していました。先輩に聞きますと、論争で開会された方もおられたとか。前述の記念誌によりますと、1980年にロータリーで最も素晴らしい道德律が廃止され1989年「最も奉仕するもの・最も報われる」というモットーが槍玉に上がり、92年には23—34(1923年セントルイス大会決議34)を廃止する運動が起きています。さらに、95年にはメーキャップの制度を変更し、テリトリーを殆ど放棄する事態になりました。恐らく、我々の年代のロータリアンがこの記述を読んだとしても、何のことも理解出来ないと思います。ロータリーがステイタスであった頃、人生哲学を学ぶ場として華やかでいた頃には、テリトリー厳守・例会出席率・一業種一名が堅持されていました。それは、ロータリーの任意団体としての独自性を遺憾なく発揮していた時代でした。

地区協議会などに出席しますと、もはやアイとかウイとかを主張する時代ではないという結論となっています。拡大や増強を目指しているロータリーとしては正しい選択であると思っています。

入会のインフォメーションで教わった「超我の奉仕」。とてもその域には到達しないと諦めておりました。2005年発行の「情報のマニュアル」によりますと、Service Above Self(超我の奉仕)も構成、人類愛に基づいた高次元のスローガンと誤解した人達によって「事後犠牲に基づく他人への奉仕」という勝手な解釈がなされたそうで、本当の意味は、「海員同士に限定されていた物質的相互扶助を、他の人にも会報しよう」という職業奉仕の現実的スローガンであったとしています。

なにしろ百年の歴史あるロータリークラブですから、誤解や思い違いは当然で、営利団体ではありませんので別に問題も無いようです。私などは、お目にかかっていないアイサーブに限りない憧れをもっています。その時代に在籍された方たちを羨ましく拝見しています。この一年会長のご指名を受けました。主な役目は例会の会長アドレスです。主なるテーマはを、ロータリーの歴史・奉仕活動の推移・ロータリーで得るものは何か、としました。果たして、ご理解いただいたかどうか自信はありません。

2011～12

第44代会長 川 中 文 嗣

《 温故知新 》

会長報告記載の時期を迎え、海員各位には大変お世話になり有難うございました。週報でご記載しておりますが、就任時のロータリー活動を振り返りますと、未曾有の災害となった東日本大震災の影響で正に世の中自粛ムードが漂うこととなり、また一方では「頑張ろう東日本」の激励といえますか応援ムードが広がり、我々はどうすればといった心境でさいなまれておりましたが、人道的な立場でやるべきことをやるのがロータリー活動ではないかの信念でスタートさせて頂きました。

本年度、今西ガバナーはテーマとして「良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう」を掲げられました。ちなみに私も四文字熟語であります「温故知新」を掲げさせて頂きました。これすなわち、過去の歴史を勉強することによって現在に対する洞察を深めていくことであろうと思っておりました。

活動においては「スクラップ アンド ビルド」ではと思っております。本年度活動の一つ、青少年育成として京都堀川音楽高等学校音楽ホールにて開催いたしました「青少年音楽コンクール」(一足早いクリスマス

東日本にもサンタを)のサブタイトルのもと、若者学生を対象としたイベントの取組みを実施しました。

また、春先から山科探検隊の名のもとに、地域の歴史や文化に触れ、参加した子供達が読み札、絵札に落とし込んで作成した「山科かるた」づくりと山科アスニーでのかるた発表会も翌3月に行い、大勢の子供達やご父兄、メンバーにも恵まれました。

過去、幾多の先人が培ってこられた環境に優しい事業や桜の小径等の足跡の評価と検証、メンテナンスの実施、特に山科駅前に設置されている25周年記念像の隣に建てた「四つのテストの石碑」は、ロータリーの自分律であると共に公共道德の糸津になればと願うものであります。

特に本年度、私を支えて下しました副会長、幹事、理事役員、事務局、そしてご理解ご協力頂きました会員各位に厚く御礼申し上げまして、報告とさせていただきます。

2012～13

第45代会長 松 井 信 五

《 One for All, All for Rotary 》

「感謝を込めて」

創立45周年に会長として大役を仰せつかり、何とか無事に終着駅に到着出来ました事を厚く御礼申し上げます。海員の皆様の絶大なるご協力、ご支援、ご指導のお陰と感謝いたします。

45周年は大変盛りだくさんの事業をさせていただきました。記念事業の宝ヶ池ファミリー駅伝、京都マラソンボランティア、有森裕子講演会と記年式典・祝宴をはじめ心に残る思い出を作って頂きました。白浜納涼家族会、当番クラブホロニガでの最多出席新記録(100名超え)、東山中高インターアクトクラブ設立、ローターアクト30周年式典、広島世界平和フォーラム、リスボン世界大会等切がありません。

こんなにも面倒な仕事を引き受け実行して下さった会員の皆様の熱意とご苦勞のたまものであります。"One for All, All for rRotary"というテーマのもと、楽しくk盗聴してクラブ員全員がプライドをもって行動して頂きました。例会出席率100%も見事でした。

ただ私自身、事業行事を追うのが精一杯でもっときめの細かい日常活動に目を向ける余裕がなかったのではないかと反省しています。今一度45年の歴史を積み上げられました先人に感謝し、より足場を固め、新しい世代に継承して、より充実した行動力のあるクラブになりますようこれからも皆様と共に頑張りたく思います。

RCを知って愉しみましょう。

"One for All, All for Rotary"

クラブ会員の皆様ありがとうございました。

2013～14

第46代会長 杉 崎 則 夫

《 向上心 》

会員各位のご協力、ご支援によりまして何とか一年間無事にのりきる事が出来まして感謝致しております。

向上心というスローガンを掲げまして各方面の文化人の方々をスピーカーにお招きし、色々の話を聴けたのは幸いだったと思います。

私の会長挨拶も敬謙、見聞いたしました事を、私流に噛み砕いて話させていただいたつもりですが、時間も短く、意味を理解していただけなかった点多々ありましたことをお詫び致します。

夏の家族会を佐川美術館、比叡山に、年末家族会を京舞を取り上げさせていただきましたが、どこまで満足いただけたかも心配しております。

春の作陶と豊国神社でのお茶会は、皆様のご協力のもとに成功したのではないかと自己満足しております。

何はともあれ、一年間あつという間に楽しく過ぎましたことを改めて感謝申し上げます。

2014～15

第47代会長 小 野 富 造

〈愉しもうロータリータイム(機会) 育もうロータリーハート(精神)〉

R.I.会長ゲイリーC.K.ホアン会長の〈ロータリーに輝きを〉のテーマ。そして2650地区北河原ガバナーの〈ロータリーは心配り〉のスローガンを踏まえ、《愉しもうロータリータイム〔機会〕 育もうロータリーハート〔精神〕》をクラブテーマに掲げての一年でした。

掲げたテーマの「看板に偽りあり」とならないように、幾つ者課題についての計画を立てて臨んだ一年の総括をして会著報告といたします。

■〈愉しもうロータリータイム(機会)〉の推進

①例会出席に欠かせないのは、例会をより愉しく優位気味、親睦を深めるためと、つき1度のクラブデーは行事を行わず、ランチタイムを十分摂り、座席も自由に移動してもらい親睦を図る例会に。

*12回のクラブデーを、その目的に向って取り組みましたが、会員の皆様にその主旨が十分新党する迄には至らず、計画倒れの感があり、その成果は道半ばでした。

②会員間のクラブ暦や、年齢の温度差の相互理解と、親睦を高める場にと〔言いたい、聞きたいロータリーサロン〕を3回に亘り開催する。

*3回の参加者合計は76名で、それなりの成果は上がりましたが、一度も参加されない方もおられたことと、十分なミーティング時間が取れなかったことを反省しています。

③会員相互の原動力となる、新たな同好会を増やそう。

*会員の積極的な取り組みを得て、新に5つの同好会(やきゅう・、軽音楽・そば会・中国語・茶道)が誕生し活気溢れる親睦が図れる源になった事は、今後にも大きな成果に繋がります。(会員諸兄に感謝)

④恒例の納涼家族会・年忘れ家族会の開催

*8月には、式年遷宮が行なわれた伊勢神宮を訪問し好評を博しました。(参加者68名)

12月に年忘れ家族会をウエスティン都ホテルで開催し、様々な催し内容で、笑い笑顔のひと時をおさめました。(参加者121名)

■〈育もうロータリーハート(精神)〉の推進

①ロータリーの知識をより深められたらの思いで〔言いたい、聞きたいロータリーサロン〕を3回に亘り開催し、ファシリテーション方式で参加者全員の発言の場とする。

＊クラブ暦10年未満の会員が31名おられ、ロータリーの知識や、ロータリー感の温度差を共に理解する機会を目的に開催し、参加された会員にはそれなりの成果があったと評しています。

②46回の会長挨拶、並びに週報で「会長のひとり言」を添付し、ロータリーに纏わる知識や情報の提供を行なう。

＊浅学非才ながら36年のロータリー生活での学習と知識を少しでも伝えたい、投げ掛けたいとの思いで、終始努めましたが、生花の程は・・・？

③ロータリーデーの催しを11月24日に「地域のこどもたちに歓声と笑顔の一日を」のタイトルで開催

＊掲げたタイトルに相応しい催し内容に全力を傾注し、奉仕プロジェクトの多大な努力を得て、参加者の(500名)方から賞賛と喜びの声を聞く事が出来、大半の会員の活躍を得てロータリー精神を発揮し、奉仕の実践をしていただいたことは何よりの成果だと思います。

■おおいなる反省点

①例会出席率の低下

＊個々、我がクラブが誇りにしていた例会出席率100%クラブは、夢のまた夢と言う結果になったことは会長の力不足に他ならないと懺悔しています。

②会員増強を図る〔5名入会(純増3名)〕の目標

＊入会者は4名に留まり(1名の入会式は次年度に跨る)、その上退会者が4名も出ることになり、純増0名との結果は残念で申し訳ない限りです。

●その他には、姉妹クラブ新竹の創立60周年式典(参加者24名)。金沢南クラブとの姉妹クラブ提携40周年例会に、会員、ご夫人、留学生総勢27名が参加し、友好の絆がより一層深められたと確信しています。

以上が本年度の会長報告となりましたが、思い掛けないアクシデント(15年勤務の岡本事務局員が急遽寿退職。次年度スタート3ヶ月前に次年度幹事の退任。また、会長エレクトが体調異変で入院。等々に直面し大変苦慮しました。なんとか年度を終えることが出来たのは、ベスト幹事に、恵まれたことと、理事役員の多大なお力、会員諸兄の深いご理解とご協力に助けられたことに他ならず、中心より深く感謝し会長報告といたします。

2015～16

第48代会長 岩 橋 忠 昭

《 ”今、を知り、未来を語ろう. Rotary” 》

会長をお引き受けし、年度が始まる直前の3月に役員人事に関する問題の発生。会長年度に入ると、次は、中ほどでの私自身の入院。私の太くの致すこととは言え、正に青天の霹靂の続く一年でした。しかし、そのような状態でスタートした今年度も、無事に一年間の会長職を終えられましたのは副会長、特に幹事、直前会長のご尽力と理事・役員・理事役員会の方々の支え、会員各位のご理解のお陰と、心より皆様にお礼を申し上げます。

本年度R.I.のK.R.ラビンドラン会長は、テーマ『世界へのプレゼントになろう—Be a gift to the world』を掲げられ、説明の中で「私達の人生の価値はどれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです」と端的に述べられました。また、中澤忠嗣地区ガバナーは、スローガン『クラブに「個性」と「憧れ」

を！』と、個々のクラブの主体性を説かれ、他のロータリアン、ロータリークラブ、地域からも憧れを持たれるクラブを目指せと具体的に述べられておられました。そして、私自身は、今年度会長として一まを”今、を知り、未来を語ろう。Rotary”といたしました。しかしRI会長、地区ガバナーの思いをどれだけ実現出来たか、そして多くの方々に思いを伝えることが出来たかと年度を終えた今でも自問自答しております。

年度を振り返り、私自身の心に残る出来事を漢字で表すと5つの『震』となります。

1. 今後のロータリー活動に関わる激”震”

一つめは、ロータリアンの会員身分をクラブ独自で決定でき、正会員のサブカテゴリーに準会員、家族会員などが可能になった改革案。二つめは、クラブ例会頻度と出席に関する規定をクラブの細則に定める事が出来るという改革案。いずれも、2016年RI規定審議会では審議され、2650地区では、次年度1年間各クラブで協議・検討を行い決定事項とする案ですが、ロータリアンとしてだけではなくロータリークラブの根幹と地殻のゆれを伴う大規模な改革であり、私自身を含め会員の皆様にとっても最も印象深い出来事だったのではないのでしょうか。

2. ”震”災から学ばせて頂く

4月16日1時25分に発声した熊本地震。その被災地は、いまだ復興途中であり多くの方々が非難生活を余儀なくされており、心が痛みます。2650地区から義捐金を人頭割で支援させていただきましたが、京都東山ロータリークラブとして、さらに何か支援できなきかということを役員一同で検討しておりました。その折、地区から、熊本県の中でも最もひがいの大きかった益城町を活動拠点としている熊本りんどうロータリークラブから支援依頼があるとの連絡がありました。自クラブは例会開催もままならない状態で、大分キャピタルロータリクラブを仲介しての依頼でしたので、早速、6月下旬に地区財団委員長とともに訪問させていただきました。そこで、震災の傷跡が残る地区の様子と現状を知ると同時に、復興を求める地域が求めているものの現実を知りました。熊本りんどうRCの希望はお金や物資の寄付というものではなく、被災者の家々が倒壊した際に出た瓦や廃材を廃棄場所に運ぶためのトラックが必要とのことでした。私達も頭で考え想像していた震災の支援とは全く違う事実を目のあたりにし、雷に打たれたかのように全身に激震が走った瞬間でした。

3. 心が”震”える

感動で、心が震えることが三つありました。一つめは、今年度、インターアクト、ローターアクト、地区の方々、小学校関係者、ロータリアンとともに、400数十名の参加者を迎え百々小学校で実施した「魚つかみ大会」です。私自身、多くの地域の皆様に参加いただいたことも感動いたしましたが、何よりも会員全員が、子供たちの外遊びに付き添い、肴つかみに挑戦する子供たちに声を掛け、捕まえた肴の調理に汗を流し協力しあう姿に触れたことが、最も感動した事業となりました。

二つめは、京都マラソンの給水ブースをインターアクト、ローターアクト、ロータリアンとの連携でスムーズに運営できたこと、特にマラソンに参加されたロータリアンお二方が無事完走されたことです。”凄い”という感動の一言につきます。

三つめは、昨年出来たばかりの野球同好会について、今年は当クラブのガバナー杯のお世話クラブで全試合に伺いましたが、60代・70代のロータリアンが活き活きとプレイされる姿と若々しさに感動し、心が振るえました。

4. 身”震”いで気がひき締まる出来事

『ロータリーは親睦にはじまる』といわれております。メイクアップに来られた方と名刺交換がご縁で、東京江東ロータリークラブがクラブをあげて皆さんで停会に出席いただくことができました。地区内には多くのロータリークラブがあるにも関わらず、当クラブの例会内容や活動の様子に深く関心を抱いていただき、遠方よりお越し頂けたという事実、わが京都東山ロータリークラブが如何に素晴らしいクラブであり、そのクラブの一員として活動できる幸に感動すると同時に、身震いで気が引き締まる出来事となりました。

5. 心”震”わす交流

私たちは、「ロータリーバッチを着用した方々を見かけたら、勇気をもって声をかけてみよう」という言葉を先輩から教えて頂いています。パストガバナー補佐が外食の際、ロータリーバッチを着けた方を見つけられ、お声をかけられたとのこと。するとその方は、横須賀西ロータリークラブの会員の方で、その場で意気投合。後日、会員全員で当クラブの例会にご出席いただけるという心震わす交流に結び付く出来事がありました。

振り返るとこの一年間の例会の日々や、ゲストスピーカーのお話、ご婦人同伴例会での落語会等々、各事業が走馬灯のように流れ、紙面で書き尽くすことが出来ないほどの経験をさせて頂きました。唯一の心残りは会員の増強です。今後は微力ですが、ご協力させていただこうと思っております。貴重な経験をさせて頂きました京都東山ロータリークラブの会員の皆様にはいくら感謝しても言い尽くせません。

追記として金沢南ロータリークラブさまとは、姉妹クラブ以上の関係を築き、家族を含めての親睦を深めいくことも申し合わせております。

会員の皆様とご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈りし、今年度会長としての報告とさせていただきます。一年間、ご支援いただきありがとうございますございました。

2016～17

第49代会長 渡 辺 剛 士

《 奉仕の心を大切に 》「奉仕を通じてロータリーを楽しもう」

2016～2017年度、京都東山ロータリークラブの会長として一年間努めてきました。会員のみなさまのご協力があったなんとか一年全うすることができました。一年を振り返りご報告させていただきます。

まず今年の会長テーマを「奉仕の心を大切に」サブテーマとそて「奉仕を通じてロータリーを楽しもう」とさせて頂きましたが、残念ながら、十分目的を達することとはできていないと思っています。国際奉仕事業として計画したネパールのゴルカ群に医療支援を行う予定であった。ロータリー財団のグローバル補助金事業は、様々な理由によって実現することができませんでした。今回は断念しましたが将来我がクラブでも海外の恵まれない人々にえんじょをできるような事業ができることを願っています。

年当初、目的としていたものを検証したいと思います。

まず会員の増強ですが、期首かいいんすうが73名でした。我がクラブでは創立以来初めてとなるロータリーアクトクラブから2名の入会があり、一年間で合計6名の新しい会員を迎えることができました。しかし様々な理由による会員の退会が8名ありました。そして1月には直前会長だった岩橋さんがお亡くなりになり、本当に残念でした。結局期末の会員数は70名となりました。本田会員増強委員長もがんばって頂いたのですが、このような結果になってしまい、大変申し訳なく思っています。

また今年度はクラブ定款、細則、内規の改定の年度でもあり、当クラブの戦略策定委員会や規定審議委員会協力をお願いして、RIから示された各クラブの裁量に任された多くの問題に対して検討していただき、最終的に5月のアッセンブリーにて会員の皆様の承認をいただきました。

次に毎年行っています京都マラソンの給水ブースでのボランティアでは、天候にも恵まれロータリアンやインターアクトの協力もあって、楽しく活動できました。福留会員と中村(吉)会員は4時間を切る快走でマラソンを完走されました。

また今年度は新しい試みとして、情報集会に加えて、ベテランの会員と新しい会員が交流できる機会として、インフォーマルミーティングを行いました。毎回楽しく盛り上がったあつたと報告を受けています。少しは目的を達成できかなと思っています。

またクラブの例会が楽しくなるゲストスピーカーの充実を試みましたが、小坂プログラム委員長のご協力により、概ね目的は達することができたとは思いますが、クラブフォーラムの回数が多くて講師例会の数がまだまだ少ないと思っています。この点に関しては思い切った改革ができなくて申し訳なく思っています。

また「走路系50周年」の準備に対する協力では、以前からの懸案であったテリトリーの拡大については、京都南ロータリークラブと親kクラブである京都東ロータリークラブをお願いして、我がクラブのテリトリーを山科区と東山区全域とする承認をいただき、ガバナーを通じてRIに認証していただきました。また年度が終わってすぐに開催される記念講演会や記念事業についても側面からお手伝いさせていただきました。

以上会員の皆様や理事やk員の皆様に多大なご協力をいただきまして何とか一年間を務めることができました。本当にありがとうございます。

2017～18

第50代会長 小 森 直 之

《 未来につながる東山 》

1984年4月2日発足いたしました京都東山ロータリークラブは50周年の節目を迎えることができました。現 京都東山ロータリークラブは昭和43年 1968年4月2日に京都東ロータリークラブをスポンサークラブとして、当時第365地区ガバナー平澤 興様、特別代表前田 勝様、エクステンション委員長梶原 基宏様の御教示の下、山科ロータリークラブとして発足しました。さて10年前、当時の会長中村 翠嵐が「これから、もう一度クラブを大きく変える」というメッセージを込め、“京都東山ロータリークラブ”と名称を変更しました。50年を迎えた本年度、京都東山ロータリークラブは、“未来に繋がる東山”を目標とし、75年、100年に繋ぐためクラブ会員一同邁進してまいりました。

本年度8月5日には、平成24年にノーベル生理学・医学賞を受賞された、京都大学iPS細胞研究所所長・教授 山中 伸弥先生をお招きし、『iPS細胞が開く新しい医学』と題し、当クラブ創立50周年記念事業特別記念講演会を開催いたしました。

地域の皆様からも多数の応募があり、当日は1,800名もの方にお越しいただきました。講演の最後に、当クラブから、iPS細胞の研究の今後のための寄付をお願いしたところ、一般来場の皆様から、多額の寄付を頂戴致しました。諸外国とは異なり、研究資金を集めることが難しい日本で、『iPS細胞』という新しい未来へ、来場された皆さまが目を向けて頂ける機会となりました。

現在、当クラブは30代 4名、40代 8名、50代 17名、60代 15名、70代 16名、80代 9名の会員構成です。
そして、未来を担っていく若い会員たちは、言うまでもなく我がクラブの”宝”であります。その宝が、未来に向け、さらに輝きを放つロータリアンとなっていく為には、我がクラブ会員各々がこの創立50周年という節目に、創立の原点への感謝を深め、時代の流れを見つめ、”変化をもたらすこと”への努力をし、またクラブへの”愛着と誇り”を持ち、今後も力強く活動していくことと確信しております。

無事50周年の1年を終えることができたのも、皆様のお力添えがあったからこそだと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

国際大会

年度	開催日	R.I.ガバナー(国名)	開催地(国名)	クラブ会員参加者
1993～94	'94:6/12	ロバートR. バース(スイス)	台北(台湾)	16名
1994～95	'95:6/11	ビル・ハントレー(英国)	ニース(フランス)	1名
1995～96	'96:6/18	ハーバートG. ブラウン(米国)	カルガリー(カナダ)	2名
1996～97	'97:6/15	ルイス・ビーセンテ・シレイ(アルゼンチン)	グラスゴー(スコットランド)	
1997～98	'98:6/14	クレン・W・キンロス(豪州)	インディアナポリス(米国)	
1998～99	'99:6/13	ジェーム・L.レイシー(シンガポール)	シンガポール(フィリッピン)	
1999～00	'00:6/4	カルロス・ラビッツァ(イタリア)	フェノスアイリス(アルゼンチン)	
2000～01	'01:6/5	ブランクJ. デブリン(英国)	バーキングム(英国)	
2001～02	'02:6/24	リチャードD. キング(米国)	バルセロナ(スペイン)	
2002～03	'03:6/1	ビチャイ・ラタクル(タイ)	ブリスベーン(オーストラリア)	
2003～04	'04:5/23	ジョナサンB・マジニアベ(ナイジェリア)	大阪(日本)	
2004～05	'05:6/18	クレイE・エステス・シミア(米国)	シカゴ(米国)	
2005～06	'06:6/11	カスール・V・ステンハマー(スウェーデン)	マルメ(スウェーデン)	
2006～07	'07:6/17	ウィリアムB・ボンド(ニュージーランド)	ソルトレーシティー(	
2007～08	'08:6/15	ウィルクリットJ・ウィルキンソン(カナダ)	ロスアンゼルス(米国)	
2008～09	'09:6/21	李東建(韓国)	バーミンガム(英国)	
2009～10	'10:6/20	ジョン・ケニー(スコットランド)	モントリオール(カナダ)	
2010～11	'11:5/21	レイ・クリンギンズミス(米国)	ニューオーリンズ(米国)	
2011～12	'12:5/6	カルヤン・バルネジ(インド)	バンコク(タイ)	
2012～13	'13:6/24	田中 作次(日本)	リスボン(ポルトガル)	3名+夫人2名
2013～14	'14:6/1	ロンD・バーソン(米国)	シドニー(オーストラリア)	
2014～15	'15:6/6	デイリーC. F. フアン(台湾)	サンパウロ(ブラジル)	
2015～16	'16:5/28	K. R. ラビンドラン(スリランカ)	ソウル(韓国)	
2016～17	'17:6/11	ジョンF. ジャム(米国の)	アトランタ(ベキ)	
2017～18	'18:6/23	イアンH. S. ライズリー(豪州)	トロント(カナダ)	1名+夫人1名

地区大会

年 度	開催日	ガバナー	開催場所	ホストクラブ	登録者数	クラブ関係事項
1993～94	4/23・24	本田 茂	国立京都国際会館	京都洛北RC	68	出席優秀クラブ
1994～95	4/22・23	二橋 貞雄	立命館大學びわこ草津キャンパス	草津RC	47	R財団特別地区奉仕賞
1995～96	4/20・21	坂部 慶夫	国立京都国際会館	京都西北RC	60	意義ある業績賞/国際RI会長賞
1996～97	4/19・20	中野 重宏	関西学術研究都市けいはんなプラザ	奈良平城RC	49	RI会長賞/出席優秀クラブ
1997～98	3/12・13	山田 三郎	ホテルニューオータニ大阪	京都RC	61	
1998～99	3/12・13	宮崎 茂和	大阪ドーム	京都RC	65	米山功労賞/出席優秀クラブ
1999～2000	4/22・23	大日方弘明	国立京都国際会館	京都洛西RC	46	米山功労賞/出席優秀クラブ
2000～01	4/21・22	山崎 時雄	ひこね市文化プラザ	滋賀彦根RC	44	ガバナー特別賞/会員増強賞
2001～02	4/27・28	西村 次郎	国立京都国際会館	京都南RC	41	
2002～03	4/5・6	岡村 吾郎	なら100年会館	奈良RC	22	米山記念奨学奉仕賞
2003～04	11/14・16	福井 正典	同志社大学京田辺キャンパス	洛南6RC	26	
2004～05	11/20・21	神谷 保男	あいあいプラザホール	福井敦賀RC	27	
2005～06	4/15・16	大久保 昇	国立京都国際会館	京都西南RC	35	
2006～07	3/31・4/2	平井 義久	国立京都国際会館	京都洛中RC	63	ガバナー広報奨励賞
2007～08	4/12・13	橋本 長平	国立京都国際会館	京都東RC	72	子ホスト・新東山功労クラブ
2008～09	4/11・12	川端五兵衛	大津プリンスホテル	近江八幡RC	41	ガバナー特別賞
2009～10	4/3・4	富田 謙三	国立京都国際会館	京都RC	54	ガバナー賞
2010～11	4/16・17	栗田 幸雄	福井商工会議所/フテルフシタ	福井北RC	34	
2011～12	3/31・4/1	今西 信弘	国立京都国際会館	京都南RC	39	
2012～13	4/13・14	河本 英典	びわこホール	大津RC	37	ガバナー賞
2013～14	3/29・30	坂本 克也	国立京都国際会館	京都八幡RC	34	
2014～15	4/11・12	北河原公敬	ホテル日航奈良	奈良大宮RC	41	
2015～16	4/2・3	中澤 忠嗣	ロームシアター京都	京都RC	38	米山功労賞 67回
2016～17	4/8・9	刀根荘兵衛	サントーム福井イベントホール	敦賀RC	28	
2017～18	4/7・8	田中 誠二	京都市勧業館みやこめっせ	京都東RC	46	子ホスト

インター・シティ・ミーティング(I. M.)

年 度	開催日	ホストクラブ	開催テーマ	開催場所	登録者数	クラブ関係事項
1993/94	93:8/28	京都北東RC	「”学童野球ロータリー”理念を体得し、行動に移そう」	宝ヶ池プリンス	58	
1994/95	94:8/13	京都桂川RC	「地域社会の人々と友達になろう」	都ホテル	64	
1995/96	95:8/26	山城RC	「ロータリーの原点に立つ」「私は燈台です。愛に光を」	京都ホテル	50	
1996/97	96:8/24	宇治鳳凰RC	「築け未来を 行動力と先見の眼で」	都ホテル	52	
1997/98	98:8/23	京都中RC	「”ロータリーの心”の理解と対応」	京都ホテル	65	
1998/99	98:8/22	京都紫竹RC	「あなたのクラブに、地域社会にロータリーの夢を」	都ホテル	64	
1999/2000	99:8/21	京都嵯峨野RC	「ロータリーの原点に返って考えよう」	京都ホテル	73	
2000/01	00:8/19	京都朱雀RC	「意識を喚起し-進んで行動を」	都ホテル	29	
2001/02	01:8/25	亀岡中央RC	「ロータリー活動での感動的な場面」	京都ホテル	49	
2002/03	02:8/24	田辺RC	「社会に自愛の種を播きましょう」	ホテルオークラ	39	
2003/04	03:8/23	モーニングRC	「手を貸そう」	ホテルオークラ	38	
2004/05	04:8/21	京都平安RC	「新世代育成問題」心の教育について	ホテルオークラ	28	
2005/06	05:8/20	京都西RC	「ロータリー次なる100年」未来は自らつくるもの	ホテルオークラ	41	
2006/07	06:8/19	京都山科RC	「ロータリーの絆」ロータリーの本質を問う	ホテルオークラ	82	
2007/08	07:8/18	乙訓RC	「和の心」職業奉仕を見直そう	ホテルオークラ	51	
2008/09	08:8/23	亀岡RC	「次世代にときめきを」ロータリーと街づくり」	ホテルオークラ	41	
2009/10	09:8/22	城陽RC	「育てようロータリアン」	ホテルオークラ	46	
2010/11	10:8/21	京都西南RC	「ロータリーを解剖する」	ホテルオークラ	34	
2011/12	11:8/20	京都伏見RC	「大震災 どうした、どうする、ロータリアン」	ホテルオークラ	41	
2012/13	12:8/18	京都洛北RC	「会員増強はなぜ必要か？」	ホテルオークラ	38	
2013/14	13:8/17	京都西北RC	「ロータリークラブの近未来を考えよう」	ホテルオークラ	42	
2014/15	14:8/17	京都紫野RC	「ともに語ろう」	ホテルオークラ	40	
2015/16	15:8/22	八幡RC	「これでいいのかロータリー」	ホテルオークラ	22	
2016/17	16: 8/20	京都西山RC	「ロータリーの力」	ホテルオークラ	28	
2017/18	17: 8/26	京都洛中RC	「ロータリーの原点と未来」こんなに変わるの・・・ロータリー	ホテルオークラ	36	パネラー:中村翠嵐

会員年度別役職一覧

入会日	会員名	1993～94	1994～95	1995～96	1996～97	1997～98	1998～99	1999～2000
H:28. 7. 5 2016	安倍 秀風							
H:27. 6. 2 2015	青山真由美							
H:27. 6. 2 2015	深海 季生							
H:25. 2. 5 2013	福川 敦子							
H:18. 7.18 2006	福留 幸一							
H:25. 2. 5 2013	布施 栄一							
H:23.10. 4 2011	橋本 幸司							
H:20. 1. 8 2008	平野 俊雄							
H:11. 9. 7 1999	本田 修造							親睦・RAC
H:20. 4. 1 2008	井川 正隆							
S:61. 9. 2 1986	今井 武男	S.A.A.(役)	会報	会報 プログラム(長)	クラブ奉仕(副) 親睦(長)	会計(役)	青少年(理) 特別委員会	健康管理
S:56. 1.13 1981	今村 晋平	会員増強	クラブ奉仕(副) 親睦(長)	会報・ソング(長)	無任所(理) 30周年準備(長)	会員選考(長) 30周年実委(副)	会長エレクト(理) ニコニコ(副)	第32代会長
S:51. 6. 1 1976	稲本 初弥	会員選考(副)	高齢者(副)	姉妹クラブ	30周年準備(副)	会員選考(副)	雑誌(副)	青少年交換
H:24.10. 2 2012	井上 正博							
S:59. 3.13 1984	井上 武雄	米山奨学(長)	国際奉仕(理)	職業奉仕(理)	第29代幹事	会員選考	青少年交換(長)	姉妹(副)
S:46.10.19 1971	磯田 好計	規定審議(長)	雑誌(長)	環境保全	奨学基金	環境保全(副)	環境保全	奨学基金
H:23.12.22 2011	上村 承生							
H:28. 7. 5 2016	加藤 晃久							
H:19. 7. 17 2007	川勝 裕之							
S:62. 9. 2 1986	川中 丈嗣	国際奉仕(理) 拡大準備	青少年(長)	RACト(副)	社会奉仕(副)	青少年 30周年実行委	社会奉仕(理)	無任所(理)
S:58. 8. 2 1983	木村 安輝	青少年(理)	青少年	副会計	ソング	第30代幹事	米山奨学	ボランティア(長)
H:20. 4. 1 2008	岸 弘祐							
S:49. 6. 4 1974	小林 一恵	ソング	規定審議(副)	プログラム R情報	プログラム	第30代副会長	ソング	プログラム(副) ソング
H: 9.12. 9 1997	小森 直之					親睦	親睦・RAC	ボランティア(副) 親睦
H:22..10.19 2010	郡 正樹							
H: 8. 9. 3 1996	小坂 文夫			増強	親睦・広報	親睦 健康管理	親睦・ニコニコ	親睦・増強
S:58. 5.17 1983	小山 信一	プログラム(副)	記録	姉妹 環境保全(副)	健康管理9長)	高齢者(副)	高齢者(長)	社会奉仕
H: 2. 5. 8 1990	松井 信五	副会計 青少年	S.A.A.(副)	出席(副) 青少年	記録(長) 増強・青少年	RAC 雑誌(長)	副幹事	国際奉仕(理)
H:24. 5.15 2012	松下 明史							
H:24.10. 2 2012	村岡 正浩							
H:21. 3.24 2009	村田 好謙							
H:23.12.22 2011	中川 公孝							
S:60.10. 1 1985	中村 弘吉	高齢者	R財団(副) 健康管理	健康管理(副) 環境保全	副会計	健康管理(副)	米山奨学(副)	健康管理(長)
S:59.10. 2 1984	中村 翠嵐	雑誌(長)	職業分類(長)	R情報(副)	R情報(長)	国際奉仕(理)	第31代幹事	広報(長) 国際奉仕
H:24.10. 2 2012	中村 吉晴							

2000～01	2001～02	2002～03	2003～04	2004～05	2005～06	2006～07	2007～08	2008～09	2009～10	2010～11	2011～12	2012～13	2013～14	2014～15	2015～16	2016～17	2017～18
																親睦・RAC	親睦・RAC(副)
																親睦・副S.A.A.	親睦・IAC・増強副・IAC地区大会
																親睦 京都マラソン	副幹事・親睦・増強副・IAC地区大会
												親睦 RAC	親睦	親睦 RAC	副S.A.A. 親睦・RAC	親睦・RAC	親睦・米山奨学雑誌(長)
						ニコニコ シンボク	新世代・親睦	副S.A.A.・親睦 RAC・障害者水泳	副幹事 留学生フェスタ	広報(理)・青少年奨学会報・記録(長)	会報・記録 青少年奨学(長)	新世代(理)地区IAC	親睦・IAC(副)地区IAC・増強	R財団(理)・京都マラソン地区IAC	IAC・青少年奉仕地区IAC	米山奨学(長) 50周年広報・地区IAC	SAA・戦略策定・R情報 50周年広報・地区IAC
												親睦・IAC	親睦 IAC	IAC(副) 増強	副幹事・プログラム 国際奉仕	クラブ管理・親睦 青少年・会報(長)	副SAA・クラブ管理 青少年・会報(長)
											親睦・ニコニコ	親睦・RAC ニコニコ・45周年実委	ニコニコ・増強 RAC	副S.A.A. IAC・京都マラソン	ニコニコ 京都マラソン	副幹事・IAC	クラブ管理(副) 親睦・京都マラソン
							青少年奨学 親睦	ニコニコ 親睦	親睦・米山奨学	副幹事	社会奉仕 副S。A.A。	国際奉仕(理) 45周年委・京都マラソン	S.A.A.(役) 広報	増強(理)	クラブ管理 姉妹(長)・R情報	職業奉仕(役)・奉仕P 米山奨学・戦略策定	クラブ管理(理)・親睦(副) 「戦略策定・50周年式典
親睦・ニコニコ RAC	親睦・ソング(長) RAC(副)	副幹事 RAC(長)	副S.A.A.・RAC ON・TO大阪	出席(長) 親睦	会計(理)	副幹事 親睦	副幹事	クラブ管理(理) 障害者水泳(副)	S.A.A.(役) 留学生フェスタ(副)	R財団(長) 地区財団寄金	第44代幹事 地区財団寄金	R財団(副)・戦略策定 地区財団寄金	姉妹(長) 地区財団寄金	R財団(副) 地区財団寄金(長)	R財団(副) R財団	増強(理) R財団	社会奉仕(理) 奉仕プロ・クラブ戦略
								ニコニコ 親睦	親睦 R財団	副S.A.A. 親睦	副幹事 米山奨学(副)	副会計・広報	会計(役)・親睦(副) 京都マラソン	ニコニコ 京都マラソン(副)	R財団	青少年奉仕	米山奨学(長) R財団・ニコニコ
会報(長)	会報(長)	会報(長) インターネット	会報(長) インターネット	会報(長) 記録	会報・記録(長) 規定審議(長)	雑誌、会報(長)	雑誌、会報(副)	雑誌、会報 障害者水泳	会長エレクト(理) 第42代副会長	第43代会長	直会長(理) 広報、雑誌・兆区選洛	会報・記録(副) 45周年実委	会報・記録(副)	社会奉仕(副)	会報記録(副)	会報記録 50周年記念誌(長)	プログラム(副)・会報 50周年記念誌(長)
親睦	R情報(長) 米山奨学	姉妹(長)	親睦(副) 地区R財団	社会奉仕 地区R財団	環境保存 地区財団(副)	プロジェクト推進(長) 地区財団(副)	R財団(長)	R財団(理) 障害者水泳	規定審議(長)	姉妹(副) 青少年奨学	R情報(長) 長期戦略(長)	プログラム(長)	国際奉仕(理) IAC・クラブ戦略(長)	会報・記録(副) クラブ戦略	増強・戦略策定 規定審議(長)	会報選考(長) 50周年姉妹(長)	クラブ管理・規定審議 50周年姉妹(長)
国際奉仕(副)	第34代副会長 退会防止(長)	会長エレクト(理)	第36代会長 R研究特別(副)	R情報(副)	国際奉仕	国際奉仕	社会奉仕(副)	国際奉仕	国際奉仕	会員選考	姉妹	国際奉仕	国際奉仕	R情報(副)	R情報(役)	職業奉仕(副)	国際奉仕
												会報・記録 親睦	親睦	RAC	親睦・RAC 京都マラソン(長)・R財団	職業奉仕・米山奨学 RAC(副)・京都マラソン	親睦・広報
奨学基金(長)	国際奉仕 青少年交換(副)	第35代副会長	奨学基金	規定審議(長)	クラブ奉仕(理)	副S. A. A. 規定審議	クラブ奉仕(副)	国際奉仕(長)	プログラム(長)	会員選考(副)	会員選考(長)	R情報(副) IAC	プログラム(副)	米山奨学(副)	国際奉仕(副)・米山奨学 地区米山奨学	プログラム・R情報(副) 地区米山奨学	会員選考副・R情報 50周年記念誌(副)
社会奉仕	ボランティア	社会奉仕	青少年交換	親睦	会報・記録 規定審議・ボランティア	社会奉仕	会員選考(副)	R情報	プログラム	社会奉仕	会報・記録	R財団	R情報	クラブ管理(副)	社会奉仕(副) R情報	社会奉仕	職業奉仕
											親睦・ニコニコ	親睦・RAC	副S.A.A. RAC・米山奨学	副幹事・親睦	クラブ管理・京都マラソン 会報記録(長)・ニコニコ	クラブ管理・規定審議(副) 会報記録(長)・副会計	会計(役)・ニコニコ 京都マラソン(副)
																親睦・RAC	親睦・RAC 国際奉仕
							ニコニコ 親睦	米山奨学・親睦 青少年奨学	親睦(副) 新世代	RAC(長)	RAC(長)	広報(理)	副S.A.A.・増強(副) 京都マラソン(長)	広報(理) 「地域の子供達」実委	奉仕P RAC(長)	親睦(役)	増強(理)・広報 50周年広報(副)
ボランティア(副)	無任所(理) 「教育のひろば」委員長	クラブ奉仕(理)	会員増強	職業分類(長)	増強(長)	広報(理) 装いの集い	ニコニコ(副)	職業奉仕(長)	規定審議(副)	会長エレクト(理) 青少年奨学	第44代会長 表記戦略	直会長(理)	会員選考 クラブ戦略	奉仕P(副)	奉仕P(副) 戦略策定	R財団(副) 50周年接待(長)	増強 50周年接待(長)
R情報(副)	クラブ奉仕(理)	ニコニコ(長)	増強(長)	姉妹(長)	プログラム・会報 記録・規定審議	規定審議(長) プロジェクト推進	会長エレクト(理)	第41代会長	広報	プログラム(フク)	S.A.A.(役) 長期戦略・青少年奨学	増強(理)・戦略策定 45周年委・IAC検討(長)	増強(副)	青少年 IAC(長)	クラブ管理(理) IAC(副)	広報(理)・IAC 50周年事業(長))	奉仕プロ(理)・IAC大会 50周年事業(長)・戦略
								親睦・米山奨学	親睦・R財団	親睦 新世(長)	副幹事・社会奉仕 会報記録(長)	会報記録(長) RAC・45周年式典	会報記録(長) ニコニ(副)	職業奉仕(役) 歓声と笑顔の一日	広報(理) 社会奉仕	国際奉仕・雑誌(長) 京都マラソン	親睦・会報(副)
会長エレクト(理)	第34代会長	青少年交換	R情報(副) 京都デー実行	雑誌(長)	会員選考(長) 職業分類(長)	クラブ奉仕・親睦	青少年奨学(副)	親睦	R情報(長)	会員選考 特別委員会		会員選考(長) IAC検討委員	IAC	プログラム(副)	青少年奉仕(副)	会員選考(副)	広報
社会奉仕(副) ニコニコ	ソング(副) RAC(副)	副幹事・記録 インターネット	青少年交換(長) RAC	インターネット(副)	雑誌・広報(副) インターネット(副)・RAC	新世代(長) 青少年奨学	増強(理)	S.A.A.(役) 障害者水泳フェス	クラブ管理(理) 留学生フェス(副)	国際奉仕(理) 増強・特別委	国際奉仕(理) 姉妹	第45代幹事(役) クラブ戦略・宝ヶ池駅伝	副S.A.A.・増強・IAC RAC(副)・戦略策定	親睦(理) R情報	ニコニコ・社会奉仕 戦略策定	会長外 戦略策定	第50代会長(理) 戦略策定
										親睦・新世代	親睦・RAC	広報・米山奨学・親睦 宝ヶ池駅伝・雑誌(長)	副会計 会報記録	副幹事・雑誌 青少年奉仕・京都マラソン	社会奉仕(役) ニコニコ・奉仕P	青少年奉仕(役) 奉仕P・増強	副SAA・クラブ管理 ニコニコ(長)・姉妹
会計(役)	環境保全(長)	S.A.A.(副) ローターアクト	副幹事 米山奨学(副)	R財団(副) 親睦	国際奉仕(理)	R財団(理) 装いの集い	クラブ奉仕(長)	副S.A.A.	第42代幹事(理)	ニコニコ	プログラム(長)	会計(役) 45周年実委員	姉妹(副)	青少年奨学(長) 奉仕P	増強 会員選考(長)	クラブ管理・プログラム(長) 50周年会計(長)	R情報(副)・地区R財団 50周年会計(長)
職業分類(長)	記録(長)	国際奉仕(理)	環境保全(長)	ボランティア(長) 環境保全(副)	会長エレクト(理) 第38代副会長	第39代会長	親睦	副S.A.A. 障害者水泳フェス	社会奉仕(副)	ニコニコ	社会奉仕	プログラム(長)	親睦(副)	ニコニコ(副)	副S.A.A. 職業奉仕(副)	クラブ管理(副)	増強
R財団(長)	S.A.A.(役)	会計(役)	S.A.A.(副) 環境保全(副)	社会奉仕(理)	副会計 親睦・出席(副)	第39代幹事	プログラム(長)	広報(理) 障害者水泳(副)	広報(理) 留学生フェス(副)	増強(理)	会長エレクト クラブ戦略	第45代会長 IAC検討委員	直会長(理) 京都マラソン	副S.A.A.・親睦 戦略策定(長)	戦略策定(役) 親睦(副)・50周年(副)	クラブ管理(理) 親睦(副)・50周年(副)	広報(理)・R情報 50周年(副)
											親睦	親睦・RAC	親睦・R財団(副) 社会奉仕	副幹事・親睦 IAC	副会計・ニコニコ(長) クラブ管理	会計(役) 会報記録(副)	副SAA・親睦・50周年総 務・雑誌・IAC地区大会
												親睦・新世代	親睦	親睦 RAC	親睦・広報 副幹事	副S.A.A.・増強 京都マラソン(副)	クラブ管理・広報 親睦(長)
								親睦	親睦・RAC	親睦・ニコニコ	副会計 社会奉仕	副幹事	ニコニコ(長) 増強	副S.A.A.・京都マラソン 社会奉仕・増強	青少年奉仕・雑誌 京都マラソン	副幹事・RAC プログラム	職業奉仕(理) 米山奨学
											親睦 RAC	親睦・広報 RAC	副S.A.A.・R財団 RAC・会員選考(副)	親睦	IAC・京都マラソン 米山奨学(長)・R財団	親睦(副)・社会奉仕 京都マラソン	副会計・親睦 青少年
会員選考(長)	米山奨学	環境保全(副)	国際奉仕	プログラム	社会奉仕	増強	R財団(理)	社会奉仕(長)	職業奉仕	規定審議(副)	規定審議	奉仕プロ(理) 宝ヶ池駅伝(副)	会員選考	規定審議(長) R情報	育成基金(長) 親睦	第49代会長	無任所(理)・R情報(長) 50種年式典・規定審議
プログラム(長)	R財団 地区RR財団	親睦(長)・地区R財団 クラブ奉仕(副)	第36代副会長	プログラム(長) 姉妹	姉妹 ボランティア(長)	会長エレクト プロジェクト推進	第40代会長	RAC	増強(副)	職業奉仕(副) 特別委員会	増強(副) クラブ戦略	プログラム・戦略策定副 45周年式典(長)	戦略策定(副) ガバナー補佐	R情報(理) 戦略策定・ガバナー補佐	50周年(役) R情報・戦略策定	50周年記念(役) 戦略策定・増強	50周年記念(役)
												親睦・RAC	親睦・会報記録	親睦・RAC(副)	親睦・奉仕P IAC(長)	副幹事・広報 IAC(副)	奉仕プロ・青少年 RAC(長)

入会日	会員名	1993～94	1994～95	1995～96	1996～97	1997～98	1998～99	1999～2000	2000～01	2001～02	2002～03	2003～04	2004～05	2005～06	2006～07	2007～08	2008～09
H:25. 2. 5 2013	中西 敏之																
H:18. 7.18 2006	中塚 浩														ニコニコ・親睦 RAC	親睦・社会奉仕	RAC 障害者水泳フェス
H: 9. 9.30 1997	名筋 淳二					親睦	出席・親睦	奨学基金(長)	親睦・R財団	RAC	副幹事 記録(副)	親睦 米山奨学(長)	国際奉仕(理)	副幹事・姉妹	RAC・広報(副)	国際奉仕(副)	職業奉仕(副)
H:29. 9. 6	内藤 陽子																
S:56. 4.21 1981	西村 孝之	第26代幹事	RAC プログラム(副)	RAC長) 会報(副)	RAC	RAC(副) 会報	地区RACト委員 RAC	地RACト委員	地区RAC委員 R財団(副)	RAC 地区RAC(副)	RAC(副) 地区RAC(副)	RAC 地区RAC(長)	会長エレクト(理) 地区RAC(長)	第38代会長 地区RAC(副)	規定審議(副) 地区RAC(副)	RAC 地区RAC(長)	青少年奨学(長)
H: 4. 6.16 1992	大藤 光夫	プログラム	親睦・ニコニコ	米山奨学(長) プログラム	職業奉仕(副)	ニコニコ	会計(役)	米山奨学(長)	青少年交換(副)	出席(副)	R財団	奨学基金	R情報	雑誌、広報 ニコニコ	ニコニコ	副会計	姉妹(副) 地区財団
H:22.10.19 2010	岡武 和暁																
H:22.12.14 2010	大木 義秀																
H:25. 5.21 2013	奥田 敏信																
S:54. 4. 3 1979	小野 富造	会報	会報(副) 雑誌	規定審議(長)	姉妹(長) 規定審議	プログラム(長)	第31代副会長	規定審議(長)	環境保全(長)	増強(副)	親睦(副)	R情報特別(長)	R情報(長)	親睦・出席	増強(理) プロジェクト(サ)	第40代幹事(役)	規定審議(長)
H:20. 7.15 (再) 2008	坂田 均	親睦	親睦	親睦・RAC ニコニコ	RAC 親睦	S.A.A.(副)	増強(副) 職業奉仕	姉妹(長)	米山奨学	規定審議(長)	米山奨学(長)	職業分類(長)	環境保全 青少年交換(副)	雑誌・広報・インターネット 青少年交換(副)			ニコニコ・親睦
S:58. 8. 2 1983	佐貫 将一	雑誌(副)	青少年(副) RAC(長)	青少年(理)	増強(長) 米山奨学(副)	米山奨学(副)	社会奉仕 高齢者(副)	会員選考(長)	青少年 RAC	親睦	ニコニコ(副)	無任所(理) R研究特別(長)	増強・退会(長) 青少年交換(副)	親睦・出席 職業奉仕(副)	無任所(理) 装いの集い	副S.A.A.	クラブ奉仕(長)
H:23.12.22 2011	佐々木虚室																
H:22.12.14 2010	関根 淳子																
H:10. 8.11 1998	柴田 義典													職業奉仕	ニコニコ 装いの集い(長)	広報(長)	新世代(長)
H:28. 7. 5 2016	茂山 良暢																
H:14. 7.16 2002	清水 泰博													副幹事 親睦・出席	RAC(長)	副S.A.A.	ニコニコ(長)
S:62.11.10 1987	塩路 徹	プログラム	国際奉仕 米山奨学(長)	職業奉仕(副) 高齢者	雑誌(長)	ニコニコ(長)	姉妹(副) RAC	青少年交換(長)	出席(長)	国際奉仕(理)	雑誌・広報	S.A.A.(役)	職業分類	会報・記録 規定審議・姉妹(長)	米山奨学(長)	米山奨学(副)	広報(長) プログラム
S:59. 2.14 1984	末松 哲夫	増強(長)	職業奉仕(副)	国際奉仕(理)	R財団9長)	増強(長)	奨学寄金(副)	環境保全(副)	親睦(副) RAC	米山奨学(長)	親睦	クラブ奉仕(理)	奨学寄金(長)	プログラム(副) ボランティア	クラブ管理(理) 装いの集い	新世代(副)	第41代副会長
S:61. 9. 2 1986	杉崎 則夫	プログラム(長)	広報(副) 職業奉仕	親睦(長)	ニコニコ RAC(副)	社会奉仕(理)	プログラム(副)	クラブ奉仕(理)	ソング(副)	雑誌・広報(長)	姉妹(副)	プログラム	親睦(副)	プログラム 奨学寄金副()	プログラム(長)	増強(副)	広報(副)
S:54. 1.23 1979	鈴木 敏治	姉妹(副) 拡大準備	会計(役)	姉妹(長)	プログラム	姉妹(長)	クラブ奉仕(理)	国際奉仕(副)	第32代副会長 地区米山委員	会員選考(長) 姉妹・地区米山	青少年交換(長) 地区米山委員	会長エレクト(理)	第37代会長	国際奉仕(副)	姉妹	姉妹(副)	米山奨学(副)
H:21. 3.24 2009	竹之内米貴																親睦
S:56.10. 6 1981	谷川 博造	ソング(長)	クラブ奉仕(理)	第28代幹事	R情報 ニコニコ	規定審議(長)	ボランティア(副)	ソング(副)	無任所(理)	職業分類(副)	プログラム(長)	クラブ奉仕(理)	ソング(長)	増強・退会 ニコニコ	第39代副会長	プログラム(副)	R財団 障害者水泳フェス
H: 1.11.28 1989	戸田 義高	出席(服)	S.A.A.(副)	プログラム(副) 社会奉仕	プログラム(副) 広報(長)	職業奉仕(理)	会員選考(長)	S.A.A.(役)	米山奨学(副)	職業奉仕(副)	環境保全(長)	プログラム(長)	新世代(理)	R財団(長)	職業奉仕(副)	親睦(長)	奉仕プロ(理) 障害者水泳フェス
S:62.11.10 1987	植野 清富	社会奉仕(副) 高齢者(長)	ニコニコ(副)	記録(長)	環境保全(長)	親睦 ソング	国際奉仕(副) R財団(長)	記録(長) ニコニコ	国際奉仕(理)	青少年(理)	奨学寄金(長)	会計(役)	副会計	第38代幹事	青少年奨学(副)	ニコニコ	米山奨学(長)
H: 4. 6.16 1992	渡辺 剛士	親睦・出席	親睦 米山奨学	ニコニコ(副) 国際奉仕	国際奉仕 青少年(副)	国際奉仕(副) 青少年交換(長)	副幹事	出席(長)	S.A.A.(副)	親睦(副)	国際奉仕(理)	副会計 姉妹(長)	会計(役)	クラブ奉仕(副) 親睦・出席(長)	国際奉仕 装いの集い	S.A.A.(役)	第41代幹事(役)
H:29. 8. 2	渡邊 恭章																
入会日	会員名	1993～94	1994～95	1995～96	1996～97	1997～98	1998～99	1999～2000	2000～01	2001～02	2002～03	2003～04	2004～05	2005～06	2006～07	2007～08	2008～09
H:14. 4.23 2002	薮下 清三									親睦 ニコニコ	親睦 ニコニコ	親睦 奨学寄金(副)	副幹事 RAC(副)	副幹事 RAC(長)	社会奉仕(副) ニコニコ(長)	会計(役) 職業奉仕	RAC(長) 障害者水泳(副)
H:26. 7.26 2014	山田幸一郎																
H:19. 7.17 2007	山本 真也															親睦・RAC	青少年奨学 親睦
H:19. 7.17 2007	安澤 英治															親睦・RAC	親睦・ニコニコ
H: 7.10. 3 1995	横井 康治				RAC 親睦	ソング	増強(長)	青少年交換(副)	ニコニコ	R財団	会員選考(長)	ニコニコ(副)	奨学寄金	会報・記録 規定審議	ニコニコ(副)	姉妹・クラブ奉仕	社会奉仕
H:27. 7. 7 2015	寄本 猛																
H:21. 8. 4 2009	吉田 武雄																
S:43. 4. 2 1968	吉田 良武	R情報 拡大(長)	R情報(長)	会員選考	30周年準備長	30周年実委員長	会員選考	職業分類	R情報	記録	環境保全	姉妹	会員選考	親睦・出席	R情報	規定審議(副)	国際奉仕(副)

2009～10	2010～11	2011～12	2012～13	2013～14	2014～15	2015～16	2016～17	2017～18
			親睦・ニコニコ	親睦・会報記録 会員選考	親睦・広報	親睦・会報記録 RAC(副)・米山奨学	社会奉仕(役) RAC(長)	プログラム・姉妹 京都マラソン
副S.A.A. 留学生フェスタ	職業奉仕(長)	米山奨学(長) 親睦	S.A.A.(役) 45周年宝ヶ池駅伝	R財団(理) 京都マラソン	青少年奉仕(役) 青少年奨学・笑顔の1日	広報・雑誌(長)	社会奉仕(役) 奉仕P	第50代幹事(理) 戦略策定
国際奉仕(副)	ニコニコ(副)	広報(理) 青少年奨学	新世代	新世代(副)	広報(副)	会計(役)	ニコニコ・奉仕P(副)	社会奉仕(副) 姉妹
								親睦・ニコニコ
姉妹(長)	国際奉仕(副)	広報・雑誌(副)	増強	新世代	青少年奉仕(副)	ニコニコ(副)	青少年奉仕(副)	会報
副会計	R財団	国際奉仕	青少年期金	青少年基金(副) 職業奉仕	青少年期金	選考(副)	R財団	職業奉仕 米山奨学
	親睦	親睦 社会奉仕	副S.A.A.・親睦 RAC(副)・45周年式典	副幹事・RAC 京都マラソン	青少年奉仕 RAC(長)・国際奉仕	第48代幹事(理)	IAC(長) 京都マラソン	青少年(理)・奉仕P(副) IAC地区大会(副)
	親睦	親睦 R財団	親睦・RAC R財団・宝ヶ池駅伝	R情報 R財団	ニコニコ	雑誌・R財団	社会奉仕	プログラム
			親睦 IAC検討	親睦・IAC	親睦・IAC	親睦・IAC プログラム(副)	親睦・姉妹 IAC	クラブ管理・IAC プログラム(長)・IAC大会
会報・記録(副) 留学生フェス(副)	青少年奨学(副) 特別委員会	国際奉仕(副)	45周年式典・駅伝(副) IAC検討・戦略策定	会長エレクト(理) IAC・戦略策定	第47代会長	直会長(理)・R情報(副) 戦略策定・50周年(副)	R情報(長) 50周年(副)	規定審議(長)・副幹事 50周年(副)
雑誌(長)	S.A.A.(役)	規定審議(長) プログラム(副)	職業奉仕(理) R財団	第46代幹事(理)	社会奉仕(役)・笑顔の1日 会報・奉仕P・戦略策定	増強(理) 広報(副)	奉仕P(理) 増強・戦略策定(副)	会長エレクト(理)・戦略(副) 規定(副)・50周年事(副)
ニコニコ(副)	R情報(副)	R財団	親睦 増強(副)	R情報(副) 増強	親睦	増強・姉妹	親睦	会員選考
		親睦 米山奨学	親睦・RAC	親睦・RAC 作陶茶会	職業奉仕・京都マラソン 米山奨学(長)・副S.A.A.	副幹事 京都マラソン	ニコニコ 雑誌(副)	会報・社会奉仕 職業奉仕
	親睦	親睦・ニコニコ	親睦・RAC 45周年式典	副S.A.A. 社会奉仕	クラブ管理・増強 プログラム(長)	副S.A.A. 米山奨学	ニコニコ(副) R財団	奉仕プロ・R財団 国際奉仕(副)
R財団(長) 留学生フェスタ	親睦(長)・増強	新世代(長)	クラブ管理(理) 45周年実委員	京都マラソン	R財団・京都マラソン(副) 歓声と笑顔の1日	親睦	米山奨学	R財団(理) 親睦・RAC
							親睦・RAC	親睦・RAC プログラム・京都マラソン
職業奉仕(理) 留学生フェスタ	青少年奨学(長) 特別委員会(副)	青少年奨学	社会奉仕・広報(副) 宝ヶ池駅伝	職業奉仕(理) 社会奉仕・米山奨学(副)	姉妹(長) 京都マラソン(長)	R財団(理) 社会奉仕	第48代幹事(理)	プログラム・戦略策定 ニコニコ(副)
プログラム	増強(副)	職業奉仕	ニコニコ 国際奉仕(副)	奉仕プロ(理)	増強(副)	会員選考	プログラム(副)	職業奉仕(副)
増強(理) 留学生フェスタ	増強 特別委員会	会員選考(副)	45周年実(副) プログラム	米山奨学(長)	RAC	社会奉仕・RAC 米山奨学(副)	青少年奉仕	会員選考
米山奨学(副)	増強 特別委員会	国際奉仕	会長エレクト(理) 戦略策定	第46代会長 戦略策定	直会長 戦略策定	規定審議(副)	米山奨学(副) R情報	会報
姉妹(副)	規定審議	姉妹(副)	姉妹(副)	R情報・姉妹	姉妹(副)	姉妹(副)	姉妹(副)	姉妹
親睦・ニコニコ	親睦 青少年奨学	親睦・姉妹(長) 職業奉仕	副幹事	RAC(長)	会計(役)・笑顔の1日 国際奉仕	青少年奉仕(役) 奉仕P	クラブ管理 ニコニコ(長)・社会奉仕	副幹事・IAC IAC地区大会
奉仕プロ(理) 留学生フェス(長)	姉妹	会員選考	親睦(長)	姉妹	増強 会員選考(長)	クラブ管理 プログラム(長)	雑誌 50周年式典(長)	親睦・青少年(副) 50周年式典(長)
RAC(長)	規定審議(長)		規定審議(副)	規定審議	姉妹	第47代副会長	国際奉仕(副) 規定審議	IAC地区大会(長) 青少年
新世代(副)	副S. A. A. 新世代	ニコニコ(副)	ニコニコ(副)	既定審議(長) 作陶茶会	雑誌(長)	ニコニコ 雑誌(副)	社会奉仕(副) 青少年奉仕	雑誌(副)
ニコニコ(長)	プログラム(長) 特別委員会	奉仕プロ(理) 規定審議(副)	無任所(理)・戦略策定 宝ヶ池駅伝(長)	第46代副会長 京都マラソン・戦略策定	クラブ管理(理) 会長エレクト 戦略策定・笑顔の1日	戦略策定(副)	第49代会長 戦略策定	直前会長(理) 増強・戦略策定
								親睦・RAC R財団
2009～10	2010～11	2011～12	2012～13	2013～14	2014～15	2015～16	2016～17	2017～18
副S. A. A. 留学生フェスタ	米山奨学(長)	増強(理) 社会奉仕・青少年奨学	副S.A.A.	京都マラソン(副)	第47代副会長	奉仕P(理)	R財団(理)	R情報・社会奉仕 選考(長)・50周年接待
					親睦・ニコニコ 米山奨学	親睦・ニコニコ RAC・京都マラソン(副)	親睦・会報記録 京都マラソン(長)	親睦・青少年(副) IAC地区大会
親睦・RAC	副S. A. A. R財団(副)	青少年奨学 RAC(副)	S.A.A.(表)・IAC検討 宝ヶ池駅伝	副幹事・RAC 作陶茶会・IAC	副会計・RAC ニコニコ・京都マラソン	親睦(役) クラブ管理	副S. A. A. プログラム	IAC(副)・IAC地区大会 RAC・京都マラソン
副幹事・姉妹 留学生フェスタ	副S. A. A. 会報・記録(副)	親睦(長) 青少年奨学	ニコニコ(長)	ニコニコ・京都マラソン 新世代。国際奉仕	国際奉仕(役) 歓声と笑顔の1日(長)	国際奉仕(役) 奉仕P	国際奉仕(役) 奉仕P	国際奉仕 米山奨学(副)
R情報	クラブ管理	クラブ奉仕(副)	ニコニコ	ニコニコ	社会奉仕	国際奉仕	広報	社会奉仕
						親睦	親睦 職業奉仕	親睦・増強 副幹事
親睦 青少年奨学	親睦・RAC R財団	副S. A. A. 青少年奨学	副幹事 米山奨学(長)	広報(長) プログラム(理)	第47代幹事(理) 戦略策定	職業奉仕(役) 奉仕P・米山奨学	SAA(役)・増強 50周年総務(長)	国際奉仕(理)・選考 50周年総務(長)
会員選考	雑誌	R情報	選考(副)	会員選考	会員選考	育成基金(副)	R情報	社会奉仕

1993～1994年度 理事・役員・委員会構成表

会 長	(理事) 小 田 義 彦	会 計	(役員) 岸 信 太 郎
会長エレクト	(理事) 谷 口 良 三	S. A. A.	(役員) 今 井 武 男
副 会 長	(理事) 木 村 秀 雄	副 幹 事	安 倍 秀 風
幹 事	(理事) 西 村 孝 之	副 幹 事	橋 本 幸 男
ク ラ ブ 奉 仕	(理事) 茨 木 弘 三	副 S. A. A.	手 塚 充
職 業 奉 仕	(理事) 西 尾 重 雄	副 S. A. A.	日 比 野 修
社 会 奉 仕	(理事) 今 川 武 志	副 会 計	松 井 信 五
国 際 奉 仕	(理事) 川 中 丈 嗣		
青 少 年	(理事) 木 村 安 輝		
パスト・ガバナー 増 田 房 二			
委 員 会		委 員 長	副 委 員 長
ク ラ ブ 奉 仕		茨 木 弘 三	高 山 雄
出 席	平 塚 厚 磨	戸 田 吉 高	井上 幸次・渡辺 剛士
職 業 分 類	横 田 治 男	竹 本 昌 生	杉 田 信 夫
ク ラ ブ 会 報	増 田 紘 明	田 中 久 雄	中 川 正 文・小 野 富 造
親 睦 活 動	高 山 雄	村 田 佳 博	福住 清之・船越 和博・井上 幸次 川崎 昭夫・六車 雄二・中嶋 克美 山本 敏雄・渡辺 剛士・浅見五郎助 山本 久義・横尾 浩志
雑 誌	中 村 翠 嵐	佐 貫 将 一	中西美代蔵
会 員 選 考	宇 野 久 夫	稲 本 初 弥	小 坂 進
会 員 増 強	末 松 哲 夫	前 林 正 典	田村 和夫・太田 美実・今村 晋平 高谷 寿一・村元 健眞・石原 隆光
プ ロ グ ラ ム	杉 崎 則 夫	小 山 信 一	西川 憲一・平田 清嗣・塩路 徹 矢口 一夫・大藤 光夫
広 報	黒 澤 巖	砂 崎 道 夫	木 村 茂
ロ ー タ リ ー 情 報	若 山 敬 祐	野 村 泰 三	大野木繁夫・説田 武・吉田 良武
規 定 審 議	磯 田 好 計	小 澤 利 夫	広 岡 泰
記 録	竹 市 泰 和	阿 部 勲	堀 部 素 弘・川 崎 昭 夫
健 康 管 理	坪 井 嘉 蔵	浅 田 喜 八 郎	岡 村 博
姉 妹 ク ラ ブ	西 村 正 一 郎	鈴 木 敏 治	廣 田 長 三 郎
ニ コ ニ コ 箱	高 倉 信 夫	西 出 澄 弘	船越 和博・浅見五郎助・山本 久義 横尾 浩志
ソ ン グ	谷 川 博 造	城 山 健 太 郎	中 川 正 文・小 林 一 恵
職 業 奉 仕	西 尾 重 雄	大 木 博	小 原 晃
社 会 奉 仕	今 川 武 志	植 野 清 富	井 上 澄 男・川 澄 正 彰
環 境 保 全	井 上 澄 男	林 正 良	那 須 貞 二
高 齢 者	植 野 清 富	稲 本 初 弥	江 川 壽 明
国 際 奉 仕	川 中 丈 嗣	知 公 智 之	佐 藤 富 士 男・内 海 正 三・内 海 貴 夫
ロ ー タ リ ー 財 団	内 海 正 三	内 海 貴 夫	中 嶋 克 美
米 山 記 念 奨 学	井 上 武 雄	井 上 勝	増 田 房 二・山 本 敏 雄
青 少 年	木 村 茂	小 林 一 恵	榎 原 一 雄・島 村 昭 平・細 谷 正 八 郎 松 井 信 五
青 少 年 育 成 奨 学 基 金	榎 原 一 雄	布 垣 裕 嗣	嶋 村 正 平・六 車 雄 二
青 少 年 育 成 奨 学 基 金 運 営	茨 木 弘 三	嶋 村 正 平	榎 原 一 雄・石 本 常 利・前 林 正 典
ロ ー タ ー ア ク ト	細 谷 正 八 郎	宮 本 博 史	諏 訪 蘇 山・武 田 文 男・山 中 鉄 一 日 比 野 修
拡 大 準 備 委 員 会	吉 田 良 武	布 垣 裕 嗣	《 諮 問 委 員 》 広 岡 泰・廣 田 長 三 郎 岡 村 博・大 野 木 繁 夫
			井 上 澄 男・石 本 常 利・川 中 丈 嗣・増 田 紘 明・村 本 健 眞 砂 崎 道 夫・鈴 木 敏 治・田 中 久 雄・横 田 治 男
国際ロータリー第2650地区	米山記念奨学会諮問委員		増 田 房 二
	ローターアクト委員会委員長		安 倍 秀 風
	拡大委員会委員		佐 藤 富 士 男

1994～1995年度 理事・役員・委員会構成表

会 長	(理事) 谷 口 良 三	会 計	(役員) 鈴 木 敏 治
会長エレクト	(理事) 田 中 久 雄	S. A. A.	(役員) 手 塚 充
副 会 長	(理事) 川 澄 正 彰	副 幹 事	知 公 智 之
幹 事	(理事) 嶋 村 昭 平	副 幹 事	阿 部 勲
ク ラ ブ 奉 仕	(理事) 谷 川 博 造	副 S. A. A.	戸 田 義 高
職 業 奉 仕	(理事) 井 上 澄 男	副 S. A. A.	松 井 信 五
社 会 奉 仕	(理事) 細 谷 正 八 郎	副 会 計	村 本 健 眞
国 際 奉 仕	(理事) 井 上 武 雄		
青 少 年	(理事) 川 中 丈 嗣		
パスト・ガバナー 増 田 房 二			
委 員 会		委 員 長	副 委 員 長
ク ラ ブ 奉 仕		谷 川 博 造	今 村 晋 平
出 席	村 田 佳 博	平 塚 厚 磨	砂 崎 道 夫
職 業 分 類	中 村 翠 嵐	横 田 治 男	杉 田 信 夫
ク ラ ブ 会 報	増 田 紘 明	小 野 富 造	中 川 正 文・小 野 富 造
親 睦 活 動	今 村 晋 平	西 村 正 一 郎	船 越 和 博・井 上 幸 次・川 崎 昭 夫
			六 車 雄 二・中 嶋 克 美・山 本 敏 雄
			大 藤 光 夫・渡 辺 剛 士・浅 見 五 郎 助
			山 本 久 義・横 尾 浩 志・江 川 寿 明
			岩 本 一・坂 田 均・辻 野 幸 二
雑 誌	磯 田 好 計	野 村 泰 三	小 野 富 造・村 井 照 明・矢 口 一 夫
会 員 選 考	城 山 健 太 郎	宮 本 博 史	堀 部 素 弘・岸 信 太 郎・内 海 正 三
会 員 増 強	若 山 敬 祐	日 比 野 修	金 澤 三 四 造・西 川 憲 一
プ ロ グ ラ ム	高 倉 信 夫	西 村 孝 之	廣 田 長 三 郎・説 田 武・岡 村 博
広 報	西 出 澄 弘	杉 崎 則 夫	大 木 博・中 西 美 代 蔵
ロ ー タ リ ー 情 報	茨 木 弘 三	吉 田 良 武	内 海 貴 夫
規 定 審 議	布 垣 裕 嗣	小 林 一 恵	若 山 敬 祐・増 田 紘 明
記 録	高 谷 寿 一	福 住 清 之	広 岡 泰・佐 藤 富 士 男
健 康 管 理	宇 野 久 夫	坪 井 嘉 蔵	杉 田 信 夫・小 山 信 一・小 原 晃
姉 妹 ク ラ ブ	西 尾 重 雄	平 田 清 嗣	小 澤 利 夫・太 田 美 実・中 村 弘 吉
ニ コ ニ コ 箱	西 村 正 一 郎	植 野 清 富	小 坂 進・六 車 雄 二
ソ ン グ	今 川 武 志	橋 本 幸 男	船 越 和 博・六 車 雄 二・大 藤 光 夫
職 業 奉 仕	井 上 澄 男	末 松 哲 夫	井 上 幸 次・坂 田 均・辻 野 幸 二
社 会 奉 仕	細 谷 正 八 郎	竹 市 泰 和	中 川 正 文・高 山 雄
環 境 保 全	高 山 雄	山 中 鏌 一	杉 崎 則 夫・岩 本 一
	木 村 茂	稲 本 初 弥	木 村 茂・高 山 雄
高 齢 者	井 上 武 雄	石 原 隆 光	浅 田 喜 八 郎
国 際 奉 仕	安 倍 秀 風	中 村 弘 吉	江 川 壽 明
ロ ー タ リ ー 財 団	安 倍 秀 風	中 村 弘 吉	塩 路 徹・安 倍 秀 風
			中 嶋 克 美・林 正 良・川 崎 昭 夫
			山 本 久 義
米 山 記 念 奨 学	塩 路 徹	田 村 和 夫	山 本 敏 雄・浅 見 五 郎 助・渡 辺 剛 士
青 少 年	川 中 丈 嗣	佐 貫 将 一	山 本 敏 雄・浅 見 五 郎 助・渡 辺 剛 士
井 上 勝・木 村 安 輝・黒 澤 巖			
青 少 年 育 成 奨 学 基 金	前 林 正 典	槇 原 一 雄	石 本 常 利
	佐 貫 将 一	木 村 秀 雄	諏 訪 蘇 山・小 田 義 彦・安 倍 秀 風
			西 村 孝 之・横 尾 浩 志・岸 信 太 郎
ロ ー タ ー ア ク ト			内 海 正 三
国 際 米 山 記 念 奨 学 会 諮 問 委 員 増 田 房 二			
ロ ー タ リ ー 第 2 6 5 0 地 区	地 区 R 財 団 増 進 委 員 長	野 村 泰 三	
	地 区 拡 大 委 員	佐 藤 富 士 男	

1995～1996年度 理事・役員・委員会構成表

会 長	(理事) 田 中 久 雄	無 任 所	(理事) 増 田 紘 明
会長エレクト	(理事) 堀 部 素 弘	会 計	(役員) 布 垣 裕 嗣
副 会 長	(理事) 横 田 治 男	S. A. A.	(役員) 竹 市 泰 和
幹 事	(理事) 谷 川 博 造	副 幹 事	橋 本 幸 男
クラブ奉仕	(理事) 井 上 澄 男	副 幹 事	福 住 清 之
職業奉仕	(理事) 井 上 武 雄	副 S. A. A.	知 公 智 之
社会奉仕	(理事) 城 山 健太郎	副 S. A. A.	阿 部 勲
国際奉仕	(理事) 末 松 哲 夫	副 会 計	木 村 安 輝
青 少 年	(理事) 佐 貫 将 一		

パスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会		委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕		井 上 澄 男	杉 崎 則 夫	クラブ奉仕各委員長
出 席 職 業 分 類 ク ラ ブ 会 報 親 睦 活 動 雑 誌 会 員 選 考 会 員 増 強 プ ロ グ ラ ム 広 報 ロ ー タ リ ー 情 報 規 定 審 議 記 録 健 康 管 理 姉 妹 ク ラ ブ ニ コ ニ コ 箱 ソ ン グ	出 席 職 業 分 類 ク ラ ブ 会 報 親 睦 活 動 雑 誌 会 員 選 考 会 員 増 強 プ ロ グ ラ ム 広 報 ロ ー タ リ ー 情 報 規 定 審 議 記 録 健 康 管 理 姉 妹 ク ラ ブ ニ コ ニ コ 箱 ソ ン グ	中 嶋 克 美	松 井 信 五	横尾 浩志・(山本敏雄)
		竹 本 昌 生	前 林 正 典	岸 信太郎
		増 田 紘 明	西 村 孝 之	今村 晋平・今井 武男
		杉 崎 則 夫	日 比 野 修	浅見五郎助・山本 久義・横尾 浩志 江川 寿明・岩本 一・坂田 均 横井 康治・岩橋 忠昭・水内 喜廣 水道 啓・岩井文彦・(辻野幸二・中井辰昭)
		平 田 清 嗣	坪 井 嘉 蔵	中西美代蔵
		岸 信太郎	(細谷正八郎)	吉田 良武・砂崎 道夫・島村 昭平
		西 尾 重 雄	木 村 茂	小坂 進・石原 隆光
		今 井 武 男	戸 田 義 高	佐藤富士男・大木 博・小田 義彦・大藤光夫 杉田 信夫・岡村 博・小林 一恵
		井 上 勝	川 崎 昭 夫	木村 秀雄・村井 照明
		(谷口良三)	中 村 翠 嵐	廣田長三郎・野村 泰三・小田 義彦
		小 野 富 造	高 谷 壽 一	林 正良・(矢口一夫)
		植 野 清 富	(山本敏夫)	中嶋 克美・(辻野幸二)
		中 村 弘 吉	小澤 利夫	金澤三四造・石本 常利
		鈴 木 敏 治	内 海 正 三	稲本 初弥・川澄正彰・廣田長三郎・小山信一
職 業 奉 仕 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕 社 会 奉 仕	手 塚 充	渡 辺 剛 士	平田清嗣・岩本 一・坂田 均・(辻野幸次)
		中 川 正 文	谷 川 博 造	槇原 一雄・平塚 厚麿・木村 安輝
環 境 保 全 高 齢 者	環 境 保 全 高 齢 者	井 上 武 雄	塩 路 徹	若山 敬祐・小原 晃・内海 貴夫
		城 山 健太郎	西 村 正 一 郎	高谷 壽一・小山 信一
国 際 奉 仕	国 際 奉 仕	竹 市 泰 和	末 松 哲 夫	磯田 好計・説田 武・中村 弘吉・高山 雄
		内 海 貴 夫	村 本 健 眞	塩路 徹・山本 久義
ロ ー タ リ ー 財 団 米 山 記 念 奨 学 青 少 年 交 換	ロ ー タ リ ー 財 団 米 山 記 念 奨 学 青 少 年 交 換	末 松 哲 夫	井 上 幸 二	広岡 泰・高谷 壽一・川崎 昭夫・渡辺 剛士
		高 倉 信 夫	(今川 武)	内海 正三・前林 正典
		大 藤 光 夫	村 田 佳 弘	太田 美実・山中 鏌一・木村 茂
青 少 年	青 少 年	高 山 雄	西 出 澄 弘	野村 泰三・(細谷正八郎)
		佐 貫 将 一	西 村 孝 之	平塚 厚麿・手塚 充・松井信五
		六 車 雄 二	西 出 澄 弘	浅田喜八郎・田村 和夫
		西 村 正 一 郎	川 中 丈 嗣	村田 佳弘・安倍 秀風・石原 隆光 諏訪 蘇山・日比野 修・浅見五郎助 坂田 均

国際ロータリー 第2650地区	米山記念奨学会諮問委員	増 田 房 二
	地区国際交換委員会委員長	増 田 紘 明
	地区規定審議委員会委員	岡 村 博
	地区ローターアクト委員	安 倍 秀 風

1996～1997年度 理事・役員・委員会構成表

会 長	(理事) 堀 部 素 弘	無 任 所	(理事) 今 村 晋 平
会長エレクト	(理事) 野 村 泰 三	会 計	(役員) 川 崎 昭 夫
副 会 長	(理事) 高 谷 壽 一	S. A. A.	(役員) 平 塚 厚 磨
幹 事	(理事) 井 上 武 雄	副 幹 事	中 嶋 克 美
ク ラ ブ 奉 仕	(理事) 岸 信 太 郎	副 幹 事	井 上 幸 次
職 業 奉 仕	(理事) 石 原 隆 光	副 S. A. A.	福 住 清 之
社 会 奉 仕	(理事) 安 倍 秀 風	副 S. A. A.	横 尾 浩 志
国 際 奉 仕	(理事) 手 塚 充	副 会 計	中 村 弘 吉
青 少 年	(理事) 橋 本 幸 男		

パスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会		委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕		岸 信 太 郎	今 井 武 男	クラブ奉仕各委員長
	出 席	知 公 智 之	浅 見 五 郎 助	石 本 常 利
	職 業 分 類	前 林 正 典	小 原 晃	吉 田 良 武
	ク ラ ブ 会 報	増 田 紘 明	西 村 孝 之	田 中 久 雄
	親 睦 活 動	今 井 武 男	井 上 澄 男	横 井 康 治・岩 井 文 彦・中 井 辰 昭
				水 道 啓・水 内 喜 廣・岩 橋 忠 昭
				岩 本 一・坂 田 均・辻 野 幸 二
				江 川 寿 明
	雑 誌	塩 路 徹	山 本 久 雄	川 澄 正 彰
	会 員 選 考	木 村 茂	大 木 博	横 田 治 男
	会 員 増 強	佐 貫 将 一	内 海 貴 夫	松 井 信 五・渡 辺 剛 士
	プ ロ グ ラ ム	西 出 澄 弘	戸 田 義 高	砂 崎 道 夫・小 田 義 彦・小 林 一 恵
				鈴 木 敏 治・高 倉 信 夫・高 山 進
	広 報	戸 田 義 高	田 中 久 雄	小 坂 文 夫・坪 井 嘉 蔵
	ロ ー タ リ ー 情 報	中 村 翠 嵐	城 山 健 太 郎	廣 田 長 三 郎・広 岡 泰・島 村 昭 平
				谷 川 博 造
	規 定 審 議	井 上 勝	布 垣 裕 嗣	小 野 富 造
	記 録	松 井 信 五	江 川 寿 明	広 岡 泰・田 村 和 夫
	健 康 管 理	小 山 信 一	平 田 清 嗣	小 澤 利 夫・説 田 武・林 正 良
	姉 妹 ク ラ ブ	小 野 富 造	村 田 佳 弘	黒 澤 巖
	ニ コ ニ コ 箱	竹 市 泰 和	六 車 雄 二	横 田 治 男・谷 川 博 造・城 山 健 太 郎
				杉 崎 則 夫・岩 橋 忠 昭・水 内 喜 廣
	ソ ン グ	西 村 正 一 郎	中 川 正 文	木 村 安 輝・江 川 寿 明
	職 業 奉 仕	石 原 隆 光	大 藤 光 夫	杉 田 信 夫・田 村 和 夫
	社 会 奉 仕	安 倍 秀 風	川 中 丈 嗣	浅 田 喜 八 郎・竹 本 昌 生
	環 境 保 全	植 野 清 富	木 村 秀 雄	佐 藤 富 士 男・村 井 照 明
				金 澤 三 四 造
	高 齢 者	宮 本 博 史	槇 原 一 雄	岡 村 博・渡 辺 剛 士・岩 井 文 彦
	国 際 奉 仕	手 塚 充	高 山 雄	山 中 鏝 一・山 本 久 義
	ロ ー タ リ ー 財 団	末 松 哲 夫	村 本 健 眞	若 山 敬 祐
	米 山 記 念 奨 学	太 田 美 実	西 尾 重 雄	日 比 野 修・松 井 信 五
青 少 年	青 少 年 育 成 奨 学 基 金	橋 本 幸 男	渡 辺 剛 士	磯 田 好 計・中 西 美 代 蔵
	ロ ー タ ー ア ク ト	阿 部 勲	辻 野 幸 二	諏 訪 蘇 山・川 中 丈 嗣・杉 崎 則 夫
				西 村 孝 之・日 比 野 修・六 車 雄 二
				浅 見 五 郎 助・横 尾 浩 志・岩 本 一

国際ロータリー 第2650地区	米山記念奨学会諮問委員	増 田 房 二
	地区国際交換委員会委員長	増 田 紘 明

1997～1998年度 理事・役員・委員会構成表

会 長	(理事) 野 村 泰 三	無 任 所	(理事) 小 原 晃
会長エレクト	(理事) 山 中 鎧 一	会 計	(役員) 今 井 武 男
副 会 長	(理事) 小 林 一 恵	S. A. A.	(役員) 西 村 正一郎
幹 事	(理事) 木 村 安 輝	副 幹 事	阿 部 勲
クラブ奉仕	(理事) 竹 市 泰 和	副 幹 事	横 尾 浩 志
職業奉仕	(理事) 戸 田 義 高	副 S. A. A.	浅 見 五郎助
社会奉仕	(理事) 杉 崎 則 夫	副 S. A. A.	坂 田 均
国際奉仕	(理事) 中 村 翠 嵐	副 会 計	高 谷 壽 一
青 少 年	(理事) 内 海 正 三		

パスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会		委 員 長	副 委 員 長	委 員		
ク ラ ブ 奉 仕		竹 市 泰 和	井 上 澄 男	クラブ奉仕各委員長		
ク ラ ブ 奉 仕	出 席	福 住 清 之	岩 橋 忠 昭	林 正良・中西美代蔵		
	職 業 分 類	前 林 正 典	竹 本 昌 生	砂崎 道夫		
	ク ラ ブ 会 報	増 田 紘 明	井 上 勝	石原 隆光・西村 孝之		
	親 睦 活 動	井 上 澄 男	井 上 幸 次	植野 清富・手塚 充・山本 久義		
				水道 啓・水内 喜廣・岩橋 忠昭		
				岩本 一・金子永次郎・小坂 文夫		
				柴垣 正彦・清水 邦昭		
	雑 誌	松 井 信 五	黒 澤 巖	岡村 博		
	会 員 選 考	今 村 晋 平	稲 本 初 弥	井上 武雄		
	会 員 増 強	末 松 哲 夫	布 垣 裕 嗣	松井 信五・渡辺 剛士		
	プ ロ グ ラ ム	小 野 富 造	小 田 義 彦	杉田 信夫・内海 貴夫・平田 清嗣		
	広 報	西 尾 重 雄	川 崎 昭 夫	広岡 泰・田村 和夫		
	ロ ー タ リ ー 情 報	城 山 健太郎	嶋 村 昭 平	廣田長三郎・堀部 素弘・木村 秀雄		
	規 定 審 議	谷 川 博 造	田 中 久 雄	大木 博		
	記 録	高 山 雄	手 塚 充	小澤 利夫		
	健 康 管 理	太 田 美 実	中 村 弘 吉	小坂 文夫・村井 照明		
姉 妹 ク ラ ブ	鈴 木 敏 治	佐 藤 富士男	川澄 正彰・福住 清之・浅見五郎助			
ニ コ ニ コ 箱	塩 路 徹	安 倍 秀 風	平塚 厚麿・知公 智之・大藤 光夫			
			中嶋 克美			
ソ ン グ	西 出 澄 弘	中 川 正 文	植野 清富・横井 康治			
職 業 奉 仕	戸 田 義 高	村 田 佳 弘	説田 武・井上 幸次			
社 会 奉 仕	杉 崎 則 夫	江 川 寿 明	宮本 博史・磯田 好計			
環 境 保 全	宮 本 博 史	磯 田 好 計	金澤三四造			
			高 齢 者	岸 信太郎	小 山 信 一	浅田喜八郎
国 際 奉 仕	中 村 翠 嵐	渡 辺 剛 士	坪井 嘉蔵・高山 雄			
ロ ー タ リ ー 財 団	六 車 雄 二	木 村 茂	西尾 重雄			
			米 山 記 念 奨 学	橋 本 幸 男	佐 貫 将 一	岩本 一
青 少 年	内 海 正 三	知 公 智 之	日比野 修・川中 丈嗣・高倉 信夫			
青 少 年 育 成 奨 学 基 金	高 倉 信 夫	村 田 佳 弘	村本 健眞・若山 敬祐			
			ロ ー タ ー ア ク ト	阿 部 勲	辻 野 幸 二	諏訪 蘇山・川中 丈嗣・杉崎 則夫
						西村 孝之・日比野 修・六車 雄二
				浅見五郎助・横尾 浩志・岩本 一		

国際ロータリー 第2650地区	米山記念奨学会諮問委員	増 田 房 二
	地区国際交換委員会委員長	増 田 紘 明

1998～1999年度 理事・役員・委員会構成表

会 長	(理事) 山 中 鎧 一	無 任 所	(理事) 井 上 勝
会長エレクト	(理事) 石 本 常 利	会 計	(役員) 大 藤 光 夫
副 会 長	(理事) 小 野 富 造	S. A. A.	(役員) 橋 本 幸 男
幹 事	(理事) 中 村 翠 嵐	副 幹 事	松 井 信 五
クラブ奉仕	(理事) 鈴 木 敏 治	副 幹 事	渡 辺 剛 士
職業奉仕	(理事) 西 村 正 一 郎	副 幹 事	水 内 喜 廣
社会奉仕	(理事) 川 中 丈 嗣	副 S. A. A.	中 嶋 克 美
国際奉仕	(理事) 高 山 雄	副 S. A. A.	岩 橋 忠 昭
青 少 年	(理事) 今 井 武 男	副 会 計	内 海 貴 夫

パスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会		委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	出 席	鈴 木 敏 治	手 塚 充	クラブ奉仕各委員長
	職 業 分 類	江 川 寿 明	西 出 澄 弘	名 筋 淳 二
	ク ラ ブ 会 報	宮 本 博 史	田 村 和 夫	
	親 睦 活 動	高 倉 信 夫	岩 本 一	小 田 義 彦
				田 中 久 雄・西 村 孝 之・宮 本 博 史
				日 比 野 修・阿 部 勲・中 井 勝
				名 筋 淳 二・高 橋 泰 行・小 坂 文 夫
				小 森 直 之・清 水 邦 昭
	雑 誌	西 尾 重 雄	稲 本 初 弥	村 井 照 明
	会 員 選 考	戸 田 義 高	田 中 久 雄	野 村 泰 三
	会 員 増 強	横 井 康 治	坂 田 均	吉 田 良 武
	プ ロ グ ラ ム	石 原 隆 光	杉 崎 則 夫	杉 田 信 夫・岡 村 博
	広 報	増 田 紘 明	廣 田 長 三 郎	木 村 茂
	ロ ー タ リ ー 情 報	堀 部 素 弘	廣 田 長 三 郎	竹 本 昌 生・若 山 敬 祐
	規 定 審 議	小 原 晃	小 坂 進	広 岡 泰
	記 録	福 住 清 之	井 上 澄 男	村 本 健 眞
職 業 奉 仕 社 会 奉 仕	健 康 管 理	岸 信 太 郎	太 田 美 実	小 坂 文 夫・村 井 照 明
	姉 妹 ク ラ ブ	城 山 健 太 郎	塩 路 徹	川 澄 正 彰・今 村 晋 平
	ニ コ ニ コ 箱	平 田 清 嗣	今 村 晋 平	六 車 雄 二・小 坂 文 夫・清 水 邦 昭
	ソ ン グ	村 田 佳 弘	日 比 野 修	中 川 正 文・小 林 一 恵
	環 境 保 全 高 齢 者	西 村 正 一 郎	横 尾 浩 志	金 澤 三 四 造・坂 田 均
		川 中 丈 嗣	六 車 雄 二	小 澤 利 夫・佐 貫 将 一
		前 林 正 典	内 海 正 三	磯 田 好 計
	国 際 奉 仕	小 山 信 一	佐 貫 将 一	
		高 山 雄	植 野 清 富	佐 藤 富 士 男・山 本 久 義・福 住 清 之
		植 野 清 富	坪 井 嘉 蔵	木 村 秀 雄
	ロ ー タ リ ー 財 団	竹 市 泰 和	中 村 弘 吉	木 村 安 輝
	米 山 記 念 奨 学	井 上 武 雄	高 谷 壽 一	
	青 少 年 交 換	今 井 武 男	井 上 春 峰	横 田 治 男・西 尾 重 雄・安 倍 秀 風
	青 少 年	井 上 春 峰	末 松 哲 夫	黒 澤 巖・内 海 正 三
				諏 訪 蘇 山・井 上 澄 男・塩 路 徹
				西 村 孝 之・福 住 清 之・中 井 勝
	ロ ー タ ー ア ク ト	知 公 智 之	浅 見 五 郎 助	高 橋 泰 行・横 尾 浩 志・小 森 直 之

国 際 ロ ー タ リ ー 第 2 6 5 0 地 区	米山記念奨学会諮問委員	増 田 房 二
	地区R財団増進委員長	野 村 泰 三
	地区拡大委員	佐 藤 富 士 男

1999～2000年度 理事・役員・委員会構成表

会 長	(理事) 今 村 晋 平	会 計	(役員) 橋 本 幸 男
会長エレクト	(理事) 横 田 治 男	S. A. A.	(役員) 戸 田 義 高
副 会 長	(理事) 井 上 澄 男	副 幹 事	六 車 雄 二
幹 事	(理事) 川 中 丈 嗣	副 幹 事	岩 本 一
クラブ奉仕	(理事) 杉 崎 則 夫	副 幹 事	岩 橋 忠 昭
職業奉仕	(理事) 横 尾 浩 志	副 S. A. A.	江 川 寿 明
社会奉仕	(理事) 宮 本 博 史	副 S. A. A.	中 井 勝
国際奉仕	(理事) 松 井 信 五	副 会 計	城 山 健太郎
青 少 年	(理事) 知 公 智 之		

パスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会		委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕		杉 崎 則 夫	西 村 正 一 郎	クラブ奉仕各委員長
	出 席	渡 辺 剛 士	六 車 雄 二	坪井 嘉蔵
	職 業 分 類	石 原 隆 光	若 山 敬 祐	吉田 良武
	ク ラ ブ 会 報	高 倉 信 夫	岩 本 一	小田 義彦
	親 睦 活 動	手 塚 充	柴 田 正 彦	田中 久雄・西村 孝之・宮本 博史
				日比野 修・阿部 勲・中井 勝
				名筋 淳二・高橋 泰行・小坂 文夫
	雑 誌	増 田 紘 明	内 海 貴 夫	岡村 博
	会 員 選 考	佐 貫 将 一	堀 部 素 弘	石本 常利
	会 員 増 強	平 田 清 嗣	平 田 清 嗣	小坂 進
	プ ロ グ ラ ム	小 田 義 彦	小 林 一 恵	杉田 信夫
	広 報	中 村 翠 嵐	川 崎 昭 夫	
	ロータリー 情報	井 上 勝	村 本 健 眞	廣田長三郎・説田 武
	規 定 審 議	小 野 富 造	木 村 茂	田中 久雄
	記 録	植 野 清 富	高 山 雄	野村 泰三
	健 康 管 理	今 井 武 男	中 村 弘 吉	金澤三四造
姉 妹 ク ラ ブ	坂 田 均	井 上 武 雄	佐藤富士男	
ニ コ ニ コ 箱	柴 垣 正 彦	西 尾 重 雄	増田 紘明・村田 佳弘・渡辺 剛士	
ソ ン グ	水 内 貴 廣	谷 川 博 造	西出 澄弘・小林 一恵	
職 業 奉 仕		横 尾 浩 志	中 嶋 克 美	小澤 利夫・山中 鉄一
ボ ラ ン テ ィ ア		木 村 安 輝	小 森 直 之	柴田 義典
社 会 奉 仕		宮 本 博 史	竹 市 泰 和	高谷 壽一・小山 信一
	環 境 保 全	竹 市 泰 和	末 松 哲 夫	木村 秀雄
	高 齢 者	西 村 孝 之	岸 信 太 郎	広岡 泰
国 際 奉 仕		松 井 信 五	鈴 木 敏 治	中村 翠嵐
	ロータリー 財 団	手 塚 充	村 田 佳 弘	内海 貴夫
	米 山 記 念 奨 学	大 藤 光 夫	小 坂 文 夫	太田 美実
	青 少 年 交 換	塩 路 徹	横 井 康 治	稲本 初弥
青 少 年		知 公 智 之	名 筋 淳 二	大木 博・浅見五郎助
	青少年育成奨学基金	名 筋 淳 二	辻 中 正 雄	磯田 好計
	ローター アクト	浅 見 五 郎 助	福 住 清 之	田中 久雄・小原 晃・安倍 秀風
				井上 春峰・阿部 勲・柴田 義典
				山口 博

国際ロータリー 第2650地区	米山記念奨学会諮問委員	増 田 房 二
	地区米山記念奨学会委員	鈴 木 敏 治
	地区ローターアクト委員	西 村 孝 之

2000～2001年度 理事・役員・委員会構成表

会 長（理事・役員）	横 田 治 男	無 任 所（理事）	谷 川 博 造
会長エレクト（理事・役員）	小 林 一 恵	会 計（役員）	小 坂 文 夫
副 会 長（理事・役員）	鈴 木 敏 治	S. A. A.（役員）	宮 本 博 史
幹 事（役員）	城 山 健 太 郎	副 幹 事	江 川 寿 明
ク ラ ブ 奉 仕（理事）	増 田 紘 明	副 幹 事	柴 垣 正 彦
職 業 奉 仕（理事）	内 海 貴 夫	副 S. A. A.	井 上 春 峰
社 会 奉 仕（理事）	中 嶋 克 美	副 S. A. A.	渡 辺 剛 士
国 際 奉 仕（理事）	植 野 清 富	副 会 計	小 原 晃
青 少 年（理事）	手 塚 充		

バスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
クラブ奉仕	増 田 紘 明	横 尾 浩 志	クラブ奉仕各委員長
出席	塩 路 徹	高 谷 壽 一	増田 房二
職業分類	小 山 信 一	高 倉 信 夫	金澤 三四造
クラブ会報	今 井 武 男	田 中 久 雄	中川 正文
親睦活動	横 尾 浩 志	末 松 哲 夫	今村 晋平, 柴田 義典, 名筋 淳二 岩井 文彦, 本田 修造, 古藤 宣男
雑誌・広報	井 上 勝	橋 本 幸 男	岡村 博
会員選考	中 村 弘 吉	辻 中 正 雄	小澤 利夫
会員増強	岸 信 太 郎	知 公 智 之	大木 博, 川崎 昭夫
プログラム	中 村 翠 嵐	廣 田 長 三 郎	太田 美実
ロータリー情報	村 元 健 眞	木 村 安 輝	杉田 信夫, 吉田 良武
記録	六 車 雄 二	吉 藤 宣 男	堀部 素弘
姉妹クラブ	西 村 正 一 郎	野 村 泰 三	山中 鏝一
ニコニコ箱	岩 橋 忠 昭	木 村 茂	横井 康治, 小森 直之, 岩井 文彦, 本田 修造
ソング	竹 市 泰 和	杉 崎 剛 夫	平田 清嗣, 橋本 幸男
職業奉仕	内 海 貴 夫	石 原 隆 光	説田 武
ボランティア	岩 本 一	川 中 丈 嗣	佐藤 富士男
社会奉仕	中 嶋 克 美	小 森 直 之	磯田 好計
環境保全	小 野 富 造	井 上 澄 男	広岡 泰
国際奉仕	植 野 清 富	稲 本 初 弥	松井 信五
ロータリー財団	松 井 信 五	西 村 孝 之	竹本 昌生, 名筋 淳二
米山記念奨学	水 内 喜 廣	戸 田 義 高	安倍 秀風, 坂田 均
青少年交換	村 田 佳 弘	太 藤 光 夫	小坂 進
青少年	手 塚 充	浅 見 五 郎 助	佐貫 将一
奨学基金	井 上 武 雄	西 出 澄 弘	若山 敬祐
ローターアクト	福 住 清 之	柴 田 義 典	佐貫 将一, 末松 哲夫, 安倍 秀風, 知公 智之 浅見 五郎助, 本田 修造

国際ロータリー	地区米山奨学委員会委員	鈴 木 敏 治
第2650地区	地区ローターアクト委員会委員	西 村 孝 之

2001～2002年度 理事・役員・委員会構成表

京都山科ロータリークラブ

会 長 (理事・役員)	小 林 一 恵	無 任 所 (理事)	川 中 文 嗣
会長エレクト (理事・役員)	井 上 勝	会 計 (役員)	岩 井 文 彦
副 会 長 (理事・役員)	稲 本 初 弥	S. A. A. (役員)	松 井 信 五
幹 事 (役員)	小 原 晃	副 幹 事	中 嶋 克 美
ク ラ ブ 奉 仕 (理事)	木 村 安 輝	副 幹 事	浅 見 五 郎 助
職 業 奉 仕 (理事)	西 出 澄 弘	副 幹 事	岩 橋 忠 昭
社 会 奉 仕 (理事)	手 塚 充	副 S. A. A.	水 内 喜 廣
国 際 奉 仕 (理事)	塩 路 徹	副 S. A. A.	柴 垣 正 彦
育 少 年 (理事)	植 野 清 富	副 会 計	橋 本 幸 男

パスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	木 村 安 輝	福 住 清 之	クラブ奉仕各委員長
出 席	横 尾 浩 志	大 藤 光 夫	竹本 昌生
職 業 分 類	高 倉 信 夫	谷 川 博 造	山中 鉄一
ク ラ ブ 会 報	今 井 武 男	田 中 久 雄	柴垣 正彦
親 睦 活 動	福 住 清 之	渡 辺 剛 士	佐貫 将一, 本田 修造, 六車 雄二, 渡辺 民雄 平岡 幹之助, 片山 好司, 西尾 修, 天野 公朗
雑 誌 ・ 広 報	杉 崎 則 夫	内 海 貴 夫	大木 博
会 員 選 考	鈴 木 敏 治	高 谷 壽 一	増田 房二, 横田 治男
会 員 増 強	増 田 敏 明	小 野 富 造	野村 泰三, 木村 茂, 江川 寿明
プ ロ グ ラ ム	太 田 美 実	増 田 紘 明	堀部 泰弘, 安倍 秀風
ロ ー タ リ ー 情 報	今 村 晋 平	石 原 隆 光	廣田 長三郎, 広岡 泰
規 定 審 議	坂 田 均	井 上 澄 男	佐藤 富士男
記 録	小 山 信 一	宮 本 博 史	吉田 良武, 水内 喜廣
姉 妹 ク ラ ブ	浅 見 五 郎 助	竹 市 泰 和	杉田 信夫, 鈴木 敏治
ニ コ ニ コ 箱	岩 本 一	城 山 健 太 郎	岸 信太郎, 知公 智之, 平岡 幹之助, 西尾 修
ソ ン グ	本 田 修 造	小 森 直 之	中川 正文, 天野 公朗
退 会 防 止	稲 本 初 弥	木 村 安 輝	クラブ奉仕各委員長
2001～2002年度合同事業	川 中 文 嗣	六 車 雄 二 井 上 春 峰	理事・役員及び各委員会委員長
職 業 奉 仕	西 出 澄 弘	戸 田 義 高	小坂 進, 若山 敬祐
ボ ラ ン テ ィ ア	村 田 佳 弘	六 車 雄 二	金澤 三四造, 磯田 好計
社 会 奉 仕	手 塚 充	井 上 春 峰	岡村 博
環 境 保 全	小 坂 文 夫	村 元 健 眞	説田 武, 川崎 昭夫
国 際 奉 仕	塩 路 徹	平 田 清 嗣	井上 武雄
ロ ー タ リ ー 財 団	辻 中 正 雄	横 井 康 治	中村 翠嵐, 平岡 幹之助
米 山 記 念 奨 学	末 松 哲 夫	宮 本 博 史	今村 晋平, 中村 弘吉
青 少 年 交 換	平 田 清 嗣	井 上 武 雄	小澤 利夫
青 少 年	植 野 清 富	江 川 寿 明	村田 佳弘, 知公 智之
奨 学 基 金	井 上 春 峰	西 村 正 一 郎	柴田 義典
ロ ー タ ー ア ク ト	柴 田 義 典	本 田 修 造	西村 孝之, 浅見 五郎助, 福住 清之, 名訪 淳二 小森 直之, 片山 好司, 西尾 修, 天野 公朗

国際ロータリー 第2650地区	地 区 米 山 奨 学 委 員 会 委 員	鈴 木 敏 治
	地 区 ロ ー タ ー ア ク ト 委 員 会 副 委 員 長	西 村 孝 之
	地 区 ロ ー タ リ ー 財 団 増 進 委 員 会 委 員	中 村 翠 嵐

2002～2003年度 理事・役員・委員会構成表

京都山科ロータリークラブ

会 長 (理事・役員)	井 上 勝	会 計 (役員)	松 井 信 五
会長エレクト (理事・役員)	堀 本 初 弥	S. A. A. (役員)	中 嶋 克 美
副 会 長 (理事・役員)	井 上 武 雄	副 幹 事	名 筋 淳 二
幹 事 (理事・役員)	橋 本 幸 男	副 幹 事	本 田 修 造
ク ラ ブ 奉 仕 (理事)	川 中 丈 嗣	副 幹 事	小 森 直 之
職 業 奉 仕 (理事)	小 山 信 一	副 S. A. A.	小 坂 文 夫
社 会 奉 仕 (理事)	岩 橋 忠 昭	副 S. A. A.	柴 田 義 典
国 際 奉 仕 (理事)	渡 辺 剛 士	副 会 計	手 塚 充
青 少 年 (理事)	西 村 正 一 郎		

バスト・ガバナー

増 田 房 二

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	川 中 丈 嗣	中 村 翠 嵐	クラブ奉仕各委員長
出 席	岩 本 一	西 尾 修	小坂 進
職 業 分 類	山 中 鉄 一	高 谷 壽 一	佐藤富士男・竹本 昌生
ク ラ ブ 会 報	今 井 武 男	柴 垣 正 彦	田中 久雄・中嶋 克美
親 睦 活 動	中 村 翠 嵐	小 野 富 造	野村 泰三・末松 哲夫・平岡幹之助・片山 好司・西尾 修 千代島道生・藪下 清三・山本 富雄
雑 誌 ・ 広 報	岩 井 文 彦	内 海 貴 夫	小澤 利夫・塩路 徹
会 員 選 考	横 井 康 治	高 倉 信 夫	岡村 博・杉田 信夫
会員増強・退会防止	竹 市 泰 和	井 上 澄 男	堀部 素弘・木村 茂
プ ロ グ ラ ム	谷 川 博 造	辻 中 正 雄	井上 春峰・岩井 文彦
ロ ー タ リ ー 情 報	石 原 隆 光	横 田 治 男	説田 武・小原 晃
規 定 審 議	城 山 健 太 郎	村 元 健 真	大木 博
記 録	柴 垣 正 彦	名 筋 淳 二	小森 直之
姉 妹 ク ラ ブ	今 村 晋 平	杉 崎 則 夫	金澤三四造
ニ コ ニ コ 箱	木 村 安 輝	佐 貫 将 一	宮本 博史・六車 雄二・千代島道生・藪下 清三
ソ ン グ	井 上 春 峰	江 川 寿 明	中川 正文・岸 信太郎
職 業 奉 仕	小 山 信 一	横 尾 浩 志	広岡 泰・増田 紘明
ボ ラ ン テ ィ ア	浅 見 五 郎 助	平 岡 幹 之 助	増田 房二
社 会 奉 仕	岩 橋 忠 昭	六 車 雄 二	磯田 好計・井上 澄男・山本 富雄
環 境 保 全	戸 田 義 高	中 村 弘 吉	吉田 良武
国 際 奉 仕	渡 辺 剛 士	宮 本 博 史	廣田長三郎
ロ ー タ リ ー 財 団	福 住 清 之	岸 信 太 郎	大藤 光夫
米 山 記 念 奨 学	坂 田 均	片 山 好 司	太田 美実
青 少 年 交 換	鈴 木 敏 治	村 田 佳 弘	小林 一恵
青 少 年	西 村 正 一 郎	本 田 修 造	知公 智之
奨 学 基 金	植 野 清 富	西 出 澄 弘	平田 清嗣
ロ ー タ ー ア ク ト	本 田 修 造	西 村 孝 之 水 内 喜 廣	城山健太郎・木村 茂・安倍秀風・浅見五郎助・小坂文夫・柴田義典 平岡幹之助
イ ン タ ー ネ ッ ト	岩 橋 忠 昭	増 田 紘 明	今井 武男・知公 智之・柴垣 正彦・小森 直之

国際ロータリー 第2650地区	地区米山奨学委員会副委員長	鈴 木 敏 治
	地区ローターアクト委員会副委員長	西 村 孝 之
	地区ロータリー財団増進委員会副委員長	中 村 翠 嵐

2003～2004年度 理事・役員・委員会構成表

京都山科ロータリークラブ

会 長 (理事・役員)	稲 本 初 弥	無 任 所 (理事)	佐 貫 将 一
会長エレクト (理事・役員)	鈴 木 敏 治	会 計 (役員)	植 野 清 富
副 会 長 (理事・役員)	中 村 翠 嵐	S . A . A . (役員)	塩 路 徹
幹 事 (役員)	手 塚 石 雲	副 幹 事	小 坂 文 夫
ク ラ ブ 奉 仕 (理事)	谷 川 博 造	副 幹 事	柴 垣 正 彦
職 業 奉 仕 (理事)	岩 橋 忠 昭	副 幹 事	柴 田 義 典
社 会 奉 仕 (理事)	横 尾 浩 志	副 S . A . A .	松 井 信 五
国 際 奉 仕 (理事)	西 村 正 一 郎	副 S . A . A .	本 田 修 造
新 世 代 (理事)	井 上 春 峰	副 会 計	渡 辺 剛 士

バスト・ガバナー

増 田 房 二

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	谷 川 博 造	末 松 哲 夫	クラブ奉仕各委員長
出 席	西 尾 修	柴 田 義 典	太 田 美 実
職 業 分 類	坂 田 均	岩 井 文 彦	説 田 武, 木 村 茂
ク ラ ブ 会 報	今 井 武 男	柴 垣 正 彦	田 中 久 雄, 井 上 春 峰
親 睦 活 動 (ロータリー家族)	末 松 哲 夫	今 村 晋 平	知 公 智 之, 名 筋 淳 二, 辻 中 正 雄, 江 川 寿 明, 西 尾 修, 数 下 清 三, 山 本 富 雄, 福 田 正 長, 清 水 泰 博
雑 誌 ・ 広 報	高 谷 壽 一	村 元 健 眞	大 木 博, 杉 田 信 夫, 井 上 勝
会 員 選 考	竹 市 泰 和	石 原 隆 光	小 澤 利 夫, 堀 部 素 弘
会員増強・退会防止	木 村 安 輝	野 村 泰 三	川 中 文 嗣
プ ロ グ ラ ム	戸 田 義 高	西 出 澄 弘	杉 崎 則 夫, 平 田 清 嗣
ロータリー情報	横 田 治 男	小 林 一 恵	廣 田 長 三 郎, 広 岡 泰
規 定 審 議	井 上 澄 男	高 倉 信 夫	増 田 房 二, 小 原 晃
記 録	平 岡 幹 之 助	柴 垣 正 彦	野 村 泰 三, 今 井 武 男, 清 水 泰 博
姉 妹 ク ラ ブ	渡 辺 剛 士	城 山 健 太 郎	吉 田 良 武, 山 中 鉄 一
ニ コ ニ コ 箱	福 住 清 之	横 井 康 治	辻 中 正 雄, 山 本 富 雄, 福 田 正 長, 清 水 泰 博
ソ ン グ	村 田 佳 弘	片 山 好 司	中 川 正 文, 中 嶋 克 美
職 業 奉 仕	岩 橋 忠 昭	橋 本 幸 男	川 中 文 嗣, 本 田 修 造
ボ ラ ン テ ィ ア	宮 本 博 史	岸 信 太 郎	金 澤 三 四 造
社 会 奉 仕	横 尾 浩 志	小 山 信 一	竹 本 昌 生, 木 村 安 輝, 中 嶋 克 美
環 境 保 全	小 山 信 一	松 井 信 五	岡 村 博
国 際 奉 仕	西 村 正 一 郎	平 岡 幹 之 助	中 村 弘 吉, 小 森 直 之
ロータリー財団	岩 本 一	六 車 雄 二	江 川 寿 明
米 山 記 念 奨 学	名 筋 淳 二	小 坂 文 夫	井 上 武 雄
青 少 年 交 換	小 森 直 之	平 田 清 嗣	磯 田 好 計
新 世 代	井 上 春 峰	浅 見 五 郎 助	福 田 正 長
奨 学 基 金	片 山 好 司	数 下 清 三	大 藤 光 夫
ローターアクト	城 山 健 太 郎	西 尾 修	西 村 孝 之, 安 倍 秀 風, 浅 見 五 郎 助, 本 田 修 造, 小 森 直 之, 山 本 富 雄
イ ン タ ー ネ ッ ト	岩 橋 忠 昭	知 公 智 之	今 井 武 男, 柴 垣 正 彦
O N ・ T O 大 阪	西 村 正 一 郎	本 田 修 造	

ロータリー情報集会特別委員会	小 野 富 造	各情報集会リーダー
ロータリー研究特別委員会	佐 貫 将 一	稲 本 初 弥

国際ロータリー第 2650 地区	地区ローターアクト委員会副委員長	西 村 孝 之
	地区財団年次寄付・財団恒久基金委員会委員	今 村 晋 平

国際ロータリー2004年国際大会(関西)京都デ－実行委員会委員	小 林 一 恵
---------------------------------	---------

2004～2005年度 理事・役員・委員会構成表

京都山科ロータリークラブ

会 長 (理事・役員)	鈴木 敏 治	会 計 (役員)	渡 辺 剛 士
会長エレクト (理事・役員)	西 村 孝 之	S . A . A . (役員)	岩 本 一
副 会 長 (理事・役員)	石 原 隆 光	副 幹 事	片 山 好 司
幹 事 (理事)	岩 橋 忠 昭	副 幹 事	藪 下 清 三
ク ラ ブ 奉 仕 (理事)	橋 本 幸 男	副 S . A . A .	井 上 春 峰
職 業 奉 仕 (理事)	中 嶋 克 美	副 S . A . A .	柴 垣 正 彦
社 会 奉 仕 (理事)	松 井 信 五	副 会 計	植 野 清 富
国 際 奉 仕 (理事)	名 筋 淳 二		
新 世 代 (理事)	戸 田 義 高		

バスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	橋 本 幸 男	野 村 泰 三	クラブ奉仕各委員長
出 席	本 田 修 造	山 本 富 雄	木村 茂
職 業 分 類	川 中 文 嗣	井 上 澄 男	小澤 利夫, 塩路 徹
ク ラ ブ 会 報	今 井 武 男	柴 垣 正 彦	田中 久雄
親 睦 活 動 (ロータリー家族)	野 村 泰 三	杉 崎 則 夫	江川 寿明, 小坂 文夫, 柴田 義典, 本田 修造 山本 富雄, 福田 正長, 清水 泰博, 石井 重基
雑 誌 ・ 広 報	小 林 一 恵	西 出 澄 弘	山中 鉄一, 太田 美実
会 員 選 考	小 原 晃	村 元 健 眞	説田 武, 吉田 良武
会員増強・退会防止	佐 貫 将 一	横 田 治 男	磯田 好計, 竹本 昌生
プ ロ グ ラ ム	中 村 翠 嵐	井 上 勝	杉田 信夫, 中村 弘吉
ロ ー タ リ ー 情 報	小 野 富 造	稲 本 初 弥	増田 房二, 辻中 正雄
規 定 審 議	井 上 武 雄	高 谷 壽 一	堀部 素弘
記 録	福 住 清 之	福 田 正 長	今井 武男, 柴垣 正彦
姉 妹 ク ラ ブ	木 村 安 輝	井 上 春 峰	廣田 長三郎, 中村 翠嵐
ニ コ ニ コ 箱	村 田 佳 弘	岸 信 太 郎	江川 寿明, 山本 富雄, 石井 重基
ソ ン グ	谷 川 博 造	今 村 晋 平	中川 正文
職 業 奉 仕	中 嶋 克 美	宮 本 博 史	城山 健太郎, 平田 清嗣
ボ ラ ン テ ィ ア	小 山 信 一	柴 田 義 典	西出 澄弘
社 会 奉 仕	松 井 信 五	横 尾 浩 志	今村 晋平, 平岡 幹之助
環 境 保 全	横 尾 浩 志	小 山 信 一	井上 澄男, 坂田 均
国 際 奉 仕	名 筋 淳 二	村 田 佳 弘	大木 博, 福住 清之
ロ ー タ リ ー 財 団	浅 見 五 郎 助	小 坂 文 夫	大藤 光夫
米 山 記 念 奨 学	西 村 正 一 郎	平 岡 幹 之 助	六車 雄二
青 少 年 交 換	岩 井 文 彦	坂 田 均	金澤 三四造
新 世 代	戸 田 義 高	手 塚 石 雲	片山 好司
奨 学 基 金	末 松 哲 夫	竹 市 泰 和	横井 康治
ロ ー タ ー ア ク ト	西 尾 修	藪 下 清 三	横田 治男, 安倍 秀風, 福田 正長, 清水 泰博, 石井 重基
イ ン タ ー ネ ッ ト	知 公 智 之	小 森 直 之	柴垣 正彦

国際ロータリー第 2650 地区	地区ローターアクト委員会副委員長	西 村 孝 之
	地区財団年次寄付・財団恒久基金委員会委員	今 村 晋 平

2005～2006 年度 理事・役員・委員会構成表

京都山科ロータリークラブ

会 長 (理 事・役 員)	西 村 孝 之	会 計 (理 事・役 員)	本 田 修 造
会長エレクト (理 事)	小 山 信 一	S . A . A . (役 員)	井 上 春 峰
副 会 長 (役 員)	小 山 信 一	副 幹 事	藪 下 清 三
幹 事 (理 事・役 員)	植 野 清 富	副 幹 事	清 水 泰 博
ク ラ ブ 奉 仕 (理 事)	井 上 武 雄	副 幹 事	名 筋 淳 二
職 業 奉 仕 (理 事)	福 住 清 之	副 S . A . A .	浅 見 五 郎 助
社 会 奉 仕 (理 事)	西 村 正 一 郎	副 S . A . A .	中 嶋 克 美
国 際 奉 仕 (理 事)	小 坂 文 夫	副 会 計	松 井 信 五
新 世 代 (理 事)	西 尾 修		

パスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
クラブ奉仕	井 上 武 雄	渡 辺 剛 士	クラブ奉仕各委員長
クラブ会報 規定審議 記録	今 井 武 男	柴 垣 正 彦	磯田 好計 ・ 木村 安輝 ・ 塩路 徹 ・ 横井 康治 ・ 辻中 正雄
親睦活動 出席	渡 辺 剛 士	井 上 勝 松 井 信 五	吉田 良武 ・ 山中 鉄一 ・ 小野 富造 ・ 佐貫 将一 ・ 知公 智之 柴田 義典 ・ 岩井 文彦 ・ 片山 好司 ・ 福田 正長 ・ 清水 泰博
雑誌・広報 インターネット	片 山 好 司	小 森 直 之	高谷 壽一 ・ 大藤 光夫 ・ 坂田 均 ・ 柴垣 正彦
会員選考 職業分類	小 林 一 恵	手 塚 石 雲	小澤 利夫 ・ 杉田 信夫 ・ 堀部 素弘 ・ 竹本 昌生
会員増強・退会防止	川 中 丈 嗣	六 車 雄 二	野村 泰三 ・ 説田 武 ・ 谷川 博造 ・ 宮本 博史
プログラム	平 田 清 嗣	末 松 哲 夫	村元 健真 ・ 木村 安輝 ・ 杉崎 則夫
ロータリー情報	横 田 治 男	城 山 健 太 郎	廣田長三郎 ・ 金澤三四造 ・ 稲本 初弥 ・ 井上 澄男 ・ 村田 佳弘
姉妹クラブ	塩 路 徹	村 元 健 真	中村 翠嵐 ・ 川中 丈嗣 ・ 名筋 淳二
ニコニコ箱	宮 本 博 史	石 井 重 基	谷川 博造 ・ 六車 雄二 ・ 大藤 光夫 ・ 山本 富雄
ソング	村 田 佳 弘	浅 見 五 郎 助 中 嶋 克 美	中川 正文 ・ 福田 正長
職業奉仕	福 住 清 之	佐 貫 将 一	太田 美実 ・ 柴田 義典
ボランティア	中 村 翠 嵐	橋 本 幸 男	磯田 好計 ・ 末松 哲夫
社会奉仕	西 村 正 一 郎	横 尾 浩 志	城山健太郎 ・ 木村 茂 ・ 中村 弘吉 ・ 知公 智之 ・ 江川 寿明 岩本 一 ・ 岩井 文彦
環境保全	横 尾 浩 志	井 上 澄 男	今村 晋平 ・ 村元 健真
国際奉仕	小 坂 文 夫	鈴 木 敏 治	大木 博 ・ 稲本 初弥 ・ 小原 晃
ロータリー財団	戸 田 義 高	西 出 澄 弘	手塚 石雲 ・ 石井 重基
米山記念奨学	竹 市 泰 和	岩 橋 忠 昭	中村 弘吉
青少年交換	岩 本 一	坂 田 均	平岡幹之助
新世代	西 尾 修	今 村 晋 平	岸 信太郎
奨学基金	木 村 茂	杉 崎 則 夫	江川 寿明
ローターアクト	藪 下 清 三	山 本 富 雄	安倍 秀風 ・ 橋本 幸男 ・ 西出 澄弘 ・ 福住 清之 ・ 小森 直之 平岡幹之助

国際ロータリー第 2650 地区	地 区 ローターアクト委員会 副委員長	西 村 孝 之
	地 区 財団年次寄付・財団恒久基金委員会 副委員長	今 村 晋 平
	地 区 米山奨学委員会 委員	岩 橋 忠 昭

2006～2007 年度 理事・役員・委員会構成表

京都山科ロータリークラブ

会 長 (理事・役員)	小 山 信 一	会 計 (役 員)	宮 本 博 史
会 長 エ レ ク ト (理事・役員)	中 村 翠 嵐	S. A. A. (役 員)	橋 本 幸 男
副 会 長 (理事・役員)	谷 川 博 造	副 幹 事	渡 辺 剛 士
幹 事 (役 員)	松 井 信 五	副 幹 事	本 田 修 造
会 員 増 強 (理 事)	小 野 富 造	副 幹 事	片 山 好 司
奉仕プロジェクト (理 事)	横 尾 浩 志	副 S. A. A.	井 上 武 雄
ロータリー財団 (理 事)	小 坂 文 夫	副 S. A. A.	中 嶋 克 美
ク ラ ブ 広 報 (理 事)	川 中 文 嗣	副 S. A. A.	西 尾 修
クラブ管理運営 (理 事)	末 松 哲 夫	副 会 計	平 岡 幹 之 助
無 任 所 (理 事)	佐 貫 将 一		

パ ス ト ・ ガ バ ナ ー 増 田 房 二

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
会 員 増 強	小 野 富 造		
会 員 増 強	竹 市 泰 和	井 上 澄 男	中村 弘吉
会 員 選 考	木 村 茂	堀 部 素 弘	大木 博・説田 武
ロ ー タ リ ー 情 報	城 山 健 太 郎	村 元 健 真	廣田長三郎・吉田 良武
規 定 審 議	木 村 安 輝	西 村 孝 之	増田 房二・井上 武雄
奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	横 尾 浩 志		
社 会 奉 仕	中 嶋 克 美	藪 下 清 三	磯田 好計・辻中 正雄
国 際 奉 仕	岩 本 一	小 原 晃	稲本 初弥・渡辺 剛士
職 業 奉 仕	浅 見 五 郎 助	戸 田 義 高	金澤三四造・岩井 文彦
新 世 代	小 森 直 之	柴 田 義 典	片山 好司・西尾 修
青 少 年 奨 学 金	岩 橋 忠 昭	植 野 清 富	六車 雄二・山本 富雄・小森 直之
ロ ー タ ー ア ク ト	清 水 泰 博	江 川 寿 明	安倍 秀風・山中 鉄一・福住 清之・名筋 淳二・水野 雄三・西村 孝之 岩本 一
ニ コ ニ コ 箱	藪 下 清 三	横 井 康 治	竹本 昌生・大藤 光夫・柴田 義典
米 山 記 念 奨 学	塩 路 徹	福 住 清 之	江川 寿明・岩橋 忠昭
姉 妹 ク ラ ブ	知 公 智 之	六 車 雄 二	鈴木 敏治・平岡幹之助
ロ ー タ リ ー 財 団	小 坂 文 夫		
ロ ー タ リ ー 財 団	西 村 正 一 郎	岩 井 文 彦	清水 泰博・今村 晋平
ク ラ ブ 広 報	川 中 文 嗣		
広 報	井 上 勝	名 筋 淳 二	杉田 信夫・柴垣 正彦
ク ラ ブ 管 理 運 営	末 松 哲 夫		
ク ラ ブ 奉 仕	西 出 澄 弘	村 田 佳 弘	小林 一恵・小野 富造
親 睦 活 動	井 上 春 峰	手 塚 石 雲	小澤 利夫・横田 治男・辻中 正雄・岸 信太郎・山本 富雄・水野 雄三 小坂 文夫・浅見五郎助・本田 修造
プ ロ グ ラ ム	杉 崎 則 夫	野 村 泰 三	平田 清嗣・太田 美実
雑 誌 ・ 会 報 ・ 記 録	今 井 武 男	柴 垣 正 彦	中川 正文・本田 修造

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	サポ-ト役	委 員
プロジェクト推進特別委員会	今村 晋平	城山健太郎	小野 富造	廣田長三郎・増田 房二・堀部 素弘・横田 治男・野村 泰三 中村 翠嵐・川中 文嗣・佐貫 将一・木村 茂・木村 安輝 竹市 泰和
生き生き装いの集い 実行委員会	佐貫 将一	横尾 浩志 知公 智之 西村正一郎	—	川中 文嗣・小坂 文夫・末松 哲夫・橋本 幸男・渡辺 剛士 中嶋 克美・宮本 博史・平岡幹之助・柴田 義典・柴垣 正彦 井上 勝・井上 春峰

国際ロータリー第 2650 地区	地 区 ローターアクト委員会 副委員長	西 村 孝 之
	地 区 財団年次寄付・財団恒久基金委員会 副委員長	今 村 晋 平
	地 区 米山奨学会委員会 委員	岩 橋 忠 昭
	地 区 新世代・RYLA委員会 委員	西 尾 修

2007～2008年度 理事・役員・委員会構成表

京都山科ロータリークラブ

会 長 (理事・役員)	中 村 翠 嵐	会 計 (役 員)	藪 下 清 三
会 長 エ レ ク ト (理事・役員)	木 村 安 輝	S . A . A . (役 員)	渡 辺 剛 士
副 会 長 (理事・役員)	手 塚 石 雲	副 幹 事	本 田 修 造
幹 事 (役 員)	小 野 富 造	副 幹 事	西 尾 修
会 員 増 強 (理 事)	小 森 直 之	副 S . A . A .	井 上 勝
奉仕プロジェクト (理 事)	竹 市 泰 和	副 S . A . A .	佐 貴 將 一
ロータリー財団 (理 事)	中 村 弘 吉	副 S . A . A .	福 住 清 之
ク ラ ブ 広 報 (理 事)	知 公 智 之	副 S . A . A .	清 水 泰 博
クラブ管理運営 (理 事)	城 山 健 太 郎	副 S . A . A .	平 岡 幹 之 助
無 任 所 (理 事)	橋 本 幸 男	副 会 計	大 藤 光 夫

パスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
会 員 増 強 (小森直之)			
会 員 増 強	横 尾 浩 志	杉 崎 則 夫	野 村 泰 三
会 員 選 考	安 倍 秀 風	磯 田 好 計	山 中 鉄 一
ロータリー情報	村 元 健 眞	堀 部 素 弘	大 木 博
規 定 審 議	西 出 澄 弘	吉 田 良 武	廣 田 長 三 郎
奉仕プロジェクト (竹市泰和)			
社 会 奉 仕	村 田 佳 弘	稲 本 初 弥	岸 信太郎・片 山 好 司・中 塚 浩
国 際 奉 仕	宮 本 博 史	竹 本 昌 生	井 上 澄 男・野 村 清 孝
職 業 奉 仕	横 田 治 男	名 筋 淳 二	辻 中 正 雄・藪 下 清 三・宮 川 孝 広
新 世 代	西 村 正 一 郎	末 松 哲 夫	太 田 美 実・西 尾 修・福 留 幸 一
ローターアクト	岩 本 一	清 水 泰 博	西 村 孝 之・片 山 好 司
ニコニコ箱	中 嶋 克 美	川 中 文 嗣	植 野 清 富・富 永 泰 彰
米 山 記 念 奨 学	岩 橋 忠 昭	塩 路 徹	増 田 房 二
姉 妹 ク ラ ブ	井 上 春 峰	鈴 木 敏 治	横 井 康 治
青少年育成奨学金	浅 見 五 郎 助	小 林 一 恵	杉 田 信 夫
ロータリー財団 (中村弘吉)			
ロータリー財団	今 村 晋 平	岩 井 文 彦	説 田 武 東 方 田 寿 一
ク ラ ブ 広 報 (知公智之)			
広 報	柴 田 義 典	木 村 茂	小 澤 利 夫
クラブ管理運営 (城山健太郎)			
ク ラ ブ 奉 仕	小 坂 文 夫	井 上 武 雄	小 野 富 造 横 井 康 治
親 睦 活 動	戸 田 義 高	本 田 修 造	小山 信一・小原 晃・名筋 淳二・江川 寿明 岩井 文彦・平岡幹之助・中塚 浩・福留 幸一 野村 清孝・宮川 孝広・東方田寿一・富永 泰彰
プ ロ グ ラ ム	松 井 信 五	谷 川 博 造	平 田 清 嗣
雑誌・会報・記録	柴 垣 正 彦	今 井 武 男	中 川 正 文

国際ロータリー 第2650地区	地 区	財団年次寄付・財団恒久基金寄付委員会 委員	大 藤 光 夫
	地 区	新世代委員会 委員	西 尾 修
	地 区	米山奨学委員会 副委員長	岩 橋 忠 昭
	地 区	ローターアクト委員会 委員長	西 村 孝 之

2008～2009年度 理事・役員・委員会構成表

京都東山ロータリークラブ

会 長 (理事・役員)	木 村 安 輝	会 計 (役 員)	安 倍 秀 風
会 長 エ レ ク ト (理事・役員)	城 山 健 太 郎	S . A . A . (役 員)	小 森 直 之
副 会 長 (理事・役員)	末 松 哲 夫	副 幹 事	中 塚 浩
幹 事 (役 員)	渡 辺 剛 士	副 幹 事	野 村 清 孝
会 員 増 強 (理 事)	岩 橋 忠 昭	副 S . A . A .	小 山 信 一
奉仕プロジェクト (理 事)	戸 田 義 高	副 S . A . A .	小 坂 文 夫
ロータリー財団 (理 事)	今 村 晋 平	副 S . A . A .	福 留 幸 一
ク ラ ブ 広 報 (理 事)	松 井 信 五	副 S . A . A .	東 方 田 寿 一
ク ラ ブ 管 理 運 営 (理 事)	本 田 修 造	副 会 計	藪 下 清 三
無 任 所 (理 事)	井 上 勝		

パスト・ガバナー	増 田 房 二
----------	---------

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
会 員 増 強 (岩橋忠昭)			
会 員 増 強	岩 本 一	西 出 澄 弘	森 俊 次
会 員 選 考	村 元 健 眞	井 上 澄 男	
ロータリー情報	横 田 治 男	山 中 鉄 一	堀 部 素 弘・磯 田 好 計・竹 市 泰 和
規 定 審 議	小 野 富 造	竹 本 昌 生	
奉仕プロジェクト (戸田義高)			
社 会 奉 仕	中 村 弘 吉	木 村 茂	横 井 康 治
国 際 奉 仕	井 上 武 雄	吉 田 良 武	大 木 博・稲 本 初 弥
職 業 奉 仕	川 中 文 嗣	名 筋 淳 二	増 田 房 二
新 世 代	柴 田 義 典	知 公 智 之	江 川 寿 明・横 尾 浩 志
ローターアクト	藪 下 清 三	岩 本 一	中村翠嵐・中塚 浩・福留幸一・野村清孝 東方田寿一・中部 健
ニコニコ箱	清 水 泰 博	富 永 泰 彰	安 澤 英 治・平 野 俊 雄・井 川 正 隆
米 山 記 念 奨 学	植 野 清 富	鈴 木 敏 治	川 勝 裕 之・岸 弘 祐
姉 妹 ク ラ ブ	西 尾 修	大 藤 光 夫	小 澤 利 夫
青少年育成奨学金	西 村 正 一 郎	岸 信 太 郎	山 本 真 也・川 勝 裕 之
ロータリー財団 (今村晋平)			
ロータリー財団	宮 川 孝 広	村 田 佳 弘	谷 川 博 造・小 原 晃・森 俊 次 森 里 秀 夫
ク ラ ブ 広 報 (松井信五)			
広 報	塩 路 徹	杉 崎 則 夫	太 田 美 実
ク ラ ブ 管 理 運 営 (本田修造)			
ク ラ ブ 奉 仕	佐 貫 將 一	平 岡 幹 之 助	
親 睦 活 動	中 嶋 克 美	横 尾 浩 志	小林一恵・西村孝之・橋本幸男・西尾 修・中塚 浩 福留幸一・野村清孝・宮川孝広・東方田寿一・ 富永泰彰・川勝裕之・森 俊次・山本真也・安澤英治 平野俊雄・井川正隆・岸 弘祐・森里秀夫・中部 健
プ ロ グ ラ ム	手 塚 石 雲	辻 中 正 雄	平 田 清 嗣・塩 路 徹
雑誌・会報・記録	柴 垣 正 彦	今 井 武 男	中 川 正 文

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	サ ポ ー ト	委 員
障害者水泳 フェスティバル 実行委員会	井 上 勝	松 井 信 五 本 田 修 造 藪 下 清 三	城 山 健 太 郎	横尾浩志・中嶋克美・小森直之・谷川博造・佐貫將一 岩橋忠昭・野村清孝・中塚 浩・戸田義高・今井武男 今村晋平・安倍秀風・小山信一・福留幸一

国際ロータリー 第2650地区	地 区	財団年次寄付・財団恒久基金寄付委員会 委員	大 藤 光 夫
	地 区	新世代委員会 委員	西 尾 修
	地 区	米山奨学委員会 副委員長	岩 橋 忠 昭

2009～2010年度 理事・役員・委員会構成表

京都東山ロータリークラブ

会 長（理事・役員）	城山健太郎	会 計（役 員）	中嶋 克美
会長エレクト （理事・役員）	今井 武男	S. A. A. （役 員）	本田 修造
副 会 長（理事・役員）	今井 武男	副 幹 事	岩本 一
幹 事（理事・役員）	小坂 文夫	副 幹 事	福留 幸一
ク ラ ブ 管理（理 事）	小森 直之	副 幹 事	東方田寿一
奉仕プロジェクト（理 事）	谷川 博造	副 幹 事	安澤 英治
職 業 奉 仕（理 事）	清水 泰博	副 S. A. A.	村田 佳弘
国 際 奉 仕（理 事）	手塚 石雲	副 S. A. A.	薮下 清三
広 報（理 事）	松井 信五	副 S. A. A.	中塚 浩
会 員 増 強（理 事）	末松 哲夫	副 会 計	大藤 光夫
ロータリー財団（理 事）	柴田 義典		

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
クラブ管理	小森 直之	木村 茂	
親睦活動 出 席	岩本 一	橋本 幸男	太田美実・井上澄男・川勝裕之・森 俊次・山本真也・平野俊雄 井川正隆・岸 弘祐・森里秀夫・中部 健・村田好謙・竹之内米貴
プログラム	井上 武雄	村元 健真	磯田 好計・塩路 徹
会報・記録	野村 清孝	小野 富造	岩橋 忠昭
姉妹クラブ	西村 孝之	鈴木 敏治	安澤 英治
ニコニコ箱	渡辺 剛士	佐貫 将一	森 俊次・森里 秀夫・竹之内米貴
奉仕プロジェクト・社会奉仕	谷川 博造	小山 信一	山中 鉄一
青少年育成奨学金	安倍 秀風	宮川 孝広	中部 健
新 世 代	横尾 浩志	植野 清富	川勝 裕之
ロータリーアクト	戸田 義高	西尾 修	山本 真也・村田 好謙
職業奉仕	清水 泰博	平岡幹之助	大木 博・中村 弘吉
国際奉仕	手塚 石雲	名筋 淳二	稲本 初弥
広 報	松井 信五	井上 勝	木村 安輝・知公 智之
雑 誌	坂田 均	辻中 正雄	竹本 昌生
会員増強	末松 哲夫	中村 翠嵐	堀部 素弘
会員選考	西村正一郎	西出 澄弘	吉田 良武
ロータリー情報	小林 一恵	小原 晃	横井 康治
規定審議	今村 晋平	川中 丈嗣	中川 正文
ロータリー財団	柴田 義典	竹市 泰和	岸 弘祐・井川 正隆
米山記念奨学	横田 治男	杉崎 則夫	平野 俊雄

留学生フェスティバル 実行委員会	谷川 博造	小野 富造 松井 信五 小森 直之	
---------------------	-------	-------------------------	--

国際ロータリー第2650地区	地 区	財団年次寄付・財団恒久基金委員会委員	大藤 光夫
	地 区	米山奨学委員会副委員長	岩橋 忠昭
	地 区	新世代委員会委員	西尾 修

2010～2011年度 理事・役員・委員会構成表

京都東山ロータリークラブ

会 長（理事・役員）	今井 武男	会 計（役 員）	西村正一郎
会長エレクト （理事・役員）	川中 丈嗣	S. A. A. （役 員）	坂田 均
副 会 長（理事・役員）	横尾 浩志	副 幹 事	森 俊次
幹 事（理事・役員）	岩本 一	副 幹 事	平野 俊雄
ク ラ ブ 管 理（理 事）	中嶋 克美	副 幹 事	森里 秀夫
奉仕プロジェクト（理 事）	手塚 石雲	副 S. A. A.	安澤 英治
職 業 奉 仕（理 事）	中塚 浩	副 S. A. A.	井川 正隆
国 際 奉 仕（理 事）	小森 直之	副 S. A. A.	山本 真也
広 報（理 事）	福留 幸一	副 S. A. A.	植野 清富
会 員 増 強（理 事）	松井 信五	副 会 計	平岡 幹之助
ロータリー財団（理 事）	本田 修造		

委 員 会		委 員 長	副 委 員 長	委 員
クラブ管理		中嶋 克美	横田 治男	横井 康治
	親睦活動 出 席	柴田 義典	森 俊次	平野俊雄・井川正隆・岸 弘祐・森里秀夫・中部 健・村田好謙・竹之内米貴・吉田武雄・豊田恵美・長尾眞志・松木一恭・中島陽子
	プログラム	渡辺 剛士	木村 安輝	太田 美実・辻中 正雄
	会報・記録	福留 幸一	安澤 英治	村田 佳弘
	姉妹クラブ	小森 直之	今村 晋平	谷川 博造
	ニコニコ箱	野村 清孝	名筋 淳二	小山 信一・村田 好謙・豊田 恵美・小坂 文夫
奉仕プロジェクト・社会奉仕		手塚 石雲	竹市 泰和	磯田 好計
	青少年育成奨学金	清水 泰博	小野 富造	今村 晋平・竹之内 米貴・長尾 眞志
	新 世 代	岸 弘祐	西尾 修	植野 清富
	ローターアクト	川勝 裕之	中部 健	吉田 武雄・豊田 恵美・長尾 眞志・松木 一恭
職業奉仕		中塚 浩	中村 翠嵐	竹本 昌生・井上 澄男
国際奉仕		小森 直之	西村 孝之	大木 博・中川 正文
広 報		福留 幸一	知公 智之	井上 勝・小原 晃・西出 澄弘
雑 誌		福留 幸一	平岡 幹之助	堀部 泰弘・吉田 良武
会員増強		松井 信五	塩路 徹	杉崎 則夫・小森 直之・柴田 義典・福留 幸一・末松 哲夫
	会員選考	木村 茂	井上 武雄	小林 一恵・稲本 初弥・城山 健太郎
	ロータリー情報	安倍 秀風	佐貫 将一	村元 健真
	規定審議	戸田 義高	中村 弘吉	鈴木 敏治・山中 鉄一
ロータリー財団		本田 修造	山本 真也	吉田 武雄・大藤 光夫
米山記念奨学		荻下 清三	岩橋 忠昭	松木 一恭・中島 陽子

特別委員会			
青少年育成奨学基金	井上 勝	清水 泰博	小林 一恵・小野 富造・今村 晋平・末松 哲夫・中村 翠嵐・川中 丈嗣・杉崎 則夫・渡辺 剛士・小森 直之・福留 幸一

クラブ・リーダー			
----------	--	--	--

国際ロータリー第2650地区	地 区	財団資金推進委員会委員	本田 修造
	地 区	米山奨学委員会委員長	岩橋 忠昭
	地 区	新世代委員会委員	西尾 修

2011～2012年度 理事・役員・委員会構成表

京都東山ロータリークラブ

会 長 (理事・役員)	川中 文嗣	会 計 (役 員)	森 俊次
会長エレクト (理事・役員)	松井 信五	S. A. A. (役 員)	木村 安輝
副 会 長 (理事・役員)	岩橋 忠昭	副 幹 事	山本 真也
幹 事 (役 員)	本田 修造	副 幹 事	井川 正隆
会 員 増 強 (理 事)	藪下 清三	副 幹 事	岸 弘祐
ク ラ ブ 広 報 (理 事)	名筋 淳二	副 S. A. A.	平野 俊雄
クラブ管理運営 (理 事)	井上 勝	副 S. A. A.	森里 秀夫
奉仕プロジェクト (理 事)	渡辺 剛士	副 S. A. A.	吉田 武雄
国 際 奉 仕 (理 事)	小森 直之	副 会 計	村田 好謙
職 業 奉 仕 (理 事)	西尾 修	直 前 会 長 (理事・役員)	今井 武男
ロータリー財団 (理 事)	横尾 浩志		

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
会員増強	藪下 清三		
会員増強・職業分類	藪下 清三	中村 翠嵐	手塚石雲・村元健真
規定審議	坂田 均	渡辺 剛士	中村弘吉・中嶋克美
ロータリー情報	今村 晋平	安倍 秀風	吉田良武
会員選考	井上 武雄	末松 哲夫	山中鏑一・谷川博造
クラブ広報	名筋 淳二		
広報・インターネット・雑誌	名筋 淳二	西村 孝之	中川正文・今井武男
クラブ管理運営	井上 勝		
クラブ奉仕 (出席)	安澤 英治	横井 康治	小原 晃・西出澄弘
親睦活動	安澤 英治	城山健太郎	清水泰博・中塚 浩・村田好謙・竹之内米貴・松木一恭・長尾眞志・豊田恵美・中島陽子・岡武和暁・郡 正樹・大木義秀・関根淳子
プログラム	小坂 文夫	坂田 均	小林一恵・戸田義高
会報・記録	岸 弘祐	平岡幹之助	磯田好計・太田美実・福留幸一
姉妹クラブ	竹之内米貴	鈴木 敏治	稲本初弥・小森直之
ニコニコ箱	村田 佳弘	植野 清富	西村正一郎・松木一恭・中部 健・関根淳子
奉仕プロジェクト	渡辺 剛士		
社会奉仕・環境保全	森里 秀夫	横尾 浩志	小山信一・名筋淳二・藪下清三・森 俊次・平野俊雄・岸 弘祐・村田好謙・岡武和暁・大木義秀・関根淳子
新 世 代	柴田 義典	長尾 眞志	木村 茂・中部 健
青少年育成奨学金	福留 幸一	中嶋 克美	木村安輝・松井信五・名筋淳二・藪下清三・清水泰博・森 俊次・山本真也・安澤英治・吉田武雄・中島陽子
ローターアクト	川勝 裕之	山本 真也	安倍秀風・知公智之・岩本 一・郡 正樹
国際奉仕	小森 直之	小野 富造	竹本昌生・杉崎則夫・大藤光夫
職業奉仕	西尾 修	岡武 和暁	大木 博・塩路 徹・竹之内米貴・豊田恵美・郡 正樹
ロータリー財団	横尾 浩志		
ロータリー財団	横尾 浩志	横田 治男	佐貫将一・大木義秀
米山記念奨学	中塚 浩	井川 正隆	堀部素弘・井上澄男

特別委員会 『長期計画策定委員会』	今村 晋平	中村翠嵐*・今井武男・川中文嗣・松井信五*・本田修造
----------------------	-------	----------------------------

*クラブ研修リーダー予定者

国際ロータリー第2650地区	地 区	財団年次寄付・財団恒久基金委員会委員	本田 修造
	地 区	米山奨学委員会委員長	岩橋 忠昭
	地 区	新世代委員会委員	西尾 修

2012～2013年度 理事・役員・委員会構成表

会 長 (理事・役員)	松井 信五	ロータリー財団 (理 事)	横尾 浩志
会 長 エレクト (理 事)	杉崎 則夫	無 任 所 (理 事)	渡辺 剛士
直 前 会 長 (理 事)	川中 丈嗣	会 計 (役 員)	小坂 文夫
副 会 長 (役 員)	杉崎 則夫	S. A. A. (役 員)	中塚 浩
幹 事 (役 員)	小森 直之	副 幹 事	村田 好謙
ク ラ ブ 管理 (理 事)	柴田 義典	副 幹 事	竹之内 米貴
奉仕プロジェクト (理 事)	中村 弘吉	副 幹 事	吉田 武雄
新 世 代 (理 事)	福留 幸一	副 S. A. A.	中島 陽子
職 業 奉 仕 (理 事)	坂田 均	副 S. A. A.	岡武 和暁
国 際 奉 仕 (理 事)	平野 俊雄	副 S. A. A.	藪下 清三
広 報 (理 事)	川勝 裕之	副 会 計	井川 正隆
会 員 増 強 (理 事)	木村 安輝	45周年実行委員長 (理 事)	井上 勝

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
クラブ管理	柴田 義典	木村 茂	
親睦活動 出席	谷川 博造	森 俊次	佐貫 将一、岩本 一、平岡 幹之助、長尾 眞志、郡 正樹、岡武 和暁、 大木 義秀、関根 淳子、橋本 幸司、上村 承生、中川 公孝、佐々木 虚室、 松下 明史
プログラム	今村 晋平	太田 美実	小山 信一・末松 哲夫・中村 翠嵐
会報・記録	岸 弘祐	今井 武男	山本 真也
姉妹クラブ	森里 秀夫	鈴木 敏治	
ニコニコ箱	安澤 英治	植野 清富	横井 康治、塩路 徹、橋本 幸司、上村 承生
奉仕プロジェクト・社会奉仕	中村 弘吉	安澤 英治	木村 安輝、横尾 浩志、清水 泰博、森 俊次、岡武 和暁
青少年育成奨学金	西尾 修	安倍 秀風	大藤 光夫
新 世 代	福留 幸一	西尾 修	名筋 淳二
ローターアクト	山本 真也	岡武 和暁	西出 澄弘、岸 弘祐、大木 義秀、関根 淳子、橋本 幸司、上村 承生、中川 公孝、 佐々木 虚室、松下 明史
職業奉仕	坂田 均	平岡 幹之助	小原 晃、竹本 昌生
国際奉仕	平野 俊雄	塩路 徹	橋本 初弥
広 報	川勝 裕之	清水 泰博	井川 正隆、郡 正樹、中川 公孝
雑 誌	郡 正樹	村田 佳弘	
会員増強	木村 安輝	佐貫 将一	山中 鉄一、横田 治男、西村 孝之
会員選考	小林 一恵	吉田 良武	
ロータリー情報	城山 健太郎	井上 武雄	大木 博、堀部 素弘
規定審議	安倍 秀風	戸田 義高	中嶋 克美
ロータリー財団	横尾 浩志	本田 修造	磯田 好計、坂田 均、大木 義秀
米山記念奨学	吉田 武雄	岩橋 忠昭	知公 智之、郡 正樹

45周年実行委員会	井上 勝	末松 哲夫	木村 安輝、小坂 文夫、柴田 義典、中塚 浩、中村 翠嵐、小野 富造、中島 陽子、 渡辺 剛士、中村 弘吉、平野 俊雄
45周年事業 記念講演会・式典	中村 翠嵐	小野 富造 中島 陽子	
宝ヶ池ファミリー駅伝	渡辺 剛士	小野 富造 木村 安輝 中村 弘吉	清水 泰博、中塚 浩、川勝 裕之、森 俊次、山本 真也、長尾 眞志 中島 陽子、岡武 和暁、郡 正樹、大木 義秀、橋本 幸司
京都マラソン	中塚 浩	平野 俊雄	

クラブ戦略策定委員会	今村 晋平	中村 翠嵐	小野 富造、木村 安輝、川中 丈嗣、杉崎 則夫、渡辺 剛士、本田 修造、小森 直之
------------	-------	-------	---

国際ロータリー第2650地区	地 区	財団資金推進委員会委員	本田 修造
	地 区	米山奨学委員会委員長	岩橋 忠昭
	地 区	インターアクト委員会委員	福留 幸一

インターアクト検討委員会	木村 安輝	横田 治男、小林 一恵、小野 富造、今村 晋平、城山健太郎、 安倍 秀風、西出 澄弘、福留 幸一、川勝 裕之、山本 真也、 松井 信五、小森 直之
--------------	-------	---

会 長 (理事・役員)	杉崎則夫	ロータリー財団 (理 事)	中塚 浩
会 長 エレクト (理事・役員)	小野富造	会 計 (役 員)	井川正隆
直 前 会 長 (理事・役員)	松井信五	S. A. A. (役 員)	平野俊雄
副 会 長 (理事・役員)	渡辺剛士	副 幹 事	山本真也
幹 事 (理事・役員)	坂田 均	副 幹 事	中島陽子
ク ラ ブ 管 理 (理 事)	岩本 一	副 幹 事	岡武和暁
奉仕プロジェクト (理 事)	塩路 徹	副 S. A. A.	川勝裕之
新 世 代 (理 事)	森 俊次	副 S. A. A.	関根淳子
職 業 奉 仕 (理 事)	清水泰博	副 S. A. A.	小森直之
国 際 奉 仕 (理 事)	今村晋平	副 S. A. A.	中川公孝
広 報 (理 事)	吉田武雄	副 S. A. A.	上村承生
会 員 増 強 (理 事)	横尾浩志	副 会 計	郡 正樹

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
クラブ管理	岩本 一	森里秀夫	
親睦活動・出席	森里秀夫	小山信一 井川正隆	福留幸一、郡 正樹、橋本幸司、上村承生、中川公孝、 佐々木虚室、松下明史、村岡正浩、井上正博、中村吉晴、福川敦子、 布施栄一、中西敏之、奥田敏信
プログラム	吉田武雄	井上武雄	中島 陽子
会報・記録	岸 弘祐	今井武男	郡 正樹、中村・晴、中西敏之
姉妹クラブ	本田修造	小坂文夫	鈴木敏治、谷川博造、平岡幹之助
ニコニコ箱	村田好謙	岸 弘祐	横井康治、西尾 修、安澤英治、橋本幸司
奉仕プロジェクト・社会奉仕	塩路 徹	関根淳子	横尾浩志、清水泰博、森 俊次、松下明史
青少年育成奨学金	西尾 修	大藤光夫	
新 世 代	森 俊次	名・淳二	西村孝之、安倍秀風、安澤英治
ローターアクト	竹之内米貴	小森直之	西出澄弘、安倍秀風、山本真也、岡武和暁、橋本幸司、上村承生、中川公孝、 佐々木虚室、岸 弘祐
インターアクト	木村安輝	福留幸一	横田治男、小林一恵、小野富造、今村晋平、城山健太郎、安倍秀風、 西出澄弘、川勝裕之、山本真也、松井信五、小森直之、布施栄一、奥田敏信
職業奉仕	清水泰博	平岡幹之助	竹本昌生、大藤光夫
国際奉仕	今村晋平	井上 勝	稲本初弥、松井信五、山中鉄一、安澤英治
広 報	吉田武雄	郡 正樹	平野俊雄
雑 誌	郡 正樹	村田佳弘	
会員増強	横尾浩志	木村安輝 川勝裕之	城山健太郎、佐貫将一、小森直之、福留幸一、村田好謙、橋本幸司
会員選考	木村 茂	中川公孝	吉田良武、川中文嗣、中村弘吉
ロータリー情報	横田治男	佐貫将一	大木 博、堀部素弘、磯田好計、鈴木敏治、太田美実
規定審議	植野清富	村田佳弘	小原 晃、戸田義高、中嶋克美
ロータリー財団	中塚 浩	松下明史	本田修造、大木義秀、中川公孝
米山記念奨学	末松哲夫	清水泰博	岩橋忠昭、知公智之、上村承生

小中学生作陶・茶会	塩路 徹	森 俊次	植野清富、森里秀夫、中塚浩、山本真也、関根淳子、中島陽子、松下明史、佐々木虚室
京都マラソン	川勝裕之	薮下清三	今村晋平、松井信五、渡辺剛士、柴田義典、西尾 修、中塚 浩、安澤英治、井川正隆、 岡武和暁、中川公孝

クラブ戦略策定委員会	今村晋平	中村翠嵐	小野富造、木村安輝、川中文嗣、杉崎則夫、渡辺剛士、本田修造、小森直之
------------	------	------	------------------------------------

国際ロータリー第2650地区	地 区	ガバナー補佐	中村翠嵐
	地 区	財団資金推進委員会委員長	本田修造
	地 区	米山奨学委員会委員	岩橋忠昭
	地 区	インターアクト委員会委員	福留幸一

会 長 (理事・役員)	小野 富造	職 業 奉 仕 (役 員)	岸 弘祐
会 長 エレクト (理事・役員)	岩橋 忠昭	社 会 奉 仕 (役 員)	坂田 均
直 前 会 長 (理事・役員)	杉崎 則夫	国 際 奉 仕 (役 員)	安澤 英治
副 会 長 (理事・役員)	森下 清三	青 少 年 奉 仕 (役 員)	中塚 浩
幹 事 (理 事)	吉田 武雄	会 計 (役 員)	竹之内米貴
クラブ管理運営 (理 事)	渡辺 剛士	副 幹 事	郡 正樹
奉仕プロジェクト (理 事)	横尾 浩志	副 幹 事	上村 承生
広 報 (理 事)	川勝 裕之	副 幹 事	松下 明史
会 員 増 強 (理 事)	平野 俊雄	副 S. A. A.	松井 信五
ロータリー財団 (理 事)	福留 幸一	副 S. A. A.	村田 好謙
ロータリー情報 (理 事)	中村 翠嵐	副 S. A. A.	中島 陽子
親睦活動・出席 (理 事)	小森 直之	副 S. A. A.	佐々木虚室
S. A. A. (理 事)	森里 秀夫	副 S. A. A.	橋本 幸司
		副 会 計	山本 眞也

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
クラブ管理	渡辺 剛士	磯田 好計	小森 直之・関根 淳子・中島 陽子・清水 泰博・西尾 修
親睦活動・出席	小森 直之	木村 安輝	佐賀 将一・松井 信五・上村 承生・中川 公孝・松下 明史・井上 正博 村岡 正浩・中村 吉晴・布施 栄一・福川 敦子・中西 敏之・奥田 欽信 谷口 浩三
プログラム	関根 淳子	小林 一恵	中島 陽子・谷口 浩三
会報・記録	中島 陽子	今井 武男	坂田 均・上村 承生・中川 公孝
姉妹クラブ	清水 泰博	鈴木 敬治	戸田 義高
ニコニコ箱	西尾 修	小山 信一	小原 晃・山本 眞也・井川 正隆・中島 陽子・大木 義秀
奉仕プロジェクト	横尾 浩志	川中 丈嗣	岩本 一・坂田 均・小坂 文夫
社会奉仕	坂田 均	今村 晋平	横井 康治・知公 智之・村田 好謙
青少年育成基金	小坂 文夫	横田 治男	大藤 光夫・中塚 浩
青少年奉仕	中塚 浩	西村 幸之	郡 正樹・岡武 和暁・木村 安輝
ローターアクト	岡武 和暁	中村 吉晴	末松 哲夫・岩本 一・山本 眞也・井上 正博・村岡 正浩・中西 敏之・福川 敦子
インターアクト	木村 安輝	布施 栄一	橋本 幸司・松下 明史・奥田 欽信
職業奉仕	岸 弘祐	井上 勝	山中 鉄一・佐々木虚室
国際奉仕	安澤 英治	城山健太郎	竹之内米貴・岡武 和暁
広 報	川勝 裕之	名筋 淳二	安倍 秀風・中西 敏之
雑 誌	植野 清富	安倍 秀風	平岡幹之助・郡 正樹
会員増強	平野 俊雄	塩路 徹	太田 美実・谷川 博造・村田 好謙・関根 淳子・布施 栄一
会員選考	谷川 博造	吉田 良武	竹本 昌生
ロータリー情報	中村 翠嵐	稲本 初弥	中村 弘吉・小森 直之
規定審議	中村 弘吉	木村 茂	大木 博
ロータリー財団	福留 幸一	本田 修造	柴田 義典・森 俊次・山本 眞也
米山記念奨学	森 俊次	井上 武雄	佐々木虚室
クラブ戦略策定	松井 信五	小森 直之	小野 富造・今村 晋平・中村 翠嵐・杉崎 則夫・渡辺 剛士・岩橋 忠昭・坂田 均・吉田 武雄

地域の子供達に 歓声と笑顔の一日を	横尾 浩志	坂田 均 中塚 浩	渡辺 剛士・岩本 一・柴田 義典・川勝 裕之・森 俊次・安澤 英治 岸 弘祐・森里 秀夫・竹之内米貴
京都マラソン	森 俊次	西尾 修 柴田 義典 井川 正隆	清水 泰博・福留 幸一・山本 眞也・村田 好謙・郡 正樹・大木 義秀 橋本 幸司・上村 承生・中川 公孝・佐々木虚室

国際ロータリー第2650地区	地 区	ガバナー補佐	中村 翠嵐
	地 区	財団資金推進委員会委員長	本田 修造
	地 区	米山奨学委員会委員	岩橋 忠昭
	地 区	インターアクト委員会委員	福留 幸一

2015～2016年度 理事・役員・委員会構成表

京都東山ロータリークラブ

会 長（理事・役員）	岩橋 忠昭	職 業 奉 仕（役 員）	吉田 武雄
会 長 エレクト（理事・役員）	渡辺 剛士	青 少 年 奉 仕（役 員）	竹之内 米貴
直 前 会 長（理事・役員）	小野 富造	会 計（役 員）	名 筋 淳二
副 会 長（理事・役員）	戸田 義高	クラブ戦略策定（役 員）	松井 信五
幹 事（理 事）	岡武 和暁	創立50周年記念事業実行委員会（役員）	中村 翠嵐
クラブ管理運営（理 事）	木村 安輝	副 幹 事	中村 翠嵐
奉仕プロジェクト（理 事）	蕨下 清三	副 幹 事	佐々木 虚室
広 報（理 事）	岸 弘祐	副 幹 事	布施 栄一
会 員 増 強（理 事）	坂田 均	副 幹 事	村岡 正浩
ロータリー財団（役 員）	清水 泰博	副 S. A. A.	小山 信一
ロータリー情報（役 員）	稲本 初弥	副 S. A. A.	関根 淳子
親睦活動・出席（役 員）	山本 眞也	副 S. A. A.	福川 敦子
S. A. A. （役 員）	中島 陽子	副 S. A. A.	中村 吉晴
社 会 奉 仕（役 員）	郡 正樹	副 S. A. A.	谷口 浩三
国 際 奉 仕（役 員）	安澤 英治	副 会 計	松下 明史

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
クラブ管理運営	木村 安輝	山中 鉄一	山本眞也 谷川博造 上村承生 平野俊雄 松下明史
親睦活動・出席	山本 眞也	松井 信五	中村弘吉 柴田義典 井上正博 村岡正浩 中村吉晴 福川敦子 布施栄一 中西敏之 奥田敏信 谷口浩三 山田幸一郎 青山真由美 深海季生 寄本猛
プログラム	谷川 博造	奥田 敏信	城山健太郎 布施栄一
会報・記録	上村 承生	今井 武男	中西敏之 山田幸一郎
姉妹クラブ	平野 俊雄	鈴木 敏治	佐貫将一
ニコニコ箱	松下 明史	西村 孝之	植野清富 小森直之 郡正樹 橋本幸司 上村承生 山田幸一郎
奉仕プロジェクト	蕨下 清三	川中 丈嗣	郡正樹 安澤英治 吉田武雄 竹之内米貴 中村弘吉 川勝裕之 中村吉晴
社会奉仕	郡 正樹	磯田 好計	末松哲夫 小森直之 清水泰博 岸弘祐 橋本幸司
国際奉仕	安澤 英治	井上 武雄	横井康治 布施栄一
職業奉仕	吉田 武雄	小山 信一	竹本昌生 横尾浩志
青少年奉仕	竹之内米貴	小林 一恵	福留幸一 村田好謙
青少年育成基金	中村 弘吉	吉田 良武	小原晃 安倍秀風 横尾浩志
ローターアクト	川勝 裕之	中西 敏之	末松哲夫 井上正博 福川敦子 山田幸一郎
インターアクト	中村 吉晴	木村 安輝	福留幸一 中川公孝 奥田敏信
京都マラソン	井上 正博	山田 幸一郎	木村茂 村田好謙 郡正樹 橋本幸司 上村承生 中川公孝 佐々木虚室
広 報	岸 弘祐	坂田 均	中塚浩 村岡正浩
雑 誌	中塚 浩	植野 清富	大木博 村田好謙
会員増強	坂田 均	井上 勝	今村晋平 佐貫将一 小坂文夫
会員選考	小坂 文夫	大藤 光夫	塩路徹
規定審議	今村 晋平	杉崎 則夫	木村茂
ロータリー財団	清水 泰博	本田 修造	中川公孝 井川正隆 大木義秀 井上正博
米山記念奨学	中川 公孝	末松 哲夫	井上武雄 関根淳子 中西敏之 谷口浩三
ロータリー情報	稲本 初弥	小野 富造	磯田好計 中村翠嵐 平野俊雄

クラブ戦略策定	松井 信五	渡辺 剛士	小野富造 今村晋平 中村翠嵐 川中丈嗣 岩橋忠昭 小森直之
創立50周年記念事業実行委員会	中村 翠嵐	小野 富造 松井 信五	

国際ロータリー第2650地区	地 区	財団資金推進委員会委員長	本田 修造
	地 区	米山奨学委員会委員	井上 武雄
	地 区	インターアクト委員会委員	福留 幸一

* 会計監査：大藤 光夫

2016～2017年度 理事・役員・委員会構成表

京都東山ロータリークラブ

会 長（理事・役員）	渡辺 剛士	国 際 奉 仕（役 員）	安澤 英治
会 長 エレクト（理事・役員）	小森 直之	職 業 奉 仕（役 員）	平野 俊雄
直 前 会 長（理事・役員）	岩橋 忠昭	青 少 年 奉 仕（役 員）	郡 正樹
副 会 長（理事・役員）	中村 弘吉	会 計（役 員）	松下 明史
幹 事（理 事）	清水 泰博	クラブ戦略策定（役 員）	松井 信五
クラブ管理運営（理 事）	松井 信五	創立50周年記念事業実行委員会（役員）	中村 翠嵐
奉仕プロジェクト（理 事）	坂田 均	副 幹 事	村田 好謙
広 報（理 事）	木村 安輝	副 幹 事	橋本 幸司
会 員 増 強（理 事）	本田 修造	副 幹 事	中村 吉晴
ロータリー財団（役 員）	藪下 清三	副 S. A. A.	山本 眞也
ロータリー情報（役 員）	小野 富造	副 S. A. A.	村岡 正浩
親睦活動・出席（役 員）	川勝 裕之	副 S. A. A.	山田 幸一郎
S. A. A.（役 員）	吉田 武雄	副 S. A. A.	青山 真由美
社 会 奉 仕（役 員）	中塚 浩	副 会 計	上村 承生

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
クラブ管理運営	松井 信五	小山 信一	川勝裕之、小坂文夫、上村承生、布施栄一、竹之内米貴
親睦活動・出席	川勝 裕之	中川 公孝	佐賀将一、福留幸一、福川敦子、布施栄一、中西敏之、奥田敏信、谷口浩三、山田幸一郎、青山真由美、深海季生、寄本猛、辻真一、牧野誠司、安倍秀風、加藤晃久、田村旭彦、茂山良暢、渡邊恭章、内藤葉子
プログラム	小坂 文夫	塩路 徹	井上武雄、山本眞也、村田好謙、中西敏之
会報・記録	上村 承生	松下 明史	今井武男、山田幸一郎
姉妹クラブ	布施 栄一	鈴木 敏治	安澤英治、奥田敏信
ニコニコ箱	竹之内米貴	関根 淳子	名筋淳二、佐々木虚室、布施栄一、谷口浩三
奉仕プロジェクト	坂田 均	名筋 淳二	中塚浩、安澤英治、平野俊雄、郡正樹、岡武和暁、中西敏之
社会奉仕	中塚 浩	植野 清富	磯田好計、竹本昌生、竹之内米貴、大木義秀、中川公孝
国際奉仕	安澤 英治	戸田 義高	岸弘祐、内藤葉子
職業奉仕	平野 俊雄	稲本 初弥	井上正博、寄本猛
青少年奉仕	郡 正樹	西村 孝之	末松哲夫、植野清富、井川正隆、谷口浩三、渡邊恭章
ローターアクト	中西 敏之	井上 正博	西村孝之、村田好謙、福川敦子、青山真由美、安倍秀風、加藤晃久、田村旭彦、茂山良暢
インターアクト	岡武 和暁	中村 吉晴	木村安輝、橋本幸司、奥田敏信、関根淳子、牧野誠司
京都マラソン	山田 幸一郎	村岡 正浩	岸弘祐、岡武和暁、中川公孝、井上正博、深海季生
広 報	木村 安輝	山本 眞也	横井康治、中村吉晴
雑 誌	岸 弘祐	佐々木虚室	山中鉄一、谷川博造
会員増強	本田 修造	横尾 浩志	中村翠嵐、坂田均、吉田武雄、郡正樹、上村承生、村岡正浩
会員選考	今村 晋平	小林 一恵	藪下清三
規定審議	木村 茂	上村 承生	戸田義高
ロータリー財団	藪下 清三	川中 丈嗣	大藤光夫、本田修造、関根淳子、佐々木虚室
米山記念奨学	福留 幸一	杉崎 則夫	柴田義典、平野俊雄、橋本幸司、井上正博
ロータリー情報	小野 富造	井上 武雄	吉田良武、杉崎則夫、岩橋忠昭

クラブ戦略策定	松井 信五	坂田 均	中村翠嵐、渡辺剛士、岩橋忠昭、小森直之、清水泰博、中塚浩、平野俊雄
創立50周年記念事業実行委員会	中村 翠嵐	小野 富造 松井 信五	今村晋平、谷川博造、木村安輝、今井武男、川中丈嗣、小坂文夫、福留幸一、吉田武雄

国際ロータリー第2650地区	地 区	財団資金管理委員会委員	小坂 文夫
	地 区	米山奨学委員会委員	井上 武雄
	地 区	インターアクト委員会委員	福留 幸一

*会計監査：大藤光夫

2017～2018年度 理事・役員・委員会構成表

京都東山ロータリークラブ

会 長 (理事・役員)	小森 直之	会 計 (役 員)	上村 承生
会長エレクト・副会長 (理事・役員)	坂田 均	S. A. A. (役 員)	福留 幸一
直 前 会 長 (理事・役員)	渡辺 剛士	無 任 所 (理 事)	中村 弘吉
幹 事 (理事・役員)	中塚 浩	50周年記念事業実行委員会 (役 員)	中村 翠嵐
クラブ管理運営 (理 事)	平野 俊雄	副 幹 事	小野 富造
奉仕プロジェクト (理 事)	木村 安輝	副 幹 事	竹之内 米貴
社 会 奉 仕 (理 事)	本田 修造	副 幹 事	山田 幸一郎
青 少 年 奉 仕 (理 事)	岡武 和暁	副 幹 事	深海 季生
職 業 奉 仕 (理 事)	村田 好謙	副 幹 事	寄本 猛
国 際 奉 仕 (役 員)	吉田 武雄	副 S. A. A.	郡 正樹
広 報 (理 事)	松井 信五	副 S. A. A.	松下 明史
会 員 増 強 (理 事)	川勝 裕之	副 S. A. A.	布施 栄一
ロータリー財団 (理 事)	柴田 義典	副 会 計	中川 公孝

理事：13人 役員：8人

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 管 理 運 営	平野 俊雄	橋本 幸司	村岡 正浩、奥田 敏信、布施 栄一、今村 晋平、郡 正樹
親 睦 活 動 ・ 出 席	村岡 正浩	平野 俊雄	柴田 義典、岸 弘祐、橋本 幸司、中川 公孝、松下 明史、井上 正博、澤田 敦子、山田 幸一郎、青山 真由美、深海 季生、寄本 猛、安倍 秀風、加藤 晃久、茂山 忠三郎、田村 旭彦、渡邊 恭章、内藤 葉子
プ ロ グ ラ ム	奥田 敏信	今井 武男	清水 泰博、大木 義秀、中西 敏之、茂山 忠三郎
会 報 ・ 記 録	布施 栄一	岸 弘祐	西村 孝之、杉崎 則夫、今井 武男、佐々木 虚室
姉 妹 ク ラ ブ	今村 晋平	安澤 英治	鈴木 敏治、名筋 淳二、郡 正樹、中西 敏之
ニ コ ニ コ 箱	郡 正樹	清水 泰博	井川 正隆、上村 承生、田村 旭彦、内藤 葉子
雑 誌	澤田 敦子	植野 清富	松下 明史
会 員 選 考	藪下 清三	井上 武雄	佐貫 将一、末松 哲夫、坂田 均、吉田 武雄
ロ ー タ リ ー 情 報	中村 弘吉	小坂 文夫	井上 武雄、松井 信五、藪下 清三、福留 幸一
規 定 審 議	小野 富造	坂田 均	今村 晋平、中村 弘吉
奉 仕 プ ロ ジェ ク ト	木村 安輝	岡武 和暁	本田 修造、山本 眞也、関根 淳子、中村 吉晴
職 業 奉 仕	村田 好謙	塩路 徹	磯田 好計、大藤 光夫、佐々木 虚室
国 際 奉 仕	吉田 武雄	関根 淳子	稲本 初弥、安澤 英治、加藤 晃久
社 会 奉 仕	本田 修造	名筋 淳二	吉田 良武、横井 康治、藪下 清三、佐々木 虚室
青 少 年 奉 仕	岡武 和暁	山田 幸一郎	戸田 義高、布施 栄一、中村 吉晴、中川 公孝
ロ ー タ ー ア ク ト	中村 吉晴	安倍 秀風	山本 眞也、岡武 和暁、加藤 晃久、茂山 忠三郎、田村 旭彦、渡邊 恭章
イ ン タ ー ア ク ト	山田 幸一郎	山本 眞也	木村 安輝、竹之内 米貴、奥田 敏信、青山 真由美
(7-7)地区大会実行委員会	戸田 義高	岡武 和暁	木村 安輝、山本 眞也、山田 幸一郎、竹之内 米貴、松下 明史、奥田 敏信、青山 真由美、深海 季生
会 員 増 強	川勝 裕之	青山 真由美	小山 信一、川中 丈嗣、渡辺 剛士、布施 栄一、寄本 猛
広 報	松井 信五	福留 幸一	小林 一恵、川勝 裕之、村岡 正浩、井上 正博
ロ ー タ リ ー 財 団	柴田 義典	茂山 忠三郎	井川 正隆、関根 淳子、安倍 秀風、渡邊 恭章
米 山 記 念 奨 学	井川 正隆	安澤 英治	大藤 光夫、村田 好謙、澤田 敦子
京 都 マ ラ ソ ン	中川 公孝	上村 承生	山本 眞也、橋本 幸司、寄本 猛、中西 敏之、茂山 忠三郎
クラブ戦略策定委員会	木村 安輝	坂田 均	渡辺 剛士・小森 直之・本田 修造・清水 泰博・福留 幸一・中塚 浩・平野 俊雄
50 周 年 実 行 委 員 会	委 員 長	中村 翠嵐	副 委 員 長 小野 富造・松井 信五
部 会	部 会 長	副 部 会 長	部 会 部 会 長 副 部 会 長
記 念 事 業	木村 安輝	渡辺 剛士・坂田 均	来 賓 接 待 川中 丈嗣 杉崎 則夫・藪下 清三
記 念 式 典	谷川 博造	佐貫 将一・中村 弘吉・平野 俊雄	広 報 福留 幸一 川勝 裕之
記 念 誌	今井 武男	井上 武雄	総 務 吉田 武雄 竹之内 米貴・松下 明史
姉 妹 ク ラ ブ	今村 晋平	本田 修造・清水 泰博	会 計 小坂 文夫 名筋 淳二

国 際 ロ ー タ リ ー 第 2650 地 区	地区 財団資金管理委員会 委員長／地区ロータリー財団委員会 委員	小坂 文夫
	地区 インターアクト委員会 委員	福留 幸一

特別委員会

創立30周年記念実行委員会

担当理事:小原 晃

実行委員長:吉田 義武

副実行委員長:今村 晋平

実行委員:横田 治男、内海 貴夫、川中 丈嗣、前林 正典、浅見五郎助、井上 幸次

役割分担	リーダー	副リーダー	担 当 委 員
受 付	竹市 泰和	井上 澄男・手塚 充	林 正良・石本 常利・若山 敬祐・村元 健眞・西尾 重雄 中西美代蔵・佐貫 将一・橋本 幸男・平田 清嗣・塩路 徹 植野 清富・村田 佳弘・井上 幸次・六車 雄二・中嶋 克美 大藤 光夫・山本 久義・岩本 一・岩橋 忠昭・水内 喜廣 金子永次郎・小坂 文夫・柴垣 正彦・清水 邦明・中井 勝 名筋 淳二・高橋 康行・小森 直之
案内・誘導	内海 貴夫	日比野 修	磯田 好計・木村 秀雄・山中 鉄一・嶋村 昭平・横原 一雄 布垣 裕嗣・竹本 昌生・稲本 初・高谷 寿一・西村 孝之 城山健太郎・谷川 博造・木村 茂・小山 信一・今井 武男 川中 丈嗣・岸 信太郎・高倉 信夫・知公 智之・松井 信五 阿部 勲・中嶋 克美・横井 康治
接 待 係	招 待 者		
	RI元理事: 千 宗室様 RI理事エレクト: 小谷 隆一様 ガバナー: 山田 三郎様 ガバナーノミニー: 宮崎 茂和様 次年度地区幹事長: 増田 善宏様 RAC地区代表: 長谷川 渉様 京都市長: 梶本 頼兼様 京都市市会議員: 川中増次郎様 山科区長: 栗津 治郎様 新竹RC会員 金沢南RC会員		(リ-ダー)木村 安輝、(副リ-ダー)井上 武雄 廣田長三郎、小坂 進、小澤 利夫・説田 武 杉田 信夫、諏訪 蘇山、堀部 素弘、岡村 博 佐藤富士男、浅田喜八郎、金澤三造・増田 房二 中川 正文、大木 博、田中 久雄、広岡 泰 小田 義彦 (リ-ダー)小林 一恵、(副リ-ダー)内海 貴夫 川中 丈嗣、宮本 博史、杉崎 則夫、村田 佳弘 戸田義高、横尾 浩志、江川 寿明 (リ-ダー)中村 翠嵐、(副リ-ダー)鈴木 敏治 廣田長三郎、岡村 博、佐藤富士男、川澄 季央 田村 和夫、西尾 重雄、坪井 嘉藏、高山 雄 福住 清之、川崎 昭夫、渡辺 剛士
会場設営	西村正一郎	庶 C55:G70務+C3+C	小野 富造・太田 美実・末松 哲夫・中村 弘吉・安倍 秀風 村井 照男
司会進行	西村正一郎	内海 裕子	浅見五郎助・坂田 均
ソ ン グ	西出 澄弘		中川 正文・植野 清富・横井 康治
呈 茶 席	金澤三四蔵	浅見五郎助	知公 智之・井上 幸次
記 録	横田 治男	高山 雄・手塚 充	小澤 利夫・黒沢 巖・井上 勝・西村 孝之・石原 隆光
			増田 紘明
記念事業			各担当委員会

創立35周年記念実行委員会

部 会	委員会	委員長/副委員長	委 員
総 務 部会長 井上 勝	庶 務	岩橋 忠昭/名筋 淳二	
	会 計	松井 信五/小坂 文夫	
	記録・広報	小山 信一/柴垣 正彦	
式 典 部会長 井上 武雄	式典・祝宴	川中 丈嗣/中嶋・小森	
	登録・受付	中嶋 克美/小坂文・柴田	
	接 待	稲本 初弥/手塚 充	
	姉妹クラブ	渡辺 剛士/今村 晋平	鈴木 敏治・宮本 博史
記念事業 部会長:橋本	講 演 会	西村正一郎/本田 修造	
	記念事業	橋本 幸男/川中 丈嗣	

創立40周年記念実行委員会

総合アドバイザー:増田 房二

総括担当者:手塚 石雲

実行委員長:堀部 素弘

副実行委員長:橋本 幸男

部 会	アドバイザー	リーダー	サブリーダー	担 当 ス タ ッ プ	
記念事業	稲本 初弥 井上 勝 西村 孝之	川中 丈嗣	竹市 泰和 末松 哲夫	野球教室	浅見五郎助・西尾 修・片山 好司 岩本 一
				講 演 会	竹本 昌生・中村 弘吉・植野 清富 塩路 徹
				野球大会	知公 智之・宮本 博史・江川 寿明 西村正一郎・中塚 浩・福留 幸一
記念講演	横田 治男	杉崎 則夫	平田 清嗣 柴田 義典	受 付	福住 清之・太田 美実・村田 佳弘 岩井 文彦
				接 待	井上 澄夫・西出 澄弘
				広報・会場	村元 健眞・岸 信太郎・横尾 浩志 大藤 光夫・宮川 孝広
式典実行	説田 武 廣田長三郎 吉田 良武 大木 博 小澤 利夫 山中 鏝一	木村 安輝	木村 茂 小森 直之	受 付	磯田 好計・安倍 秀風・辻中 正雄 横井 康治
				接 待	中村 翠嵐・小野 富造
				会 場	松井 信五・渡辺 剛士・戸田 義高 清水 泰博・水野 雄二・野村 清孝
記 念 誌	中川 正文	今井 武男	柴垣 正彦		名筋 淳二
姉妹クラブ	鈴木 敏治	井上 春峰	谷川 博造 佐貫 将一		本田 修造・中嶋 克美・岩橋 忠昭
総 務	今村 晋平	小原 晃	城山健太郎		小坂 文夫
会 計	杉田 信夫	井上 武雄	薮下 清三		平岡幹之助

創立45周年記念実行委員会

45年度会長:松井 信五 副会長:杉崎 則夫 幹事:小森 直之			
実行委員長:井上 勝 実行副委員長:末松 哲夫 セクレタリー:村田 好謙・竹之内米貴・吉田 武雄			
委 員 会	委員長	副 委 委 長	セクレタリー
記念講演・記念式典	中村 翠嵐	小野 富造 ・ 中嶋 陽子	竹之内米貴
宝ヶ池ファミリー駅伝	渡辺 剛士	中村 弘吉 ・ 小野 富造 ・ 木村 安輝	村田 好謙
京 都 マ ラ ソ ン	中塚 浩	平野 俊雄	吉田 武雄
会 計	小坂 文夫		
総 務	木村 安輝	中塚 浩	竹之内米貴
記 録	柴田 義典		

創立50周年記念実行委員会

50年度会長:小森 直之 50年度幹事:中塚 浩					
実行委員長:中村 翠嵐 実行副委員長:松井 信五(記念事業・記念式典・来賓・広報) 〃 :小野 富造(記念誌・姉妹クラブ・総務・会計)					
総合アドバイザー:吉田 良武					
部 会 名	アドバイザー	部 会 長	副部会長	セクレタリー	部 会 委 員
記念事業	小林 一恵 稲本 初弥	木村 安輝	渡辺 剛士 坂田 均	中村 吉晴	安倍 秀風・井川 正隆・井上 正浩 岸 弘祐・村田 好謙・中西 敏之 大木 義秀
記念式典 (記念例会) (記念講演) (祝 宴)	磯田 好計 小山 信一	谷川 博造	佐貫 将一 中村 弘吉 平野 俊雄	岡武 和暁	深海 季生・福川 淳子・布施 栄一 加藤 晃久・中川 公孝・佐々木虚室 柴田義典・山本 眞也・寄本 猛 末松 哲夫・内藤 陽子
記 念 誌	西村 孝之	今井 武男	井上 武雄		
姉妹クラブ	鈴木 利治	今村 晋平	本田 修造 清水 泰博	安澤 英治	橋本 幸司・郡 正樹・奥田 歆信 茂山 良暢・山田幸一郎
来賓接待		川中 丈嗣	杉崎 則夫 藪下 清三	関根 淳子	青山真由美・上村 承生・戸田 義高 横井 康治・渡辺 泰章
広 報		福留 幸一	川勝 裕之	村岡 正弘	
総 務	植野 清富	吉田 武雄	竹之内米貴 松下 明史		(事務局)
会 計	大藤 光夫	小坂 文夫	名筋 淳二		

地区委員

年 度	会 員 名	担 当 役 職 名	会 員 名	担 当 役 職 名	備 考
1993～94	増田 房二 佐藤富士男	米山記念奨学会諮問委員 拡大委員会委員	安倍 秀風	ローターアクト委員会委員	
1994～95	増田 房二 佐藤富士男	米山記念奨学会諮問委員 拡大委員会委員	野村 泰三	地区R財団増進委員長	
1995～96	増田 房二 岡村 博	米山記念奨学会諮問委員 地区規定審議委員	増田 紘明 安倍 秀風	地区国際交流委員 ローターアクト委員会委員	
1996～97	増田 房二	米山記念奨学会諮問委員	増田 紘明	地区国際交流委員	
1997～98	増田 房二	米山記念奨学会諮問委員	増田 紘明	地区国際交流委員	
1998～99	増田 房二	米山記念奨学会諮問委員	西村孝之	ローターアクト委員	
1999～2000	鈴木敏治	米山記念奨学委員	西村孝之	ローターアクト委員	
2000～01	鈴木敏治 鈴木敏治	米山記念奨学委員 米山記念奨学委員	西村孝之 西村孝之	ローターアクト委員 ローターアクト副委員長	
2001～02	鈴木敏治 中村翠嵐	米山記念奨学副委員長 R財団推進委員	西村孝之	ローターアクト副委員長	
2002～03	鈴木敏治 中村翠嵐	米山記念奨学副委員長 R財団推進委員	西村孝之	ローターアクト副委員長	
2003～04	西村孝之 岩橋忠昭	ローターアクト副委員長 米山記念奨学委員	今村晋平 西尾 修	R財団年次寄付・恒久基金委員 ローターアクト委員	
2004～05	西村孝之 岩橋忠昭	ローターアクト副委員長 米山記念奨学委員	今村晋平 西尾 修	R財団年次寄付・恒久基金委員 ローターアクト委員	
2005～06	西村孝之 岩橋忠昭	ローターアクト委員長 米山記念奨学委員	今村晋平 西尾 修	R財団年次寄付・恒久基金副委員 ローターアクト委員	
2006～07	西村孝之 岩橋忠昭	ローターアクト委員長 米山記念奨学副委員長	今村晋平 西尾 修	R財団年次寄付・恒久基金副委員 ローターアクト委員	
2007～08	岩橋忠昭 大藤光夫	米山記念奨学副委員長 R財団年次寄付・恒久基金委員	西尾 修	ローターアクト委員	
2008～09	岩橋忠昭 大藤光夫	米山記念奨学委員長 R財団年次寄付・恒久基金委員	西尾 修	ローターアクト委員	
2009～10	岩橋忠昭 大藤光夫	米山記念奨学委員長 R財団年次寄付・恒久基金委員	西尾 修	ローターアクト委員	
2010～11	本田修造	R財団年次寄付・恒久基金委員	西尾 修	ローターアクト委員	
2011～12	本田修造	R財団年次寄付・恒久基金委員	西尾 修	ローターアクト委員	
2012～13	本田修造	R財団年次寄付・恒久基金副委員	福留幸一	インターアクト委員	
2013～14	本田修造 中村翠嵐	R財団年次寄付・恒久基金副委員 ガバナー補佐	福留幸一	インターアクト委員	
2014～15	本田修造 中村翠嵐	R財団年次寄付・恒久基金委員長 ガバナー補佐	福留幸一	インターアクト委員	
2015～16	本田修造 井上武雄	R財団年次寄付・恒久基金委員長 米山記念奨学委員	福留幸一	インターアクト委員	
2016～17	井上武雄 小坂文夫	米山記念奨学委員 R財資金管理委員	福留幸一	インターアクト委員	
2017～18	小坂文夫	R財資金管理委員	福留幸一	インターアクト委員	

会員・寄付金等

年 度	会長・幹事	出席率	会 員			ビジター フィー	ニコニ箱	R財団寄付	米山記念 奨学寄付	青少年育成 奨学資金	会員 人数	平均 年齢	日本ロータリークラブ	
			入会金	年会費	特別会費								クラブ数	地区数
26 1993～94	小田・西村	100	150,000	320,000	円	4,000	5,707,215	2,555,300	2,712,000	円	111	57.6		
27 1994～95	谷口・嶋村		150,000	320,000	30周年準備金 6,000	4,000	5,444,100	2,831,311	3,438,500	累計額 892,000	108	58.5	2,178	127,263
28 1995～96	田中・谷川	100	150,000	350,000	8,000	4,000	5,949,750	2,971,730	2,601,500	1,024,000	106	59.1	2,214	129,909
29 1996～97	堀部・井上武	100	150,000	350,000	8,000	4,000	5,232,000	4,956,065	4,508,000	1,133,000	108	60.2	2,247	129,709
30 1997～98	野村・木村安	100	150,000	370,000	8,000	4,000	5,510,648	1,749,779	1,852,750	957,000	108	59.9	2,267	127,512
31 1998～99	山中・中村翠	100	150,000	350,000		4,000	4,878,000	3,172,100	2,868,000	1,380,000	95	60.8	2,285	123,853
32 1999～2000	今村・川中		150,000	350,000		4,000	4,616,500	2,835,384	1,902,000	1,140,000	89	61.3	2,299	120,863
33 2000～01	横田・城山		150,000	350,000		4,000	4,787,300	1,870,295	1,564,000	990,000	93	61.9	2,311	116,647
34 2001～02	小林・小原		150,000	350,000		4,000	4,369,171	2,270,900	1,077,000	939,000	93	62.7	2,322	111,992
35 2002～03	井上勝・橋本		150,000	350,000	35周年登録料	4,000	4,307,500	1,689,200	900,000	821,000	91	63.3	2,336	106,939
36 2003～04	稲本・手塚		150,000	350,000		4,000	4,120,000	1,493,272	1,565,500	749,000	88	63.6	2,334	103,620
37 2004～05	鈴木・岩橋		150,000	350,000		4,000	4,029,500	1,050,400	726,000	666,000	86	64.3	2,334	100,710
38 2005～06	西村・植野		150,000	350,000	40周年積立金	4,000	3,522,783	1,250,800	1,529,000	10,000	83	65.1	2,332	99,175
39 2006～07	小山・松井		150,000	350,000	8,000	4,000	3,659,000	1,432,040	1,451,000	610,000	80	64.8	2,327	97,330
40 2007～08	中村翠・小野		150,000	350,000	40周年登録料 15,000	4,000	4,155,000	2,175,000	1,518,000	649,000	81	63.1	2,319	95,238
41 2008～09	木村安・渡辺		150,000	350,000	45周年積立金 12,000	4,000	3,876,000	2,149,200	1,349,000	431,000	78	62.7	2,309	91,906
42 2009～10	城山・小坂		150,000	350,000	12,000	4,000	3,544,000	1,632,500	1,642,000	344,000	80	62.9	2,309	89,693
43 2010～11	今井・岩本		150,000	350,000	12,000	4,000	3,269,000	1,407,500	1,240,000	0	78	63.1	2,302	88,214
44 2011～12	川中・本田		150,000	350,000	12,000	4,000	3,450,200	1,490,980	1,623,000	0	78	63.1	2,294	87,110
45 2012～13	松井・小森	100	150,000	350,000	20,000	4,000	3,614,000	1,582,320	1,671,000	希望の風 357,000	83	63.1	2,288	86,730
46 2013～14	杉崎・坂田		150,000	380,000	50周年積立金 12,000	4,300	3,136,000	1,598,160	1,357,000		77	64.1	2,285	87,010
47 2014～15	小野・吉田武		150,000	380,000	12,000	4,300	3,055,100	1,487,780	1,193,000	405,000	76	63.2	2,280	87,432
48 2015～16	岩橋・岡武		150,000	380,000	12,000	4,300	3,247,000	1,540,640	1,206,000	793,000	73	62.9	2,274	87,615
49 2016～17	渡辺剛・清水		150,000	380,000	12,000	4,300	3,045,000	1,560,400	1,512,000	400,000	70	61.8	2,270	87,936
50 2017～18	小森・中塚		150,000	400,000	50周年登録料 20,000 15,000	4,300	2,808,000	1,333,000	938,000	248,000	69	61.6	2,265	89,055

第26年度(1993～94)

会 計 岸 信太郎

収 入 の 部				支 出 の 部							
科 目			金 額	科 目		金 額	科 目		金 額		
前 期 繰 越 金			1,877,373	分	本 部 分 担 金		375,100	事	国際奉仕委員会	460,554	
ク ラ ブ 運 営 収 入	年 会 費	15,479,100	地 区 資 金		810,300	奉 仕 活 動 予 備 費	0				
	例 会 費	20,576,400	国際青少年交換特別資金		219,000		合 計		4,003,585		
	来 客 会 費	1,296,000	ガバナー事務所費		547,500	務	1. 例 会 費 (小計)	18,157,228			
	入 会 金	600,000	地区大会分担金		547,500		会 食 費	17,535,478			
	雑 収 入 (本)	103,007	地区協議会費		100,000		諸 経 費	383,820			
	預 金 利 息	36,913	I M 分 担 金		330,000		会 議 室 借 料	237,930			
	合 計	38,091,420	W C S 分 担 金		219,000		2. 集 会 費 (小計)	848,062			
ニ コ ニ コ 収 入		5,707,215	その他集会諸費用		0		会 長 幹 事 会 費	438,118			
預 金 利 息		12,815	機関紙購読料Rの友		281,808		諸 経 費	0			
分 担 金 収 入	R	本 部 分 担 金	410,130	金	ガバナー月信		131,400	運	ガバナー公式訪問費	409,944	
		地 区 資 金	815,850		その他 (手帳等)		768,392		3. 渉 外 費 (小計)	589,440	
		国際青少年交換特別基金	220,500		合 計		4,330,000		慶 弔 費	589,440	
		ガバナー事務所費	551,250		寄 付 協 力 金		6,436,617		4. 事 務 局 費 (小計)	11,901,167	
		I	地区大会分担金	551,250	ク ラ ブ	クラブ奉仕委員会			499,510	事 務 所 借 料	2,007,264
			地区協議会費	110,250		出 席 委 員 会			363,590	光 熱 費	189,264
			I M 分 担 金	330,750		職業分類委員会			0	人 件 費	7,352,399
			W C S 分 担 金	220,500		クラブ会報委員会			1,068,316	通 信 費	458,421
			機関紙購読料Rの友	275,625		親睦活動委員会			1,866,310	事 務 用 品 費	334,830
			ガバナー月信	132,300		雑 誌 委 員 会			0	消 耗 品 費	0
	その他		703,395	会員選考委員会		0	備 品 費	170,702			
	合 計		4,321,800	会員増強委員会		0	賃 借 料	311,380			
	ロータリー 財団 寄付			奉 仕 活 動	プログラム委員会		750,000	印 刷 費	0		
	会員年間寄付 (普通)		132,300		広 報 委 員 会		0	文 献 費	17,870		
	特別寄付		2,423,000		ロータリー情報委員会		84,067	福 利 厚 生 費	718,805		
	米 山 奨 学 会 寄 付				規定審議委員会		124,999	雑 費	121,507		
	会員年間寄付 (普通)		441,000		記 録 委 員 会		384,459	修 繕 費	89,610		
	特別寄付				健康管理委員会		139,489	振 込 手 数 料	129,115		
	青少年育成奨学寄金		2,171,000		姉妹クラブ委員会		209,980	5. 事 務 運 営 予 備 費	0		
	雑収入		1,283,000		ニコニコ箱委員会		0	合 計 (1. 2. 3. 4. 5.)	31,495,897		
	合 計		6,450,917		ソ ン グ 委 員 会		407.5	退 職 積 立 金	250,000		
	米山奨学生への補助金(米山奨学会)		215,000		クラブ奉仕活動予備費		0	拡 大 準 備 委 員 会	34,216		
					合 計		5,898,220	予 備 費	0		
					職 業 奉 委 員 会		190,000	米山奨学金への補助金(米山奨学会)		47,000	
					社会奉仕委員会		803,031	支 出 合 計		52,495,535	
青 少 年 委 員 会					1,700,000	次 期 繰 越 金		4,181,005			
収 入 総 合 計			56,676,540		動	ローターアクト委員会	850,000	合 計		56,676,540	

第27年度(1994～95)

会 計 鈴木 敏治

収 入 の 部			支 出 の 部										
科 目			金 額	科 目		金 額	科 目		金 額				
前 期 繰 越 金			1,626,262	分	本 部 分 担 金		381,833	事	国 際 奉 仕 委 員 会		743,000		
ク ラ ブ 運 営 収 入	年 会 費	15,373,800	地 区 資 金		817,700	務	奉 仕 活 動 予 備 費		0				
	例 会 費	20,482,800	国 際 青 少 年 交 換 特 別 資 金		221,000		合 計		4,589,829				
	来 客 会 費	1,260,000	ガ バ ナ ー 事 務 所 費		552,500		運	1. 例 会 費 (小計)		17,780,284			
	入 会 金	150,000	地 区 大 会 分 担 金		552,500			会 食 費		17,014,214			
	雑 収 入 (本)	3,000	地 区 協 議 会 費		122,000			諸 経 費		516,810			
	預 金 利 息	11,004	I M 分 担 金		333,000			会 議 室 借 料		249,260			
	合 計	37,280,604	W C S 分 担 金		221,000			2. 集 会 費 (小計)		874,183			
ニ コ ニ コ 収 入		5,444,100	そ の 他 集 会 諸 費 用		10,000			会 長 幹 事 会 費		433,274			
預 金 利 息		2,100	機 関 紙 購 読 料 R の 友		281,808			諸 経 費		0			
分 担 金 収 入	R	本 部 分 担 金	407,340	金	ガバナー月信			132,600	ガバナー公式訪問費		440,909		
		地 区 資 金	810,300		そ の 他 (手帳等)			771,997	3. 渉 外 費 (小計)		566,800		
		国 際 青 少 年 交 換 特 別 基 金	219,000		合 計			4,397,938	慶 弔 費		566,800		
		ガ バ ナ ー 事 務 所 費	547,500		寄 付 協 力 金		7,168,447	4. 事 務 局 費 (小計)		12,237,418			
		I	地 区 大 会 分 担 金	547,500	ク ラ ブ	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会		577,830	運	事 務 所 借 料		2,050,524	
			地 区 協 議 会 費	109,500		出 席 委 員 会		558,775		光 熱 費		194,596	
			I M 分 担 金	328,500		職 業 分 類 委 員 会		0		人 件 費		7,692,568	
			W C S 分 担 金	219,000		ク ラ ブ 会 報 委 員 会		1,167,196		通 信 費		510,675	
			機 関 紙 購 読 料 R の 友	273,750		親 睦 活 動 委 員 会		1,640,750		事 務 用 品 費		359,995	
			ガバナー月信	131,400		雑 誌 委 員 会		0		消 耗 品 費		0	
	その他		715,254	会 員 選 考 委 員 会		0	備 品 費			0			
	合 計		4,309,044	会 員 増 強 委 員 会		0	賃 借 料			338,864			
	ロータリー 財団 寄付			奉 仕 活 動		プ ロ グ ラ ム 委 員 会		664,922		費	印 刷 費		0
	会 員 年 間 寄 付 (普通)		114,756			広 報 委 員 会		0			文 献 費		542
	特別寄付		2,716,555			ロータリー情報委員会		63,770			福 利 厚 生 費		799,557
	米 山 奨 学 会 寄 付					規 定 審 議 委 員 会		32,290	雑 費		81,882		
	会 員 年 間 寄 付 (普通)		438,000			記 録 委 員 会		371,820	修 繕 費		89,610		
	特別寄付		3,000,500			健 康 管 理 委 員 会		164,162	振 込 手 数 料		124,605		
	青 少 年 育 成 奨 学 寄 金		892,000			姉 妹 ク ラ ブ 委 員 会		105,763	5. 事 務 運 営 予 備 費		0		
	雑収入		842			ニ コ ニ コ 箱 委 員 会		24,000	合 計 (1. 2. 3. 4. 5.)		31,458,685		
	合 計		7,162,653			ソ ン グ 委 員 会		315,000	退 職 積 立 金		250,000		
	3 0 周 年 記 念 準 備 金		654,000			ク ラ ブ 奉 仕 活 動 予 備 費		0	予 備 費		0		
米山奨学生への補助金(米山奨学会)		168,000	合 計		5,686,278	3 0 周 年 記 念 準 備 金		654,000					
			奉 仕 活 動	職 業 奉 委 員 会		300,000	米山奨学金への補助金(米山奨学会)		168,000				
				社 会 奉 仕 委 員 会		1,200,000	N N 定 期 預 金		856,371				
				青 少 年 委 員 会		1,592,829	支 出 合 計		55,229,548				
				ローターア外 委 員 会		754,000	次 期 繰 越 金		1,417,215				
収 入 総 合 計			56,646,763				合 計			56,646,763			

第28年度(1995～96)

会 計 布垣 裕嗣

収 入 の 部			支 出 の 部					
科 目		金 額	科 目		金 額	科 目		金 額
前 期 繰 越 金		1,417,215	分	本 部 分 担 金	357,788	ク	会 場 運 営 雑 費	170,000
ク ラ ブ 運 営	年 会 費 ・ 例 会 費	37,567,200		地 区 資 金	806,600		4. 事 務 局 費 (小計)	112,038,627
	来 客 会 費	836,000		国際青少年交換特別資金	239,800		事 務 所 借 料	2,093,784
	預 金 利 息	18,404		ガバナー事務所費	545,000		光 熱 費	198,623
	雑 収 入 (本)	276,818		地 区 大 会 分 担 金	545,000		人 件 費	7,710,036
	合 計	40,115,637		地 区 協 議 会 費	110,000		通 信 費	487,070
3 0 周 年 記 念 積 立 金		882,000	担	I M 分 担 金	324,000	ブ	事 務 用 品 費	430,093
ニ コ ニ コ 収 入		5,949,750		W C S 分 担 金	218,000		消 耗 品 費	253,842
青少年育成奨学寄金積立金		1,024,000		機 関 紙 購 読 料 Rの友	281,808		備 品 費	53,560
預 金 利 息		2,100		ガバナー月信	163,500		事 務 機 器 賃 借 料	338,864
分 担 金 収 入	本 部 人 頭 分 担 金	347,508		2 1 R C ロースター費	450,625		印 刷 及 び 文 献 費	20,020
	地 区 資 金 分 担 金	815,850		R 手 帳 ・ 山 科 手 帳 等	323,436		修 繕 費	89,610
	国際青少年交換特別資金	242,550		合 計	4,365,557		振 込 手 数 料	115,510
	ガバナー事務所費分担金	551,250		ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会	608,770	費	雑 費 及 び 予 備 費	247,615
	地 区 大 会 分 担 金	551,250		出 席 委 員 会	288,308		合 計	30,883,222
	I M 分 担 金	330,750	ク ラ ブ 奉 仕 金	職 業 分 類 委 員 会	0		退 職 手 当 支 給 金	5,718,027
	世界社会奉仕特別資金分担金	220,500		ク ラ ブ 会 報 委 員 会	1,185,736		30周年記念式典積立金	882,000
	規定審議委員会派遣分担金	0		親 睦 活 動 委 員 会	1,893,225		特 別 勘 定 予 備 費	0
	ロータリーの友購読料	272,538		雑 誌 委 員 会	0		合 計	6,600,027
	カ'バナー月信購読料	165,375		会 員 選 考 委 員 会	0	奉 仕 活 動 費	職 業 奉 仕 委 員 会	210,000
	地区協議会諸費用	110,250		会 員 増 強 委 員 会	7,000		社 会 奉 仕 委 員 会	1,680,862
	2 1 R C ロースター費	35,267		フ'ログラム委員会	415,612		国 際 奉 仕 委 員 会	1,801,968
	R手帳・山科手帳等諸費用	320,607		広 報 委 員 会	0		青 少 年 委 員 会	1,520,088
	合 計	4,363,695		ロ ー タ リー 情 報 委 員 会	143,313		ロ ー ター ア ク ト 委 員 会	877,000
寄 付 金 関 係	R 財 団 ・ 普 通 寄 付 金	99,225	活 動 費	規 定 審 議 委 員 会	0		国 際 留 学 生 寄 付 金	1,200,000
	・ 特別寄付金	1,298,600		記 録 委 員 会	423,599		合 計	7,289,918
	・ベネファクター寄付金	1,392,000		健 康 管 理 委 員 会	0	寄 付 ・ 協 力 関 係	R 財 団 ・ 普 通 寄 付 金	90,720
	・ポリオプラス寄付金	181,905		姉 妹 ク ラ フ 委 員 会	125,440		・ 特別寄付金	1,466,000
	米山奨学会・普通寄付金	497,500		ニ コ ニ コ 箱 委 員 会	0		・ ベネファクター寄付金	1,392,000
	・ 特別寄付金	2,104,000		ソ ン グ 委 員 会	315,000		・ ポリオプラス寄付金	181,905
	合 計	5,573,230		予 備 費	100,000		米 山 記 念 奨 学 会 ・ 普 通 寄 付 金	491,000
新 会 員 入 会 金		600,000		合 計	5,506,003		・ 特別寄付金	2,278,000
雑収入への繰入金・R財団関係		208,119		1. 例 会 費 (小計)	17,169,343	係	合 計	5,899,625
・米山関係		158,331		会 食 費	16,149,896		青少年育成奨学基金積立金繰入	1,028,919
受取	青少年育成奨学基金定期預金よりの利息	343,862		諸 経 費	679,551		青少年育成奨学基金定期預金受入	343,862
利息	退職金引き当定期預金よりの利息	25,749		会 議 室 借 料	339,896		特別予備積立定期預金	966,450
米山奨学会より奨学生への補助		40,000		2. 集 会 費 (小計)	1,118,602		米山奨学会より奨学生への補助	40,000
R 財 団 協 力 会 積 立 金		18,600		会 長 幹 事 会 費	609,611		R財団協力会員積立金	18,600
退職金引当定期預金取り崩し金		3,201,019	管 理 費	諸 経 費	0		次期繰越金・ニコニコ会計分	1,941,589
ニコニコ定期預金取り崩し金		3,281,757		ガバナー公式訪問費	508,991		次期繰越金・本会計分	1,480,476
青少年育成奨学基金利息分定期預金取り崩し金		578,499		3. 渉 外 費 (小計)	556,650			
収 入 総 合 計		66,364,248		慶 弔 費	386,650		支 出 総 合 計	66,364,248

第29年度(1996～97)

会 計 川崎 昭夫

収 入 の 部		支 出 の 部								
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目		金 額			
RI分担金・クラブ'分担金	5,008,834	分	本 部 分 担 金	412,073	ク	諸 経 費	0			
年 会 費	37,069,504		地 区 資 金	795,500		ガバナー公式訪問費	538,375			
30周年記念積立金	876,000		国際青少年交換特別資金	236,500		3. 渉 外 費 (小計)	417,400			
ニコニコ箱収入	5,232,000		ガバナー事務所費	537,500		慶 弔 費	237,400			
ロータリー財団	4,785,085		地区大会分担金	537,500	ラ	会 場 運 営 費	180,000			
特 別 寄 付 金	2,097,290		地区協議会費	110,000		4. 事務局費 (小計)	9,142,247			
ヘ'ネファクター 寄 付	2,499,000		I M 分 担 金	318,000		事務室賃借料	2,154,888			
ホ'リオプラス 寄 付	188,795		W C S 分 担 金	215,000		事務所光熱費	210,105			
米 山 記 念 奨 学	4,329,000		規定審議委員会派遣分担金	0		ブ	人件費(法廷福利費)	4,864,337		
特 別 寄 付 金	3,883,000		機関紙購読料Rの友	281,808			通 信 費	522,150		
建 設 基 金 寄 付 金	446,000		ガバナー月信	160,250			事 務 用 品 費	389,034		
青少年育成奨学金	1,133,000		ロータリー財団普通寄付金	112,360			消 耗 品 費	0		
来 客 会 費	788,000		米山記念奨学会普通寄付金	484,500			備 品 費	57,400		
新 入 会 員 入 会 金	600,000		21RC ロ ス タ ー	421,785			事務機器賃借料	427,655		
受 取 利 息	6,229		R 手 帳・山科手帳等	318,382	印刷及び文献費		15,518			
雑 収 入	121,458		合 計	4,942,158	修 繕 費		95,990			
前 年 度 繰 越 金	1,480,476	クラブ奉仕委員会	352,608	運	振 込 手 数 料		116,400			
		ク	出 席 委 員 会		255,481		費	雑費及び予備費	288,738	
			職 業 分 類 委 員 会		0	合 計		27,660,772		
			クラブ'会報委員会		1,187,926	特		退職手当積立金	200,000	
			親睦活動委員会		1,394,144			30周年記念式典積立金	876,000	
			雑 誌 委 員 会		0			勘	本 会 計 積 立 金	1,154,858
			会員選考委員会		0				合 計	2,230,858
			会員増強委員会		0				職 業 奉 仕 委 員 会	18,000
			フ'ログラム委員会		798,000				奉 仕 委 員 会	499,100
			広 報 委 員 会		0				国 際 奉 仕 委 員 会	536,715
			ロータリー情報委員会	113,524	活 動 委 員 会				1,131,811	
			規 定 審 議 委 員 会	121,807	ローターアクト委員会		900,000			
			記 録 委 員 会	334,284	「日本の心再発見」事業		1,841,019			
		健 康 管 理 委 員 会	0	合 計	4,926,645					
		動 員 委 員 会	124,270	ラ	ロータリー財団	2,268,270				
		ニコニコ箱委員会	0		特 別 寄 付 金	2,499,000				
		ソ ン グ 委 員 会	366,344		ベネファクター寄付金	188,795				
		予 備 費	0		ポリオプラス 寄 付 金	4,508,000				
		合 計	5,048,388	米 山 記 念 奨 学 会	4,508,000					
		ク	ラ	ブ	運	営	費	特 別 寄 付 金	4,062,000	
								建 設 基 金 寄 付 金	446,000	
								青少年育成奨学金	1,200,000	
								長野オリンピック協力金	106,000	
								2. 集会費 (小計)	1,118,602	
								次 期 繰 越 金	5,850,700	
会 長 幹 事 会 費	532,954	支 出 総 合 計	61,429,586							
収入総合計	61,429,586									

第30年度(1997～98)

会 計 今井 武男

収 入 の 部		支 出 の 部						
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目		金 額	
RI分担金・クラブ`分担金	5,181,899	分	本 部 分 担 金	473,655	ク	諸 経 費	0	
年 会 費	38,804,302		地 区 資 金	810,300		ガバナー公式訪問費	522,074	
30周年記念積立金	868,000		国際青少年交換特別資金	240,900		3. 渉 外 費 (小計)	791,500	
ニコニコ箱収入	5,510,648		ガバナー事務所費	547,500		慶 弔 費	611,500	
ロータリー財団	1,749,779	担	地区大会分担金	547,500	ラ	会 場 運 営 費	180,000	
特 別 寄 付 金	1,502,779		地区協議会費	196,200		4. 事務局費 (小計)	9,299,635	
ヘ`ネファクター 寄 付	247,000		I M 分 担 金	324,000		事務室賃借料	2,237,760	
米 山 記 念 奨 学	1,825,750		W C S 分 担 金	219,000		事務所光熱費	215,833	
特 別 寄 付 金	1,852,750		規定審議委員会派遣分担金	12,636	人件費(法廷福利費)	5,049,433		
青少年育成奨学金	957,000		機関紙購読料Rの友	287,280	通 信 費	531,421		
来 客 会 費	700,900		ガバナー一月信	165,000	事 務 用 品 費	313,945		
新 入 会 員 入 会 金	600,000		ロータリー財団普通寄付金	126,360	消 耗 品 費	0		
受 取 利 息	17,842		金	米山記念奨学会普通寄付金	493,500	備 品 費	9,450	
雑 収 入	33,290			21RC ロ ス タ ー	441,000	事務機器賃借料	361,845	
前 年 度 繰 越 金	5,850,700	R 手 帳・山科手帳等		330,489	印刷及び文献費	23,730		
		合 計		5,215,320	修 繕 費	96,022		
		ク		クラブ奉仕委員会	200,150	振 込 手 数 料	129,428	
				出 席 委 員 会	179,550	雑費及び予備費	330,768	
				職業分類委員会	0	合 計	28,554,061	
				クラブ`会報委員会	2,220,498	特 退 職 手 当 積 立 金	200,000	
				親睦活動委員会	2,025,098	別 勘 定	30周年記念式典積立金	868,000
				雑 誌 委 員 会	0		30周年記念事業費充当	1,154,858
			会員選考委員会	0	合 計	2,230,858		
			会員増強委員会	0	職 業 奉 仕 委 員 会	108,000		
			フ`ログラム委員会	702,716	奉 社 会 奉 仕 委 員 会	426,370		
			広 報 委 員 会	0	仕 国 際 奉 仕 委 員 会	1,321,537		
		ラ	ロータリー情報委員会	117,511	活 青 少 年 委 員 会	1,728,064		
			規 定 審 議 委 員 会	0	動 費	ローターアクト委員会	1,145,000	
			記 録 委 員 会	354,000		30周年記念事業費	1,526,413	
			健 康 管 理 委 員 会	0		合 計	6,255,384	
			動	姉妹クラブ`委員会	265,722	ロータリー財団	ロータリー財団	1,961,229
				ニコニコ箱委員会	0		特 別 寄 付 金	1,714,229
				ソ ン グ 委 員 会	301,179		ベネファクター寄付金	327,000
				予 備 費	0		米 山 記 念 奨 学 会	2,038,000
			ブ	合 計	6,366,424		特 別 寄 付 金	2,038,000
				1. 例 会 費 (小計)	17,418,370	青 少 年 育 成 奨 学 金	1,200,000	
		会 食 費		16,184,709	全国ローターアクト研修会分担金	108,000		
		諸 経 費		729,149	地球温暖化防止京都会議協力金	540,000		
		会 議 室 借 料		504,512	2004年大阪世界大会協力金	438,000		
		2. 集 会 費 (小計)		1,044,556	次 期 繰 越 金	4,882,692		
		管 理 費	会 長 幹 事 会 費	522,482	支 出 総 合 計	62,127,110		
収入総合計	62,127,110							

第31年度(1998～99)

会 計 大藤 光夫

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目		金 額
RI分担金・クラブ'分担金	5,125,845	分 担 金	本 部 分 担 金	475,274	ク ラ ブ 管 理 費	慶 弔 費	391,500
年 会 費	36,469,155		地 区 資 金	762,200		会 場 運 営 費	180,000
ニコニコ箱収入	4,878,000		国際青少年交換特別資金	226,600		4. 事務局費(小計)	9,589,220
ロータリー財団	2,996,600		ガバナー事務所費	518,000		事務室賃借料	2,245,068
特別寄付金	1,237,100		地区大会分担金	522,500		光 熱 費	217,704
へ'ネファクター寄付	1,759,500		地区協議会費	145,000		人件費(法廷福利費)	4,990,735
米山記念奨学	2,711,000		I M 分 担 金	309,000		通 信 費	613,515
特別寄付金	2,711,000		W C S 分 担 金	206,000		事 務 用 品 費	518,429
青少年育成奨学金	1,380,000		規定審議委員会派遣分担金	0		消 耗 品 費	62,475
4地区連合 地区大会登録料	1,032,500		機関紙購読料Rの友	272,160		備 品 費	0
来 客 会 費	572,100		ガバナー月信	153,750		事務機器賃借料	403,088
新入会員入会金	450,000		ロータリー財団普通寄付金	144,200		印刷及び文献費	32,480
ポリオプラス寄付金	76,000		米山記念奨学会普通寄付金	515,000		修 繕 費	3,785
パプアニューギニア義捐金	105,000		2 2 R C ロ ス タ ー	429,975		振 込 手 数 料	119,249
受 取 利 息	6,962		R 手 帳・山科手帳等	251,014		雑費及び予備費	382,692
雑 収 入	14,960		地区史購読料	103,000		合 計	27,848,827
前年度繰越金	4,882,692	合 計	5,133,673	退職手当積立金	100,000		
		ク ラ ブ 活 動 費	クラブ奉仕委員会	282,217	特 別 勘 定 費	本懐系特別予備積立金	4,000,000
			出席委員会	185,850		ニコニコ基金積立金	1,400,000
			職業分類委員会	0		ニコニコ会計定期繰入	421,673
			クラブ'会報委員会	1,693,713		青少年育成基金繰入	180,000
			親睦活動委員会	1,817,864		30周年記念事業費	3,530,799
			雑誌委員会	0		特別会計預金充当	△3,50,0770
			会員選考委員会	0		合 計	2,230,858
			会員増強委員会	0		職業奉仕委員会	108,000
			フ'ロ'グラム委員会	753,338	社会奉仕委員会	426,370	
			広報委員会	0	国際奉仕委員会	1,321,537	
			ロータリー情報委員会	81,610	青少年委員会	1,728,064	
			規定審議委員会	79,506	ロータリーアクト委員会	1,145,000	
			記録委員会	35,731	秋のイベント 準備金	1,249,681	
			健康管理委員会	0	合 計	6,131,702	
			姉妹クラブ'委員会	383,952	ロータリー財団	3,172,100	
			ニコニコ箱委員会	0	特別寄付金	1,322,100	
		ソング委員会	280,000	ベネファクター寄付金	1,850,000		
		予 備 費	0	米山記念奨学会	2,868,000		
		合 計	5,593,781	特別寄付金	2,868,000		
		ク ラ ブ 管 理 費	1. 例会費(小計)	16,621,598	青少年育成奨学金	1,200,000	
			会 食 費	15,416,627	2004年大阪世界大会協力金	412,000	
			諸 経 費	730,724	4地区連合地区大会登録料	1,045,000	
			会議室借料	474,247	ポリオプラス 寄付金	84,000	
			2. 集会費(小計)	1,066,509	パプアニューギニア義捐金	105,000	
			会長・幹事費	583,556	諸 協 賛 金	52,500	
			ガバナー公式訪問費	482,953	次 期 繰 越 金	2,597,905	
収入総合計	60,700,814	3. 渉外費(小計)	571,500	支出総合計	60,700,814		

第32年度(1999～2000)

会 計 橋本 幸男

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額		
RI分担金・クラブ'分担金	4,958,525	分 担 金	本 部 分 担 金	377,545	3. 渉 外 費 (小計)	393,000	
年 会 費	31,922,575		地 区 資 金	706,700	慶 弔 費	213,000	
ニコニコ箱収入	4,616,500		国際青少年交換特別資金	210,100	会 場 運 営 費	180,000	
ロータリー財団	2,835,384		ガバナー事務所費	572,500	4. 事務局費 (小計)	10,984,401	
	特 別 寄 付 金		1,899,384	地 区 大 会 分 担 金	764,000	事 務 室 賃 借 料	2,237,760
	ヘ'ネファクター 寄 付		936,000	地 区 協 議 会 費	120,000	光 熱 費	221,597
米 山 記 念 奨 学	1,902,000		I M 分 担 金	285,000	ラ	人件費(法廷福利費)	6,756,081
特 別 寄 付 金	1,902,000		W C S 分 担 金	191,000		通 信 費	508,807
青少年育成奨学金	973,000		規定審議委員会派遣分担金	0		事 務 用 品 費	401,521
青少年育成特別寄付金	167,000		機 関 紙 購 読 料 Rの友	262,080		消 耗 品 費	0
来 客 会 費	459,700		ガバナー一月信	143,250	管 理 費	備 品 費	0
新 入 会 員 入 会 金	300,000		ロータリー財団普通寄付金	115,900		事務機器賃借料	340,704
ポリオプラス 寄 付 金	49,000		米山記念奨学会普通寄付金	477,500		印刷及び文献費	15,665
トルコ 地震 義 捐 金	82,000		2 2 R C ロ ス タ ー	396,900		修 繕 費	94,983
台 湾 地 震 義 捐 金	200,000		R 手 帳・山科手帳等	211,029	振 込 手 数 料	124,053	
受 取 利 息	60,429		地 区 史 購 読 料	95,500	雑費及び予備費	283,230	
雑 収 入	16,175	合 計	4,929,004	合 計	26,778,004		
特別勘定取り崩し	3,136,612	ク ラ ブ 奉 仕 活 動 費	クラブ奉仕委員会	216,777	特 別 退 職 手 当 積 立 金	200,000	
前 年 度 繰 越 金	2,597,905		出 席 委 員 会	150,255	同 上 利 息 分	604	
			職 業 分 類 委 員 会	0	勘 定 ニコニコ基金積立金	0	
			クラブ'会報委員会	1,338,582	青少年育成基金	43,684	
			親睦活動委員会	1,957,761	合 計	244,288	
			雑 誌 委 員 会	0	職 業 奉 仕 委 員 会	296,000	
			会員選考委員会	0	社 会 奉 仕 委 員 会	388,303	
			会員増強委員会	0	国 際 奉 仕 委 員 会	524,243	
			フ'로그램委員会	459,996	青 少 年 委 員 会	1,374,085	
			広 報 委 員 会	0	ローターアクト委員会	915,000	
			ロータリー情報委員会	109,944	環境フェスタ2000事業費	1,686,777	
			規 定 審 議 委 員 会	76,440	合 計	5,184,408	
			記 録 委 員 会	585,355	ロータリー財団	2,978,644	
			健康 管理 委員会	0	特 別 寄 付 金	2,042,644	
			姉妹クラブ'委員会	151,172	ベネファクター寄付金	936,000	
			ニコニコ箱委員会	0	米 山 記 念 奨 学 会	2,060,000	
			ソング委員会	322,000	特 別 寄 付 金	2,060,000	
			予 備 費	0	青少年育成奨学金	1,140,000	
			合 計	5,368,282	2004年大阪世界大会協力金	382,000	
			ク ラ ブ 管 理 費		1. 例 会 費 (小計)	14,467,276	ニコニコ基金積立金
会 食 費	13,327,476	ポリオプラス 寄 付 金			176,000		
諸 経 費	674,340	ト ル コ 地 震 義 捐 金			97,000		
会 議 室 借 料	465,460	台 湾 地 震 義 捐 金			1,000,000		
2. 集 会 費 (小計)	933,327	予 備 費 等			0		
会 長・幹 事 費	490,293	次 期 繰 越 金			6,934,630		
収入 総 合 計	57,276,805		ガバナー公式訪問費	443,034	支 出 総 合 計	57,276,805	

第33年度(2000～01)

会 計 小坂 文夫

収 入 の 部		支 出 の 部						
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目		金 額	
RI分担金・クラブ'分担金	4,792,288	分	本 部 分 担 金	367,029	ク ラ ブ 管 理 費	4. 事務局費(小計)	9,826,562	
年 会 費	32,077,712		地 区 資 金	673,400		事務室賃借料	2,272,410	
ニコニコ箱収入	4,787,300		国際青少年交換特別資金	200,200		光 熱 費	105,506	
特 別 事 業 収 入	4,433,000		ガバナー事務所費	455,000		人件費(法廷福利費)	5,563,465	
人 道 的 補 助 金 収 入	1,101,420		ガバナー事務所分担金	170,900		通 信 費	515	
ロータリー財団	1,870,295		地区大会分担金	728,000		事務用品費	379,874	
	特 別 寄 付 金		1,870,295	地区協議会費		120,000	消 耗 品 費	0
	ヘ'ネファクター寄付		0	I M 分 担 金		267,000	備 品 費	0
米 山 記 念 奨 学	1,564,000		担	W C S 分 担 金		182,000	事務機器賃借料	315,504
特 別 寄 付 金	1,564,000		規定審議委員会派遣分担金	0		印刷及び文献費	19,245	
青少年育成奨学金	990,000	金	機関紙購読料Rの友	241,080	修 繕 費	103,815		
青少年育成特別寄付金	0		ガバナー月信	136,500	振 込 手 数 料	112,857		
来 客 会 費	359,100		ロータリー財団普通寄付金	115,900	雑費及び予備費	439,336		
新 入 会 員 入 会 金	750,000		米山記念奨学会普通寄付金	455,000	合 計	24,527,249		
ポリオプラス寄付金	15,000		2 2 R C ロ ス タ ー	378,525	退職手当積立金	200,000		
三宅島地震義捐金	265,000		R手帳・山科手帳等	197,883	同上利息分	0		
アメックス保証金戻り	3,320,000		地区史購読料	0	青少年育成基金	0		
受 取 利 息	5,400		合 計	4,666,857	予 備 費	0		
雑 収 入	15,630		ク ラ ブ 奉 仕 活 動 費	クラブ奉仕委員会	234,200	合 計	200,000	
前 年 度 繰 越 金	6,934,630			出 席 委 員 会	94,815	職業奉仕委員会	15,000	
		職業分類委員会		0	社会奉仕委員会	189,613		
		クラブ'会報委員会		1,366,260	国際奉仕委員会	341,976		
		親睦活動委員会		1,650,749	青 少 年 委 員 会	427,804		
		雑誌・広報委員会		296,322	ローターアクト委員会	974,000		
		会員選考委員会		0	イベント準備費	3,940,327		
		会員増強委員会		0	チャリティーコンサート費用	4,433,000		
		プログラム委員会		521,422	合 計	10,321,720		
		ロータリー情報委員会		115,652	ロータリー財団	2,016,715		
		記録委員会	530,755	特 別 寄 付 金	2,016,715			
		姉妹クラブ'委員会	129,813	ベネファクター寄付金	0			
		ニコニコ箱委員会	0	米 山 記 念 奨 学 会	2,000,000			
		ソング委員会	325,500	特 別 寄 付 金	2,060,000			
		予 備 費	0	青少年育成奨学金	1,200,000			
		合 計	5,365,488	2004年大阪世界大会協力金	364,000			
		ク ラ ブ 管 理 費		1. 例 会 費(小計)	13,476,462	WHO西太平洋地域ポリオ根絶京都国際会議	208,000	
				会 食 費	12,252,698	什 器 備 品 支 出	3,050,000	
				諸 経 費	843,721	アネックス借室解約金	664,000	
				会議室借料	380,043	ポリオプラス寄付金	15,000	
2. 集会費(小計)	657,130			三宅島他地震義捐金	278,000			
会長・幹事費	423,683			そ の 他 協 賛 金	113,000			
ガバナー公式訪問費	233,447			予 備 費 等	0			
3. 渉外費(小計)	567,095			当 期 収 支 差 額	1,658,116			
慶 弔 費	437,095			次 期 繰 越 金	8,592,746			
会場運営費	130,000			支 出 総 合 計	54,688,029			
収入総合計	54,688,029							

第34年度(2001～02)

会 計 岩 井 文 彦

収 入 の 部		支 出 の 部						
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目		金 額	
RI分担金・クラブ'分担金	4,844,835	分 担 金	本 部 分 担 金	399,858	ク ラ ブ 管 理 費	ガバナー公式訪問費	230,935	
年 会 費	32,023,365		地 区 資 金	684,500		3. 渉 外 費 (小計)	436,180	
ニコニコ箱収入	4,369,171		国際青少年交換特別資金	203,500		慶 弔 費	306,180	
ロータリー財団	2,270,900		ガバナー事務所費	462,500		会 場 運 営 費	130,000	
	特 別 寄 付 金		1,490,900	ガバナー事務所分担金		93,000	4. 事務局費 (小計)	9,354,085
	ヘ'ネファクター 寄 付		780,000	地 区 大 会 分 担 金		740,000	事 務 室 賃 借 料	2,268,000
米 山 記 念 奨 学	1,077,000		地 区 協 議 会 費	110,000		光 熱 費	43,121	
特 別 寄 付 金	1,077,000		I M 分 担 金	279,000		人件費(法廷福利費)	5,379,318	
青少年育成奨学金	939,000		W C S 分 担 金	185,000		通 信 費	493,571	
青少年育成特別基金	0		規定審議委員会派遣分担金	11,625		事 務 用 品 費	408,587	
呉建宏君支援金	231,000		機関紙購読料Rの友	241,920		消 耗 品 費	0	
来 客 会 費	334,300		ガバナー月信	138,000		備 品 費	0	
新 入 会 員 入 会 金	450,000		ロータリー財団普通寄付金	116,250		事務機器賃借料	151,200	
ポリオプラス 寄付金	6,000		米山記念奨学会普通寄付金	465,000		印刷及び文献費	27,075	
受 取 利 息	87,680		分室機構改革及び運営費	83,250		修 繕 費	178,500	
雑 収 入	41,377		2 2 R C ロ ス タ ー	385,875		振 込 手 数 料	101,070	
当期収入合計	46,674,628		R 手 帳・山科手帳等	197,631		雑費及び予備費	303,643	
前 年 度 繰 越 金	8,592,746		インター'ア'外地区大会未提唱クラブ'分担金	20,000		合 計	24,032,366	
		ク ラ ブ 奉 仕 活 動 費	合 計	4,816,909	特 別 勘 定	退職手当積立金	200,000	
			クラブ奉仕委員会	232,856		ニコニコ基金積立金	2,800,000	
			出席委員会	163,800		ウ'ス'ティン'都'ホ'テル'京'都'保'証'金	540,000	
			職業分類委員会	0		予 備 費	0	
			クラブ'会報委員会	471,030		合 計	2,432,100	
			親睦活動委員会	1,328,615		職 業 奉 仕 委 員 会	168,798	
			雑誌・広報委員会	0		社 会 奉 仕 委 員 会	460,811	
			会員選考委員会	0		国 際 奉 仕 委 員 会	248,757	
			会員増強委員会	0		青 少 年 委 員 会	954,703	
			フ'ロ'グ'ラ'ム委員会	649,438		ローター'ア'クト委員会	900,000	
			ロータリー情報委員会	115,652		合 同 事 業 費	1,719,962	
			規定審議委員会	13,713		合 計	4,453,031	
			記録委員会	19,798		ロ ー タ リ ー 財 団	ロータリー財団	2,432,100
			姉妹クラブ'委員会	118,797			特 別 寄 付 金	1,652,100
			ニコニコ箱委員会	0			ベ'ネ'フ'ア'ク'タ'ー寄付金	780,000
			ソング委員会	322,000			米 山 記 念 奨 学 会	1,232,000
			退会防止委員会	0			特 別 寄 付 金	1,232,000
			予 備 費	0			青 少 年 育 成 奨 学 金	1,000,000
		合 計	3,459,614	呉建宏君支援金	177,000			
		ク ラ ブ 管 理 費	1. 例 会 費 (小計)	13,476,462	2004年大阪世界大会協力金	370,000		
			会 食 費	12,252,698	ポリオプラス 寄付金	6,000		
			諸 経 費	843,721	予 備 費 等	0		
			会議室借料	380,043	当期収支差額	11,155,608		
			2. 集会費 (小計)	657,130	次 期 繰 越 金	9,748,354		
会 長・幹 事 費	423,683		支 出 総 合 計	55,276,374				
収入総合計	55,267,374							

第35年度(2002～03)

会 計 松井 信五

収 入 の 部		支 出 の 部													
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目		金 額								
R I 分 担 金・ク ラ フ`分 担 金	4,834,048	分	本 部 分 担 金	411,779	ク	事 務 室 賃 借 料	2,268,000								
年 会 費	31,623,992		地 区 資 金	837,200		ラ	光 熱 費	53,531							
3 5 周 年 式 典 登 録 料	2,776,000		国 際 青 少 年 交 換 特 別 資 金	202,400			ブ	人 件 費 (法 廷 福 利 費)	5,559,849						
ニ コ ニ コ 箱 収 入	4,307,500		ガ バ ナ ー 事 務 所 費	460,000				管	通 信 費	427,625					
ロ ー タ リ ー 財 団	1,689,200		ガ バ ナ ー 事 務 所 分 担 金	0					理	事 務 用 品 費	476,379				
特 別 寄 付 金	1,225,200		地 区 大 会 分 担 金	736,000						費	消 耗 品 費	0			
ヘ`ネファクター 寄 付	464,000		地 区 協 議 会 費	127,000							特 別 勘 定 奉 仕 活 動 費	備 品 費	0		
米 山 記 念 奨 学	900,000		I M 分 担 金	273,000								ラ	事 務 機 器 賃 借 料	69,300	
特 別 寄 付 金	900,000		W C S 分 担 金	184,000									費	印 刷 及 び 文 献 費	11,750
青 少 年 育 成 奨 学 金	821,000		機 関 紙 購 読 料 R の 友	241,920										費	修 繕 費
来 客 会 費	232,600	ガバナー一月信	139,500	費	振 込 手 数 料										114,161
新 入 会 員 入 会 金	300,000	ロータリー財団普通寄付金	114,660		費	退 職 手 当 引 当 金									200,000
ポ リ オ プ ラ ス 寄 付 金	415,523	米山記念奨学会普通寄付金	457,500			費	雑 費 及 び 予 備 費								363,802
寄 付 引 当 分 担 金	74,100	分室機構改革及び運営費	0				費	合 計							24,057,969
呉 建 宏 君 支 援 金	200,000	2 3 R C ロ ス タ ー	385,875					費	ホ ー ム ペ ー ジ`作 成 費						210,000
地 雷 B O X 寄 付 金	127,323	R 手 帳・山科手帳等	196,371						費	合 計					210,000
前年度会計繰越金より挿入	0	合 計	4,767,205							費	職 業 奉 仕 委 員 会				108,631
受 取 利 息	228	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会	311,650								費	社 会 奉 仕 委 員 会			1,394,375
雑 収 入	16,500	出 席 委 員 会	193,200									費	国 際 奉 仕 委 員 会		495,317
当 期 収 入 合 計	48,318,014	ク ラ フ`会 報 委 員 会	540,930										費	青 少 年 委 員 会	1,533,483
前 年 度 繰 越 金	9,748,354	親 睦 活 動 委 員 会	1,215,325	費										ロ ー タ ー ア ク ト 委 員 会	857,000
		ブ 雑 誌・広 報 委 員 会	0		費									合 計	4,388,806
		フ`ロ`グ ラ ム 委 員 会	716,772			費								ロ ー タ リ ー 財 団	1,855,000
		ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会	48,805				費							特 別 寄 付 金	1,391,000
		記 録 委 員 会	19,798					費						ベネファクター寄付金	464,000
		姉 妹 ク ラ フ`委 員 会	206,880						費					米 山 記 念 奨 学 会	1,047,000
		ソ ン グ 委 員 会	333,375							費				特 別 寄 付 金	1,047,000
		予 備 費	0								費			青 少 年 育 成 奨 学 金	1,000,000
		合 計	3,724,581									費		全 国 ロ ー タ ー ア ク ト 研 修 会 分 担 金	50,000
		1. 例 会 費 (小 計)	13,385,435										費	2004 年 大 阪 世 界 大 会 協 力 金	368,000
		会 食 費	12,388,090	費										ポ リ オ プ ラ ス 寄 付 金	415,523
		諸 経 費	440,158		費									寄 付 引 当 分 担 金	74,100
		会 議 室 借 料	557,187			費								呉 建 宏 君 支 援 金	200,000
		2. 集 会 費 (小 計)	607,907				費							地 雷 B O X 災 害 義 捐 金	127,323
		会 長・幹 事 費	380,512					費						そ の 他 協 賛 金	20,000
		ガバナー公式訪問費	227,395						費					35 周 年 記 念 事 業 費	6,286,973
		3. 渉 外 費 (小 計)	520,230							費				ニ コ ニ コ 基 金 積 立 金	400,000
		慶 弔 費	400,230								費			予 備 費 等	119,700
		会 場 運 営 費	120,000									費		当 期 収 支 差 額	△794,166
		4. 事 務 局 費 (小 計)	9,544,397										費	次 期 繰 越 金	8,954,188
収 入 総 合 計	58,066,368													支 出 総 合 計	49,112,180

第36年度(2003～04)

会 計 植野 清富

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
RI分担金・クラブ分担金	3,959,278	分	本 部 分 担 金	344,190	ク	4. 事務局費(小計)	9,618,056
年 会 費	29,333,455		地 区 資 金	870,000		事務室賃借料	2,268,000
ニコニコ箱収入	4,120,000		国際青少年交換特別資金	113,100		光 熱 費	51,770
ロータリー財団	1,493,272		ガバナー事務所費	435,000		人件費(法廷福利費)	5,715,771
	1,045,272		ガバナー事務所分担金	0		通 信 費	484,160
	448,000		地 区 大 会 分 担 金	696,000		事 務 用 品 費	164,023
米 山 記 念 奨 学	1,565,500		地 区 協 議 会 費	100,000		消 耗 品 費	0
特 別 寄 付 金	1,565,500		I M 分 担 金	264,000		備 品 費	0
青少年育成奨学金	749,000		W C S 分 担 金	174,000		事務機器賃借料	0
来 客 会 費	238,000		規定審議委員会派遣分担金	10,208		印刷及び文献費	263,294
新 入 会 員 入 会 金	150,000	担	機 関 紙 購 読 料 Rの友	220,080	理	修 繕 費	0
ポリオプラス寄付金	844,000		ガバナー月信	66,000		振 込 手 数 料	109,876
そ の 他 協 賛 金	78,900		ロータリー財団普通寄付金	102,080		ホームページ維持費	81,585
国 際 大 会 登 録 料	1,425,765		米山記念奨学会普通寄付金	435,000		退職手当引当金	200,000
地区財団からの補助金	580,000		分室機構改革及び運営費	0		雑費及び予備費	279,577
前年度会計繰越金より挿入	0		2 3 R C ロ ス タ ー	360,150		合 計	23,635,294
受 取 利 息	103		R手帳・山科手帳等	186,375		職 業 奉 仕 委 員 会	309,233
雑 収 入	4,766		会 長 エレクト研修費	10,000		社 会 奉 仕 委 員 会	656,909
当 期 収 入 合 計	44,542,039		合 計	4,386,183		国 際 奉 仕 委 員 会	492,001
前 年 度 繰 越 金	8,954,188	金	クラブ奉仕委員会	721,810	費	青 少 年 委 員 会	634,357
			出 席 委 員 会	114,450		ローターアクト委員会	944,000
			クラブ会報委員会	439,470		合 計	3,036,500
			親睦活動委員会	2,454,677		ロータリー財団	1,506,160
			雑誌・広報委員会	0		特 別 寄 付 金	1,058,160
			プログラム委員会	813,068		ベネファクター寄付金	448,000
			ロータリー情報委員会	19,437		米 山 記 念 奨 学 会	1,260,000
			記 録 委 員 会	374,218		特 別 寄 付 金	1,260,000
			姉妹クラブ委員会	436,545		青少年育成奨学金	700,000
			ソング委員会	308,525		全国ローターアクト研修会分担金	0
		ク	予 備 費	0	ラ	2004年大阪世界大会協力金	348,000
			合 計	5,682,200		ポリオプラス 寄 付 金	844,000
			1. 例 会 費 (小計)	12,986,417		インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	20,000
			会 食 費	12,065,749		国 際 大 会 登 録 料	2,784,310
			諸 経 費	535,950		特 別 委 員 会 費	933,954
			会 議 室 借 料	384,718		特 別 事 業 費	580,000
			2. 集 会 費 (小計)	649,321		そ の 他 協 賛 金	78,900
			会 長 ・ 幹 事 費	422,679		地区大会運営協力金諸費用	549,400
			諸 経 費	0		ニコニコ基金積立金	200,000
			ガバナー公式訪問費	226,642		予 備 費 等	0
		ラ	3. 渉 外 費 (小計)	318,500		当 期 収 支 差 額	△2,002,862
			慶 弔 費	261,500		次 期 繰 越 金	6,951,326
			会 場 運 営 費	120,000		支 出 総 合 計	46,544,901
収 入 総 合 計	53,496,227						

第37年度(2004～05)

会 計 渡辺 剛士

収 入 の 部		支 出 の 部						
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目	金額		
R I 分 担 金・クラブ 分 担 金	4,836,705	分 担 金	本 部 分 担 金	357,158	ク ラ ブ 費	4. 事務局 費 (小計)	10,041,497	
年 会 費	29,020,608		地 区 資 金	619,200		事務室賃借料	2,268,000	
ニ コ ニ コ 箱 収 入	4,029,500		国際青少年交換特別資金	111,800		光 熱 費	48,830	
ロ ー タ リ ー 財 団	1,050,400		ガバナー 事務所 費	430,000		人件費(法廷福利費)	5,732,893	
	特 別 寄 付 金		834,400	ガバナー事務所分担金		240,800	通 信 費	468,351
	ベネファクター 寄 付		216,000	地 区 大 会 分 担 金		688,000	事 務 用 品 費	158,935
米 山 記 念 奨 学	726,000		地 区 協 議 会 費	100,000		ブ 管 理 費	消 耗 品 費	0
特 別 寄 付 金	726,000		I M 分 担 金	258,000			備 品 費	0
青 少 年 育 成 奨 学 金	666,000		W C S 分 担 金	172,000			事務機器賃借料	0
来 客 会 費	322,200		規定審議委員会派遣分担金	9,632			印刷及び文献費	220,269
新 入 会 員 入 会 金	0		機 関 紙 購 読 料 R の 友	216,720			修 繕 費	0
ポリオプラス 寄 付 金	250,000		ガバナー月信	103,200			振 込 手 数 料	115,240
そ の 他 協 賛 金	68,800		ロータリー財団普通寄付金	96,320			ホームページ維持費	5,040
諸 災 害 義 捐 金	270,200		米山記念奨学会普通寄付金	430,000			退職手当引当金	200,000
国 際 大 会 登 録 料	2,437		分室機構改革及び運営費	0			退 職 金	560,000
地区財団からの補助金	0		2 3 R C ロ ス タ ー	352,800			雑 費 及 び 予 備 費	263,939
前年度会計繰越金より挿入	0		R 手 帳・山科手帳等	299,250			合 計	23,376,442
退職手当積立金取り崩し	560,000		会 長 エ レ ク ト 研 修 費	10,000		奉 仕 活 動 費	職 業 奉 仕 委 員 会	7,000
受 取 利 息	85		ロータリー100周年事業分担金	430,000			社 会 奉 仕 委 員 会	651,270
雑 収 入	20,630	合 計	4,924,880	国 際 奉 仕 委 員 会	734,968			
当 期 収 入 合 計	41,823,565	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会	220,170	新 世 代 委 員 会	520,466			
前 年 度 繰 越 金	6,951,326	出 席 委 員 会	76,650	ロータリーアクト委員会	897,500			
		合 計	5,108,892	合 計	2,811,204			
		ク ラ ブ 奉 仕 活 動 費	ク ラ ブ 会 報 委 員 会	608,314	ロ ー タ リ ー 財 団	ロ ー タ リ ー 財 団	1,169,900	
			親 睦 活 動 委 員 会	2,030,008		特 別 寄 付 金	953,900	
			雑 誌・広 報 委 員 会	0		ベネファクター寄付金	216,000	
			フ ロ グ ラ ム 委 員 会	697,807		米 山 記 念 奨 学 会	852,000	
			ロータリー情報委員会	70,000		特 別 寄 付 金	852,000	
			記 録 委 員 会	198,053		青 少 年 育 成 奨 学 金	600,000	
			姉 妹 ク ラ ブ 委 員 会	913,890		全国ローターアクト研修会分担金	0	
			ソ ン グ 委 員 会	294,000		ロータリー100周年事業	1,780,990	
			予 備 費	0		ポリオプラス 寄 付 金	250,000	
			合 計	5,108,892		諸 災 害 義 捐 金	270,200	
		ク ラ ブ 管 理 費	1. 例 会 費 (小計)	12,986,417	インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	20,000		
			会 食 費	12,065,749		国 際 大 会 登 録 料	0	
			諸 経 費	535,950		そ の 他 協 賛 金	68,800	
			会 議 室 借 料	384,718		地区大会運営協力金諸費用	0	
			2. 集 会 費 (小計)	649,321		ニコニコ基金積立金	200,000	
			会 長・幹 事 費	422,679		予 備 費 等	0	
			ガバナー公式訪問費	226,642		当 期 収 支 差 額	390,257	
			3. 渉 外 費 (小計)	318,500		次 期 繰 越 金	7,341,583	
			慶 弔 費	261,500		支 出 総 合 計	41,433,308	
会 場 運 営 費	120,000							
収 入 総 合 計	48,774,891							

第38年度(2005～06)

会 計 本田 修造

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
RI分担金・クラブ分担金	4,231,278	分	本 部 分 担 金	407,187	ク	慶 弔 費	302,250
年 会 費	27,355,722		地 区 資 金	827,500		会 場 運 営 費	120,000
ニコニコ箱収入	3,522,783		国際青少年交換特別資金	82,750		4. 事務局費(小計)	7,576,380
ロータリー財団	1,250,800		ガバナー事務所費	413,750		事務室賃借料	2,268,000
特別寄付金	1,250,800		ガバナー事務所分担金	0		光 熱 費	48,980
ベネファクター寄付	0		地区大会分担金	744,750		人件費(法廷福利費)	3,847,097
米 山 記 念 奨 学	1,529,000		地区協議会費	130,000		通 信 費	420,782
特別寄付金	1,529,800		I M 分 担 金	258,000		事 務 用 品 費	145,176
青少年育成奨学金	10,000		W C S 分 担 金	165,500		消 耗 品 費	0
来 客 会 費	233,000		規定審議委員会派遣分担金	0		備 品 費	8,980
新 入 会 員 入 会 金	150,000	担	機 関 紙 購 読 料 Rの友	209,370	ラ	事務機器賃借料	0
ポリオプラス寄付金	38,000		ガバナー月信	124,125		印刷及び文献費	334,608
40周年記念事業積立金	656,000		ロータリー財団普通寄付金	89,640		修 繕 費	0
受 取 利 息	51		米山記念奨学会普通寄付金	412,500		振 込 手 数 料	85,675
雑 収 入	5,850		分室機構改革及び運営費	0		ホームページ維持費	52,500
当 期 収 入 合 計	38,982,484		23RC ロ ス タ ー	334,425		退職手当引当金	100,000
前 年 度 繰 越 金	7,341,583		R 手 帳・山科手帳等	185,692		退 職 金	0
			会長エレクト研修費	0		雑費及び予備費	264,582
			新世代育成基金特別分担金	91,334		合 計	20,602,182
			合 計	4,476,523	奉	職 業 奉 仕 委 員 会	50,333
		ク	クラブ奉仕委員会	601,970		社 会 奉 仕 委 員 会	852,725
			出 席 委 員 会	100,800		国 際 奉 仕 委 員 会	734,000
			クラブ'会報委員会	460,110		新 世 代 委 員 会	1,076,725
			親睦活動委員会	2,395,337		ロータリーアクト委員会	794,000
			雑誌・広報委員会	0		合 計	3,507,783
			プログラム委員会	947,024	活	ロータリー財団	1,381,140
			ロータリー情報委員会	36,270		特別寄付金	1,381,140
			記録委員会	101,586		ベネファクター寄付金	0
			姉妹クラブ'委員会	164,649		米 山 記 念 奨 学 会	1,639,000
			ソング委員会	301,000		特別寄付金	1,639,000
			予 備 費	0		青少年育成奨学金	10,000
			合 計	5,108,746		40周年記念事業積立金	656,000
			1. 例会費(小計)	11,899,989		ポリオプラス寄付金	38,000
			会 食 費	10,241,609	費	インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	20,000
			諸 経 費	823,770		そ の 他 協 賛 金	0
			会 議 室 借 料	834,610		来 客 食 事 代	233,000
			2. 集会費(小計)	703,563		ニコニコ会計繰入	15,000
			会 長・幹 事 費	474,055		予 備 費 等	0
			ガバナー公式訪問費	229,508		当 期 収 支 差 額	1,295,110
			3. 渉外費(小計)	422,250		次 期 繰 越 金	8,636,693
			3. 渉外費(小計)	422,250			
収 入 総 合 計	46,324,067				支 出 総 合 計		37,687,374

第39年度(2006～07)

会 計 宮本 博史

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目		金 額
RI分担金・クラブ分担金	4,558,113	分 担 金	本 部 分 担 金	455,183	ク ラ ブ 費	4. 事務局費 (小計)	8,268,504
年 会 費	27,513,715		地 区 資 金	830,000		事務室賃借料	2,268,000
ニコニコ箱収入	3,659,000		国際青少年交換特別資金	99,600		光 熱 費	49,940
ロータリー財団	1,432,040		ガバナー事務所費	415,000		人件費(法廷福利費)	4,606,181
特別寄付金	1,432,040		ガバナー事務所分担金	0		通 信 費	467,005
ベ'ネファクター寄付	0		地 区 大 会 分 担 金	830,000		事 務 用 品 費	106,760
米 山 記 念 奨 学	1,451,000		地 区 協 議 会 費	80,000		消 耗 品 費	0
特別寄付金	1,451,000		I M 分 担 金	243,000		備 品 費	0
青少年育成奨学金	610,000		W C S 分 担 金	166,000		事務機器賃借料	0
来 客 会 費	208,600		規定審議委員会派遣分担金	0		印刷及び文献費	229,026
新 入 会 員 入 会 金	900,000		機 関 紙 購 読 料 Rの友	212,940		修 繕 費	0
ポリオプラス寄付金	23,000		ガバナー一月信	124,500		振 込 手 数 料	72,700
40周年記念事業積立金	658,000		ロータリー財団普通寄付金	91,300		ホームページ維持費	52,500
地区財団からの補助金	342,000		米山記念奨学会普通寄付金	417,500		退職手当引当金	100,000
IM清算残高受入	679,483		分室機構改革及び運営費	0		退 職 金	0
受 取 利 息	0		23RC ロ ス タ ー	341,775		雑費及び予備費	316,392
雑 収 入	20,130		R 手 帳・山科手帳等	183,204		合 計	21,612,651
当期収入合計	42,055,081		金 庫 費	会長エレクト研修費		0	奉 仕 活 動 費
前年度繰越金	8,636,693	新世代育成基金特別分担金		83,000	社会奉仕委員会	380,000	
		合 計		4,573,002	国際奉仕委員会	285,627	
		クラブ奉仕委員会		279,165	新 世 代 委 員 会	240,000	
		親睦活動委員会		2,562,710	ロータリーアクト委員会	671,000	
		雑誌・広報委員会		10,000	合 計	1,618,627	
		プログラム委員会		986,914	ロータリー財団	ロータリー財団	1,432,040
		ロータリー情報委員会		143,491		特別寄付金	1,432,040
		記録委員会		610,110		ベネファクター寄付金	0
		姉妹クラブ'委員会		279,305		米 山 記 念 奨 学 会	1,451,000
		S. A. A.		343,000		特別寄付金	1,451,000
		予 備 費		0		青少年育成奨学金	600,000
		合 計		5,214,695	40周年記念事業積立金	658,000	
		ク ラ ブ 奉 仕 活 動 費		1. 例会費 (小計)	12,335,857	特 別 委 員 会 費	102,615
				会 食 費	11,368,104	特 別 事 業 費	1,934,200
				諸 経 費	446,700	ポリオプラス寄付金	23,000
				会議室借料	521,053	インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	20,000
				2. 集会費 (小計)	721,490	そ の 他 協 賛 金	60,000
			会 長・幹 事 費	486,553	来 客 食 事 代	208,600	
			ガバナー公式訪問費	234,937	ニコニコ会計繰入	106,173	
			3. 渉外費 (小計)	286,800	予 備 費 等	0	
			慶 弔 費	166,800	当 期 収 支 差 額	2,430,478	
			会 場 運 営 費	120,000	次 期 繰 越 金	11,067,171	
収入総合計	50,691,774					支 出 総 合 計	39,624,603

第40年度(2007～08)

会 計 蕨下 清三

収 入 の 部		支 出 の 部							
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目	金額			
RI分担金・クラブ分担金	4,666,749	分	本 部 分 担 金	451,324	ク	光 熱 費	51,375		
年 会 費	28,179,651		地 区 資 金	817,500		人件費(法廷福利費)	4,406,779		
ニコニコ箱収入	4,155,000		国際青少年交換特別資金	98,100		通 信 費	457,399		
ニコニコ会計繰越金より	2,000,000		ガバナー事務所費	408,750		事 務 用 品 費	109,617		
ロータリー財団	2,175,000		地 区 大 会 分 担 金	817,500		消 耗 品 費	882,676		
特 別 寄 付 金	2,175,000		地 区 協 議 会 費	84,000		備 品 費	14,490		
ベネファクター寄付	0		I M 分 担 金	240,000		事務機器賃借料	398,265		
米 山 記 念 奨 学	1,518,000		W C S 分 担 金	163,500		印刷及び文献費	276,494		
特 別 寄 付 金	1,518,000		規定審議委員会派遣分担金	9,760		修 繕 費	0		
青少年育成奨学金	649,000		機 関 紙 購 読 料 Rの友	214,830		振 込 手 数 料	61,295		
来 客 会 費	186,000	ガバナー一月信	81,750	ホームページ維持費	52,500				
新 入 会 員 入 会 金	1,350,000	ロータリー財団普通寄付金	97,600	退職手当引当金	100,000				
ポリオプラス寄付金	5,000	米山記念奨学会普通寄付金	405,000	退 職 金	0				
40周年記念事業積立金より	1,329,000	分室機構改革及び運営費	0	雑費及び予備費	305,328				
40周年記念式典会員登録料	1,745,000	2 3 R C ロ ス タ ー	360,150	合 計	22,288,211				
40周年記念式典会員外登録料	1,435,000	金	R 手 帳 ・ 山 科 手 帳 等	185,724	奉 仕 活 動 費	職 業 奉 仕 委 員 会	76,790		
40周年記念お祝い金	1,340,000		会 長 エ レ ク ト 研 修 費	10,000		社 会 奉 仕 委 員 会	380,000		
受 取 利 息	0		新世代育成基金特別分担金	81,750		国 際 奉 仕 委 員 会	235,680		
雑 収 入	83,150		合 計	4,527,238		新 世 代 委 員 会	240,000		
当期収入合計	50,809,550		クラブ奉仕委員会	344,464		ローターアクト委員会	838,850		
前 年 度 繰 越 金	11,067,171		クラブ会報委員会	312,900		合 計	1,771,320		
			ク	親睦活動委員会		2,442,468	ロータリー財団	ロータリー財団	2,175,000
				雑誌・広報委員会		71,400		特 別 寄 付 金	2,175,000
				プログラム委員会		832,099		ベネファクター寄付金	0
				ロータリー情報委員会		117,653	米 山 記 念 奨 学 会	米 山 記 念 奨 学 会	1,518,000
		記 録 委 員 会		185,470	特 別 寄 付 金	1,518,000			
		姉妹クラブ委員会		413,654	青少年育成奨学金	480,000			
		S. A. A.		301,000	青少年育成基金繰り入れ	169,000			
		予 備 費		0	地区大会運営協力金諸費用	20,000			
		合 計		5,021,108	40周年記念事業費	10,333,980			
		ラ		1. 例会費(小計)	11,551,193	40周年式典登録料	1,745,000		
			会 食 費	10,514,702	40周年特別事業費	2,175,000			
			諸 経 費	503,085	特 別 委 員 会 費	137,864			
			会議室借料	533,406	奉 仕 活 動 費	1,771,320			
			2. 集会費(小計)	641,352	ポリオプラス寄付金	5,000			
			会 長 ・ 幹 事 費	403,160	ローターアクト25周年記念支援金	162,349			
			ガバナー公式訪問費	234,937	そ の 他 協 賛 金	80,000			
			3. 渉外費(小計)	522,448	来 客 食 事 代	186,000			
			慶 弔 費	402,250	ニコニコ会計繰入	383,680			
			会場運営費	120,198	予 備 費 等	79,800			
		4. 事務局費(小計)	9,573,218	当期収支差額	△427,400				
事務室賃借料	2,457,000	次 期 繰 越 金	6,793,166						
収入総合計	61,876,721			支出総合計	55,083,555				

第41年度(2008～09)

会 計 安倍 秀風

収 入 の 部		支 出 の 部							
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目		金 額		
RI分担金・クラブ分担金	4,270,503	分	本 部 分 担 金	389,475	ラ	光 熱 費	44,286		
年 会 費	25,955,257		地 区 資 金	807,500		人件費(法廷福利費)	4,174,381		
ニコニコ箱収入	3,876,000		国際青少年交換特別資金	96,900		通 信 費	409,380		
ニコニコ会計繰越金より	0		ガバナー事務所費	403,750		事 務 用 品 費	75,991		
ロータリー財団	1,679,200		地 区 大 会 分 担 金	807,500		消 耗 品 費	0		
	特 別 寄 付 金		1,209,200	地 区 協 議 会 費		140,000	備 品 費	0	
	ベネファクター寄付		470,000	I M 分 担 金		243,000	事務機器賃借料	425,565	
米 山 記 念 奨 学	1,349,000		W C S 分 担 金	161,500		印刷及び文献費	252,515		
特 別 寄 付 金	1,349,000		機 関 紙 購 読 料 Rの友	211,680		修 繕 費	0		
青少年育成奨学金	431,000		ガバナー月信	80,750		振 込 手 数 料	56,955		
青少年育成奨学基金	25,143		ロータリー財団普通寄付金	86,920	ホームページ維持費	111,300			
来 客 会 費	169,600		米山記念奨学会普通寄付金	402,500	退職手当引当金	100,000			
新 入 会 員 入 会 金	300,000		分室機構改革及び運営費	0	退 職 金	0			
ポリオプラス寄付金	5,000		2 3 R C ロ ス タ ー	330,750	雑費及び予備費	320,101			
RI財団地区補助金	720,000		R 手 帳・山科手帳等	191,247	合 計	22,288,211			
受 取 利 息	0		金	新世代育成基金特別分担金	80,750	奉	職 業 奉 仕 委 員 会	4,000	
雑 収 入	362,992			合 計	4,434,222	仕	社 会 奉 仕 委 員 会	148,000	
当期収入合計	39,613,695			クラブ奉仕委員会	328,353	活	国 際 奉 仕 委 員 会	30,000	
前 年 度 繰 越 金	66,793,166			親睦活動委員会	2,490,576	動	新 世 代 委 員 会	739,284	
		ラ		雑 誌・広 報 委 員 会	20,000	費	ローターアクト委員会	612,000	
				記録・会報委員会	491,127		合 計	1,533,284	
				プログラム委員会	714,719		ロータリー財団		1,679,200
				ロータリー情報委員会	103,072			特 別 寄 付 金	1,209,200
				規定審議委員会	60,900			ベネファクター寄付金	470,000
				姉妹クラブ委員会	570,621	米 山 記 念 奨 学 会		1,349,000	
				S. A. A.	287,000	特 別 寄 付 金		1,349,000	
				予 備 費	0	青少年育成奨学金	456,143		
				合 計	5,060,368	青少年育成基金繰り入れ	0		
				ク	1. 例 会 費 (小計)	12,858,821	地区大会運営協力金諸費用	20,000	
		会 食 費			11,135,316	障害者水泳フェスティバル	2,673,338		
		諸 経 費			414,570	奉 仕 活 動 費	1,533,284		
		会 議 室 借 料			608,965	ポリオプラス寄付金	5,000		
		2. 集 会 費 (小計)			763,882	ローターアクト提唱クラブ分担金	50,000		
		会 長・幹 事 費			534,200	ローターアクト特別分担金	10,000		
ガバナー公式訪問費	229,682	インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	20,000						
3. 渉 外 費 (小計)	452,775	来 客 食 事 代	169,600						
慶 弔 費	352,250	ニコニコ会計繰入	389,378						
会 場 運 営 費	100,525	予 備 費 等	0						
4. 事務局費 (小計)	8,247,924	当期収支差額	△315,270						
事務室賃借料	2,277,450	次 期 繰 越 金	6,477,896						
収入総合計	46,406,861				支 出 総 合 計	39,928,965			

第42年度(2009～10)

会 計 中嶋 克美

収 入 の 部		支 出 の 部						
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目		金 額	
RI分担金・クラブ分担金	4,211,015	分	本 部 分 担 金	374,849	ラ	光 熱 費	44,286	
年 会 費	25,862,670		地 区 資 金	792,500		人件費(法廷福利費)	4,253,480	
ニコニコ箱収入	3,544,000		国際青少年交換特別資金	95,100		通 信 費	382,712	
ニコニコ会計繰越金より	234,274		ガバナー事務所費	396,250		事 務 用 品 費	87,094	
ロータリー財団	1,632,500		地 区 大 会 分 担 金	792,500		消 耗 品 費	4,725	
	特 別 寄 付 金		1,632,500	地 区 協 議 会 費		118,000	備 品 費	10,185
	ベネファクター寄付		0	I M 分 担 金		231,000	事務機器賃借料	459
米 山 記 念 奨 学	1,642,000		W C S 分 担 金	158,500		印刷及び文献費	157,949	
特 別 寄 付 金	1,642,000		機 関 紙 購 読 料 Rの友	200,340		修 繕 費	0	
青少年育成奨学金	344,000		ガバナー月信	79,250		振 込 手 数 料	56,610	
青少年育成奨学基金	106,000	ロータリー財団普通寄付金	73,320	ホームページ維持費	111,300			
来 客 会 費	164,200	米山記念奨学会普通寄付金	397,500	退職手当引当金	100,000			
新 入 会 員 入 会 金	750,000	分室機構改革及び運営費	0	退 職 金	0			
ポリオプラス寄付金	10,000	23RC ロスター	305,025	雑費及び予備費	424,636			
RI財団地区補助金	0	R手帳・山科手帳等	194,544	合 計	20,907,918			
廣田元会員寄付金収入(前期借受金)	1,000,000	金	新世代育成基金特別分担金	79,250	奉 仕 活 動 費	職業奉仕委員会	15,000	
受 取 利 息	0		合 計	4,287,928	社会奉仕委員会	200,000		
雑 収 入	1,127		クラブ奉仕委員会	322,142	国際奉仕委員会	181,000		
当期収入合計	39,501,786		親睦活動委員会	2,402,613	新 世 代 委 員 会	233,000		
前 年 度 繰 越 金	6,477,896		雑誌・広報委員会	2,000	ローターアクト委員会	610,000		
			ブ	記録・会報委員会	292,142	合 計	1,239,000	
				プログラム委員会	583,841	ロータリー財団	1,632,500	
				ロータリー情報委員会	106,150		特 別 寄 付 金	1,632,500
				規定審議委員会	0		ベネファクター寄付金	0
				姉妹クラブ委員会	143,690	米 山 記 念 奨 学 会	1,642,000	
		S. A. A.		301,000	特 別 寄 付 金	1,642,000		
		予 備 費		0	青少年育成奨学金	450,000		
		合 計		4,153,578	青少年育成基金繰り入れ	0		
		ク		1. 例会費(小計)	11,431,445	留 学 生 フェスティバル	2,539,274	
				会 食 費	10,486,299	奉 仕 活 動 費	1,239,000	
			諸 経 費	433,470	ポリオプラス寄付金	10,000		
			会議室借料	511,676	ローターアクト提唱クラブ分担金	50,000		
			2. 集会費(小計)	747,965	ローターアクト特別分担金	10,000		
			会長・幹事費	508,768	インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	20,000		
			ガバナー公式訪問費	239,197	来 客 食 事 代	164,200		
			3. 渉外費(小計)	256,000	ニコニコ会計繰入	1,000,000		
		ラ	慶 弔 費	196,000	予 備 費 等	0		
			会場運営費	60,000	当期収支差額	1,395,388		
4. 事務局費(小計)	8,472,508		次 期 繰 越 金	7,873,284				
事務室賃借料	2,381,400		支 出 総 合 計	38,106,398				
収入総合計	45,979,682							

第43年度(2010～11)

会 計 西村 正一郎

収 入 の 部		支 出 の 部						
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目		金額	
RI分担金・クラブ分担金	4,357,011	分	本 部 分 担 金	356,638	ク	事務室賃借料	2,381,400	
年 会 費	26,434,589		地 区 資 金	810,000		光 熱 費	42,627	
ニコニコ箱収入	3,269,000		国際青少年交換特別資金	81,000		人件費(法廷福利費)	4,207,744	
ニコニコ会計繰越金より	0		ガバナー事務所費	405,000		通 信 費	390,915	
ロータリー財団	1,470,500		地区大会分担金	810,000		事務用品費	87,292	
特 別 寄 付 金	1,407,500		地区協議会費	141,000		消 耗 品 費	0	
ベネファクター寄付	0		I M 分 担 金	240,000		備 品 費	41,395	
米 山 記 念 奨 学	1,240,000		W C S 分 担 金	81,000		事務機器賃借料	459,480	
特 別 寄 付 金	1,240,000		機関紙購読料Rの友	204,120		印刷及び文献費	195,797	
青少年育成奨学金	0		ガバナー月信	81,000		修 繕 費	0	
青少年育成奨学基金	0		ロータリー財団普通寄付金	68,800		振 込 手 数 料	50,295	
来 客 会 費	175,400		米山記念奨学会普通寄付金	410,000		ホームページ維持費	111,300	
新 入 会 員 入 会 金	600,000		分室機構改革及び運営費	0		退職手当引当金	100,000	
ポリオプラス寄付金	0		23RC ロ ス タ ー	312,375		退 職 金	0	
RI財団地区補助金	0		R 手 帳・山科手帳等	246,078		雑費及び予備費	279,342	
東日本震災義捐金	500,000		新世代育成基金特別分担金	81,000		合 計	20,808,441	
受 取 利 息	0		合 計	4,328,011		奉	職 業 奉 仕 委 員 会	24,000
雑 収 入	6,000		金	クラブ奉仕委員会		309,180	仕	社会奉仕委員会
当期収入合計	37,989,500	会員増強委員会		3,000	国際奉仕委員会	2,000		
前年度繰越金	7,873,284	親睦活動委員会		2,511,692	新 世 代 委 員 会	278,056		
		雑誌・広報委員会		0	ローターアクト委員会	600,000		
		記録・会報委員会		307,554	合 計	1,202,112		
		プログラム委員会		637,279	ロータリー財団	1,407,500		
		ロータリー情報委員会		73,297	特 別 寄 付 金	1,407,500		
		規定審議委員会		0	ベネファクター寄付金	0		
		姉妹クラブ委員会		198,260	米 山 記 念 奨 学 会	1,240,000		
		S. A. A. (ソング委員会)		315,000	特 別 寄 付 金	1,240,000		
		予 備 費		0	青少年育成奨学金	0		
		合 計		4,436,262	青少年育成基金繰り入れ	0		
		1. 例会費(小計)		11,608,871	東日本震災義捐金	2,500,000		
		会 食 費		10,608,593	奉 仕 活 動 費	1,202,112		
		諸 経 費		423,425	ポリオプラス寄付金	0		
		会議室借料		576,853	ローターアクト提唱クラブ分担金	50,000		
		2. 集会費(小計)		607,733	ローターアクト特別分担金	10,000		
		会長・幹事費		394,531	インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	20,000		
		ガバナー公式訪問費	213,202	来 客 食 事 代	175,400			
		3. 渉外費(小計)	244,250	ニコニコ会計繰入	66,888			
		慶 弔 費	184,250	予 備 費 等	0			
		会場運営費	60,000	当期収支差額	1,744,886			
		4. 事務局費(小計)	8,347,587	次 期 繰 越 金	9,618,170			
収入総合計	45,862,784				支 出 総 合 計	36,244,614		

第44年度(2011～12)

会 計 森 俊次

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
R I 分 担 金・クラブ 分 担 金	4,081,431	分 担	本 部 分 担 金	324,636	ク ラ ブ 管 理 費	慶 弔 費	246,750
年 会 費	25,176,139		地 区 資 金	782,500		会 場 運 営 費	60,095
45 周 年 記 念 事 業 積 立 金	1,640,000		国 際 青 少 年 交 換 特 別 資 金	78,250		4. 事 務 局 費 (小 計)	8,390,956
来 客 会 費	214,800		ガ バ ナ ー 事 務 所 費	391,250		事 務 室 賃 借 料	2,381,400
ニ コ ニ コ 箱 収 入	3,450,200		地 区 大 会 分 担 金	782,500		光 熱 費	45,819
ニ コ ニ コ 会 計 繰 越 金 以 前	153,330		I M 分 担 金	234,000		人 件 費 (法 廷 福 利 費)	4,241,106
ロータリー財団地区補助金	400,000		W C S 分 担 金	156,500		通 信 費	356,760
ロータリー財団	1,490,980		機 関 紙 購 読 料 R の 友	200,970		事 務 用 品 費	101,093
特 別 寄 付 金	1,410,980		ガバナー月信	78,250		消 耗 品 費	0
ベネファクター寄付	80,000		ロータリー財団普通寄付金	62,400		備 品 費	93,555
米 山 記 念 奨 学 金	1,623,000	金	米山記念奨学会普通寄付金	390,000	費	事 務 機 器 賃 借 料	406,980
特 別 寄 付 金	1,623,000		規定審議委員会派遣分担金	0		印 刷 及 び 文 献 費	220,892
青少年育成奨学金	0		地 区 協 議 会 費	105,000		修 繕 費	0
青少年育成奨学基金	0		24RC ロ ス タ ー	308,700		振 込 手 数 料	59,470
新 入 会 員 入 会 金	750,000		R 手 帳・山科手帳等	186,039		ホ ー ム ペ ー ジ 維 持 費	111,300
ポリオプラス寄付金	200,000		会 長 エ レ ク ト 研 修 費	0		退 職 手 当 引 当 金	100,000
東 日 本 震 災 義 捐 金	459,600		新世代育成基金特別分担金	78,250		雑 費 及 び 予 備 費	272,581
受 取 利 息	0		合 計	4,159,245		合 計	21,252,103
雑 収 入	4,000		クラブ奉仕委員会	313,775	奉 仕 活 動 費	職 業 奉 仕 委 員 会	1,094,155
当 期 収 入 合 計	39,643,480		会 員 増 強 委 員 会	13,000		社 会 奉 仕 委 員 会	1,071,206
前 年 度 繰 越 金	9,618,170		会 員 選 考 委 員 会	0		国 際 奉 仕 委 員 会	129,000
		ク ラ ブ 奉 仕 活 動 費	出 席 委 員 会	57,000		新 世 代 委 員 会	30,000
			親 睦 活 動 委 員 会	2,489,500		青 少 年 育 成 奨 学 金 委 員 会	1,209,099
			雑 誌・広 報 委 員 会	13,000		ロータリーアクト委員会	470,000
			記 録・会 報 委 員 会	516,829		合 計	4,003,530
			フ ロ グ ラ ム 委 員 会	502,966		45 周 年 記 念 事 業 積 立 金	1,640,000
			ロータリー情報委員会	160,755		24RCチャリティゴルフ費用	400,000
			規 定 審 議 委 員 会	44,100		ロータリー外提唱クラブ分担金	50,000
			ニ コ ニ コ 箱 委 員 会	0		ロータリーアクト特別分担金	10,000
			米 山 奨 学 金 委 員 会	0		イ ン タ ー ア ー 地 区 大 会 未 提 唱 ク ラ ブ 協 力 分 担 金	20,000
			姉 妹 ク ラ ブ 委 員 会	182,022		来 客 食 事 代	214,800
		ク ラ ブ 管 理 費	S. A. A. (ソング委員会)	308,000		予 備 費 等	14,435
			予 備 費	133,500		奉 仕 活 動 費	4,003,530
			合 計	4,734,447		ニ コ ニ コ 会 計 繰 入	0
			1. 例 会 費 (小 計)	11,903,155		ロータリー財団特別寄付金	1,410,980
			会 食 費	10,764,431		ベネファクター寄付金	80,000
			諸 経 費	490,495		青 少 年 育 成 奨 学 金	0
			会 議 室 借 料	648,519		青少年育成基金繰り入れ	0
			2. 集 会 費 (小 計)	650,857		ポリオプラス寄付金	200,000
			会 長・幹 事 費	414,084		東 日 本 震 災 義 捐 金	459,600
			諸 費 用	10,500		特別予備費(新会員入会金)	0
			ガバナー公式訪問費	226,273		当 期 収 支 差 額	△620,660
			3. 渉 外 費 (小 計)	306,845		次 期 繰 越 金	8,989,510
収 入 総 合 計	49,261,650					支 出 総 合 計	40,272,140

第45年度(2012～13)

会 計 小坂 文夫

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
RI分担金・クラブ分担金	4,066,460	分	本 部 分 担 金	342,196	ク	光 熱 費	49,262
年 会 費	26,280,260		地 区 資 金	797,500		人件費(法廷福利費)	5,064,622
45周年記念事業積立金	1,670,000		国際青少年交換特別資金	63,800		通 信 費	340,033
45周年記念積立金取崩	3,310,000		ガバナー事務所費	398,750		事 務 用 品 費	120,880
来 客 会 費	203,200		地 区 大 会 分 担 金	797,500		消 耗 品 費	860
ニコニコ箱収入	3,614,000		I M 分 担 金	234,000		備 品 費	0
ニコニコ会計繰越金より	0		機 関 紙 購 読 料 Rの友	204,960		事務機器賃借料	413,685
ローター財団地区補助金	600,000		ガバナー月信	79,750		印刷及び文献費	193,075
ロータリー財団	1,582,320		ローター財団普通寄付金	62,400		修 繕 費	0
特 別 寄 付 金	1,582,320		米山記念奨学会普通寄付金	395,000	ラ	振 込 手 数 料	63,650
ヘネファクター 寄 付	0	担	規定審議委員会派遣分担金	44,100		ホームページ維持費	120,000
米 山 記 念 奨 学	1,671,000		地 区 協 議 会 費	115,000		退職手当引当金	100,000
特 別 寄 付 金	1,671,000		24RC ロ ス タ ー	308,700		雑費及び予備費	380,122
京都東山RC基金より	780,000		R手帳・山科手帳等	130,410		合 計	22,415,289
新 入 会 員 入 会 金	1,050,000		新世代育成基金特別分担金	39,875	奉	職 業 奉 仕 委 員 会	18,250
ポリオプラス 寄 付 金	0		広島大会地区分担金	23,400		社 会 奉 仕 委 員 会	270,000
東日本震災義捐金	0		合 計	4,037,341		国 際 奉 仕 委 員 会	67,000
受 取 利 息	0		クラブ奉仕委員会	502,189		新 世 代 委 員 会	99,250
雑 収 入	4,280		会 員 増 強 委 員 会	11,500		青少年育成奨学金委員会	0
当 期 収 入 合 計	44,831,520		記録・会報 委員会	665,415		ローターアクト委員会	483,000
前 年 度 繰 越 金	8,989,510		親睦活動委員会	2,503,115		合 計	937,500
		ブ	雑誌・広報委員会	1,500	活	45周年積立金繰入	1,670,000
			プログラム委員会	446,473		45周年特別事業費	7,457,907
			ロータリー情報委員会	157,604		インターアクト設立準備金	297,637
			姉妹クラブ委員会	246,060		ローターアクト提唱クラブ分担金	50,000
			S. A. A. (ソグ)委員会	344,000		ローターアクト特別分担金	10,000
			予 備 費	2,000		インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	20,000
			合 計	4,879,846		来 客 食 事 代	203,200
		ク	1. 例 会 費 (小計)	12,298,946	動	予 備 費 等	0
			会 食 費	11,379,319		奉 仕 活 動 費	937,500
			諸 経 費	422,445		45周年特別事業費	3,276,500
			会 議 室 借 料	497,182		ニコニコ会計繰入	0
			2. 集 会 費 (小計)	436,234		ローター財団特別寄付金	1,582,320
			会 長 ・ 幹 事 費	213,399		米山記念奨学会特別寄付金	1,671,000
			諸 費 用	10,500		ローター希望の風寄付金	780,000
			ガバナー公式訪問費	212,335		京都東山RC基金繰り入れ	0
			3. 渉 外 費 (小計)	452,520		ポリオプラス 寄 付 金	0
			慶 弔 費	391,500		東日本震災義捐金	0
		ラ	会 場 運 営 費	61,020		特 別 予 備 費	856,482
			4. 事務局費 (小計)	9,227,589		当 期 収 支 差 額	△5,313,512
			事務室賃借料	2,381,400		次 期 繰 越 金	3,675,998
						支 出 総 合 計	50,145,032
収 入 総 合 計	53,821,030						

第46年度(2013～14)

会 計 井川 正隆

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目	金額	
RI分担金・クラブ分担金	4,198,371	分 担	本 部 分 担 金	455,903	ク ラ ブ 管 理	人件費(法廷福利費)	4,334,643
年 会 費	27,039,519		地 区 資 金	830,000		通 信 費	316,525
50周年記念事業積立金	984,000		国際青少年交換特別資金	83,000		事 務 用 品 費	77,774
50周年記念積立金取崩	0		ガバナー事務所費	415,000		消 耗 品 費	0
来 客 会 費	171,800		地 区 大 会 分 担 金	830,000		備 品 費	0
ニコニコ箱収入	3,136,000		I M 分 担 金	249,000		事務機器賃借料	172,053
ニコニコ会計繰越金より	0		機関紙購読料Rの友	210,654		印刷及び文献費	144,101
ローター財団地区補助金	0		ガバナー月信	139,469		修 繕 費	0
ロータリー財団	1,598,160		ローター財団普通寄付金	82,170		振込手数料	56,463
特別寄付金	1,598,160		米山記念奨学会普通寄付金	415,000		ホームページ維持費	120,000
ヘネファクター寄付	0	規定審議委員会派遣分担金	0	退職手当引当金	100,000		
米 山 記 念 奨 学	1,357,000	地 区 協 議 会 費	101,000	雑費及び予備費	239,580		
特別寄付金	1,357,000	24RCロスター	330,750	合 計	20,380,035		
ローター希望の風寄付金	357,000	R手帳・山科手帳等	133,980	職業奉仕委員会	15,000		
新入会員入会金	150,000	金	新世代育成基金特別分担金	41,500	奉 仕 活 動 費	社会奉仕委員会	154,000
ポリオプラス寄付金	0		広島大会地区分担金	0		国際奉仕委員会	112,700
東日本震災義捐金	0		合 計	4,317,426		新世代委員会	69,000
受 取 利 息	0	ク ラ ブ 奉 仕 活 動 費	クラブ奉仕委員会	519,557		青少年育成奨学金委員会	0
雑 収 入	307,627		会員増強委員会	0		ローターアクト委員会	474,000
当期収入合計	39,299,477		記録・会報委員会	234,634		インターアクト委員会	124,905
前年度繰越金	3,675,998		親睦活動委員会	22,118,443		合 計	949,605
			ブ 奉 仕 活 動 費	雑誌・広報委員会	10,800	50周年積立金繰入	500,000
				プログラム委員会	792,350	50周年積立金繰入(3,00円x4x83人)	984,000
				ロータリー情報委員会	104,764	ローターアクト提唱クラブ分担金	50,000
		姉妹クラブ委員会		773,634	ローターアクト特別分担金	10,000	
		S. A. A. (ソング委員会)		294,000	インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	100,000	
		予 備 費		32,000	来 客 食 事 代	171,800	
		合 計		4,980,187	予 備 費 等	0	
		ク ラ ブ 管 理 費	1. 例会費(小計)	11,556,427	奉 仕 活 動 費	949,605	
			会 食 費	10,572,563	小学生作陶茶会	1,482,545	
			諸 経 費	413,295	京 都 マ ラ ソ ン	129,750	
			会議室借料	570,569	ニコニコ会計繰入	574,100	
			2. 集会費(小計)	562,331	ローター財団特別寄付金	1,598,160	
			会 長・幹 事 費	353,156	米山記念奨学会特別寄付金	1,357,000	
			諸 費 用	0	ローター希望の風寄付金	357,000	
ガバナー公式訪問費	209,175		京都東山RC基金繰り入れ	0			
3. 渉外費(小計)	251,200		ポリオプラス寄付金	0			
慶 弔 費	191,200		東日本震災義捐金	0			
会場運営費	60,000		特 別 予 備 費	0			
4. 事務局費(小計)	8,010,077		当期収支差額	1,357,869			
事務室賃借料	2,404,080		次 期 繰 越 金	5,033,867			
収入総合計	42,975,475	光 熱 費	44,858	支出総合計	37,941,608		

第47年度(2014～15)

会 計 竹之内 米貴

収 入 の 部		支 出 の 部													
科 目	金 額	科 目		金 額	科 目	金額									
R1分担金・クラブ分担金	4,039,001	分	本 部 分 担 金	471,526	ク	光 熱 費	37,845								
年 会 費	25,464,299		地 区 資 金	777,500		ラ	人件費(法廷福利費)	4,412,724							
50周年記念事業積立金	932,000		国際青少年交換特別資金	77,750			ブ	通 信 費	314,203						
50周年記念積立金取崩	0		ガバナー事務所費	388,750				管	事 務 用 品 費	98,605					
来 客 会 費	100,700		地 区 大 会 分 担 金	777,500					理	消 耗 品 費	65,000				
ニコニコ箱収入	3,055,100		I M 分 担 金	231,000						奉	備 品 費	0			
ニコニコ会計繰越金より	0		機 関 紙 購 読 料 Rの友	202,176							仕	事務機器賃借料	373,900		
ロータリー財団地区補助金	760,000		ガバナー月信	77,750								活	印刷及び文献費	151,984	
ロータリー財団	1,367,780		ロータリー財団普通寄付金	79,560									動	修 繕 費	0
特 別 寄 付 金	1,247,780		米山記念奨学会普通寄付金	390,000										費	振 込 手 数 料
ベネファクター寄付	120,000	規定審議委員会派遣分担金	0	合	ホームページ維持費										120,000
米 山 記 念 奨 学	1,193,000	地 区 協 議 会 費	37,860		計	退職手当引当金									0
特 別 寄 付 金	1,193,000	2 4 R C ロ ス タ ー	321,300			職	雑 費 及 び 予 備 費								397,490
ロータリー希望の風寄付金	405,000	R 手 帳 ・ 山 科 手 帳 等	191,311				業	合 計							20,459,079
新 入 会 員 入 会 金	300,000	新世代育成基金特別分担金	50,875					奉	職 業 奉 仕 委 員 会						38,280
ポリオプラス寄付金	0	広島大会地区分担金	0						仕	社 会 奉 仕 委 員 会					316,580
東 日 本 震 災 義 捐 金	0	合 計	4,074,858							活	国 際 奉 仕 委 員 会				300,000
受 取 利 息	0	クラブ奉仕委員会	406,727								動	青少年奉仕委員会			289,452
雑 収 入	19,241	会 員 増 強 委 員 会	47,651									費	ローターアクト委員会		498,000
当 期 収 入 合 計	37,756,121	記録・会報委員会	435,883										合	インターアクト委員会	223,480
前 年 度 繰 越 金	5,033,867	親睦活動委員会	2,288,118	計										合 計	1,665,792
		ブ	雑 誌 ・ 広 報 委 員 会		4,000									5 0 周 年 積 立 金 繰 入	500,000
			フ・ログラム委員会		423,000	5 0 周 年 積 立 金 繰 入(3,00円0x4x83人)									932,000
			ロータリー情報委員会		459,746		ローターアクト外提唱クラブ分担金								50,000
			姉妹クラブ委員会		278,826			ローターアクト特別分担金							10,000
			S. A. A. (ソング委員会)		287,000				インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金						100,000
			予 備 費		109,479					来 客 食 事 代					100,700
			合 計		4,740,425						予 備 費 等				0
			ク		1. 例 会 費 (小計)							10,890,193			奉 仕 活 動 費
					会 食 費							9,901,165	特 別 事 業 費		
				諸 経 費	415,115							京 都 マ ラ ソ ン			
		会 議 室 借 料		573,912	ニコニコ会計繰入									905,970	
		2. 集 会 費 (小計)		804,419		ロータリー財団特別寄付金								1,367,780	
		会 長 ・ 幹 事 費		518,597			米山記念奨学会特別寄付金							1,193,000	
		諸 費 用		0				ロータリー希望の風寄付金						405,000	
		ガバナー公式訪問費		285,822					ベネファクター 寄 付 金					120,000	
		3. 渉 外 費 (小計)		251,200						ポリオプラス寄付金				0	
		慶 弔 費		215,020							東 日 本 震 災 義 捐 金			0	
		会 場 運 営 費	60,350	特 別 予 備 費										0	
		4. 事 務 局 費 (小計)	8,489,097										当 期 収 支 差 額	△111,821	
		事務室賃借料	2,449,440									次 期 繰 越 金		4,922,046	
収 入 総 合 計	42,789,988		支 出 総 合 計		37,867,942										

第48年度(2015～16)

会 計 名 筋 淳 二

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
RI分担金・クラブ分担金	3,996,806	分 担	本 部 分 担 金	523,792	ク ラ ブ 管 理	光 熱 費	45,836
年 会 費	24,757,194		地 区 資 金	757,500		人件費(法廷福利費)	4,751,741
50周年記念事業積立金	98,000		国際青少年交換特別資金	75,750		通 信 費	313,214
50周年記念積立金取崩	0		ガバナー事務所費	378,750		事 務 用 品 費	181,066
来 客 会 費	186,800		地 区 大 会 分 担 金	757,500		消 耗 品 費	215,438
ニコニコ箱収入	3,247,000		I M 分 担 金	231,000		備 品 費	0
ニコニコ会計繰越金より	0		機 関 紙 購 読 料 Rの友	196,992		事務機器賃借料	360,360
ローター財団地区補助金	0		ガバナー一月信	75,750		印刷及び文献費	153,276
ロータリー財団	1,540,640		ローター財団普通寄付金	95,480		修 繕 費	0
特 別 寄 付 金	1,540,640		米山記念奨学会普通寄付金	377,500		振 込 手 数 料	79,136
ベネファクター 寄 付	0	金	規定審議委員会派遣分担金	0	奉 仕 活 動 費	ホームページ維持費	120,000
米 山 記 念 奨 学	1,206,000		地 区 協 議 会 費	163,500		退職手当引当金	100,000
特 別 寄 付 金	1,206,000		24RC ロ ス タ ー	321,300		雑費及び予備費	587,382
ローター希望の風寄付金	793,000		R手帳・山科手帳等	185,803		合 計	21,849,578
新 入 会 員 入 会 金	450,000		新世代育成基金特別分担金	0	奉 仕 活 動 費	職 業 奉 仕 委 員 会	4,500
ポリオプラス 寄 付 金	0		広島大会地区分担金	0		社 会 奉 仕 委 員 会	104,000
受 取 利 息	0		合 計	4,140,017		国 際 奉 仕 委 員 会	162,842
雑 収 入	12,030		クラブ奉仕委員会	360,720		青少年奉仕委員会	145,120
当 期 収 入 合 計	37,097,470		会 員 増 強 委 員 会	41,085		ローターアクト委員会	570,000
前 年 度 繰 越 金	4,922,046		記録・会報委員会	219,807		インターアクト委員会	391,676
		ク ラ ブ 奉 仕 活 動 費	親睦活動委員会	2,451,825		合 計	1,378,138
			雑誌・広報委員会	4,000	奉 仕 活 動 費	50周年積立金繰入	908,000
			プログラム委員会	330,000		ローターアクト提唱クラブ分担金	50,000
			ロータリー情報委員会	28,600		ローターアクト特別分担金	10,000
			姉妹クラブ委員会	277,288		インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	100,000
			S. A. A. (ソング委員会)	287,000		来 客 食 事 代	186,800
			予 備 費	39,000		予 備 費 等	0
			合 計	4,039,324		奉 仕 活 動 費	1,378,138
			1. 例 会 費 (小計)	11,442,345		特 別 事 業 費	1,033,945
			会 食 費	10,369,337	奉 仕 活 動 費	京 都 マ ラ ソ ン	53,640
		ク ラ ブ 管 理 費	諸 経 費	389,908		ニコニコ会計繰入	281,277
			会 議 室 借 料	683,100		50周年積立金繰入	500,000
			2. 集 会 費 (小計)	694,144		ローター財団特別寄付金	1,540,640
			会 長 ・ 幹 事 費	388,860		米山記念奨学会特別寄付金	1,206,000
			諸 費 用	72,000		ローター希望の風寄付金	793,000
			ガバナー公式訪問費	283,284		ベネファクター 寄 付 金	0
			3. 渉 外 費 (小計)	356,200		ポリオプラス 寄 付 金	152,000
			慶 弔 費	296,200		特 別 予 備 費	0
			会 場 運 営 費	60,000		当 期 収 支 差 額	△1,125,489
			4. 事 務 局 費 (小計)	9,356,889		次 期 繰 越 金	3,796,557
収 入 総 合 計	42,019,516		事務室賃借料	2,449,440		支 出 総 合 計	38,222,959

第49年度(2016～17)

会 計 松下 明史

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
R I 分 担 金・クラブ 分 担 金	4,026,400	分 担 金	本 部 分 担 金	486,248	ク ラ ブ 管 理 費	会 場 運 営 費	60,000
年 会 費	24,733,600		地 区 資 金	770,000		4. 事 務 局 費 (小計)	9,026,455
50周年記念事業積立金	91,000		国際青少年交換特別資金	77,000		事務室賃借料	2,449,440
50周年記念積立金取崩	0		ガバナー事務所費	385,000		光 熱 費	51,099
来 客 会 費	126,500		地 区 大 会 分 担 金	770,000		人件費(法廷福利費)	4,996,256
ニコニコ箱収入	3,045,000		I M 分 担 金	231,000		通 信 費	323,481
ニコニコ会計繰越金より	0		機 関 紙 購 読 料 R の 友	203,040		事 務 用 品 費	158,586
ローター財団地区補助金	0		ガバナー月信	77,000		消 耗 品 費	0
ロータリー財団	1,560,400		ローター財団普通寄付金	78,540		備 品 費	0
特別寄付金	1,560,400		米山記念奨学会普通寄付金	382,500		事務機器賃借料	360,360
ベネファクター寄付	20,000	金	規定審議委員会派遣分担金	0	奉 仕 活 動 費	印刷及び文献費	154,984
米 山 記 念 奨 学	1,512,000		地 区 協 議 会 費	39,000		修 繕 費	0
特別寄付金	1,512,000		2 4 R C ロ ス タ ー	321,300		振 込 手 数 料	80,002
ローター希望の風寄付金	400,000		R 手 帳・山科手帳等	235,072		ホームページ維持費	139,200
新 入 会 員 入 会 金	450,000		新世代育成基金特別分担金	0		退 職 手 当 引 当 金	100,000
ポリオプラス寄付金	74,160		広島大会地区分担金	0		雑 費 及 び 予 備 費	213,047
受 取 利 息	0		合 計	4,055,700		合 計	21,494,535
雑 収 入	27,400		クラブ奉仕委員会	398,898	奉 仕 活 動 費	職業奉仕委員会	110,000
当 期 収 入 合 計	36,885,800		会 員 増 強 委 員 会	4,000		社会奉仕委員会	104,000
前 年 度 繰 越 金	3,796,557		記録・会報委員会	441,216		国際奉仕委員会	156,230
		ク ラ ブ 奉 仕 活 動 費	親睦活動委員会	2,358,338		青少年奉仕委員会	221,380
			雑誌・広報委員会	0		ローターアクト委員会	487,000
			プログラム委員会	420,840		インターアクト委員会	353,692
			ロータリー情報委員会	31,800		合 計	1,333,302
			規定審議委員会	0	5 0 周 年 積 立 金 繰 入	50周年積立金繰入	910,000
			ニコニコ委員会	0		ローターアクト提唱クラブ分担金	50,000
			米山記念奨学金委員会	0		ローターアクト特別分担金	10,000
			姉妹クラブ委員会	317,890		インターアクト地区大会未提唱クラブ協力分担金	100,000
			S. A. A. (ソング委員会)	306,000		来 客 食 事 代	126,500
			研 修 会 費	25,000		予 備 費 等	0
			予 備 費	39,000		特 別 事 業 費	221,751
			合 計	4,349,342		京 都 マ ラ ソ ン	71,820
		ク ラ ブ 管 理 費	1. 例 会 費 (小計)	11,451,880		ニコニコ会計繰入	1,418,127
			会 食 費	10,188,946		ローター財団特別寄付金	1,560,400
			諸 経 費	418,860		米山記念奨学会特別寄付金	1,512,000
			会 議 室 借 料	844,074		ローター希望の風寄付金	400,000
			2. 集 会 費 (小計)	727,084		ベネファクター寄付金	20,000
			会 長・幹 事 費	501,472		ポリオプラス寄付金	74,160
			諸 費 用	0		特 別 予 備 費	0
			ガバナー公式訪問費	225,612		当 期 収 支 差 額	△821,837
			3. 渉 外 費 (小計)	289,116		次 期 繰 越 金	2,974,720
			慶 弔 費	229,116		支 出 総 合 計	337,707,637
収 入 総 合 計	40,682,357						

第50年度(2017～18)

会 計 上村 承生

収 入 の 部		支 出 の 部					
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
R I 分 担 金・クラブ 分 担 金	3,539,919	分 担 金	本 部 分 担 金	480,735	ク ラ ブ 活 動 費	4. 事 務 局 費 (小計)	8,927,767
年 会 費	23,234,081		地 区 資 金	695,000		事 務 室 賃 借 料	2,449,440
50周 年 記 念 事 業 積 立 金	1,345,000		国 際 青 少 年 交 換 特 別 資 金	69,500		光 熱 費	50,515
50周 年 記 念 積 立 金 取 崩	5,234,000		ガバナー事務所費	347,500		人件費(法廷福利費)	4,860,803
50周年記念登録料・お祝い金	4,269,000		地 区 大 会 分 担 金	695,000		通 信 費	321,081
来 客 会 費	91,000		I M 分 担 金	210,000		事 務 用 品 費	147,790
ニコニコ箱収入	2,808,000		機 関 紙 購 読 料 Rの友	180,144		消 耗 品 費	43,200
ニコニコ基金積立金戻し入れ	6,000,000		ガバナー一月信	69,500		備 品 費	0
ニコニコ会計繰越金より	2,840,000		ローター財団普通寄付金	77,700		事 務 機 器 賃 借 料	375,490
今期ニコニコ会計会計より	46,506		米山記念奨学会普通寄付金	347,500		印 刷 及 び 文 献 費	148,634
インターアクト地区大会運営協力金	2,000,000	担 金	規定審議委員会派遣分担金	0	管 理 費	修 繕 費	0
ロータリー財団	1,333,000		地 区 協 議 会 費	120,000		振 込 手 数 料	91,570
特 別 寄 付 金	1,333,000		2 4 R C ロ ス タ ー	336,960		ホームページ維持費	129,600
ヘネファクター寄付	0		R 手 帳・山科手帳等	173,777		退 職 手 当 引 当 金	100,000
米 山 記 念 奨 学	938,000		会長エレクト研修費	0		雑 費 及 び 予 備 費	209,644
特 別 寄 付 金	938,000		新世代育成基金特別分担金	0		合 計	20,251,381
ローター希望の風寄付金	248,000		合 計	3,803,316		職 業 奉 仕 委 員 会	55,000
新 入 会 員 入 会 金	0		クラブ奉仕委員会	3,223,010		社 会 奉 仕 委 員 会	104,000
ポリオプラス寄付金	93,960		会 員 増 強 委 員 会	6,000		国 際 奉 仕 委 員 会	261,280
トンガポリオ寄付金	5,000		記録・会報委員会	387,428		青 少 年 奉 仕 委 員 会	61,500
受 取 利 息		ク ラ ブ 活 動 費	親 睦 活 動 委 員 会	1,842,432		ローターアクト委員会	488,000
雑 収 入	10,692		雑 誌・広 報 委 員 会	0		イ ン ターアクト委員会	265,310
当 期 収 入 合 計	54,039,158		フ ロ グ ラ ム 委 員 会	88,400		合 計	1,235,090
前 年 度 繰 越 金	2,974,720		ロータリー情報委員会	23,850		50周年記念事業特別会計	10,686,569
			姉 妹 ク ラ ブ 委 員 会	152,560		ニコニコ会計	10,433,644
			S. A. A. (ソング委員会)	208,000		ローターアクト提唱クラブ'分担金	60,000
			研 修 会 費	10,000		インターアクト地区大会運営費	2,000,000
			予 備 費	25,000		インターアクト地区大会末貞翔クラブ協力分担金	100,000
			合 計	3,223,010		来 客 食 事 代	91,000
			1. 例 会 費 (小計)	10,259,756		京 都 マ ラ ソ ン	25,772
		ク ラ ブ 管 理 費	会 食 費	9,387,224		ニコニコ会計繰入	
			諸 経 費	226,260		ローター財団特別寄付金	1,333,000
			会 議 室 借 料	646,272		米山記念奨学会特別寄付金	938,000
			2. 集 会 費 (小計)	783,858		ローター希望の風寄付金	248,000
			会 長・幹 事 費	491,772		トンガポリオ 寄 付 金	5,000
			諸 費 用	0		ポリオプラス寄付金	93,960
			ガバナー公式訪問費	292,086		特 別 予 備 費	0
			3. 渉 外 費 (小計)	280,000		当 期 収 支 差 額	△488, 584
			慶 弔 費	250,000		次 期 繰 越 金	2,486,136
			会 場 運 営 費	30,000		支 出 総 合 計	54,527,742
収 入 総 合 計	57,013,878						

創立30周年記念事業会計収支

会 計

収 入 の 部		支 出 の 部		
科 目	金 額	科 目	金 額	備 考
特別会計より繰り入れ	3,294,642	3 0 周 年 記 念 費	6,166,300	
登 録 料	3,225,000			講演料 100,000
お 祝 い 金	1,490,000			祝宴費 5,410,581
ニコニコ会計より繰り入れ	781,677	3 0 周 年 記 念 費	3,369,755	
一般会計より繰り入れ	744,736			記念品費 1,449,543
	3,500,000			姉妹クラブ費 358,520
				印刷費 182,364
				事務通信費 22,750
				会議費 182,006
				呈茶席費 96,241
				看板作成 105,000
				雑費 307,964
				パソコン寄贈 290,619
				やましな学園ミンガン招待 374,748
		特別会計へ繰り入れ	3,500,000	
				記念誌 1,800,000
				記念植樹 1,300,000
				ローターアクト 400,000
合 計	13,036,055	合 計	13,036,055	

創立35周年記念事業会計収支

会 計

収 入 の 部		支 出 の 部		
科 目	金 額	科 目	金 額	備 考
登録料(会員分)	2,208,000	山下泰裕先生 お支払い等	746,460	
第1期 @6,000×93				講演料・交通費 668,000
第2期 @6,000×93				講演料源泉分 70,000
第3期 @6,000×92				当日お車代 5,000
第4期 @6,000×90				手土産代 3,460
登録料(ご夫人分)	184,000	ブロンズ像製作費等	1,480,860	
@8,000×23				ブロンズ像製作費 1,470,000
登録料(姉妹クラブ分)	84,000			ブロンズ像動産保険 10,860
@12,000×7		ウェスティン都ホテル支払い	3,257,572	
お祝い金	300,000			会議費 21,945
クラブより例会費振替	368,000			例会費用 79,800
@4,000×92				講演会費用 458,934
				祝宴 2,696,893
本会計より繰り入れ	3,500,000	印刷物・郵送料等	281,869	
		来賓お土産代	80,325	
		祝宴コンパニオン代	225,750	
		看板代	105,000	
		雑費	109,137	祝舞お礼、カセットデッキ購入、 エレクトーン演奏代、除幕式お酒 お土産代・プリント・フィルム代
合 計	6,644,000	合 計	6,644,000	

創立40周年記念事業会計収支

会 計 薮下 清三

収 入 の 部		支 出 の 部		
科 目	金 額	科 目	金 額	備 考
【繰越金】		【式典実行委員会費】		
本会計繰越金	8,000,000	式典費	2,359,331	会場設備、記念品、謝礼等
ニコニコ会計繰越金	2,000,000	祝宴	6,410,335	食事、アトラクション、会場設営他
40周年積立金	1,322,000	二次会	238,400	姉妹クラブ接待
ニコニコ箱収入	2,000,000	雑費	281,453	印刷費、通信費、諸雑費
【徴収金】		【学童野球関連委員会費】		
会員登録料(85名)	1,745,000	講演会のタベ	256,506	会場費(75,300)
会員夫人登録料(18名)	160,000			講師お礼他(181,206)
市内RC登録料(48名)	720,000	学童野球大会	1,190,538	グランド使用料他(523,604)
金沢南RC(24名)・夫人(6名)	420,000			連盟関係費他お礼(132,959)
新竹RC(2名)	30,000			DVDその他雑費(481,979)
RAC会員(8名)	40,000			鼓笛隊諸費用(51,996)
【お祝い金】		野球教室・体力測定	132,876	森本トレーナーお礼他雑費
地区外RC会員	80,000	【記念講演委員会費】	2,977,965	
RI地区関係	400,000			会場費(1,142,855)
市内23RC	770,000			渡辺先生お礼他(1,050,000)
地区団体	40,000			新聞広告費(458,850)
金沢南RC	50,000			抽選・本その他雑費(326,260)
【エクスカーション登録】		【姉妹クラブ関係費】	565,305	エクスカーション(観光・ゴルフ)
金沢南観光組(13名)	85,000	【記念誌委員会費】	1,500,000	
		【その他】	166,276	40周年事業足洗いの一部負担
		本会計へ戻し入れ	1,763,015	
合 計	17,842,000	合 計	17,842,000	

創立45周年記念事業会計収支

会 計

収 入 の 部		支 出 の 部		
科 目	金 額	科 目	金 額	備 考
クラブ会計繰越金	4,000,000	45周年記念事業費	2,938,543	
45周年記念積立金	3,310,000	・参加タオル代	588,000	
ニコニコ箱収入	3,276,500	・講師謝礼	430,000	
地区補助金	600,000	・プリンスホテル会場費	628,387	
【雑収入】		・パンフレットその他	1,292,156	
〔宝ヶ池ファミリー駅伝〕		45周年記念「講演会」費	2,880,945	
参加費	255,500	・会場費	659,820	
会食費振替	324,000	・会場設営諸費	516,600	
【45周年姉妹クラブ】		・広告費〔新聞掲載代〕	472,630	
登録料(エクスカーション含)	538,000	・講演謝礼代	971,395	
姉妹クラブ委員会より	93,000	・講演謝礼代		
【45周年式典・祝宴】		・広告ビラその他事務費	260,500	
お祝い金	135,000	45周年記念「式典」費	7,032,043	
会食費振替	332,000	・料理	3,421,569	14,437円×2237人 料理代
会員夫人登録料	130,000	・飲み物	852,147	
アクト登録料	30,000	・会場費	727,148	宴会場諸費
RC他クラブ登録料	1,395,000	・会場設営諸費用	586,088	スライド・呈茶・二次会
		・演奏者出演料	130,000	
		・記念品	754,312	
		・コンパニオン費用	320,000	祝宴及び二次会延長分
		・雑費	240,779	
		姉妹クラブ対応費	407,200	
		45周年準備委員会費	318,506	
		ホームページ (マラソン, 講演会参加募集で利用)	352,500	一般会計より充当 ￥120,000
		記念週報印刷代	37,170	
		収支差額	452,093	
合 計	14,419,000	合 計	14,419,000	

創立50周年記念事業会計収支

会 計 小坂 文夫

収 入 の 部		支 出 の 部		
科 目	金 額	科 目	金 額	備 考
ニコニコ基金積立金戻入	6,000,000	50周年記念事業費	104,330,644	
ニコニコ会計繰越金戻入	2,840,000	記念事業費	〈10,180,144〉	山中先生記念講演会・疏水通船事業
ニコニコ箱収入繰入	1,500,000	記念事業庶務費	〈253,500〉	プログラム・案内状
当期ニコニコ残高充当	47,138	記念例会・式典・祝宴費	8,886,389	
前期ニコニコ繰越金充当	46,506	会場設備費	〈1,354,860〉	
50周年記念積立繰越金	5,234,000	祝宴費(食事代)	〈4,748,185〉	料理・ドリンク16,792円×238人
本年度50周年記念積立金	1,345,000	記念品代	〈1,20,600〉	
式典登録料 会員15,000円×67名	1,011,000	アトラクション	〈409,240〉	
会員夫人8,000円×21名	168,000	パンケット代	〈396,000〉	11,000円×36人
市内RC15,000円×59名	885,000	呈茶設営諸費	〈472,800〉	
金澤南15,000円×27名	405,000	映像制作費	〈484,704〉	
新竹RC	115,000	式典実行委員会庶務費	448,680	
RAC 5,000円×4名	20,000	部会会合諸費	〈205,898〉	
お祝い金	1,460,000	諸雑費	〈242,782〉	
エクスカーション ゴルフ参加費	205,000	姉妹クラブ関係費	481,500	2次会・エクスカーション・ゴルフ
		記念誌編纂費	600,000	
		予備費	270,000	人件費
		本会計へ戻入	161,431	
収 入 合 計	21,281,644	支 出 合 計	21,281,644	

委員会メンバーと活動内容

S. A. A.

年 度	会 長	委員長	副 S. A. A.
26 1993～94	小田 義彦	今井 武男	手塚 充・日比野 修
27 1994～95	谷口 良三	手塚 充	戸田 義高・松井 信五
28 1995～96	田中 久雄	武市 泰和	知公 智之・阿部 勲
29 1996～97	堀部 素弘	平塚 厚麿	中嶋 克美・井上 幸次
30 1997～98	野村 泰三	西村正一郎	浅見五郎助・坂田 均
31 1998～99	山中 鎭一	橋本 幸男	中嶋 克美・岩橋 忠昭
32 1999～2000	今村 晋平	戸田 義高	江川 寿明・中井 勝
33 2000～01	横田 治男	宮元 博史	井上 春峰・渡辺 剛士
34 2001～02	小林 一恵	松井 信五	水内 喜廣・柴垣 正彦
35 2002～03	井上 勝	中嶋 克美	小坂 文夫・柴田 義典
36 2003～04	稲本 初弥	塩路 徹	松井 信五・本田 修造
37 2004～05	鈴木 敏治	岩本 一	井上 春峰・柴垣 正彦
38 2005～06	西村 孝之	井上 春峰	浅見五郎助・中嶋 克美
39 2006～07	小山 信一	橋本 幸男	井上 武男・中嶋 克美・西尾 修
40 2007～08	中村 翠嵐	渡辺 剛士	井上 勝・佐貫 将一・清水 泰博・平岡幹之助
41 2008～09	木村 安輝	小森 直之	小山 信一・小坂 文夫・福留 幸一・東方田寿一
42 2009～10	城山健太郎	本田 修造	村田 好謙・薮下 清三・中塚 浩
43 2010～11	今井 武男	坂田 均	安澤 英治・井川 正隆・山本 真也・植野 清富
44 2011～12	川中 文嗣	木村 安輝	平野 俊雄・森里 秀夫・吉田 武雄
45 2012～13	松井 信五	中塚 浩	中島 陽子・岡武 和暁・薮下 清三
46 2013～14	杉崎 則夫	平野 俊雄	川勝 裕之・関根 淳子・小森 直之・中川 公孝・上村 承生
47 2014～15	小野 富造	森里 秀夫	松井 信五・村田 好謙・中島 陽子・佐々木虚室・橋本 幸司
48 2015～16	岩橋 忠昭	中島 陽子	小山 信一・関根 淳子・福川 敦子・中村 吉晴・谷口 浩三
49 2016～17	渡辺 剛士	吉田 武雄	山本 真也・村岡 正浩・山田幸一郎・青山真由美
50 2017～18	小森 直之	福留 幸一	郡 正樹・松下 明史・布施 栄一

- 1994 会員相互の交流を図るため、抽選で座席指定し、固定化の防止。
各テーブルに親睦委員の席を設け、新旧会委員の交流の活性化。
- 1998 クラブ・デーに会員の職業紹介スピーチを行なう。
- 2001 例会前に〈懐かしい軽音楽〉をBGを流し、居心地の良い例会場の雰囲気を作る。
- 2005 本年度夏季の例会にはノーネクタイをクールビズ(省エネルギー)の実施を行なう。
- 2006 CLPの採用により、ソングの担当する。クラブデーには同好会のPRタイムを実施。
- 2014 クラブデーを親睦の場とする運営に心し、ロータリーモニュメントの席を設け、会員のショートスピーチを実施。
- 2017 会員全員にスピーチする機会を設け、会員同士の相互理解を深める。

ソング委員会

年 度	委員長	副委員長	活 動 内 容
26 1993～94	谷川 博造	城山健太郎	・8/31クラブ奉仕のファミラムで、ロータリーソングの説明・解説を行なう ・11/16ノートルダム女史大コーラス部による「コーラスの楽しさ」を聴衆
27 1994～95	今川 武男	橋本 幸男	・7/26ガバナー公式訪問の例会ソングでBE A FRIENDを歌う ・4/11ソングを楽しむため、郡山竜大師範、藤田天山氏の尺八演奏を聞く
28 1995～96	中川 正文	今村 晋平 中川 正文	・ロータリーソング以外にも、同様に唱歌等も取り入れ「歌うことを楽しむ」
29 1996～97	西村正一郎	中川 正文	・7/2・9・16・23の例会前に15分程[をBUILD THE FUTURE WITH]を練習し、ガバナー公式訪問の例会で三唱
30 1997～98	西出 澄弘	中川 正文	・ロータリーソングの外、四季折々の歌を取り混ぜ雰囲気作りに配慮する
31 1998～99	村田 佳弘	日比野 修	・新会員にも早くロータリーソングに馴染んでいただくよう、歌唱テープを配布
32 1999～2000	水内 喜廣	谷川 博造	・10周年記念に作詞された、増田氏の「友ら集いて」を四季に合わせ歌唱
33 2000～01	竹市 泰和	杉崎 則夫	・委員会メンバーが交代でタクトを振る
34 2001～02	本田 修造	小森 直之	・1年間緊張しながらタクトを振り終わりました
35 2002～03	井上 春峰	江川 寿明	・楽しい雰囲気を盛り上げるよう努めました
36 2003～04	村田 佳弘	片山 好司	・自分自身も楽しまなければと思い指揮を執った
37 2004～05	谷川 博造	今村 晋平	・ソングを通して元気の良い、明るく楽しい例会になるよう努めた
38 2005～06	村田 佳弘	浅見・中嶋	・楽しい雰囲気が、かもし出せるよう努めました
39 2006～07	* 本年度よりソングは、SAAが務めることになり、ソング委員会は廃止された		

奉仕プロジェクト(クラブ管理)

年	度	会 長	委員長	副委員長	委 員
26	1993～94	小田 義彦	茨木 弘三	高山 雄	クラブ奉仕各委員長
27	1994～95	谷口 良三	谷川 博造	今村 晋平	〃
28	1995～96	田中 久雄	井上 澄男	杉崎 則夫	〃
29	1996～97	堀部 素弘	岸 信太郎	今井 武雄	〃
30	1997～98	野村 泰三	竹市 泰和	井上 澄男	〃
31	1998～99	山中 鏝一	鈴木 敏治	手塚 充	〃
32	1999～2000	今村 晋平	杉崎 則夫	西村正一郎	〃
33	2000～01	横田 治男	増田 紘明	横尾 浩志	〃
34	2001～02	小林 一恵	木村 安輝	福住 清之	〃
35	2002～03	井上 勝	川中 丈嗣	中村 翠嵐	〃
36	2003～04	稲本 初弥	谷川 博造	末松 哲夫	〃
37	2004～05	鈴木 敏治	橋本 幸男	野村 泰三	〃
38	2005～06	西村 孝之	井上 武雄	渡辺 剛士	〃
39	* 本年度からCLP導入により奉仕プロジェクトと改正され理事の役職となる(従来の4大奉仕は奉仕プロジェクトの配下)				
	2006～07	小山 信一	横尾 浩志		
40	2007～08	中村 翠嵐	竹市 泰和		
41	2008～09	木村 安輝	岩橋 忠昭		
42	2009～10	城山健太郎	谷川 博造	小山 信一	山中 鏝一 * 社会奉仕委員会も兼務
43	2010～11	今井 武男	手塚 充	竹市 泰和	磯田 好計 〃
44	2011～12	川中 丈嗣	井上 勝		
45	2012～13	松井 信五	中村 弘吉	安澤 英治	* 社会奉仕委員会も兼務 木村安輝・横尾浩志・清水泰博・森俊次・岡武和暁
46	2013～14	杉崎 則夫	塩路 徹	関根 淳子	* 社会奉仕委員会も兼務 横尾浩志・清水泰博・森俊次・松下明史
47	2014～15	小野 富造	横尾 浩志	川中 剛嗣	坂田 均・小坂 文夫
48	2015～16	岩橋 忠昭	薮下 清三	川中 剛嗣	郡正樹・安澤英治・吉田武雄・竹之内米貴・中村弘吉・川中裕之・中村吉晴
49	2016～17	渡辺 剛士	松井 信五	小山 信一	竹之内米貴・小坂文夫・上村承生・布施栄一・川勝裕之
50	2017～18	小森 直之	平野 俊雄	橋本 幸司	村岡正浩・奥田敏信・布施栄一・今村晋平・郡 正樹

親睦活動・出席委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容	
26	1993～94	高山 雄	村田 佳弘	・8/42納涼例会: RACと合同で東急インで開催 ・12/12年忘れ家族会: RACと合同で都ホテルで開催 ・3/6・7金沢南RC25周年記念式典に出席。翌日金沢周遊, 見学 ・6/21ヤレヤレ会: を新会員歓迎会も併せ、都ホテルで開催	104名 173名 50名 94名
27	1994～95	今村 晋平	西村正一郎	・8/23納涼例会: キリン京都ビアーパークにて開催 ・12/20年忘れ家族会: RACと合同例会とそいで都ホテルにて開催 ・6/27新入会員歓迎会も併せて開催	
28	1995～96	杉崎 則夫	日比野 修	・8/18～20乗鞍登山と合同サマーキャンプ:『意義ある業績賞』受賞 ・12/19年忘れ家族会: 会員82名、家族78名、RAC・米山達他 親睦委員全員で日本舞踊「乗合船」を舞い、委員長が常磐津を語る ・ヤレヤレ会を、大津料亭「紅葉」で開催 ・2/13新入会員歓迎会: (岩橋・水内・水道)3名を清鴨楼で歓迎	195名 43名
29	1996～97	今井 武男	井上 澄男	・8/21納涼家族会: 都ホテルデッキガーデンで開催(参加費無料) ・10/30新入会員歓迎会: 清鴨楼にて開催。参加費12,000円 ・12/17年忘れ家族会: 都ホテルにて開催。アトラクションに落語家4名 ・6/17ヤレヤレ会: 東山閣で開催	78名 171名 85名
30	1997～98	井上 澄男	井上 春峰	・8/19納涼夜間例会: RAC合同で琵琶湖シガナイトクルーズで開催 ・10/25新入会員歓迎会: 「かに家」(名筋・中井・高橋)3名を歓迎 ・12/16年忘れ家族会: RACと合同で都ホテルで開催 ・2/24親友会員歓迎会: 京都ガーデンパレスで開催(小森)1名 ・6/23中村楼にて開催	143名 48名 152名 57名 54名
31	1998～99	手塚 充	柴垣 正彦	・8/25納涼家族会: 京都国際会館で”シャンソンのタベ” ・11/14新入会員歓迎会: 岡崎”六盛”(辻中・柴田・宮下)歓迎 ・12/15年忘れ顔z句会: 都ホテルにて親睦委員が〈女装クイズ〉 ・3/2春の家族会: ”金沢南RC創立30周年記念例会兼ね1泊旅行 ・6/22ヤレヤレ会: 岡崎”六盛”	118名 44名 153名 41名 68名
32	1999～2000	西村正一郎	井上 春峰	・8/24納涼家族会: RAC合同で比叡山頂”ロッド”比叡”フランス料理 ・10/28重員乳会会員歓迎会: 新都にて(本田・岩井・山口・吉藤) ・12/21年忘れ家族会: 都ホテルで”桂小春団治”田淵岩夫”出演 ・6/2ヤレヤレ会: 東山山荘にて津軽三味線を楽しむ	126名 46名 127名 64名
33	2000～01	横尾 浩志	末松 哲夫	・8/22納涼家族会: RAC合同で大津フェルツブルグにて開催 ・12/19年忘れ家族会: 都ホテルにて開催 ・新入会員歓迎会: 清鴨楼にて(平岡・片山・西尾・渡辺・天野)歓迎 ・6/19ヤレヤレ会: 木乃婦似て開催	80名 120名 43名 64名
34	2001～02	福住 清之	渡辺 剛士	・8/28納涼家族会: RACと合同でロイヤルオークにて”ポピュラーソングのタ ・12/18年忘れ家族会: RAC合同”ポピュラージャズ”のタベ”を都ホテル ・4/25新入会員歓迎会: ”わらびの里”で(千代島・藪下・山本) ・6/18ヤレヤレ会; 清鴨楼にて開催	90名 110名 45名 58名
35	2002～03	中村 翠嵐	小野 富造	・8/6新入会員歓迎会: ”わらびの里”にて開催 ・8/27納涼家族会: RACとの合同で”嵐山嵐亭”で開催 ・12/17年忘れ家族会: RACと合同でウェスティン都で開催 ・6/17ヤレヤレ会: ウェスティン都で開催	44名 127名 141名 60名
36	2003～04	末松 哲夫	今村 晋平	・8/11納涼家族会: 大津プリンスで”ハワイアン・フラ”琵琶湖花火大会 ・9/28洛東RCと合同家族会: 丹波自然公園で開催 ・12/19年忘れ家族会: ウェスティン都で”フルート演奏とナツメロ”	108名 101名 161名

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
37	2004～05	野村 泰三	杉崎 則夫	・8/24納涼合同例会:瀬田あみ定で開催し婦人・家族参加 103名 ・10/3洛東RCと合同家族会:琵琶湖ウォータースポーツセンターで 86名 ・3/23金沢南35周年記念式典参加と1泊家族旅行(白川郷) ・6/22ヤレヤレ会と新入会員歓迎会:ウェスティン都で開催 69名 ・12/17年忘れ家族会:ウェスティン都で開催 133名 ・6/21ヤレヤレ会:ウェスティン都で開催 64名
38	2005～06	渡辺 剛士	井上勝・松井	＊本年度より出席委員会も兼ねて務める ・8/27納涼家族会:しょうざんでオリンピックメタリスト武田美穂を招き親睦メンバーによるシンクロトリスイングを演技 144名 ・12/20年忘れ家族会:ウェスティン都で中国雑技団を招き開催 120名 ・6/20ヤレヤレ会と新入会員歓迎会:ウェスティン都で水野新会員歓迎 58名
39	2006～07	井上 春峰	手塚 石雲	・7/22納涼家族会: ・12/19年忘れ家族会: ・6/19ヤレヤレ会:
40	2007～08	戸田 義高	本田 修造	・8/26納涼家族会:六甲山ドライブと散策 70名 ・12/25年忘れ家族会:ウェスティン都でマクロ解体ショーやクイズ等 ・6/24ヤレヤレ会:
41	2008～09	中嶋 克美	横尾 浩志	・7/27納涼家族会:RAC合同で竹生島・湖北方面 107名 ・12/15年忘れ家族会;RAC合同でエグジブ'京都八瀬離宮で開催 152名 ・4/14夜桜夜間例会:清水寺の成就院で洛東RC,RACも参加 80名 ・4/24新入会員歓迎会:南禅寺「順正」にて(村田好・竹之内) 43名 ・6/16ヤレヤレ会:南禅寺「八千代」で開催 60名
42	2009～10	岩本 一	川勝 裕之	・8/23納涼家族会:宝冢化歌劇団見学し懇親会を開催 90名 ・9/15新入会員歓迎会:清鴨楼にて吉田武雄君の歓迎会 45名 ・12/22年忘れ家族会:RAC合同でウェスティン都で開催 137名 ・1/26新入会員歓迎会;「八千代」で(豊田・長尾・松木) 54名 ・6/15ヤレヤレ会:ウェスティン都で開催 61名
43	2010～11	柴田 義典	森 俊次	・8/24納涼家族会:トロッコ列車・保津川下り・鶴飼「渡月亭」にて 45名 ・11/30新入会員歓迎会:「東華菜館」で(中島・郡・岡武) 歓迎会 ・12/21年忘れ家族会:RAC合同。ウェスティン都で開催。親睦メンバーによる「水戸黄門」を演じる。東映俳優殺陣師出演 139名 ・3/1新入会員歓迎会:「木乃婦」で(大木義・関根) 歓迎会 ・6/21ヤレヤレ会:ウェスティン都で開催。親睦スタッフによる仮想歌謡 62名
44	2011～12	安澤 英治	城山健太郎	・8/27納涼家族会:RAC合同で ・12/22年忘れ家族会:RAC合同でウェスティン都にて開催 ・1/10新入会員歓迎会: ・6/19ヤレヤレ会:ウェスティン都で開催
45	2012～13	谷川 博造	森 俊次	・8/25納涼家族会:RAC合同で白浜温泉1泊旅行.那智の滝 82名 ・12/1新入会員歓迎会:宝ヶ池マラソン事業の足洗いと「清鴨楼」で 41名 ・12/18年忘れ家族会;RAC合同でウェスティン都で開催 131名 ・5/14新入会員歓迎会:「清鴨楼」で開催 47名 ・5/14新入会員歓迎会:「清鴨楼」で開催 48名
46	2013～14	森里 秀夫	小山・井川	・8/3納涼家族会:RAC合同で佐川美術館・比叡山延暦寺参拝の後「ロテル・ド・比叡」にて懇親会 112名 ・10/15婦人同伴例会:ウェスティン都”葵殿”にて ・12/17年忘れ家族会:RAC合同でウェスティン都で開催 125名

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
46	2013～14	森里 秀夫	小山・井川	・5/20新入会員歓迎会:「清鴨楼」で開催 ・6/17ヤレヤレ会:ウェスティン都で開催
47	2014～15	小森 直之	木村 安輝	・8/24納涼家族会:伊勢神宮参拝と鳥羽粋俗間見学 ・12/17年忘れ家族会:RAC合同でウェスティン都で開催 ・3/31お花見例会:「鶴清」で開催後、25周年に鴨川堤に植樹した”桜の街道”を散策 ・6/16ヤレヤレ会:「萬重」で開催
48	2015～16	山本 真也	松井 信五	・8/23納涼家族会: ・12/15年忘れ家族会:RAC合同でウェスティン都で開催 ・新入会員歓迎会: ・6/14ヤレヤレ会:
49	2016～17	川勝 裕之	中川 公孝	・7/24納涼家族会:長島リゾート(参加者75名) ・10/25新入会員8名の歓迎会:晴鴨楼(参加者49名) ・12/20年忘れ家族会:RAC合同でウェスティン都で開催(参加者102名) ・6/20ヤレヤレ会:ウェスティン都ホテル(参加者59名)
50	2017～18	村岡 正浩	平野 俊雄	・8/19納涼家族:RAC合同「延羽の湯」にて(参加者68名) ・12/19年忘れ家族会:RAC合同でウェスティン都で開催 ・6/12ヤレヤレ会:ウェスティン都で開催

出席委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	平塚 厚麿	戸田 義高	・IMの登録者73名・地区大会登録者70名・例会出席率100% (会員111)
27	1994～95	村田 佳弘	平塚 厚麿	・IMの登録者65名・地区大会登録者46名・例会出席率100% (会員108)
28	1995～96	中嶋 克美	松井 信五	・IMの登録者50名・地区大会登録者58名・例会出席率100% (会員106)
29	1996～97	知公 智之	浅見五郎助	・IMの登録者52名・地区大会登録者60名・例会出席率100% (会員108)
30	1997～98	福住 清之	岩橋 忠昭	・IMの登録者61名・地区大会登録者61名・例会出席率100% (会員103)
31	1998～99	江川 寿明	西出 澄弘	・IMの登録者65名・地区大会登録者95名・例会出席率100% (会員95)
32	1999～2000	渡辺 剛士	六車 雄二	・IMの登録者73名・地区大会登録者45名・例会出席率100% (会員89)
33	2000～01	塩路 徹	高谷 寿一	・地区大会等の参加を要請 (会員93)
34	2001～02	横尾 浩志	大藤 光夫	・IMの登録者49名・地区大会登録者51名・例会出席率100% (会員93)
35	2002～03	岩本 一	西尾 修	・IMの登録者39名・地区大会登録者22名・例会出席率100% (会員88)
36	2003～04	西尾 修	柴田 義典	・IMの登録者42名・地区大会登録者30名・国際大会登録82名 (会員86)
37	2004～05	本田 修造	山本 富雄	・IMの登録者28名・地区大会登録者27名・RI100周年登録33名 (会員83)
38	2005～06	* 本年度よりCLP導入により、親睦委員会が出席委員会を兼務する。 渡辺 剛士 井上勝・松井 ・具体的な活動報告無し。(会員83名)		
39	2006～07	* 本年度から出席委員会が無くなる。		
42	2009～10	* 本年度より再び親睦委員会が出席委員会を兼務する。 岩本 一 川勝 裕之 ・具体的な活動報告無し。(会員80名)		
43	2010～11	柴田 義典	森 俊次	・具体的な活動報告無し。(会員78名)
44	2011～12	* 本年度から再び出席委員会が無くなる。		
45	2012～13	* 本年度より再び親睦委員会が出席委員会を兼務する。 谷川 博造 森 俊次 ・具体的な活動報告無し。(会員81名)		
46	2013～14	森 俊次	小山・井川	・具体的な活動報告無し。(会員77名)
47	2014～15	小森 直之	木村 安輝	・具体的な活動報告無し。(会員76名)
48	2015～16	山本 真也	松井 信五	・具体的な活動報告無し。(会員73名)
49	2016～17	川勝 裕之	中川 公孝	・親睦活動の出席者報告のみ掲載(会員69名)
50	2017～18	村岡 正浩	平野 俊雄	・親睦活動の出席者報告のみ掲載(会員69名)

出席委員会

年 度		委員長	副委員長	年度末 会員数	出席率		地区大会		I.M.	
					ホームクラブ [*]	メークアップ [*] 後	登録数	出席率%	登録数	出席率%
26	1993～94	平塚 厚麿	戸田 義高	111	80.36	100	68	63.06	73	65.77
27	1994～95	村田 佳弘	平塚 厚麿	108	80.58	100	47	42.59	65	68.19
28	1995～96	中嶋 克美	松井 信五	106	78.77	100	60	54.72	50	47.17
29	1996～97	知公 智之	浅見五郎助	108	79.26	100	49	55.56	52	48.15
30	1997～98	福住 清之	岩橋 忠昭	103	79.32	100	61	59.22	61	59.22
31	1998～99	江川 寿明	西出 澄弘	95	76.49	100	65	100	65	68.42
32	1999～2000	渡辺 剛士	六車 雄二	89	76.29	100	46	50.16	73	82.02
33	2000～01	塩路 徹	高谷 寿一	93	76.81	100	44	47.31	29	31.12
34	2001～02	横尾 浩志	大藤 光夫	93	74.64	100	41	54.84	49	52.69
35	2002～03	岩本 一	西尾 修	88	76.67	99.48	22	25.01	39	44.32
36	2003～04	西尾 修	柴田 義典	86	75.34	98.45	26	34.88	42	48.84
37	2004～05	本田 修造	山本 富雄	83	76.71	98.02	27	32.53	28	33.73
38	2005～06	* 本年度より、親睦委員会が出席委員会を兼務する事になる。		81	77.32	95.53	35	44.44	41	50.62
39	2006～07	井上 春峰	井上 勝・松井信五	80	78.15	95.23	63	78.75	80	100
40	2007～08	戸田 義高	本田 修造	81	83.29	96.54	72	96.29	51	62.96
41	2008～09	中嶋 克美	横尾 浩志	78	85.55	98.69	41	51.28	41	52.56
42	2009～10	岩本 一	川勝 裕之	80	84.32	98.77	54	67.5	46	57.51
43	2010～11	柴田 義典	森 俊次	78	85.53	98.65	34	43.59	34	43.59
44	2011～12	安澤 英治	城山健太郎	78	86.26	99.76	39	50	41	52.56
45	2012～13	谷川 博造	森 俊次	83	86.48	100	37	44.58	38	45.78
46	2013～14	森里 秀夫	小山信一・井川正隆	77	85.32	98.01	34	44.16	42	54.55
47	2014～15	小森 直之	木村 安輝	76	85.41	98.36	41	52.63	40	52.63
48	2015～16	山本 真也	松井 信五	73	84.33	95.96	38	52.05	22	30.14
49	2016～17	川勝 裕之	中川 公孝	72	79.01	91.76	28	38.89	28	38.89
50	2017～18	村岡 正浩	布施 栄一	69	76.43	84.21	46	66.57	36	52.17

プログラム委員会

－ 卓 話 集 －

第26年度(1993～94)

委員長 杉崎 則夫

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
7/ 6	初例会「就任挨拶」	小田義彦会長・木村秀雄副会長・西村孝之幹事
7/13	ガバナー公式訪問所感	代2650地区ガバナー 本田 茂 氏
7/20	クラブ・デー	
7/27	会員スピーチ	会員 竹本 昌生 君
8/ 3	クラブ・デー	
8/10	追悼例会 お盆によせて「一步の距離」	会員 戸田 義高 君
8/17	休 会	
8/24	ローターア外と合同の納涼例会(東急イン)	
8/31	クラブ奉仕担当 フォーラム	クラブ奉仕委員会
9/ 7	クラブ・デー	
9/14	「政局のゆくえ」	京都新聞論説委員 原田 想爾 氏
9/21	青少年担当フォーラム「今の若者はなにを考えているか」	平安女学院短期大学助教授 日高 正浩 氏
9/28	「きのこについて」	京都菌学会会長 奥沢 康正 氏
10/ 5	クラブ・デー	
10/12	米山奨学生のスピーチ「マレーシアの経済状況」	米山奨学生 張 秋萍 さん
	〃 「マレーシアの教育制度」	陳 愛莉 さん
	〃 「私の留学生活」	金 英宿 さん
10/19	職業奉仕担当フォーラム	職業奉仕委員会
10/26	「フラメンコの魅力」	フラメンコ舞踊家 山本 秀実 さん
11/ 2	「ソングを楽しく」	ノートルダム女子大学 コーラス部
11/ 9	クラブ・デー	
11/16	「現代イタリア事情」	八光自動車(株)専務取締役 宮嶋 勲 氏
11/23	祝 日 休 会	
11/30	国際奉仕担当フォーラム	国際奉仕委員会
12/ 7	クラブ・デー	
12/14	「感性とのコミュニケーション」(グッバイ イングリッシュコンプレックス)	新日本ファミリークラブ コミュニタシステム事業部 川合 章夫 氏
12/21	年忘れ家族会RAC合同 市川団十郎を困んで「京都と顔見世」	歌舞伎役者 市川団十郎 氏
12/28	「上半期を終えて」	会長 小田 義彦君
1/ 4	休 会	
1/11	新春例会「年男放談」	歳男会員
1/18	クラブ・デー	
1/25	社会奉仕担当フォーラム	社会奉仕委員会
2/ 1	クラブ・デー	
2/ 8	「虹を描いて遊びましょう」	女流画家 春日 真弓 さん
2/15	「ステキに生きたい」	評論家 藤本 統紀子 さん
2/22	「成人病をよせつけない食事」	料理研究家／執筆家 鈴木 その子 さん
3/ 1	クラブ・デー	
3/ 8	「しゃれた旅行」	旅行アドバイザー 中村 京子 さん
3/15	詩吟同好会発表会	詩吟同好会 会員
3/29	「男性の魅力ワーク」	スチュワーズ養成インストラクター 板敷 智恵美 さん
4/ 5	クラブ・デー「ソングを楽しくパートⅡ」	京都女子大学軽音楽グループ
4/12	「難しいお年頃と言われないために」	起業研修インストラクター 竹上 順子 さん
4/19	「新京都事情」	KBS京都 報道部長 長谷川 和子 さん
4/26	1300回記念例会〈ロータリーに遊ぶ〉	会員 廣田 長三郎 君
5/ 3	祝 日 休 会	

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
5/10	クラブ・デー	
5/17	「野球と人生」	元プロ野球選手 福本 豊 氏
5/24	知っておとくな税情報「相続税・贈与税」	大津税務署 税務広報官 富永 徹也 氏
5/31	「父、藤山寛美の思い出など」	女優 藤山 直美 さん
6/ 7	クラブ・デー	
6/14	新入会員スピーチ 「京都の土地価格、今・昔」	会員 岩本 一 君
6/21	ヤレヤレ例会	
6/28	「退任挨拶」	会長・副会長・幹事・S.A.A.

第27年度(1994～95)		委員長 高倉 信夫
7/ 5	初例会 「就任挨拶」	谷口良三会長・川澄正彰副会長・嶋村昭平幹事
7/12	クラブ・デー	
7/19	「名北ロータリーのマドンナと云われて」	(株)駿栄社 代表取締役 中野 靖子 さん
7/26	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 二橋 貞雄 氏
8/ 2	クラブ・デー	
8/ 9	物故会員追悼例会 お盆によせて「しのぶぐさ」	パストガバナー 増田 房二 氏
8/16	休 会	
8/23	納涼例会	キリンビール 京都ビアパーク
8/30	クラブ奉仕フォーラム	クラブ奉仕委員会
9/ 6	クラブ・デー	
9/13	「イスラムの理念(基本教育)と現実(歴史)」	京都女子大学助教授 小田 淑子 さん
9/20	青少年担当フォーラム	青少年委員会
9/27	「禅から現代人への提言」	東福寺派管長・東福寺僧堂師家 福島 慶道 師
10/ 4	クラブ・デー	
10/11	「不動産取引に関する留意点」	京都府宅地建物取引業協会 会長 細見誠二郎氏
10/18	職業奉仕担当フォーラム	職業奉仕委員会
10/25	*米山月間に因んで*「日本文化と中国文化の比較について」 「日本での4年間を振り返って」	米山奨学生 曾 道智 君 金 英淑 さん
11/ 1	クラブ・デー	
11/ 8	「ロータリー財団と友達になろう」	RI第2650地区ロータリー財団増進委員会委員長 野村泰三君
11/15	*新入会員スピーチ*「剣道との出会い、自分との出会い」	会員 江川 寿明 君
11/22	「電波で探る地球大気の大謎」	京都大学超高電波研究センター教授 深尾 昌一朗 氏
11/29	国際奉仕担当フォーラム	国際奉仕委員会
12/ 6	クラブ・デー	
12/13	「競走馬の装蹄」	日本中央競馬会栗東トレーニングセンター競争馬診療所調査役 宮本 秀治 氏
12/20	年忘れ家族会RAC合同	
12/27	「上半期を終えて」	会長 谷口 良三 君
1/ 3	祝 日 休 会	
1/10	新春例会 「年男放談」	
1/17	クラブ・デー	
1/24	社会奉仕担当フォーラム	社会奉仕委員会
1/31	「日本の国際貢献を考える」	龍谷大学法学部教授 金 東勳 氏
2/ 7	クラブ・デー	
2/14	*新入会員スピーチ*「マルチメディアがやってきた」	会員 辻野 幸二 君
2/21	「現代のイスラム」	京都女子大学助教授 小田 淑子 さん
2/28	「日本人の作った洋楽器」	名古屋芸術大学専任講師 金子 敦子 さん
3/ 7	クラブ・デー	
3/14	造園の様式と変遷」	(株)曽根造園代表 代表取締役 曾根 三郎 氏

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
3/21	祝 日 休 会	
3/28	*新入会員スピーチ*「日々是新」	会員 中井 辰昭 君
4/ 4	クラブ・デー	
4/11	「ソングを楽しくパートⅢ」	尺八演奏家 都山流大師範 藤田 天山 師
4/18	「フィクトル・フランク」との対話	文芸評論家 野田 正彰 氏
4/25	*新入会員スピーチ*「アメリカと著作権法と私」	会員 坂田 均 君
5/2	休 会	
5/9	クラブ・デー	
5/16	「地球環境問題とエネルギー」	(財)日本原子力文化振興財団講師 神奈川工科大学 教授 平山 省一 氏
5/23	「アコーディオンと私」	全関西アコーディオン協会常任理事 JEUGIAフォーラム教育システム 講師 藤田 道朗 氏
5/30	「終戦50年を迎えて」	吉田商事(株)会長 京都南RC会員 吉田 聡一朗 氏
6/6	クラブ・デー	
6/13	「台湾のユニークなクラブ」	京都西南RC会員 嶋 雅夫 氏
6/20	「次年度予算案審議」引き続き、「公式訪問を控えてのアッセンブリー」	
6/27	*退任挨拶*「一年を顧みて」	理事・役員

第28年度(1995～96)		委員長 今井 武男
7/ 4	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 坂部 慶夫 氏
7/11	*新役員挨拶*「新年度を迎えて」	理事・役員
7/18	クラブ・デー	
7/25	*前年度決算報告*	
8/ 1	クラブ・デー	
8/ 8	物故者会員追悼例会	会員 西村 正一郎・井上 澄男・楨原 一雄
8/15	休 会	
8/22	「市民の手による映画(エイジアンブルー)を製作して	全国制作支援連合会 事務局長 今村 正治 氏
8/29	クラブ奉仕フォーラム	クラブ奉仕委員会 理事 井上 澄男 君
9/ 5	クラブ・デー	
9/12	「医療の道50年よもやま話」	会員 説田 武 氏
9/19	「定款細則・内規改正審議」	規定審議委員長 小野 富造 君
9/26	青少年担当フォーラム	青少年委員会 理事 佐貫 将一 君
10/ 3	クラブ・デー	
10/10	祝 日 休 会	
10/17	「時代祭りこぼればなし」	会員 廣田 長三郎 君
10/24	職業奉仕担当フォーラム	職業奉仕委員会 理事 井上 武雄 君
10/31	米山奨学生スピーチ	中国 曾 道智君・台湾 朱 秋而さん
11/ 7	クラブ・デー	
11/14	*私のアウトドアライフ「カリブ海に遊ぶ」*	会員 野村 泰三 君
11/21	国際奉仕担当フォーラム	国際奉仕委員会 理事 末松 哲夫 君
11/28	ロータリー財団月間に因んで	”93～”94財団学友 河原 一貴 君
12/ 5	4RC合同例会	
12/12	「冥福を祈らず」	会員 中川 正文 君
12/19	年忘れ家族会RAC合同	
12/26	「生きている限り健やかに美しく学びたい」	仏教大学教授 小倉 美津子 氏
1/ 2	祝 日 休 会	
1/ 9	新春例会「年男放談パートⅠ」	会員 金澤・大田・砂崎・稲本・野田 君
1/16	クラブ・デー	
1/23	社会奉仕担当フォーラム	社会奉仕委員会 理事 城山 健太郎 君

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
1/30 8/ 6	ボールハリス追悼例会「年男放談パートⅡ」 クラブ・デー	会員 前林・松井・塩路・西村正・渡辺 君
2/13	「少女たちの〈出陣〉」	学徒動員を記録する会 京都府立福知山高等学校 第38回生 西 玲子 氏
2/20	「ロータリー創立記念日に因んで」	パストガバナー 増田 房二 君
2/27 3/ 5	「趣味人とは誰のことを言うのかー人間らしく生きるためにー」 クラブ・デー	立命館大学産業社会学部教授「髪型芸能」
3/12	「ゴルフよもやま話し」	会員 大木 博 君
3/22	金澤南RC姉妹クラブ提携20周年記念例会	
3/26	芸談	津軽三味線 守屋 敏男 氏
4/ 2	創立記念アフタヌーン演奏会	中国古筝演奏家 伍 芳 氏
4/ 9	クラブ・デー	
4/16	新入会員スピーチ	会員 岩井 文彦 君・横井 康治 君
4/23	北方探検の英傑 近藤重蔵とその息子富蔵	久保田 暁一 氏
4/30	休 会	
5/ 7	クラブ・デー	
5/14	「コトバの心」	会員 小田 義彦 君
5/21	歌唱「上を向いて歩こう」他	歌唱;梶山聖子さん・伴奏;前平知子さん ご指導;立命館宇治高等学校経論 堀江正彦先生
5/28	「海上の道に挑む」	国際海峡倶楽部理事 シーカヤッカー 阿部 年雄 氏
6/ 4	クラブ・デー	
6/11	新入会員スピーチ	会員 岩橋 忠昭・水内 喜廣・水道 啓 君
6/18	「退任あいさつ」	会長・幹事・S.A.A.
6/25	ヤレヤレ会	

第29年度(1996～97)		委員長 西出 澄弘
7/ 2	初例会「就任挨拶」	堀部 素弘会長・高谷 寿一副会長・井上 武男幹事
7/ 9	クラブ・デー 6理事就任挨拶	
7/16	「山と私」	世界アルピニスト 文部省主任指導員 山本 一夫 氏
7/23	「一年を振り返って」	青少年交換学生
7/30	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 足高 晋 氏
8/ 6	クラブ・デー 追悼例会	会員 山中 鏝一・村田 佳弘・上野 清富 君
8/13	休 会	
8/20	納涼例会	
8/27	クラブ奉仕フォーラム	クラブ奉仕委員会 理事 岸 信太郎 君
9/ 3	クラブ・デー 各種同好会紹介	
9/10	敬老のお祝い	
9/17	青少年担当フォーラム	青少年委員会 理事 橋本 幸男 君
9/24	「原子力発電ともんじゅ事故」	動力炉燃料事業団 もんじゅ建設所長 菊池 三郎 氏
10/ 1	クラブ・デー	
10/ 8	私にとっての日本文学の魅力」	米山奨学生 朱 秋而 さん
10/15	「ブラジルより帰国して」	95・S 青少年交換学生 宮田 道人 君
10/22	職業奉仕担当フォーラム	職業奉仕委員会 理事 石原 隆光 君
10/29	「山科盆地と周辺の活断層」	京都大学教授 尾池 和夫 氏
11/ 5	新入会員スピーチ 「食品物流の変化」 金子 永次郎 君 ・「私の職業について」 小阪 文夫 君	
11/12	京都洛東RCとの合同例会	
11/19	国際奉仕担当フォーラム	国際奉仕委員会 理事 手塚 充 君
11/26	「ロータリー財団月間に非難で」	第2650地区R財団増進委員 京都洛中RC 葛川和夫 君

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
12/ 3	クラブ・デー	
12/10	新入会員スピーチ 「昔の漬物、今の漬物、これからの漬物」 柴垣 正彦 君 ・「最近の電話事情」 清水 邦昭 君	
12/17	年忘れ家族会	
12/24	「いまばきのオヤジ」	苦悶子ども研究所長 宮崎 次郎 氏
12/31	休 会	
1/ 7	新春例会「念頭挨拶」「歳男放談」	堀部会長 会員 水内喜廣・岩本 一・中嶋 克美 君
1/14	クラブ・デー	
1/21	社会奉仕担当フォーラム	社会奉仕委員会 理事 安倍 秀風 君
1/28	ポールハリス追悼例会 「ポールハリスの遺徳を偲んで」	パストガバナー 増田 房二 君
2/ 4	クラブ・デー	
2/11	祝 日 休 会	
2/17	「ロシアを考える視点」＊ロシア人の国民性について＊	龍谷大学教授 森本 忠夫 氏
2/24	「マルチメディアの展開」	会員 清水 邦昭 君
3/ 4	クラブ・デー	
3/11	「ローターアーククラブからのメッセージ」	ローターアクト委員長 阿部 勲 君
3/18	「気功を体験してみよう」	京都樹林気功主宰 伴 仲加江 さん
3/25	「中国人と付き合う(あかさたな)」	中国語教師 元持 和恵 さん
4/ 1	クラブ・デー 創立記念例会(諏訪さんとジャズダンス)	諏訪 あい さん
4/ 8	「第一印象を高めるセンスアップマナー」	(社)幼年教育会講師 オフィスマット 山本 清美 さん
4/15	「再び(冥福ヲ祈ラズ)」	会員 中川 正文 君
4/22	「戦後50年の政治」	京都大学法学部教授 松村 岐夫 氏
4/29	祝 日 休 会	
5/ 6	クラブ・デー 〈笑いとおい〉	落語家 笑福亭 猿笑 氏
5/13	「最初的一步、最後的一步」	京都大学アメリカンフットボール部監督 水野 弥一 氏
5/20	クラブ・アッセンブリー 〈次年度予算審議〉	
5・27	台湾新竹ロータークラブ来訪 〈姉妹クラブ提携更新〉	
6/ 3	クラブ・デー	
6/10	「こんな会社が倒産する」	貴魚信用調査マン 石倉 潔 氏
6/17	ヤレヤレ例会	
6/24	最終例会	

第30年度(1997～98)

委員長 小野 富造

7/ 1	初例会 「就任挨拶」	会長 野村泰三・副会長 小林一恵・幹事 木村案輝 君
7/ 8	クラブ・デー 「新任理事挨拶」	各理事
7/15	「京言葉に学ぶ、思いやりの文化」	企業研修インストラクターフリーアウンサー 菓子田 圭子 さん
7/22	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 山田 三郎 氏
7/29	「日本人の遊び心、アメリカ人の遊び心」	ジュディス.A.クロンシー さん
8/ 5	早朝例会 〈追悼例会〉	
8/12	休 会	
8/19	能長例会 ミシガン・ナイトクルーズ	
8/26	クラブ奉仕担当フォーラム	クラブ奉仕委員会 理事 竹市 泰和 君
9/ 2	クラブ・デー	会員 田中 久雄・佐貫 将一・小山 信一 君
9/ 9	「あなたの笑顔、なにより薬」	麻酔科・産婦人科医 昇 幹夫 氏
9/16	青少年担当フォーラム	青少年委員会 理事 内海 正三 君
9/23	祝 日 休 会	
9/30	「スピーチで紐解く30年」	2代会長 説田 武 君・5代会長 廣田 長三郎 君
10/ 7	クラブ・デー	会員 増田 紘明・井上 澄男・今井 武男 君
10/14	「国際関係における個人の役割」	米山奨学生 トーステン・マリー・アッネット さん

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
10/21	職業奉仕担当フォーラム 地区職業奉仕委 舞鶴東RC会員 高田 良久 氏	職業奉仕委員会 理事 戸田 義高 君
10/30	京都洛東RCとの合同例会	
11/ 4	社会奉仕担当フォーラム「日米友好の花、ハナミズキ」造詣作家 峰 与志彦 氏	社会奉仕委員会 理事 杉崎 則夫 君
11/11	「ロータリー財団月間に因んで	地区R財団増進委員 京都北東RC会員 公文 俊一 氏
11/18	国際奉仕担当フォーラム 「'97～'98地区世界社会奉仕事業アオスについて」地区社会奉仕委員長 八日市RC 井田 亮 氏	職業奉仕委員k氏 理事 泣かぬら 粹嵐 君
11/25	「色・いろ・彩」	オフィス華門社長 幸田 美智子 さん
12/ 2	クラブ・デー	会員 中村 翠嵐・前林 正典・高山 雄 君
12/ 9	「スピーチで紐解く30年」	10代会長 増田 房二 君・26代会長 小田 義彦 君
12/16	年忘れ夜間家族例会	
12/23	祝 日 休 会	
12/30	年越しの日'97年さよなら例会	
1/ 6	新春例会「お琴とフルートの調べ」	小串 孝子・江野 敏江・西山 美津代 さん
1/13	クラブ・デー 「歳男放談」	会員 井上 勝・井上 澄男・井上 春峰 君
1/20	「インターネットの現況とビジネス」	東京インターネット株顧問 古長 勝人 氏
1/27	「癒されるということ,やすらぎと感情は右脳から」	山川かおるミュージックラボ代表 山川 かおる さん
2/ 3	クラブ・デー	会員 谷川 博造・西尾 重雄・西村 孝之 君
2/10	「なせば成る」	フリーアナウンサー 高村 由美子 さん
2/17	「スピーチで紐解く30年」	14代会長 佐藤 富士男 君・21代会長 中川 正文 君
2/24	「ばか力はどうして出るか」	㈱シンクアート社長 久保 道 氏
3/ 3	クラブ・デー	会員 岸 信太郎・末松 哲夫・高倉 信夫 君
3/10	「加が藩と京の庭」	下郷 稔 氏
3/17	「スピーチで紐解く30年」	8代会長 杉田 信夫 君・19代会長 大木 博 君
3/24	新入会員スピーチ 「ホテル営業雑感」中井 勝 君 ・「名前探求」名筋 淳二 君	
3/31	新入会員スピーチ 「山科の新しい街づくりについて」高橋 泰行 君 ・「現代の医療環境とよい健康法」小森 直之 君	
4/ 7	創立30周年記念式典	
4/14	クラブ・デー	会員 榎原 一雄・横田 治男・井上 武男 君
4/21	「女の生き方」	大村音楽研究所 シャンソン歌手 大村 礼子 さん
4/28	「まちづくりは、モノづくりから人づくりへ」	YSまちづくり研究所 山尾 弘子 さん
5/ 5	祝 日 休 会	
5/12	クラブ・デー 「考古学の女王ポンペイ」	同志社大学名誉教授 京都東RC会員 浅香 正 氏
5/19	規定審議担当フォーラム 「あなたも幹事だ」	規定審議委員会
5/26	「南 久美子のユーモアギャラリー 笑字が語る人生いろいろ」	漫画家 南 久美子 さん
6/ 2	クラブ・デー	会員 杉崎 則夫・西村 正一郎・知公 智之 君
6/ 9	「"ある日"私、車椅子」	城柳 正彦 氏 ホランティア委員長 横尾 浩志 君
6/16	「時流が変わった」	JBBC事務局長 立川 昭吾 氏
6/23	ヤレヤレ会 最終例会「会長・幹事退任挨拶」	野村 泰三会長 ・ 木村 安輝幹事

第31年度(1998～99)

委員長 石原 隆光

7/ 7	初例会「就任挨拶」	山中銀一会長・小野富造副会長・中村翠嵐幹事
7/14	クラブ・デー	会員 井上 澄男 君
7/21	「理事就任挨拶」	各理事
7/28	婦人同伴例会「花のこころ」	華道池坊45世家元夫人・衆議院議員 池坊 保子さん
8/ 4	クラブ・デー	「塩の話」会員 戸田 義高 君
8/11	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 宮崎 茂和 氏
8/18	クラブ奉仕担当フォーラム 「山科ルネッサンスについて」	クラブ奉仕理事 鈴木敏治・ルネッサンス実行委員長 井上勝
8/25	納涼家族例会(RAC合同)	
9/ 1	クラブ・デー	会員 中嶋 克美 君

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
9/ 8	「新しい京都の骨格 京都高速道路」	阪神高速道路公団京都建設事務所長 堀松 正芳 氏
9/15	祝 日 休 会	
9/22	青少年担当フォーラム	京都市やましな学園 竹内竜也 氏・青少年理事 今井武男
9/29	「料理と飲み物の楽しみの提案」	京都ホスピタリティ研究所代表 京都洛南RC会員 友澤 弘 氏
10/ 6	クラブ・デー	
10/13	「時事寸評」	京都新聞社論説委員 小野山 正彦 氏
10/20	職業奉仕担当フォーラム 「音楽文化と私」(ミヤマミュージックプロダクツチーフマネージャー 宮原啓子さん 職業奉仕理事 西村正一郎	
10/27	「不況の中のロータリー財団に因んで」	地区R財団増進副委員長 京都洛南RC会員 下世古 晋 氏
11/ 3	祝 日 休 会	
11/10	京都洛東RCと合同例会	
11/17	国際奉仕担当クラブ・フォーラム	国際奉仕委員会 理事 高山 雄 君
11/24	新入会員スピーチ 「再入会して」 辻中 正雄 君 ・「私の職業について」 柴田 義典 君	
12/ 1	クラブ・デー 「電磁流体力学(WHD)発電機」	米山奨学生 康 龍雲 君
12/ 8	「最近の交通事故と起業経営者として心がけるべき交通安全」	京都府警本部 交通企画課長 滝沢 依子 さん
12/15	年忘れ家族会(RAC合同例会)	
12/22	「京の顔見世」	歌舞伎俳優 片岡 秀太郎 氏
12/29	休 会	
1/ 5	新春例会 祝舞;安倍秀月さん・安倍秀風君 「歳男放談」	竹本 昌生・谷川 博造・植野 清富・浅見 五郎助 君
1/12	クラブ・デー	
1/19	社会奉仕担当クラブ・フォーラム 「地球環境と私たち」	気候フォーラム代表 浅岡 美恵 さん 社会奉仕理事 川中 君
1/26	「介護保険直前」	特別養護老人ホーム 健康園園長 山田 尋志 氏
	クラブ・デー	
2/ 2	クラブ・デー	
2/ 9	婦人同伴例会 「私のシンクロナイズトスイング」	バルセロナオリンピックシンクロナイズトスイング銅メダリスト 奥野史子 氏
2/16	「人口減少時代の都市計画ー21世紀における京都の街創りコンセプト」	京都府立大学前学長 広原 盛明 氏
2/23	「病める社会に想う」	会員 小田 義彦 君
3/ 2	クラブ・デー	
3/ 9	「想いを売る会社」	大垣女子短期大学教授ライフスタイルコンサルタント 森 孝之 氏
3/16	健康を保つための食事」	京都第二赤十字病院 管理栄養士 木藤 淑子 さん
3/23	「百済観音ほほえみの秘密」	NHK教徒放送局アナウンサー 野島 正興 氏
3/29	「松下幸之助“危機克服の発想と手段」	PHP総合研究所取締役 第一研究本部長 谷口 全平 氏
4/6	クラブ・デー	
4/13	「日本歌謡とアリア・オ	大阪音楽大学大学院生 メゾ・ソプラノ西村馨・ピアノ武知明子
4/20	クラブ・フォーラム 「家庭集会報告会」	第1組カラ組 各リーダー
4/27	「京焼きと日本犬」	京都洛中RC会員 小川 長楽 氏
5/4	振 替 祝 日 休 会	
5/11	クラブ・デー	
5/18	「介護は誰の手で」	京都府立医科大学 医療技術短期大学講師 中嶋英美子
5/25	「留学を前にして」	1999～2000年度(財)国際親善奨学生 中野 悦子 さん
6/ 1	クラブ・デー	
6/ 8	「京都が21世紀に伝えること」	京と新聞編集局 社会部長代理 吉澤 健吉 氏
6/15	「退任挨拶」	会長 山中鉄一・副会長 小野富造・幹事 中村翠嵐 君
6/22	ヤレヤレ会 最終例会	
6/29	休 会	

第32年度(1999～2000)

委員長

小林 一恵

7/ 6	初例会 「就任挨拶」	会長 今村晋平・副会長 井上澄男・幹事 川中丈嗣 君
7/13	「理事・役員就任挨拶」	各理事
7/20	祝 日 休 会	

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
7/27	「平成の大不況と日本経済」	龍谷大学経済学部教授 岡地 勝二 氏
8/ 3	クラブ・デー 〈追悼例会〉	
8/10	ガバナー公式訪問所感	第650地区ガバナー 大日方 弘明 氏
8/17	休 会	
8/24	納涼家族例会(RAC合同) 夜間	
8/31	クラブ奉仕担当フォーラム	クラブ奉仕委員会理事 杉崎 則夫 君
9/ 7	クラブ・デー	
9/14	「くすりイロイロ」	会員 小原 晃 君
9/21	青少年担当フォーラム	青少年委員会 理事 横尾 浩志 君
9/28	「風土・社会・住居ー中国少数民族を事例にしてー」	京都女子大学講師 井上 えりこ さん
10/ 5	クラブ・デー	
10/12	「留学の感想」	米山奨学生 楊 青 君
10/19	職業奉仕担当フォーラム	職業奉仕委員会 理事 横尾 浩志 君
10/26	話し上手に聞き上手ー相手の心が読めますか？ー」	オフィス ヤマモト 山本 清美 さん
11/ 2	クラブ・デー	
11/11	京都洛東RCと合同例会	
11/16	「ロータリー財団のおねがい」	菊ロータリー財団委員 京都桂川RC 岩田 健 氏
11/23	祝 日 休 会	
11/30	クラブ・フォーラム 「ホリオプラスについて」	地区世界社会奉仕委員長 八日市RC 井田 亮 氏
	クラブ・デー	
12/ 7	クラブ・デー	
12/14	「私の 仕事」	会員 井上 武雄 君
12/21	年忘れ家族会(RAC合同例会)	
12/28	休 会	
1/ 4	新春例会 能管(笛の演奏)野中久美子さん・「歳男放談」	会員 横田治男 君
1/11	クラブ・デー	会員 山中 鉄一・小森 直之 君
1/18	社会奉仕担当フォーラム (株I.H.M.代表取締役「波動」編集長 柄本勝氏	社会奉仕委員会理事 宮本 博史 君
1/25	「ロータリー理解推進月間に因んで」	パスト・ガバナー 増田 房二 君
2/ 1	クラブ・デー	
2/ 8	〈家族月間〉「いまどきの親子」	公文教育研究会 教育主幹 宮崎 次郎 氏
2/15	「助成に言ってはならないコトバ」	毎日放送チーフアナウンサー 坂本 時彦 氏
2/22	クラブ・フォーラム 「環境フォーラム2000」	実行委員長 井上 澄男 君
2/29	「結婚するには覚悟がいる」	会員 今井 武男 君
3 / 7	クラブ・デー	
3/14	「松下幸之助に学んだこと」	PHP総合研究所 研究顧問 山口 徹 氏
3/21	「これからの環境問題について」	京都山科区役所振興課 華頂 村上 信弘 氏
3/28	「中国の家族関係ー親子のあり方とその変化」	京都女子大学 講師 劉 小俊 氏
4/ 4	クラブ・デー 〈4/2創立危難日〉	
4/11	フルートとピアノ演奏	京都私立芸術大学3回生 砂崎 亜由美・嶋田 理恵 さん
4/18	「老婚の現状」	無限の会 会長 和多田 峰一 氏
4/25	「家庭におけるコミュニケーション」	全日本家庭教育研究会東山支部 教育対話主事 三田村 正治 氏
	クラブ・デー	
5/ 2	クラブ・デー	
5/ 9	「京都市の環境行政について」	会員 内海 貴夫 君
5/16	「字の読めない母へのおもい」	チベット声楽家 バイマー・ヤンジン さん
5/23	新入会員スピーチ 「年目のチャレンジ」	会員 本田 修造 君
5/30	新入会員スピーチ 「小売業のトレンド」	会員 芳藤 宣男 君
6/ 6	クラブ・デー	
6/13	「京都の経済天気図」	㈱虚と総合経済研究所 代表取締役 生田 裕巳 氏
6/20	ヤレヤレ例会	
6/27	最終例会 「一年を振り返って」	会長 今村晋平・副会長 井上澄男・幹事 川中丈嗣 君

[例会日]

[演

題]

[卓 話 者]

7/ 4	初例会「就任挨拶」	会長 横田治男・副会長 鈴木敏治・幹事 城山健太郎 君
7/11	クラブ・デー 「理事・役員就任挨拶」	各担当理事
7/18	「京都の観光振興について」	京都市産業観光局 局長 山口 光博 氏
7/25	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 山崎 時雄 氏
8/ 1	クラブ・デー 〈追悼例会〉	
8/ 8	〈ライブ〉	シンガーソングライター 茶木 みやこ さん
8/15	休 会	
8/22	納涼例会(大津なぎさ公園 ベルグハウス)	
8/29	新入会員スピーチ 「ロータリー雑感」	会員 今井 武男 ・ 杉崎 則夫 君
9/ 5	クラブ・デー 青少年奉仕担当クラブ・フォーラム	青少年委員会 理事 増田 紘明 君
9/12	「チベットを訪問して」	チベット旅行参加者
9/19	「私の留学生活」	米山奨学生 張 榮 さん
9/23	「チベットに教育の花を咲かそう」(京都会館にて)	喜納 昌吉 氏・バイマイー・ヤンジンさん
10/ 3	クラブ・デー 青少年担当クラブ・フォーラム「RAC地区大会につて」	青少年 理事 手塚 充 君・京都山科RAC会員
10/10	私の一人ごと」	京都中央信用金庫理事長 京都東RC会員 道旗 進 氏
10/17	「くすり'あれこれ」ー草根木皮から遺伝子までー	日本新薬㈱ 常務取締役信賴性保証室長 杉山 信 氏
10/24	”Autumn in Kyoto”ーリコーダーとチェンバロンに寄るバロックの調べー	リコーダー 村井 志野さん チェンバロン春山 操さん
10/31	職業奉仕担当フォーラム	職業奉仕委員会 理事 内海 貴夫 君
11/ 7	クラブ・デー	
11/14	「ロータリーと財団と私」	地区R財団増進委員長 京都西北RC会員 公文 俊一氏
11/21	国際奉仕担当フォーラム 「種を播く」	地区ガバナー事務所分室職員 京都山科RAC会員 辰見 直子 さん 国際奉仕委員会 理事 植野 清富 君
11/28	京都楽東RCとの合同例会	
12/ 5	クラブ・デー 〈追悼例会〉	会員スピーチ「蕎麦打ちパートⅡ」 中村 翠嵐 君 「58歳の回想」 福住 清之 君
12/12	「山科のなぞの遺跡ー安祥寺上寺跡ー」	京都埋蔵文化財調査センター副所長 梶川 敏夫 氏
12/19	年忘れ家族会(RAC合同例会)	
12/26	休 会	
1/ 2	休 会	
1/ 9	新春例会 祝舞 安倍 秀月 様「歳男放談」	会員 大木 広し 君
1/16	クラブ・デー 会員スピーチ	「芸は身を助く」 小野 富造 君 「IT革命について」 小諸 直之 君
1/23	社会奉仕担当フォーラム 「ハンディーのある子供も無い子供も共に」	タンタン・おもちゃライブラリー事務局 谷内 文子 さん 社会奉仕委員会 理事 中嶋 克美 君
1/30	「陶器と料理」	割烹 八寸 ご主人 久保田 守 氏
1/ 6	クラブ・デー	
2/13	新会員スピーチ	「継続の信用」西尾 修君・「ホテル今昔」渡辺 民雄 君
2/20	「健康は誰のもの?！」	フラスコーボレーション代表取締役 濱 春野 氏
2/27	「花の心こころ」	華道池坊次期家元 池坊 由紀 さん
3/ 6	クラブ・デー	
3/13	「日本を今一度せんたくいたし申候ー竜馬が手紙で伝えた買った事」	霊山歴史館 学芸課長 木村 幸比古 氏
3/20	祝 日 休 会	
3/27	「大草原モンゴルの魅力を語る」	元中学校 校長 三増 雅一 氏
4/ 3	クラブ・デー	
4/10	思いの心は人生を創る」	税理士 早川嘉美事務所 ㈱サケス・シミュレーション代表 早川 嘉美 氏
4/17	新会員スピーチ	「新入会員スピーチ」 平岡 幹之助 君 「日々心掛けていたいこと」 片山 好司 君
4/24	「マレーシアとの交流」	(社)日本マレーシア協会 京都支部事務局長 濱田 健二 氏
5/ 1	クラブ・デー	
5/ 8	「シドニーへの道」 2000年シドニーオリンピックシンクロナイズドスイミング	日本チーム銀メダリスト 藤井 来夏 さん

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
5/15	「ドイツ留学を終えて」	1999～2000年度 R財団奨学生 中野 悦子 さん
5/22	「WCSミッション報告ーバズアツという国ー」	地区ガバナー事務所分室職員 京都山科RAC会員 辰見 直子 さん
5/29	「オペラの中の女たち」ーアリアとデュエット」 クラブ・デー	ソプラノ 三河 紀子・メゾ・ソプラノ 西村 馨・ピアノ 村崎 愛
6/ 5	クラブ・デー	
6/12	「琵琶湖疏水をめぐって」	元同志社社史資料室長 日本ペンクラブ会員 河野仁昭氏
6/19	ヤレヤレ例会 (木乃婦)	
6/26	最終例会 「一年を振り返って」	会長 横田治男・副会長 鈴木敏治・幹事 城山健太郎 君

第34年度(2001～02)		委員長 太田 美実
7/ 3	初例会 「就任挨拶」	会長 小林一恵・副会長 稲本初弥・幹事 小原 晃 君
7/10	クラブ・デー 「理事・役員就任挨拶」	各担当理事
7/17	「会員増強スピーチ」	地区会員増強委員 京都RC会員 小堀 賢一 氏
7/24	追悼例会 (知恩院三門拝観)	
7/31	「幸せでゆたかな人生を築くために」	木曾教育研究所 代表 起訴 長 氏
8/ 7	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 西村 二郎 氏
8/14	休 会	
8/21	クラブ・デー	
8/28	納涼例会 (ロイヤルオークホテル)	
9/ 4	クラブ・デー	
9/11	クラブ奉仕担当フォーラム	地区副幹事長 京都南RC会員 中島 喜代一 氏 クラブ奉仕委員会理事 木村 安輝 君
9/18	『三国志』の旅と中国の動向」	元京都大学・立命館大学教授 竹内 実 氏
9/25	「産官学共同の技術移転機関について」 滋賀大学産業共同研究センター客員教授 (財)大阪産業振興機構 TLO事業部チーフコーディネーター 吉田慶志 氏	
10/ 2	クラブ・デー	
10/ 9	青少年担当フォーラム 「地域と結ばれた学校」	京都市教育委員会 総務部部长 花嶋 詳宣 氏 青少年委員会 理事 植野 清富 君
10/16	「民事再生法と京都地区企業倒産」	㈱帝国データバンク京都支店 情報部部长 近藤義信 氏
10/23	私の留学生活」	米山奨学生 呉 建宏 君
10/30	職業奉仕担当フォーラム 「チベットの教育報告」	バイマール・ヤンジン さん 職業奉仕委員会 理事 西出 済弘 君
11/ 6	クラブ・デー	
11/13	「ロータリー財団月間に因んで」	地区R財団増進委員 会員 中村 翠嵐 君
11/22	京都楽東RCとの合同例会	
11/27	国際奉仕担当フォーラム	国際奉仕委員会 理事 塩路 徹 君
12/ 4	クラブ・デー	
12/11		
12/18	年忘れ家族会 (RAC合同例会)	
12/25	休 会	
1/ 1	祝 日 休 会	
1/ 8	新春例会 祝舞 吟・安倍 呈風 舞・安倍 佑風 氏	「歳男放談」 高倉 信夫 君
1/15	社会奉仕担当フォーラム 「環境行政に従事して」	地区環境保全副委員長 舞鶴RC会員 荒木 邦雄 氏 社会奉仕委員会 理事 手塚 充 君
1/22	クラブ・デー	
1/29	「Eラーニングの時代」 クラブ・デー	徳島大学開放実践センター教授 吉田 敦也 氏
2/ 5	クラブ・デー	
2/12	クラブ・アッセンブリー 「米経済と日本」	会員 高倉 信夫 君
2/19	「海とヨット その魅力」	VIVA SEA ヨットクラブ会長 蔭山 陽三 氏
2/26	『セキュリティー産業の現状』	法要テック株 代表取締役社長 川口 昇 氏
3/ 5	クラブ・デー	
3/12	「自尊について」	仏教大学教授 願海寺副住職 広瀬 卓爾 氏

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
3/19	「現代 中国事情」	追手門学院大學 名誉教授 阿頼耶 順宏 氏
3/26	「地上波TVデジタル化の動向」	KBS京都取締役 テレビ総局報道局長 黒田 清喜 氏
4/ 2	クラブ・デー	
4/ 9	「人間の情報処理」	大阪学院大學 名誉教授 清水 御代明 氏
4/16	「中国映画にみる世相」	追手門学院大學 名誉教授 阿頼耶 順宏 氏
4/23	「『9.11』の影響を考えるー東南アジアのケースから」	立命館大學国際関係学部 専任講師 本名 純 氏
4/30	休 会	
5/ 7	「新茸RC姉妹クラブ締結20周年記念の思い出」	会員 佐藤 富士男 君
5/14	クラブ・デー	
5/21	雇用情勢の現状と人材業」	(株)キャリアサポート顧問 石井 義高 氏
5/28	「身近な環境問題とオゾン」の有用性」	J. C. R. 環境指導室 次長 北澤 進 氏
6/ 4	クラブ・デー	
6/11	「脳の不思議と感性一癒しの音楽(大江 光の音楽)」	(株)DCS感性研究所クリエイティブディレクター 伊藤 直行 氏
6/18	ヤレヤレ例会	
6/25	最終例会 「一年を振り返って」	会長 小林一恵・副会長 稲本初弥・幹事 小原 晃 君

第35年度(2002～03)		委員長 谷川 博造
7/ 2	初例会 「就任挨拶」	会長 井上 勝・副会長 井上武雄・幹事 橋本幸男 君
7/ 9	クラブ・デー 「理事・役員就任挨拶」	各担当理事
7/16	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 岡村 吾郎 氏
7/23	「厚いハートを燃やせ」 (財)日本サッカー協会常務理事 2002年FIFAワールドサッカー大会	日本組織委員k氏理事 釜本 邦茂 氏
7/30	「再び冥福を祈らず」	会員 中川 正文 君
8/ 6	クラブ・デー 新会員スピーチ	会員 千代島 道生 君
8/13	休 会	
8/20	クラブ奉仕担当フォーラム 「クラブの活性化について」	クラブ奉仕理事 川中丈嗣 増強, 退会防止 竹市泰和 君
8/27	納涼例会(嵐亭 庭園)	
9/ 3	クラブ・デー 新会員スピーチ	会員 薮下 清三 君
9/10	「70才の挑戦ーヨット コーサ70で 単独無寄港世界一周ー」	大阪・淡輪ヨットハーバーマスターコーサ70号無寄港世界一周達成者 鹿島郁夫 氏
9/17	京料理・おもいつくま」	瓢亭 14台当主 高橋 英一 氏
9/24	青少年担当フォーラム 「若者達は今 青少年の悩みを考える」	京都いのちの電話事務局長・専務理事・訓練委員 平田 真希子 さん
10/ 1	クラブ・デー 新会員スピーチ	会員 山本 富雄 君
10/ 8	「ワインはもっと気楽に楽しく」(ホーロシェーボ小話付き)	サントリー株京都支店 ワイン営業担当 荒木 桃子 さん
10/15	「ステキな結婚式を創る」	ワタベ・ウェディング・コーポレーション代表取締役 京都RC会員 渡部 隆夫 氏
10/22	「私と卓球」 同志社大学非常勤講師 同志社大学体育会卓球部総監督 京都卓球会副理事長	日本卓球協会ルール審判委員会委員 田坂 昌英 氏
10/29	「最近の商法改正について」	中央三井信託銀行 証券代行部専任部長 坂本 赫志 氏
11/ 5	職業奉仕担当フォーラム 「私の職業奉仕」 小野 富造君	職業奉仕委員会 理事 小山 信一 君
11/12	婦人同伴例会(カンボジア地雷除去支援ラン)「カンボジア悲劇と報道」	元朝日新聞社 プノンペン・サイゴン・ハノイ各支局長 井川一久氏
	国際奉仕担当フォーラム	国際奉仕委員会 理事 渡辺 剛士 君
11/19	京都楽東RCとの合同例会	
11/26	「財団増進からのお願いと『白吉兆・湯木貞一の一生』	地区財団増進委員 京都西RC会員 徳岡 孝二 氏
12/ 3	「ポリオ撲滅募金について」	地区ポリオ撲滅募金キャンペーン委員会委員 京都南RC会員 小西清茂氏
12/10	「私の仕事と人生」	洛中RC会員 平井 良久 氏
12/17	年忘れ家族会(RAC合同例会)	
12/24	ピアノ演奏「クリスマス・イブの調べ」	ピアノ 矢田 裕子 さん・声楽 藤田 鈴 さん
	休 会	
1/ 7	新春例会 「祝賀詞」 舞士・安倍 佑風 吟士・安倍 秀風 氏	「歳男放談」 佐貫 将一 君・末松 哲夫 君
1/14	クラブ・デー 新会員スピーチ	会員 清水 泰博 君
1/21	「新年経済の展望」	(株)京都総合経済研究所 取締役調査部長 中野 勝仁 氏

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
1/28	社会奉仕担当フォーラム「私立学校における 児童・生徒の現状と課題」	京都市教育委員会 生徒指導課長 桶谷 守 氏 社会奉仕委員会 理事 岩橋 忠昭 氏
2/ 4	クラブ・デー 米山奨学生スピーチ「私の留学生活」	米山奨学生 孫 雲華 さん
2/11	祝 日 休 会	
2/18	音楽プログラム「ソングは楽し」	京都大学女性コーラス部 さん
2/25	「スカウト人生40年」	読売巨人軍 元スカウト部長 伊藤 菊雄 氏
3/ 4	クラブ・デー「創立35周年記念事業に向けて」	創立35周年記念実行委員長 井上 武雄 君
3/11	「伝統産業について」	西陣織工業組合理事長 渡文(株)代表取締役 渡辺隆夫氏
3/18	「普段使っていてもよく知らないもの 念珠の話」	(株)安田念珠店 代表取締役社長 京都RC会員 安田容造氏
3/25	創立35周年記念例会 記念講演「人生金メタリストをめざして」	東海大学体育学部教授 山下 泰裕 氏
4/ 1	クラブ・デー 新会員スピーチ	会員 福田 正長 君
4/ 8	休 会	
4/15	「幕末新撰組」	(株)京都鶴屋 鶴寿庵代表取締役京都洛中RC会員 八木喜久雄氏
4/22	会員スピーチ	会員 中村 弘吉 君
4/29	祝 日 休 会	
5/ 6	クラブ・デー クラブ・フォーラム〈次年度予算編成に伴う内規改定について〉担当 次年度理事・役員	
5/13	「2010年フレスコの夢」	(株)ハートフレンド 代表取締役 井上 弘治 氏
5/20	会員スピーチ	会員 小森 直之 君・平岡 幹之助 君
5/27	音楽プログラム「中国伝統音楽の調べ」	中国琵琶 葉 衛陽 さん・中国胡弓 朱 啓高 さん
6/ 3	クラブ・デー 米山奨学生スピーチ	米山奨学生 張 瓊云 さん
6/10	「香りの国から」	(株)松栄堂 代表取締役 畑 正高 氏
6/17	ヤレヤレ例会	
6/24	最終例会 「一年を振り返って」	会長 井上 勝・副会長 井上武雄・幹事 橋本幸男 君

第36年度(2003～04)

委員長 戸田 義高

7/ 1	初例会「就任挨拶」	会長 稲本初弥・副会長 中村翠嵐・幹事 手塚 充 君
7/ 8	クラブ・デー「理事・役員就任挨拶」	各担当理事
7/15	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 福井 正典 氏
7/22	「我が国の防衛について」	自衛隊京都地方連絡部長 1等陸佐 浅見 憲司 氏
7/29	「アフガニスタンと日本ーヘラートに滞在してー」	(財)日本国際民間協力会 アフガン・イラン事業担当 折居 徳正 氏
8/11	納涼例会(大津プリンスホテル)	
8/12	追悼例会	会員 山中 鏌一 君
8/19	休 会	
8/26	「相撲人生泣き笑い」	元関脇 水戸 泉関 錦戸部屋親方
9/ 2	クラブ・デー クラブ奉仕担当フォーラム	クラブ奉仕委員会理事 谷川 博三
9/ 9	軽音楽プログラム	バイオリン:水野絵里子・チェロ:崎元蘭奈・ピアノ:土居絵里奈
9/16	「一隅を照らす」	京都南RC会員 河内 清一 君
9/23	祝 日 休 会	
9/30	新世代クラブ・フォーラム	京都市山科青少年センター 宮川 知子 さん 新世代委員会理事 井上 春峰 君
10/ 7	クラブ・デー	
10/14	米山奨学生スピーチ「私の教員生活」	米山奨学生 張 瓊云 さん
10/21	「元氣経営のヒミツはこれだ！ー取材現場から見ー」	産業情報化新聞社 代表 竹原 信夫 氏
10/28	職業奉仕担当フォーラム「男の宿命？ー前立腺疾患」	中川クリニック 医院長 中川 周一 氏 職業奉仕委員会 理事 岩橋 忠昭 君
11/ 4	クラブ・デー	
11/11	ロータリー財団月間スピーチ「ロータリー財団月間に因んで」	地区財団年次寄付・財団恒久基金委員会 会員 今村 晋平 君
11/18	「最近の国際情勢と国連」	日本国連協会 京都本部専務理事 亀永 孝義 氏
11/25	国際奉仕担当フォーラム	国際奉仕委員会 理事 西村 正一郎 君

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
12/ 2	クラブ・デー	
12/ 9	「これだけは知っておきたい環境問題」	二法環境ジャーナリストの会(財)OISCA文化講師顧問団 村田佳寿子さん
12/19	年忘れ家族会(RAC合同例会)	
12/23	祝 日 休 会	
12/30	休 会	
1/ 6	新春例会 祝舞「松竹梅」舞士・安倍 佑風 吟士・安倍 秀風 氏	「歳男放談」柴田義典 君・片山好司 君・清水泰博 君
1/13	クラブ・デー 「歳男放談」	会員 高谷 寿一 君・竹市 泰和 君
1/20	「RI2004年国際大会を成功させよう」	RI2004年国際大会事務総長補佐 京都南RC会員 小林 哲夫 氏
1/27	社会奉仕担当フォーラム「絵が語りかけるものーアトリエ・ウエーブ18年の歩み」アトリエ・ウエーブ主宰 酒谷 佳子 さん	社会奉仕委員会 理事 横尾 浩志 君
2/ 3	クラブ・デー	
2/10	「最近の犯罪情勢について」	山科警察署 生活安全課 中村 智 氏
2/17	休 会	
2/24	『我が国の防衛』について」	自衛隊京都地方連絡部長 1等陸佐 浅見 憲司 氏
3/ 2	クラブ・デー	
3/ 9	「ポンペイの発掘調査と火山災害」	同志社大学名誉教授 京都東あRC会員 浅香 正 氏
3/16	休 会	
3/23	「起業の社会責任(CSR)について」	オムロン(株)相談役 立石 信雄 氏
3/30	「嵐山での温泉開発」	嵯峨山温泉嵐峽館 代表取締役社長 京都西RC会員 中路 剛 氏
4/ 6	クラブ・デー	
4/13	「今、みみずくに求められるもの」	みみずくの会 代表 西村 真理子 さん
4/20	「調査と情報」	日本探偵調査協会 会長 近畿調査業協会 会長 山森 政雲 氏
4/27	「笑っていれば、人生幸好転」	(有)オンリー・ワンタ代表取締役 京都伏見RC会員 濱上雅子さん
5/ 4	祝 日 休 会	
5/11	「ゴルフと私」	プロゴルファー 植野 忠美 氏
5/18	「花の効能」	ザ・リッツカールトン大阪 フラワー・ブティック・チーフデザイナー 坂上 奈智子 さん
5/25	「尊厳死」	日本尊厳死教会 関西支部理事 安藤 種二郎 氏
6/ 1	クラブ・デー	
6/ 8	「紛争地で学んだ事と現代日本」	元アイルランド`英国派ゲリラ隊長 教誨師 ヒュー・ブラウン 氏
6/15	「京都地区 企業倒産動向」	(株)帝国データバンク京都支店情報部 桜井 俊宏 氏
6/22	ヤレヤレ例会 新入会員歓迎会	
6/29	最終例会 「退任挨拶」	会長 稲本初弥・副会長 中村翠嵐・幹事 手塚石雲 君

第37年度(2004～05)

委員長

中村 翠嵐

7/ 6	初例会 「就任挨拶」	会長 鈴木敏治・副会長 石原隆光・幹事 岩橋忠昭 君
7/13	クラブ・デー 「理事・役員就任挨拶」	各担当理事
7/20	あるべき日本の安全保障政策」	衆議院議員 前原 誠司 氏
7/27	「京都市の経済」	京都市産業観光局長 中野 美明 さん
8/ 3	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 神谷 保男 氏
8/10	追悼例会「トイレ文化」	一燈園 当番 西田 多戈止 氏
8/17	休 会	
8/24	納涼例会	
	クラブ・デー	
8/31	クラブ・デー 会員増強及び拡大月間スピーチ「拡大したローリー100年を祝おう」	地区拡大委員会 委員 京都洛中RC会員 岡本 俊夫 氏
9/ 7	クラブ・デー クラブ奉仕担当フォーラム	クラブ奉仕委員会 理事 橋本 幸男 君
9/14	「老いて住む」	高齢者福祉総合施設 ももやま施設長 山田 尋志 氏
9/21	「京都ビルの計画と国際設計コンペ」 ㈱地域計画研究所 取締役会長・京都造形芸術大学 客員教授 京都東RC会員 三輪 泰司 氏	
9/28	新世代クラブ・フォーラム 「今日的な少年問題の課題と対応」京都市教育委員会生徒指導課課長 京都市教育相談総合センター カウンセリングセンター長 桶谷 守氏 /新世代委員会理事 戸田 義高 君	

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
10/ 5	クラブ・デー	
10/12	上方舞「小簾の戸」「扇の美しい所作の真髓」	東大阪大学・短期大学講師 山村 若緑昌 氏
10/19	米山奨学生スピーチ 「私の留学生生活」	米山奨学生 劉 洪波 さん
10/26	職業奉仕担当フォーラム	職業奉仕委員会 理事 中嶋 克美 君
11/ 2	クラブ・デー	
11/ 9	婦人同伴例会・音楽プログラム「一音寺室内合唱団」所属 第1バイオリン・佐々木弘明・第2バイオリン・佐々木めぐみ・ピアノ・田中春美・チェロ・森田健二 さん	
11/16	ロータリー財団月間スピーチ「石油について」 地区財団年次寄付・財団恒久基金委員会 京都東RC会員 別所 敬之 氏	
11/23	祝 日 休 会	
11/30	社会奉仕担当フォーラム	山科区長 福富久雄氏・山科区体育振興会連合会長 山口幸秀氏 社会奉仕委員会 理事 松井 信五 君
12/ 7	クラブ・デー	
12/17	年忘れ家族会	
12/21	「老いは50歳から」	高齢生活研究所 所長 浜田 きよ子 さん
12/28	休 会	
1/ 4	休 会	
1/11	新春例会 祝舞 舞士・安倍 佑風 吟士・安倍 秀風 氏	「歳男放談」 会員 中川 正文 君
1/18	クラブ・デー	「歳男放談」 会員 村田 佳弘 君・小坂 文夫 君
1/25	国際奉仕担当フォーラム 「NGO活動の現況と危機管理」	NGO(aiyugo)代表理事 新田 幸夫 氏 国際奉仕委員会 理事 名筋 淳二 君
2/ 1	クラブ・デー	
2/ 8	「プロ野球談義」	元阪神タイガース投手 NHK野球解説者 山本 和行 氏
2/15	新入会員スピーチ	石井 重基 君
2/22	休 会	
3/ 1	クラブ・デー	
3/ 8	「健やかエイジング」日本人の身体文化とパフォーマンス・スキル・パフォーマンス学の視点から」	コピーライター ウォーキング・スタイリスト 萩原 みゆ紀 さん
3/15	「京都の子供の学力と道徳」	京都市教育委員会 教育長 門川 大作 氏
3/22	「心の健康と感性」 ホース「感性工学リサーチ(株) メンタルヘルスアドバイザー 川寄竜也氏・プロモーション部サウンドプロモーター 井上俊幸氏	
3/28	一国際ロータリー100周年記念事業一 「日本科学未来館 毛利衛氏特別講演会」 於:華道池坊会館	
4/ 5	金澤南RCとの合同例会	
4/12	「気にかかる2, 3の問題」	京都府森林組合連合会 元文部大臣 奥田 幹生 氏
4/19	「京都府の産業振興」	京都府商工部長 辻本 泰弘 氏
4/26	「ペイオフ全面解禁について」	京都中央信用金庫専務理事 京都洛北RC会員 倉橋 昭一 氏
5/ 3	祝 日 休 会	
5/10	クラブ・デー	
5/17	会員スピーチ	中村 弘吉 君
5/24	「社会に信頼される企業とはーライブドアとフジテレビのニッポン放送買収問題ー」 龍谷大学経済学部 教授 夏目 啓二 氏	
5/31	夫婦同伴例会 「歌とピアノによる名曲ミニ・コンサート」	ソプラノ:稗方 攝子さん・ピアノ:岡部 佐恵子さん
6/ 7	クラブ・デー	
6/14	「『四つのテスト』とそのところ」	岸和田東RC会員 中井 義尚 氏
6/21	ヤレヤレ例会	
6/28	最終例会 「退任挨拶」	会長 鈴木 敏治 君・幹事 岩橋 忠昭 君 委員長 平田 清嗣
第38年度(2005～06)		
7/ 5	初例会 「就任挨拶」	会長 西村孝之・副会長 小山信一・幹事 植野清富 君
7/12	「理事・役員就任挨拶」	各担当理事
7/19	クラブ・デー	
7/26	京都の観光が目指すもの」	(社)京都市観光教会 専務理事 平瀬 力 氏
8/ 2	クラブ・デー	
8/ 9	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 大久保 昇 氏

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
8/16	休 会	
8/23	追悼例会 『『見えないもの』から見られる話し』	仏教大学文学部教授 副学長兼図書館長 池見 済隆氏
8/27 (土)	納涼例会	
9/ 3 (土)	京都洛東RCとの合同家族例会	
9/13	クラブ・デー 敬老のお祝い クラブ・アッセンブリー	
9/20	「青年に夢を」	RI第2650地区 青少年交換委員会 委員長 福井南RC会員 田中文夫 氏
9/27	クラブ奉仕担当フォーラム	クラブ奉仕委員会 理事 井上 武雄 君
10/ 4	クラブ・デー	
10/11	新世代クラブ・フォーラム 「山科DEサンタ」	新世代委員会 理事 西尾 修 君
10/18	職業奉仕担当フォーラム 「今、日本人に欠けている『武士道』」	西国第29番松尾寺 住職 松尾 心空 氏 職業奉仕委員会 理事 福住 清之 君
10/25	米山奨学生スピーチ 「異郷の日々ー私の留学生活」	京都大薬学研究科修士課程1年 京都桂川RC世話学生 オウ ヒーリンさん
11/ 1	クラブ・デー ロータリー財団月間スピーチ	RI第2650地区財団奨学金・財団学友委員会 京都RC会員 西村 宗也 氏
11/ 8	「市川団十郎と坂田藤十郎」	京都造形大学教授 田中 章子 さん
11/15	音楽プログラム「魂の音楽」	末松 よしみつ 氏
11/22	音楽プログラム「邦楽ユニット《花音》」三味線:松浦奈々恵さん・ピアノ:武内理恵さん・囃子:島村聖薫さん・篠笛:松山恭子さん	
11/29	国際奉仕担当フォーラム 〈留学生奨学金授与式〉	国際奉仕委員会 理事 小坂 文夫 君
12/ 6	クラブ・デー クラブ定款・細則変更に関するアッセンブリー	
12/13	「若者に伝えたい(信望・努力・根気)」	第62代横綱・大乃国 芝田山 康 氏
12/20	年忘れ家族例会	
12/27	休 会	
1/ 3	休 会	
1/10	新春例会 祝舞 舞士:安倍 壮風・安倍佑風 吟士:安倍 秀風 氏	「歳男放談」 今井武男君・中村弘吉君・西尾 修君
1/17	クラブ・デー	
1/24	社会奉仕担当フォーラム 「山科区のまちづくり」	山科区役所区民部 まちづくり推進課担当課長補佐 伴 信之 氏 社会奉仕委員会 理事 西村 正一郎 君
1/31	「理想のゴルフスイング」	京都府ゴルフ協会事務局次長 日本ゴルフ学会近畿支部理事 井上 克志 氏
2/ 7	クラブ・デー	
2/14	新入会員スピーチ 「ウエスティン京都ホテル都の施設管理について」	会員 水野 雄三 君
2/21	「薬食同源・医食同源で若返る、韓国人の日々の食生活」	料理研究家 鄭 泰慶 氏
2/28	音楽プログラム 「クラシックコンサート」	声楽:藤井 理沙さん ・ ピアノ:鍵田 千尋さん
3/ 7	クラブ・デー	
3/14	「耐震疑惑問題の隠れた根源」	㈱森田設計代表取締役・日本建築家協会会員 森田恒治氏
3/21	祝 日 休 会	
3/28	[ピオトープと蛭飛び交う山科]	京都山科少年活動センター 村井 繁光 氏
4/ 4	クラブ・デー	
4/11	「9. 11WTC崩壊から学ぶ」	松尾橋梁㈱監査役 京都RC会員 白石 成人 氏
4/18	心に花を咲かそう」	清水寺貫主 森 清範 氏
4/25	「企業不祥事は何故起きるか」	元東京地方検察庁特捜部長・弁護士 熊崎 勝彦 氏
5/ 2	休 会	
5/ 9	クラブ・デー	
5/16	「食と健康」	㈱京都栄養化学研究所取締役 研究開発室長 内野啓次郎氏
5/23	夫婦同伴例会 須磨琴演奏「須磨の関守・三千世界・青葉の笛」	須磨琴家元 小池 美代子 さん
5/30	クラブ・アッセンブリー 〈次年度予算審議〉	
6/ 6	クラブ・デー	
6/13	「美について」	日本画家 末松 芳野 さん
6/20	ヤレヤレ会・最終例会	
6/27	休 会	

[例会日]

[演

題]

[卓 話 者]

7/ 4	初例会「就任挨拶」 クラブ・デー	会長 小山信一・副会長 谷川博三・幹事 松井信五 君
7/11	クラブ・デー「理事就任挨拶」	増強:小野富造・財団:小坂文夫・クラブ管理:末松哲夫 君
7/18	「理事就任挨拶」	奉仕プロジェクト:横尾浩志・広報:川中丈嗣・無任所:佐貫将一
7/22 (土)	納涼例会(琵琶湖(ピアノカ))	
8/ 1	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 平井 義久 氏
8/ 8	クラブ・デー クラブ・アッセンブリー(I.M.準備)	
8/15	休 会	
8/19 (土)	I.M.例会	
8/29	追悼例会	会員 戸田 義高 君
9/ 5	クラブ・デー/ クラブ・アッセンブリー(増強は明日の山科クラブに活力を生む)	会員増強委員会 理事 小野 富造 君
9/12	敬老のお祝い 「映画年京都の今昔」	京都新聞社 北部総局次長 井上 理沙子 さん
9/19	「活きる」	日本画家 南 正文 氏
9/26	奉仕プロジェクト担当 クラブ・フォーラム「世界のホテル」	京都精華大学人文学部 環境社会学科教授 板倉 豊氏 奉仕プロジェクト委員会理事 横尾 浩志 君
10/ 3	クラブ・デー	
10/10	米山奨学生スピーチ 「私の留学生活」	京都大学大学院工学研究科博士課程2年 郭 雅雯 氏
10/17	広報担当クラブ・フォーラム 「今なぜ広報なのか」	地区担当IT・雑誌委員会委員 京都紫野RC会員 細見正博氏 広報委員会 理事 川中 丈嗣 君
10/24	音楽プログラム「ノスタルジック スクリーン ミュージック」	居上 博とザ・メイツの皆様
10/31	クラブ・フォーラム(特別事業準備) 「生き生きシニア装いの集い」	京都女子大学家政学部教授 泉 加代子 さん 特別事業実行委員長 佐貫 将一 君
11/ 7	クラブ・デー	
11/14	ロータリー財団担当クラブ・フォーラム 「ロータリー財団月間について」	地区財団年次寄付・財団恒久基金委員会副委員長 今村 晋平 君 ro-tari-財団委員会 理事 小坂 文夫 君
11/19 (日)	生き生きファッション例会	
11/28	「信頼しよう、任せよう」	プロ野球解説者 梨田 昌孝 氏
12/ 5	クラブ・デー クラブ・アッセンブリー/年次総会/「プロジェクト推進 特別委員会一名称問題について」	
12/12	「舞と踊り」	京舞井上流家元 井上 八千代 氏
12/19	年忘れ家族例会	
12/26	休 会	
1/ 2	休 会	
1/ 9	新春例会 祝舞 舞士:安倍 壮風・安倍佑風 吟士:安倍 秀風 氏	「歳男放談」 小林一恵君・知公智之君・橋本幸男君
1/16	クラブ・デー	
1/23	うらぶ管理担当クラブ・フォーラム 〈自己の食病奉仕観〉	クラブ管理理事 末松哲夫君・クラブ奉仕委員長 西出澄弘勲
1/30	「浮世絵アラカルト」	美術展絵草子 主人 山尾 剛 氏
2/ 6	クラブ・デー 留学生写真コンテスト表彰式	
2/13	新会員スピーチ 「難しい話は出来ません」 会員 中塚 浩君・「最近の動物医療と獣医バカ」 福留 幸一君	
2/20	「日本的なインディヴィデュアリズム」	同志社大学 言語文化教育研究センター助教授 テボラ・フォアマン 効ノ 氏
2/27	新会員スピーチ 「スポーツと読書」 会員 野村 清孝君・「耐震偽装の救えない教訓」 宮川 孝広君	
3/ 6	クラブ・デー	
3/13	婦人同伴例会ー土田早苗トークショー	女優 土田 早苗 さん
3/20	青少年奨学金授与式	
3/27	「京料理について」	浜作 三代目主人 森川 裕之 氏
4/ 3	クラブ・デー 創立記念日	
4/10	〈アナウンサーの一分〉	アナウンサー 京都RC会員 飛鳥井 雅和 氏
4/19 (木)	京都洛東RC合同低会	
4/24	「『ことわざ』に学ぶ健康法」 (財)田附興風医学研究所 北野病院委員長財団常務理事/京都大学名誉教授 大阪北RC会員 山岡 義生氏	
5/ 1	休 会	
5/ 8	クラブ・デー	ベニシア・インターナショナル英会話スクール 代表 ベニシア・スタンリー・スミス さん
5/15	「自然と共に暮す」	

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
5/22	「伝統文化の知恵を生かして」	伝統文化プロデュース連 代表 浜崎 加奈子 さん
5/29	クラブ・アッセンブリー〈次年度予算審議〉	
6/ 5	クラブ・デー	
6/12	「歌舞伎音楽について」	長唄 囃子方 望月太左衛門夫人 常磐津一巴奈 さん
6/19	ヤレヤレ例会〈新入会員歓迎会〉	
6/26	最終例会 「一年をふりかえって」	会長 小山 信一 君・幹事 松井 信五 君

第40年度(2007～08)		委員長 松井 信五
7/ 3	初例会「就任挨拶」	会長 中村翠嵐・副会長 手塚石雲・幹事 小野富造 君
7/10	クラブ・デー「理事就任挨拶」	増強:小森直之財団:中村弘吉・奉仕プロ:竹市泰和 君
7/17	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 橋本 長平 氏
7/24	「理事就任挨拶」	広報:知公智之・クラブ管理:城山健太郎・無任所:橋本幸男
7/31	新会員スピーチ 「世界食べ歩き旅行」 会員 東方田 寿一君・「小売に関する四方山話」 富永 泰彰君	
8/ 7	クラブ・デー クラブ・フォーラム40周年〈記念事業〉	
8/14	追悼停会「大文字送り火について」	大文字保存会 理事 井上 新一 氏
8/26 (日)	納涼家族例会「六甲山・神戸「第1楼」	
8/28	会員増強担当クラブ・フォーラム	会員増強委員会 理事 小山 直之 君
9/ 4	クラブ・デー	
9/11	「デザインの価値」	(株)クワポン代表取締役 澤井 敬子 さん
9/18	新会員スピーチ	「器を通じて」 会員 森 俊次君・「過去の栄光」 川勝 裕之君
9/25	新会員スピーチ	「石の民話」 会員 山本 真也・「私の趣味と仕事」 安澤 英治君
10/ 2	クラブ・デー	
10/ 9	休 会	
10/16	奉仕プロジェクト担当 クラブ・フォーラム	奉仕プロジェクトいいんかい 理事 竹市 泰和 君
10/23	「腰興(およよ)から見た葵祭り」	葵祭第52代斉王代 森川 香絵 さん
10/30	米山奨学生スピーチ「私の故郷 台湾」	京都産業大学法学研究科博士課程 蔡 吳鑫 氏
11/ 6	クラブ・デー	
11/13	ロータリー財団担当 クラブ・フォーラム	ロータリー財団理事 中村弘吉君・委員長 今村晋平君
11/20	「世界の中での日本舞踊」	日本舞踊家 西川 千麗 さん
11/27	「老舗と家訓」	京都商工会議所婦人部会長 本家八つ橋西尾備代表取締役 西尾陽子さん
12/ 4	クラブ・デー /年次総会	
12/11	「泉鏡花『天守物語』語りと音楽との出会い」	語り:野上 裕章 氏・ピアノ:小林 裕 氏
12/18	休 会	
12/25	年忘れ家族例会	
1/ 1	祝 日 休 会	
1/ 8	新春例会 祝舞 舞士:安倍 壮風・安倍佑風 吟士:安倍 秀風氏・安倍呈風 氏	「歳男放談」 太田美実君・松井信五君・小森直之君
1/15	クラブ・デー	
1/22	「『うるわしの京都』づくりを目指して」	京南倉庫(株)第代表取締役 詩人 上村 多恵子 さん
1/29	「クルーズの楽しみ」	飛鳥II 船長 末長 守 氏
2/ 5	クラブ・デー	
2/12	中間収支報告	
2/19	休 会	
2/26	「町家の暮らしと日本人の心」	(株)富田屋代表取締役 京都西南RC会員 田中 峰子さん
3/ 4	クラブ・デー	
3/11	クラブ管理担当 クラブ・フォーラム	クラブ管理委員会 理事 城山 健太郎 氏
3/18	「老舗と情報開示」	(株)帝国データバンク代表取締役社長 後藤 信夫 氏
3/25	子供と地域を生きる一『山科醍醐子どものひろば』の活動』	NPO法人 山科醍醐子どものひろば代表 朱 まり子 さん
4/ 1	創立40周年記念式典・祝宴	
4/ 8	クラブ・デー 広報担当クラブ・アッセンブリー	クラブ広報委員会 理事 知公 智之 君

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
4/13 (日)	〈渡辺 淳一〉記念講演会	
4/20 (日)	京都東山RAC創立25周年記念式典・祝宴	
4/29	祝 日 休 会	
5/6	祝 日 休 会	
5/13	クラブ・デー	
5/20	京都東山RAC創立25周年記念事業報告/クラブ・アッセンブリー〈次年度引継ぎ協議会〉	
5/27	クラブ・アッセンブリー〈次年度予算案審議〉	会員スピーチ〈生き生き人生最後の一手〉 谷川 博造 勲
6/ 3	クラブ・デー	
6/10	「私の歩いてきた道、と男の顔」	安藤 孝子 さん
6/17	休 会	
6/24	ヤレヤレ会/最終例会 「退任挨拶」	会長 中村翠嵐・副会長 手塚石雲・幹事 小野富造 君

第41年度(2008～09)		委員長 手塚 石雲
7/ 1	初例会 「就任挨拶」	会長 木村安輝・副会長 末松哲夫・幹事 渡辺剛士 君
7/ 8	クラブ・デー 「理事就任挨拶」	増強:岩橋忠昭・奉仕プロ;戸田義高・財団;今村晋平 君
7/15	「理事就任挨拶」	広報:松井信五・クラブ管理:本田修造・無任所:井上 勝君
7/22	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 川端 五兵衛 氏
7/27 (日)	納涼家族例会ーRAC合同ー	
8/ 5	クラブ・デー 新k子音スピーチ「なぜゴルフメーカーを興したか？」	会員 平野 俊雄 君
8/12	休 会	
8/19	追悼停会 「追悼例会に因んで」	会員 山中 鉄一 君
8/26	クラブ・フォーラム 「障害者水泳フェスティバル」	日本障害者シクロ協会会長 森田 美千代 さん 障害者水泳フェスティバル実行委員長 井上 勝 君
9/ 2	クラブ・デー 「障害者水泳フェスティバル」PR	
9/ 9	新会員スピーチ 「新しい事業敬称制度」	会員 井川 正隆君・「通過分散と保険」 岸 弘祐君
9/16	新会員スピーチ 「土に華を咲かせ、心に華を咲かせる器」	会員 森里 秀夫君・「産婦人科の現況について」 中部 健君
9/21 (日)	障害者水泳フェスティバルーRAC合同ー	
9/30	祝 日 休 会	
10/ 7	クラブ・デー〈会員増強担当クラブ・フォーラム「会員増強について」	RI第650地区直前ガバナー 京都東RC会員 橋本長平氏
10/14	「食をすることをやめてみませんかーファスティングがなぜ現代人に必要かー」	杏林予防医学研修所長 京都中RC会員 山田 豊文 氏 京都産業大学法学研究科博士課程 蔡 吳鑫 氏 京都産業大学法学研究科博士課程 蔡 吳鑫 氏
10/21	青少年奨学金前期授与式 米山奨学生スピーチ「台湾の祭りと風俗」	声楽家;中川幸範 氏・ピアノ;米沢美徳・加名田タカ子 さん
10/28	音楽プログラム「心の故郷を訪ねてー日本の歌の数々ー」	
11/ 4	クラブ・デー	
11/11	ロータリー財団担当クラブ・フォーラム 「シュルレアリスム研究の現在」	2009-10年度ロータリー財団国際親善奨学金受領予定者 宇多 瞳 氏 ロータリー財団委員会 理事 今村 晋平 君
11/18	「ロシアの男と女の歌」	歌手 ロシア文化研究科 山之内 重美 さん
11/25	「文化遺産と地震」	立命館大学理工学部教授 土岐 憲三 氏
12/ 2	クラブ・デー /年次総会/新世代事業「山科DEサタ」PR	
12/ 9	「細菌性髄膜炎について」	京都嵯峨野RC奉仕プロジェクト委員長 名井 得郎 氏
12/15 (月)	クリスマス家族会ーRAC合同ー	
12/23	祝 日 休 会	
12/30	休 会	
1/ 6	新春例会 祝舞 舞士:安倍 壮風・安倍佑風 吟士:安倍 秀風 氏	「歳男放談」 中嶋克美君・中村弘吉君・中塚 博君
1/13	クラブ・デー	
1/20	「移りゆく京都の教育」	京都市教育委員会 委員長 高橋 三男徒子 氏
1/27	「和歌に詠まれた新春」	(財)冷泉家時雨亭文庫常務理事 冷泉 貴実子さん
2/ 3	クラブ・デー JICA青年会外協力隊「帰国報告」	京都東山RAC/OB 河津 邦宣 氏
2/10	奉仕プロジェクト担当 クラブ・フォーラム「仕事を通じての奉仕」	RI第660地区直前ガバナー 新谷 秀一 氏 奉仕プロジェクト委員会 理事 戸田 義高 君

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
2/17	第2000回記念 婦人同伴低回「東京育ちの京都暮らし」	エッセイスト 麻生 圭子 さん
2/24	「されどロータリー」	会員 今井 武男 君
3/ 3	休 会	
3/10	クラブ・デー /青少年奨学金後期授与式	
3/17	広報担当 クラブ・フォーラム「広報の力」 RI第2650地区広報・雑誌委員会 委員長 京都洛中RC会員 武部 宏氏・副委員長 京都紫野RC会員 細見正博氏	クラブ広報委員会 理事 松井 信五 君
3/24	「京都サンガF.C.の目標と課題」	(株)京都パープルサンガ代表取締役 梅本 徹 氏
3/31	音楽プログラム「ウクレレとピアノのデュオ『懐かしのスタンダードナンバー』テネシーワルツ、枯葉他」	ウクレレ;森 嘉彦 氏・ピアノ;前川 しなこ さん
4/ 7	クラブ・デー	
4/14	清水寺花見例会	
4/21	クラブ管理担当 クラブ・フォーラム「わがクラブの同好会活動の今」	各同好会会長/クラブ管理委員会 理事 本田 修造 君
4/28	「刺繍について」	重要無形文化財(刺繍)保持者 人間国宝 福田 喜重 氏
5/ 5	祝 日 休 会	
5/12	会員スピーチ「私とロータリー」	会員 竹本 昌生 君
5/19	『健康な体を作る正しい姿勢と歩き方』	Cs'ウォーキングスクール代表 坂口 久美子 さん
5/28	『『21世紀・感性価値』助成の能力を3倍生かすには』	日新工業(株)社長 京都東RC会員 西脇 一雄 氏
6/ 2	クラブ・デー	
6/ 9	「楽しんでこそスポーツ」	社会体育専門学校 講師 高堀 和子 さん
6/16	ヤレヤレ例会	
6/23	最終例会 「退任挨拶」	会長 木村安輝・副会長 末松哲夫・幹事 渡辺剛士 君
6/30	休 会	

第42年度(2009～10)

委員長 井上 武雄

7/ 7	初例会「就任挨拶」	会長 城山健太郎・副会長 今井武男・幹事 小坂文夫 君
7/14	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 富田 謙三 氏
7/21	クラブ・デー「理事就任挨拶」	クラブ管理;小森直之・奉仕プロ;谷川博造・職業奉仕;清水泰博君
7/28	「理事就任挨拶」	国際奉仕;手塚石雲・広報;松井信五・増強;末松哲夫・財団;柴田義典 君
8/ 4	会員増強担当 クラブ・フォーラム	会員増強委員会 理事 末松 哲夫 君
8/11	休 会	
8/18	追悼停会「故 増田房二バスターガバナーを偲んで」 会員 大木 博君・「故 橋本幸男さんとの思い出」 横尾 浩志君	
8/23 (日)	納涼家族例会ーRAC合同ー	
	クラブ・デー	
9/ 1	クラブ・デー「こども創作劇活動報告」	NPO法人山科醍醐こどものひろば 堤 かおり さん
9/ 8	新会員スピーチ 「私のはなし」 会員 村田 好謙君・「私の略歴紹介」 竹之内 米貴君	
9/15	敬老のお祝い 「わたしの地獄・サンサーラ」	会員 中川 正文 君
9/22	祝 日 休 会	
9/29	クラブ・フォーラム 〈留学生のための体験フェスティバル〉	実行委員長 谷川 博造 君
10/ 6	クラブ・デー	
10/13	米山奨学生スピーチ「カルチャーショックを越えて」	米山奨学生 李 美智 さん
10/20	「裁判員制度が有する意義」	京都府顧問弁護士 三野 岳彦 氏
10/24 (日)	〈留学生のための体験フェスティバル〉	
11/ 3	祝 日 休 会	
11/10	クラブ・デー	
11/17	ロータリー財団担当 クラブ・フォーラム	RI第2650地区財団年次寄付・財団恒久基金委員会 委員 大藤 光雄 君 ロータリー財団委員会 理事 柴田 義典 君
11/24	音楽プログラム「黒き汝が瞳」「青いプラトーク」	歌手 ロシア文化研究家 山之内 重美 さん
12/ 1	クラブ・デー /年次総会	
12/ 8	「その時々のこと」	会員 辻中 正雄 君
12/15	「ちょっと得する言葉力」	フリーアナウンサー 竹上 和見 氏
12/22	年忘れ家族会ーRAC合同ー	

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
12/29	休 会	
1/ 5	新春例会 祝舞 舞士・安倍佑風 吟士・安倍 秀風 氏	「歳男放談」 野村清孝君・福留幸一君・井川正隆君
1/12	クラブ・デー	
1/19	「個性はどのようにできるか？ 一個性から考える職業と適材適所」	(有)和田企画 取締役 和田 真雄 氏
1/26	婦人同伴例会 「『脳が変われば申請が変わる』-脳の栄養を変えない限り、脳の活性化はあり得ない-」	杏林予防医学研究所長 京都市RC会員 山田 豊文氏
2/ 2	クラブ・デー	
2/ 9	職業奉仕担当 クラブ・フォーラム「私の仕事と職業奉仕観」	職業奉仕委員会 理事 清水 泰博 君
2/16	白拍子舞・語り「平家物語・祇王」	白拍子芸能創作、文筆家 井上 由理子 さん
2/23	「競走馬と私」	会員 太田 良実 君
3/ 2	休 会	
3/ 9	クラブ・デー	
3/16	クラブ管理担当 クラブ・フォーラム「同好会活動報告」	クラブ管理委員会 理事 小森 直之 君
3/23	「私はなぜ学校建設をするのか一字の読めない親への思い」	チベット声楽家 バイマー・ヤンジン さん
3/30	音楽プログラム 「アプエマリア」他	ソプラノ 藤井 理沙さん ・ ピアノ 本田 千紘 さん
4/ 6	クラブ・デー	
4/13	国際奉仕担当 クラブ・フォーラム	国際奉仕委員会 理事 手塚 石雲 君
4/20	音楽プログラム 「世界の音楽」	アンサンブル・サビーナの皆様
4/27	「嘶家の修行」	落語家 笑福亭 仁嬌 氏
5/ 4	祝 日 休 会	
5/11	クラブ・デー	
5/18	「楽しいロータリー仲間」	RI第2720地区荒尾RC会員 元 京都山科RC会員 坂口峻一 氏
5/25	「国内最大の祭典『国民文化祭』の成功に向けて」	第26回国民文化祭実行委員会事務局長 青柳 良明 氏
6/ 1	クラブ・デー	
6/ 8	「あなたの隣は外国人ー私の業務日誌よりー」	会員 安澤 英治 君
6/15	ヤレヤレ例会	
6/22	最終例会 「退任挨拶」	会長 城山健太郎・副会長 今井武男・幹事 小坂文夫 君
6/29	休 会	

第43年度(2010～11)

委員長 渡辺 剛士

7/ 6	初例会 「就任挨拶」	会長 今井武男・副会長 横尾浩志・幹事 岩本 一 君
7/13	クラブ・デー 「理事就任挨拶」	クラブ管理;中嶋克美・奉仕プロ:手塚石雲・増強:松井信五君
7/20	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 栗田 幸雄 氏
7/27	会員増強担当 クラブ・フォーラム	会員増強委員会 理事 松井 信五 君
8/ 3	クラブ・デー 「理事就任挨拶」	国際奉仕;小森直之・広報:福留幸一・職業奉仕:中塚 浩・財団:本田修造 君
8/10	休 会	
8/17	追悼例会 「出合い そして別れ」	会員 小野 富造 君
8/24	納涼家族例会ーRAC合同ー 嵐山『嵐亭」	
8/31	会員スピーチ 『私の歩んだ道」	会員 竹本 昌生 君
9/ 7	クラブ・デー	
9/14	「死なないで居るという事、生きるということ」	NPO法人希少難病患者者支援事務局常務理事 中岡亜希氏
9/21	敬老のお祝い 「敬老と四(ヨ)ボケ」	会員 谷川 博造 君
9/28	会員スピーチ 「私の歩んだ道パートII」	会員 竹本 昌生 君
10/ 5	クラブ・デー 会員スピーチ「介護保険について」	会員 太田 美実 君
10/12	職業奉仕担当 クラブ・フォーラム	職業奉仕委員会 理事 中塚 浩 君
10/19	「モデル雑感」	モデル 岡田 真由美 さん
10/26	米山奨学生スピーチ 「笑一笑、+年少」	米山奨学生 庄 冰冰 君
11/ 2	クラブ・デー 社会奉仕・新世代合同事業「子ども達に素敵な一日を」	NPO法人山科醍醐こどものひろば 堤かおり・横尾浩志・手塚石雲君
11/ 9	「ルーズベルト一族と東アジア政策」	大阪成蹊大学現代経営情報学部教授 谷光 太郎 氏
11/16	ロータリー財団担当 クラブ・フォーラム「笑顔と歌と心」	2009-2010年度G.S.E.派遣団員 三村 浩美 さん

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
11 /23	祝 日 休 会	
11/30	「日本のアートは、今」	京都東RC会員 庄司 恵一 氏
12/ 7	クラブ・デー /年次総会/新会員スピーチ「キリシヤの思い出」	会員 吉田 武雄 君
12/14	音楽プログラム「アフタヌーンコンサート」	ソプラノ 河村さと子 さん ・ ピアノ 津田安紀子 さん
12/21	年忘れ家族会—RAC合同—	
12/28	休 会	
1/11	新春例会 祝舞 舞士:安倍佑風・安倍杜風 吟士:安倍 秀風・安倍呈風 氏	「歳男放談」 竹本昌生君・今村晋平君・谷川博造君
1/18	クラブ・デー 新会員スピーチ「私の仕事と建築に関わる今日の状況」	松木 一恭君・『今の職業に至るまで』長尾 真志君
1/25	新会員スピーチ	「私の職業観」豊田 恵美さん・「私の仕事」中島 陽子さん
2/ 1	クラブ・デー	
2/ 8	国際奉仕担当 クラブ・フォーラム	国際奉仕委員会 理事 小森 直之 君
2/15	「馬からもらった生きる喜び」	非営利団体障害者馬っ子会」 山下 泰三 氏
2/22	会員スピーチ 「私の打つ蕎麦」	会員 中村 翠嵐 君
3/ 1	休 会	
3/ 8	クラブ・デー 会員スピーチ 「ローター 記念奨学事業について」地区嫁山奨学委員長	岩橋忠昭君 ・ 「RAILAIについて」地区新世代委員 西尾 修君
3/15	広報担当クラブ・フォーラム「クラブホームページについて」	(株)リーフ代表取締役社長 上坂 浩 氏 広報委員会 理事 福留 幸一 君
3/22	「川の生かされる」	元淀川系流域委員長 (株)樽徳商店 代表取締役会長 宮本 博司 氏
3/29	クラブ・アッセンブリー —クラブ定款・細則の改正について—	
4/ 5	クラブ・デー —花見例会—	
4/12	「アフガン・パレーレンの現実から『中東革命』を読み解く」	イラクの子どもを救う会代表 フリージャーナリスト 西谷 文和 氏
4/19	新会員スピーチ	「職業奉仕—保険の仕事を通じた社会貢献—」岡武和暁君・「無題」郡 正樹君
4/26	「酔てきな話し」	村山酢造(株) 代表取締役社長 村山 忠彦 氏
5/ 3	祝 日 休 会	
5/10	クラブ・デー	
5/17	クラブ管理担当 クラブ・フォーラム	クラブ管理委員会 理事 中嶋 克美 君
5/24	「異文化を超えて—日本に嫁いできた私の思い」	チベット声楽家 ハイマー・ヤンジン さん
5/31	—音楽プログラム—婦人同伴例会「愛の詩『日本とドイツの歌曲』」	バリトン:田中 純 さん ・ ピアノ:宮崎 真沙美 さん
6/ 7	クラブ・アッセンブリー —クラブ定款・細則の改正について—	
6/14	「寄り添って生きること—東日本大震災支援活動より—」	京都YMCA総主事 神崎 清一 氏
6/21	ヤレヤレ例会	
6/28	最終例会 「退任挨拶」	会長 今井武男・副会長 横尾浩志・幹事 岩本 一 君

第44年度(2011～12)

委員長 小坂 文夫

7/ 5	初例会「就任挨拶」	会長 川中丈嗣・副会長 岩橋忠昭・幹事 本田修造 君
7/12	クラブ・デー 「理事就任挨拶」	会員増強:藪下清三・クラブ広報:名筋淳二・クラブ管理運営:井上 勝 君
7/19	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 今西 信裕 氏
7/26	「理事就任挨拶」	奉仕プロジェクト:渡辺剛士・国際:小森直之・職業:西尾 修・R財団:横尾浩志 君
8/ 2	クラブ・デー	
8/ 9	物故会員を偲んで	会員 谷川博造 君・本田 修造 君
8/16	休 会	
8/23	会員増強担当 クラブ・フォーラム	RI第2650地区会員増強・拡大委員長 大津RC 大西金三 氏 担当 会員増強委員長 藪下 清三 君
8/27	納涼家族例会 (RAC合同)	
9/ 6	「You are Rotary」 (株)堀場製作所 最高顧問 RI第2650地区パストガバナー 京都RC会員 堀場 雅夫 氏	
9/13	「京都力を活かした新たな挑戦—地域主権時代のモデル」	京都市長 門川 大作 氏
9/20	クラブ・デー「敬老のお祝いを初めて頂いて」	会員 杉崎 則夫 君・横尾 浩志 君
9/27	奉仕プロジェクトクラブ・フォーラム	社会奉仕委員長:森里秀夫・青少年育成奨学金:福留幸一
10/ 4	クラブ・デー —米山奨学生スピーチ「米国より広い国ではないカナダをご紹介します」	ポーランド、マシュー・ジェイムス 君

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
10/11	職業奉仕担当 クラブ・フォーラム「中江藤樹の教えに学ぶ」	近江聖人中江藤樹記念館 館長 中江 彰 氏 担当 職業奉仕委員長 西尾 修 君
10/18	『「古事記」の魅力についてーカザフスタン人の目からみてー」	留学生フェスティバル論文入賞者 マラル・アンダーソバ 様
10/25	新会員スピーチ	「私の願い」 大木 義秀 君・「私の一人旅」 関根 淳子 君
11/ 1	クラブ・デー	
11/ 8	ロータリ財団クラブ・フォーラム 特定非営利活動法人山科醍醐子どもひろば	朱 まり子・林 敬子・村上美智子 様 担当 ロータリ財団理事 横尾 浩 君
11/15	「いつまでも若々しく健康に 魅力的な人生をめざして！」	京都おもて梨大使(2006全国きものの嬢王)頭川展子様
11/22	「～被災地での派遣活動～東日本大震災から学ぶ”心の絆”」	京都市消防局山科消防署長 宿久 勝彦 氏
11/27	青少年音楽コンクール例会	
12/ 6	クラブ・デー	
12/13	「日本酒と文化について」	松本酒造(株)代表取締役社長 松本 保博 氏
12/22	年忘れ家族例会 (RACと合同)	
12/27	休 会	
1/ 3	休 会	
1/10	新春例会 祝舞 舞士 安倍秀風、壮風、佑風 吟士・安倍呈風 氏	「歳男放談」 本田修造君・小野富造君・大藤光夫君
1/17	クラブ・デー	
1/24	「障害現役のための面白健康学」	京都大学大学院環境・人類学研究科教授 学術博士 森田 敏夫 氏
1/31	「欲望(欲望と言う列車)」	大本山東福寺塔頭 即宗院 住職 杉井 玄慎 氏
2/ 7	クラブ・デー	
2/14	「東日本大震災と絆～アクト卒業後のご報告～」	一級建築士事務所豊岡建築設計工房代表 元東山RAC会員 豊岡大策氏
2/21	国際奉仕クラブ・フォーラム	担当 国際奉仕理事 固法 直之 君
2/28	「山科の歴史と魅力」	鏡山 次郎 氏
3/ 6	クラブ・デー	
3/13	クラブ管理運営クラブ・フォーラム	クラブ管理運営理事 井上 勝 君
3/20	休 会	
3/27	～音楽プログラム～ピアノ名曲ミニコンサート	ピアノ奏者 金田 仁美 様
4/ 3	クラブ・デー	
4/10	～お花見例会～「平家物語」～平家物語・耳なし芳一	琵琶奏者 法愛山師範 戸塚 菊志乃 様
4/17	広報クラブ・フォーラム 「ロータリーの広報活動につい RI2650地区高騰・雑誌委員長 京都紫野RC会員 細見 正博氏	
4/24	「文化財はいま」(株)さわの道玄 代表取締役会長 社寺建造物美術協議会副会長 文化財修理技術保存連盟理事 澤野道玄氏	
5/ 8	クラブ・デー クラブ・アッセンブリー ～クラブ定款・細則・内規改正について～	
5/15	ー新入会員スピーチー	「私の仕事」 橋本 幸司 君 ・「なぜロータリーに入ったか」 上村 承生 君
5/22	ー新入会員スピーチー	「私の仕事」 中川 公孝 君 ・「私のすべきこと」 佐々木虚室 君
5/29	「能へのいざない」	観世流能楽師 吉波 壽晃 氏
6/ 5	クラブ・デー	
6/12	「反社会的勢力から京都東山ロータリークラブ会員を守る特効薬！」	京都府警本部刑事部 組織犯罪対策第二課 上原 忠晴氏
6/19	ヤレヤレ会 並びに 新会員歓迎会	
6/26	最終例会 「退任挨拶」	会長 川中丈嗣・副会長 岩橋忠昭・幹事 本田修造 君

第45年度(2012～13)

委員長

今村 晋平

7/ 3	初例会「就任挨拶」	会長 松井信五・副会長 杉崎則夫・幹事 小森直之 君
7/10	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 河本 英典 氏
7/17	クラブ・デー「理事就任挨拶」	国際奉仕;平野俊雄・奉仕プロ;中村孝吉・職業奉仕;中塚 浩・財団;横尾浩志君
7/24	「理事就任挨拶」	45周年実行委員長;井上 勝・職業奉仕;坂田 均・新世代;福留幸一 君
7/31	「理事就任挨拶」	クラブ管理;柴田義典・広報;川勝裕之・増強;木村安輝君・無任所;渡辺剛士 君
8/ 7	クラブ・デー/会員増強担当フォーラム「会員増強ー京都南RCの事例」	RI第2650地区会員増強・拡大拡大委員 京都南RC会員 西脇 眞次 氏
8/14	休 会	
8/21	追悼例会 「故 中川正文会員を偲んで」	会員 小野 富造 君

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
8/25 (土)	25(土)26(日)納涼家族例会ーRAC合同ー	
9/ 4	クラブ・デー 委員会報告「宝ヶ池ファミリーマラソン・インターアクト検討委員会」	
9/11	新世代担当クラブ・フォーラム「インターアクト提唱の楽しさと苦しさ」	RI第2650地区IAC委員長 京都洛南RC会員 桜澤 仁志氏 RI第2650地区IAC委員副委員長草津洛南RC会員伊藤勝晤氏 RI第2650地区IAC委員 京都洛南RC会員 間嘉村 廣良氏
9/18	敬老のお祝い 「君なら出来るーパフォーマンズ向上のために」	龍谷大学准教授 河合 美香 さん
9/25	「勝利への人間教育ースポーツを通してー」	ヤマダ電機女子陸上部監督 森川 賢一 氏
10/ 2	クラブ・デー	
10/ 9	職業奉仕担当 クラブ・フォーラム「私の仕事」	会員 井上 勝 君・職業奉仕委員会理事 坂田 均 君
10/16	米山奨学生スピーチ 「京町屋エピソード」	米山奨学生 李 泰憲 君
10/23	京都洛東RCとの合同例会	
10/30	「大学のまち京都再興」	同志社大学長 八田 英二 氏
11/ 6	クラブ・デー 「45周年事業について」	
11/13	ロータリー財団担当クラブ・フォーラム	RI第2650地区財団資金推進委員 本田 修造 君 ロータリー財団委員会 理事 横尾 浩志 君
11/20	「伝え合う」	キャロル・カウンセリング治療院 院長 小倉RC会員 木曾 長 氏
12/ 1 (土)	宝ヶ池公園ファミリーマラソン例会	
12/ 4	クラブ・デー	
12/11	「人との繋がり」	WBA女子世界ミニム級王者 多田 悦子 さん
12/18	年忘れ家族会ーRAC合同ー	
12/25	休 会	
1/ 1	休 会	
1/ 8	新春例会 祝舞 舞士 安倍壮風 吟士・安倍呈風 氏	「歳男放談」 戸田 義高 君・坂田 均 君
1/15	「デ杯戦を終えて」	デビスカップに本代表前監督 竹内 映二 氏
1/22	「ゴルフ」	プロゴルファー 水巻 善典 氏
1/29	クラブ・デー ー親睦タイムー 「これが私です」	会員 鈴木 敏治 君・西尾 修 君・村田 好謙 君 親睦活動李院長 谷川 博造 君
2/ 5	クラブ・デー ー親睦タイムー	
2/12	「拳禅一如、力愛不二」	金剛禅総本山 洛東道院副院長 森川和仁氏・森川弘仁氏
2/19	国際奉仕担当 クラブ・フォーラム	国際奉仕委員会 理事 平野 俊雄 君
2/26	「クルーズの楽しみ」	郵船トラベル(株) 元飛鳥船長 幡野 保裕 氏
3/ 5	クラブ・デー 「45周年実行委員会経過報告と詳細説明」	マラソン実行委員会・45周年式典委員会
3/10 (日)	京都マラソン例会	
3/19	クラブ管理担当クラブ・フォーラム	クラブ管理委員会 理事 柴田 義典 君
3/26	45周年事業・式典クラブ・フォーラム	45周年実行委員長/井上勝・式典・講演会李院長/中村翠嵐
4/ 2	お花見例会 「円徳院の由来」	高台寺円徳院 住職 後藤 典生 氏
4/ 9	記念式典のアナウンス	
4/16	創立45周年記念講演会・式典例会並びに祝宴	
4/23	広報担当クラブ・フォーラム	広報委員会 理事 川勝 裕之 君
4/30	休 会	
5/ 7	クラブ・デー	
5/14	新会員スピーチ	「色について」 松下明史 君・「三つのあん」 中村吉晴 君
5/21	「地域に根ざす 京都サンガF.C.」	京都サンガF.C.ゼネラルマネージャー 祖母井 秀雄 氏
5/28	「組織の”健康”ー活気ある組織のくくり方ー」	(株)ビジネスプラスサポート代表取締役 藤井 美保代さん
6/ 4	クラブ・デー/新会員スピーチ	「母の日について」 井上正博 君・「旅館からRYOKANNへ」 村岡正浩 君
6/11	ヤレヤレ例会	
6/18	最終例会 「退任挨拶」	会長 松井信五・副会長 杉崎則夫・幹事 小森直之 君
6/25	休 会	

[例会日]

[演

題]

[卓

話

者]

7/ 2	初例会「就任挨拶」/祝舞 舞士 安倍 壮風 氏	会長 杉崎則夫・副会長 渡辺剛士・幹事 坂田 均 君
7/ 9	クラブ・デー/公式訪問準備クラブ・アッセンブリー 「理事就任挨拶」	国際奉仕;今村晋平・奉仕プロ:塩路 徹・クラブ管理:岩本 一・財団:中塚 浩君
7/16	「理事就任挨拶」	増強:横尾浩志・広報:吉田武雄・増強:横尾浩志・新世代:森 俊次 君
7/23	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 坂本 克也 氏
8/ 3 (土)	納涼家族例会ーRAC合同ー(於:ホテル・ト・比叡)	
8/ 6	クラブ・デー/会員増強担当クラブ・フォーラム	会員増強委員会 理事 横尾 浩志 君
8/13	休 会	
8/20	追悼例会/クラブ・アッセンブリー「前年度決算報告」	卓話 会員 戸田 義高 君
8/27	国々は国境なき時代をどう共有するか」	同志社大学大学院ビジネス研究科教授 浜 矩子さん
9/ 3	クラブ・デー/新世代担当クラブ・フォーラム	新世代委員会 理事 もろ 俊次 君
9/10	「自然のなかのて作陶する」	陶芸家 日本芸術院会員、文化功労者 今井 政之 氏
9/17	敬老のお祝い/会員スピーチ	中村 翠嵐 君・城山 健太郎 君
9/24	「イチロー偉業、一流とはなにか」	ノンフィクション作家 小松 成美 さん
10/ 1	クラブ・デー/米山奨学生スピーチ「韓国で愛される日本の作家と作品」	米山奨学生 李 泰憲 君
10/ 8	「Let's go for it ! (やるっきゃない)」	俳優 今井 政之 氏
10/15	婦人同伴例会/対談「団十郎さん、勘三郎さんとの思い出と新派」	新派女優 波乃 久里子 さん
10/22	職業奉仕担当クラブ・フォーラム	職業奉仕委員会 理事 清水 泰博 君
10/29	休 会	
11/ 5	クラブ・デー/ロータリー財団担当クラブ・フォーラム	RI第2650地区財団資金推進委員 本田 修造 君 ロータリー財団委員会 理事 中塚 浩 君
11/12	「龍馬暗殺	霊山資料館学芸課長 木村 幸比古 氏
11/19	「いけばな一花の哲学ー」	華道「未詳流笹岡」家元 笹岡 隆甫 氏
11/26	「山科と忠臣蔵」	大石神社 宮司 進藤 秀保 氏
12/ 3	クラブ・デー/年次総会	
12/10	奉仕プロジェクト クラブ・フォーラム	奉仕プロジェクト委員会 理事 塩路 徹 君
12/17	年忘れ家族会ーRAC合同ー	
12/24	新会員スピーチ	「自分のことと会社のこと」布施 栄一君・「私の仕事ー旅館業ー」中西 敏之 君
12/31	休 会	
1/ 7	新春例会 祝舞 舞士 安倍佑風 吟士・安倍秀風 氏	「歳男放談」中村 翠嵐 君・数下 清三 君
1/14	クラブ・デー/「姉妹クラブとの交流についてー新竹RC、金澤南RC」	姉妹クラブ委員長 本田 修造 君
1/21	一呈茶席ー「京料理ー私の中のこだわり」	瓢亭台14代当主 高橋 英一 氏
1/28	新会員スピーチ	「保育園について」福川 敦子さん・「次代に伝えるもの」奥田 欽信 君
2/ 4	クラブ・デー/定款改正案説明	規定審議李院長 植野 清富 君
2/11	祝 日 休 会	
2/16 (日)	京都マラソン例会	
2/25	国際奉仕担当クラブ・フォーラム/クラブ・アッセンブリー〈中間収支報告〉	国際奉仕委員会 理事 今村 晋平 君
3/ 4	休 会	
3/11	クラブ・デー	
3/18	クラブ管理担当クラブ・フォーラム	クラブ管理委員会 理事 岩本 一 君
3/25	「もの言わぬ教え」	関西ラグビーフットボール協会会長 坂田 好弘 氏
4/ 3 (木)	茶会例会(例会:ハイアットリージェンシー京都・茶会:豊国神社)	
4/ 8	クラブ・デー/「RACの事、焼き物の事」	陶芸家 四代 諏訪 蘇山 さん
4/15	広報担当クラブ・フォーラム/ クラブ・アッセンブリー「次年度李院長会議」	広報委員会 理事 吉田 武雄 君
4/22	「割烹料理の魅力」	浜作三代目主人 森川 裕之 氏
4/29	祝 日 休 会	
5/ 6	祝 日 休 会	
5/13	クラブ・デー	
5/20	「京菓子の意匠」	末富若主人・同志社大学非常勤講師 京都RC会員 山口 祥二氏
5/27	クラブ・アッセンブリー〈クラブ定款・細則改正について〉	

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
6/ 3	クラブ・デー/[RYLAにさんかして]	2013-14年度受講生 野田 裕太 君
6/10	「日本画家 南 正文先生を偲んで」(DVD)	
6/17	ヤレヤレ例会	
6/24	最終例会 「退任挨拶」	会長 杉崎則夫・副会長 渡辺剛士・幹事 坂田 均 君
第47年度(2014～15)		委員長 関根 淳子
7/ 1	初例会「就任挨拶」/祝舞 剣士 安倍壮風氏・吟士 安倍呈風氏	会長 小野富造・副会長 藪下清三・幹事 吉田武雄 君
	クラブ・デー	
7/ 8	クラブ・デー	
7/15	公式訪問準備クラブ・アッセンブリー/「理事就任挨拶」	S.A.A.;森里秀夫・親睦:小森直之・クラブR情報:中村翠嵐君
7/22	休 会	
7/29	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 北河原 公敬 氏
8 /5	クラブ・デー	
8/12	クラブ・アッセンブリー「前年度決算報告」	
	会員増強担当クラブ・フォーラム「会員登録増強はクラブ活性化への近道」地区会員増強・拡大委員長 京都洛西RC会員 平岡博之 氏	
		地区会員増強・拡大委員 京都さくらRC会員 石松陽 一氏
		会員増強委員会 理事 平野 俊雄 君
8/19	追悼例会「物故会員を偲んで」	会員 奥田 敏信 君
	ーインターアクトクラブ海外研修報告ー	東山中学・高等学校インターアクトクラブ 成瀬 太賀 君・中井 智晃 君
8/24 (日)	納涼家族例会	
9/ 2	クラブ・デー	
9/ 9	ークラブ戦略策定担当ークラブ・フォーラム	クラブ戦略策定委員長 松井 信五 君
9/16	敬老のお祝い/青少年奉仕担当クラブ・フォーラム	青少年奉仕委員会 理事 中塚 浩 君
9/23	祝 日 休 会	
9/30	「野球観」 元プロ野球巨人軍選手	(有)川長商建専務取締役 川中 基嗣 氏
10/ 7	クラブ・デー	
10/14	職業奉仕担当クラブ・フォーラム クラリネット奏者 稲本 渡 氏	職業奉仕委員会 理事 岸 弘祐 君
10/21	特別事業クラブ・フォーラム「地域の子どもたちに歓声と笑顔の一日を」	山科醍醐こどものひろば 堤 かおり さん 特別事業委員長 横尾 浩志 君
10/28	米山奨学生スピーチ「リアルな私と留学生活」	米山留学生 張 静楠 さん
11/ 4	クラブ・デー	
11/11	「七代目が語る 二宮金次郎」	リレバ代表、京都大学教育学博士 中桐 万里子 さん
11/18	ロータリー財団担当クラブ・フォーラム	ロータリー財団委員会 理事 福留 幸一 君
11/24 (祭)	「歓声と笑顔の集い」例会	
12/ 2	クラブ・デー/年次総会	
12/ 9	スピーチ4「私らしく働く～女性の活かし方」	京都七條公共職業安定所 所長 杉井 真由美 さん
12/16	年忘れ家族会ーRAC合同ー	
12/23	祝 日 休 会	
12/30	休 会	
1/ 6	新春例会 祝舞 舞士 安倍壮風 吟士・安倍呈風 氏	「歳男放談」 岡武 和暁 君
1/13	クラブ・デー	
1/20	スピーチ「超高齢化の健康について」	京都府保険医協会理事 垣田 さち子 さん
1/27	スピーチ「新春を仰ぐ歌によせて」	重森 三香 さん
2/ 3	クラブ・デー	
2/10	国際奉仕担当クラブ・フォーラム	国際奉仕委員会 委員長 安澤 英治 君
2/15 (日)	京都マラソン例会	
2/24	スピーチ「司馬さんと京都」	産経新聞論説委員 山上 直子 さん
3/ 3	クラブ・デー	
3/10	クラブ管理担当クラブ・フォーラム	クラブ管理運営委員会 委員長 渡辺 剛士 君
3/17	新入会員スピーチ	谷口 浩三 君 ・ 山田 幸一郎 君
3/24	スピーチ「子どもの幸せーいろいろな場で出会った子どもたち」	子供地球基金会員 HEAイングリッシュ代表 足立英子 さん

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
3/31	お花見例会 〈鶴清〉	
4/ 7	休 会	
4/14	クラブ・デー	
4/21	スピーチ「世界の茶文化」	(株)福寿園取締役 常務執行役員 吉永 清志 氏
4/28	スピーチ「日本の未来のために」～日本の精神文化の拠点都市 京都から挑戦～人口減少社会を超えて 心の創生へ	京都市長 門川 大作 氏
5/ 5	祝 日 休 会	
5/12	クラブ・デー	
5/19	スピーチ「石の声を聞く」 古式特技法 穴太衆第14代目石匠	(株)栗田建設 代表取締役会長 栗田 純司 氏
5/27	スピーチ「音羽の山寺ー清水寺と法厳寺ー」	ふるさとの良さを活かしたまちづくりを進める会 事務局長 鏡山次郎氏
6/ 2	クラブ・デー	
6/ 9	スピーチ「お茶を楽しもう」	(株)静昌堂やました代表取締役 京都RC会員 山下寛一郎氏
6/16	ヤレヤレ例会	
6/23	最終例会 「退任挨拶」	会長 小野富造・副会長 薮下清三・幹事 吉田武雄 君
6/30	休 会	

第48年度(2015～16)		委員長 谷川 博造
7/ 7	初例会 「就任挨拶」/祝舞 舞士 安倍壮風氏・吟士 安倍呈風氏	会長 岩橋忠昭・副会長 戸田義高・幹事 岡武和暁 君
7/14	スピーチ「祇園祭の見どころと後祭の復活」	(財)祇園祭山鉾連合会理事長 吉田 孝次郎 氏
7/21	会員増強担当クラブ・フォーラム	会員増強委員会 理事 坂田 均 君
7/28	クラブ・デー 〈就任挨拶〉	クラブ管理運営理事 木村案輝君/広報理事 岸 弘祐君
8/ 4	クラブ・デー 〈就任挨拶〉	奉仕プロジェクト知事 薮下清三君/会員増強知事 坂田均君
8/11	追悼例会/ーインターアクトクラブ海外研修報告ー	「物故会員を偲んで」 戸田 義高 君 東山中学・高等学校インターアクトクラブ永井健史・前川宗一郎君 第2650地区ガバナー 中澤 忠嗣 氏
8/18	ガバナー公式訪問所感	
8/23 (日)	納涼家族会	
9/ 1	クラブ・デー/クラブアッセンブリー〈前年度決算報告書〉	
9/ 8	ロータリー情報担当クラブ・フォーラム	ロータリー情報委員長 稲本 初弥 君
9/15	敬老のお祝	スピーチ 小坂 文夫 君・小林 一恵 君
9/22	休 会	
9/29	スピーチ「日本経済の現状と今後の方向は」	(株)帝国データバンク 代表取締役社長 後藤 信夫 氏
10/ 6	クラブ・デー/米山奨学生スピーチ「日本での研究と私の夢」	米山奨学生 金 ボラ 君
10/13	スピーチ「日本の安全保障」	同志社大学 学長 モラタ 晃嗣 氏
10/20	クラブ戦略策定担当クラブ・フォーラム	クラブ戦略策定委員長 松井 信五 君
10/27	スピーチ「長く栄えて続く家運と社運」	(財)モラロジー研究所 山本 幾夫 氏
11/10	クラブ・デー/新入会員スピーチ	青山 真由美 さん・深海 季生 君
11/17	スピーチ「狂言というお芝居」	狂言師 茂山 あきら 氏
11/24	ロータリー財団担当クラブ・フォーラム	ロータリー財団委員長 清水 泰博 君
12/ 1	クラブ・デー/年次総会/新入会員スピーチ	寄本 猛 君
12/ 8	広報担当クラブ・フォーラム	広報委員会 理事 岸 弘祐 君
12/15	年忘れ家族会ーRAC合同ー	
12/22	会員スピーチ「日々是祈日にちにちこれいのりのひ」	豊国神社 宮司 吉田 武雄 君
12/29	祝 日 休 会	
1/ 5	休 会	
1/12	新春例会 祝舞 舞士 安倍秀風 吟士・安倍呈風 氏	「歳男放談」 清水泰博君・竹之内米貴君・川勝裕之君
1/19	クラブ・フォーラム〈創立50周年記念実行委員会〉	実行委員長 中村 翠嵐 君
1/26	職業奉仕担当クラブ・フォーラム	職業奉仕委員長 吉田 武雄 君
2/ 2	クラブ・デー	
2/ 9	中間収支報告/スピーチ「IH連続65年出場の軌跡」	東山高校卓球部 監督 宮本 操 氏
2/16	国際奉仕担当クラブ・フォーラム	国際奉仕担当委員長 安澤 英治 君

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
2/21 (日)	京都マラソン例会	
3/ 1	クラブ・デー	
3/ 8	クラブ管理担当クラブ・フォーラム	クラブ管理運営委員会 理事 木村 安輝 君
3/15	スピーチ「絆を通して江戸に学ぶ」 (社)日本小唄連盟関西支部	唄 白扇小伊寿 氏・三味線 白扇夕樹夫 氏
3/22	スピーチ「現在の京都、これからの京都」	京都市産業戦略監 白須 正 氏
3/29	休 会	
4/ 5	お花見例会(南禅寺 八千代)	
4/10 (日)	〈魚つかみと昔遊びのワクワク体験〉	
4/19	クラブ・デー/会員スピーチ「私の仕事」	村田 好謙 君
4/26	ゲスト出演 音楽演奏	ピアニスト イリーナ・メジュエワ 氏
5/ 3	休 会	
5/10	クラブ・デー/クラブ・フォーラム〈創立50周年記念実行委員会〉	実行委員長 中村 翠嵐 君
5/17	青少年奉仕担当クラブ・フォーラム	青少年奉仕委員長 竹之内米貴 君
5/24	夫人同伴例会 〈落語〉	落語家 笑福亭鶴二 氏
5/31	スピーチ「ヨットレース」(株)不二家商事 代表取締役	京都西RC会員 馬場 益弘 氏
6/ 7	クラブ・デー	
6/14	ヤレヤレ例会	
6/21	最終例会 「退任挨拶」	会長 岩橋忠昭・副会長 戸田義高・幹事 岡武和暁 君
6/28	休 会	

第49年度(2016～17)

委員長

小坂 文夫

7/ 5	初例会「就任挨拶」	会長 渡辺剛士・副会長 中村弘吉・幹事 清水泰博 君
7/12	クラブ・デー 〈就任挨拶〉	S.A.A.:吉田武雄 君 ・ 社会奉仕委員長:中塚 浩 君
7/19	〈就任挨拶〉	クラブ管理運営:松井信五・国際奉仕:安澤英治・ロータリ情報:小野富造 君
7/24 (日)	納涼家族例会	
8/ 2	クラブ・デー	
8/ 9	追悼例会 ー「追悼冷気に因んで」ー	会員 磯田 好計 君・鈴木 敏治 君・安倍 秀風 君
8/16	休 会	
8/23	クラブ創立50周年記念クラブ・フォーラム	担当 50周年記念実行委員長 中村 翠嵐 君
8/30	「地域社会の現状と見通し」(関西の景気はどうなるの?)	近畿財務局京都財務事務所 所長 中尾 直樹 氏
9/ 6	クラブ・デー	
9/13	ー追悼例会スピーチー	会員 中村 弘吉 君・関根 淳子 君・奥田 欽信 君
9/20	会員増強クラブ・フォーラム	担当 会員増強理事 本田 修造 君
9/27	「オデッセー、果てしなき放浪」 国際ロータリーロータリー2650地区2016-17年度ガバナー補佐 京都洛東RC:山口 吉晴 氏	
10/ 4	クラブ・デー 〈会員増強委員会スピーチ〉	会員増強委員長 本田 修造 君
10/11	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 刀根 莊兵衛 氏
10/18	米山奨学生スピーチ 「韓国の外国語教育に関して」	米山奨学生 金 ボラ さん
10/25	「庭園美の魅力」	造園家 井上 剛宏 氏
11/ 1	クラブ・デー 〈会員増強委員会スピーチ〉	会員増強委員長 本田 修造 君
11/ 8	クラブ戦略策定クラブ・フォーラム	担当 クラブ戦略策定委員長 松井 信五 君
11/15	ロータリー財団クラブ・フォーラム「ロータリー財団資金の活用について」	会員 本田修造君 担当 R財団委員長:薮下清三 君
11/22	夫人同伴例会「弦楽四重奏コンサート」 ヴァイオリン奏者:田村安祐美・山本美帆・山田麻紀子 チェロ奏者:城甲実子 様	
11/29	クラブ創立50周年記念クラブ・フォーラム	担当 50周年記念実行委員長 中村 翠嵐 君
12/ 6	クラブ・デー 〈年次総会〉	
12/13	新入会員スピーチ	「良い弁護士の見分け方ー弁護士のレベル3段階」 牧野 誠司 君
12/20	年忘れ家族例会(RAC合同例会)	

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
12/27	休 会	
1/ 3	休 会	
1/10	新春例会 祝舞 舞士 安倍秀風 吟士・安倍呈風 氏	「歳男放談」 奥田欽信・郡 正樹・岸 弘祐・山田幸一郎 君
1/17	クラブ・デー	
1/24	新入会員スピーチ	「吟剣扇のいろは」安倍秀風・「狂言のいろいろ」茂山良暢君
1/31	職業奉仕クラブ・フォーラム	担当 職業奉仕委員長 平野 俊雄君
2/ 7	クラブ・デー 〈会員増強委員会スピーチ〉	会員増強委員長 本田 修造 君
2/14	新入会員スピーチ	「無題」 加藤晃久 君・「生活に生かす無財の七施の知恵」 渡邊 恭章 君
2/19 (日)	京都マラソン例会	
2/28	新入会員スピーチ	「自己紹介」 田村 旭彦 君・「自己紹介」 内藤 葉子 さん
3/ 7	クラブ・デー	
3/14	中間収支報告クラブ・フォーラム	
	クラブ創立50周年記念クラブ・フォーラム	担当 50周年記念実行委員長 中村 翠嵐 君
3/21	広報クラブ・フォーラム	担当 広報委員長 木村 安輝 君
3/28	「印象派とジャポニズムー女性画家ベッ・モリゾーの場合」	神戸大学大学院 国際化学研究科 教授 吉田 典子 氏
4/ 4	クラブ・デー 〈会員増強委員会スピーチ〉	会員増強委員長 本田 修造 君
4/11	「祇園祭ごみゼロ大作戦の実践から」～市民発・市民主体のまちづくり～まちごと総合研究所代表 クリエイトイシノカ 野池雅人氏	
4/18	クラブ創立50周年記念クラブ・フォーラム	担当 50周年記念実行委員長 中村 翠嵐 君
4/25	「琵琶湖疏水・とっておきの話」	大津市歴史博物館 館長 橋爪 修 氏
5/ 9	クラブ・デー 〈会員増強委員会スピーチ〉	会員増強委員長 本田 修造 君
5/16	「進化の隣人との共生を目指して」	京都建築専門学校 特任講師 岩田 有史 氏
5/23	青少年奉仕クラブ・フォーラム	担当 青少年奉仕委員長 郡 正樹 君
5/30	『HIGASHIYAMAの春・音楽会』	ソプラノ:藤井 理紗 様・ピアノ:本多 千紘 様
6/ 6	クラブ・デー 次年度予算審議クラブ・アッセンブリー	
6/13	「京都踏水会の変遷」	京都踏水会水泳学園 学園長 檀野 晴一様・藤井 透様
6/20	ヤレヤレ例会	
6/27	最終例会 「退任挨拶」	会長 渡辺剛士・副会長 中村弘吉・幹事 清水泰博 君

第50年度(2017～18)		委員長 奥田 欽信
7/ 4	初例会 「就任挨拶」	幹事:中塚 浩君・50周年記念実行委員長:中村 翠嵐君 クラブ管理運営理事:平野俊雄・青少年奉仕理事:岡武和暁
7/11	「京都東山ロータリークラブの花は、何色ですか」 RI第2650地区22017～18年度ガバナー補佐 京都洛東RC 山口義治氏	
7/18	クラブ・デー/クラブ・フォーラム(創立50周年記念実行委員会)	実行委員長 中村 翠嵐 君
7/25	ガバナー公式訪問所感	第2650地区ガバナー 田中 誠二 氏
8/ 1	クラブ・デー/クラブ・フォーラム(会員増強)	担当 会員増強委員長:川勝 裕之 君
8/ 5 (土)	移動例会/50周年記念特別講演会「IPS細胞がひらく新しい医学」	京都大学IPS細胞研究所長・教授 山中 伸弥 氏
8/15	休 会	
8/19 (日)	家族納涼例会	
8/29	インターア外夏季研修報告 東山中学・高校IAC会長 平尾玲弥君	会員スピーチ 吉田武雄君・小林一恵君・井上正博君
9/ 5	クラブ・デー 〈会員スピーチ〉	磯田好計君・稲本初弥君・鈴木敏治君・小野富造君
9/12	敬老のお祝い/〈会員スピーチ〉	大藤光夫君・小山信一君・西村孝之君
9/19	会員スピーチ	今村晋平・山本真也・安澤英治・村岡正浩・山田幸一郎
9/26	会員スピーチ	佐貫将一君・井川正隆君・福留幸一君・郡 正樹君
10/ 3	クラブ・デー/クラブ・フォーラム(インターア外地区大会実行委員会) 米山奨学生スピーチ「これまでの留学生生活を振り返って」	担当委員長:戸田吉高君 副委員長:岡武和暁君 金 海元さん
10/10	休 会	
10/17	クラブ・フォーラム(創立50周年実行委員会)	担当 中村 翠嵐実行委員長
10/24	クラブ・デー/クラブ・フォーラム(クラブせんりゃき策定委員会)	担当 木村 安輝委員長
10/31	会員スピーチ	井上武雄君・岸 弘祐君・井川正隆君
11/ 7	クラブ・デー 〈会員スピーチ〉	中村 弘吉君・小坂 文夫君
11/14	クラブ・フォーラム(ロータリー財団委員会)	担当 ロータリー財団委員長 柴田 義典君
11/21	会員スピーチ	杉崎則夫君・竹之内米貴君・布施栄一君
11/28	会員スピーチ	関根淳子さん・上村承生君
12/ 5	クラブ・デー/年次総会/〈会員スピーチ〉	戸田義高君・青山真由美さん
12/12	クラブ・フォーラム(奉仕プロジェクト委員会)	担当 奉仕プロジェクト委員長 木村安輝君
12/19	年忘れ家族会	
12/26	休 会	
1/ 2	休 会	

[例会日]	[演 題]	[卓 話 者]
1/ 9	新春例会 祝舞「松竹梅」 舞士 安倍秀風	年男放談:吉田武雄 君・中川公孝 君・茂山忠三郎 君
1/16	クラブ・デー/クラブフォーラム(創立50周年記念事業)	担当 中村 翠嵐実行委員長
1/23	クラブフォーラム(職業奉仕委員会)	担当 職業奉仕委員長 村田 好謙君
1/30	「地区青少年奉仕活動について」	地区青少年奉仕委員長 石原久利 氏
2/ 6	クラブ・デー 〈会員スピーチ〉	奥田欽信 君
2/13	会員スピーチ	大木義秀 君・橋本幸司 君・渡邊恭章 君
2/18 (日)	京都マラソン例会	
2/27	クラブフォーラム(ローターアクト聖俗の有無)	担当 ローターアクト委員長 中村吉晴 君
3/ 6	クラブデー	
3/13	クラブフォーラム(クラブ管理委員会)・クラブアッセンブリー	担当 クラブ管理委員長 平野俊雄君・アッセンブリー(中間決算)
3/20	クラブフォーラム(50記念事業)	担当 宇井興委員長 中村翠嵐 君
3/28 (水)	疏水通船記念事業セレモニー	
4/ 2	クラブ創立50周年記念式典・祝宴	
4/10	クラブデー	
4/17	クラブフォーラム(青少年奉仕委員会)	担当 青少年奉委員長 岡武和君 RAC委員長 中村吉晴君
4/24	会員スピーチ	清水泰博 君・松下明史 君・深海季青少年 君
5/ 1	休 会	
5/ 8	クラブ・デー 〈会員スピーチ〉	川中丈嗣君・名筋淳二君・本田修造君
5/15	夫人同伴例会12:00～ 「京料理 木乃婦」	スピーカー 木乃婦 三代目 高橋拓児氏
5/22	スピーチ「空手道一ナショナルチーム」型演武	佛教大学空手部監督 土屋丈司氏 梅影部員・小川部員
5/29	会員スピーチ	寄本 猛 君・安倍秀風 君・加藤晃久 君
6/ 5	クラブ・デー スピーチ「職業奉仕は本当にロータリーの金看板か」	RI第2650地区ガバナー補佐 山口義春 氏
6/12	ヤレヤレ例会	
6/19	最終例会 「退任挨拶」会長 小森直之 君 ・ 副会長 坂田 均 君 ・ 幹事 中塚 浩 君	

会報委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	増田 紘明	田中 久雄	・従来のB5版よりA4版に拡大・ロータリーに関することだけでなく、旅行紀行文などを会員から寄稿いただき、掲載。
27	1994～95	増田 紘明	小野 富造	・基本的に前年度と〃レイアウトをと継続。
28	1995～96	増田 紘明	西村 孝之	・博奉仕部門の活動報告や、会員からの異見や感想等を掲載
29	1996～97	増田 紘明	西村 孝之	
30	1997～98	増田 紘明	井上 勝	・創立30周年度に当たり、A4版2頁から4頁に増版・1面には廣田会員コレクション(郷土玩具)の写真8点を掲載・歴代会長から30年を振り返り、事業の内容や写真を掲載。
31	1998～99	高倉 信夫	岩本 一	・全ての地区委員長会議報告を掲載
32	1999～2000	高倉 信夫	中川 正文	・A4版4頁建てと2頁建てを各週ごとに、経費節減で取り組む
33	2000～01	今井 武男	田中 久雄	・過去33年間の週報記事をピックアップし掲載してクラブ愛着の促進を図る
34	2001～02	今井 武男	田中 久雄	・週報作成を業者に委ねず、クラブ独自で初の作成
35	2002～03	今井 武男	柴垣 正彦	・出来るだけ多くの会員に投稿頂き紙面を賑合わせた
36	2003～04	今井 武男	柴垣 正彦	・＊その時代に生きた表情を留める＊週報に心掛けて
37	2004～05	今井 武男	柴垣 正彦	・写真を多用した紙面に編集を心掛けた
38	2005～06	今井 武男	柴垣 正彦	・今年度は、規定審議・記録の委員会を兼務して
39	2006～07	今井 武男	柴垣 正彦	・雑誌・記録の委員会を兼務
40	2007～08	柴垣 正彦	今井 武男	・創立40周年に当たり、39年間を振り返る紙面を1頁編纂
41	2008～09	柴垣 正彦	今井 武男	・柴垣委員長が9月に退会されるアクシデントの年
42	2009～10	野村 清孝	小野 富造	・本年度は雑誌委員会が独立し、週報内容の充実を図る
43	2010～11	福留 幸一	安澤 英治	・前年の週報内容スタイルを踏襲
44	2011～12	岸 弘祐	平岡幹之助	・〃
45	2012～13	岸 弘祐	今井 武男	・45周年に当たり、41年から振り返る特集を掲載
46	2013～14	岸 弘祐	今井 武男	・最終週に素に月の例会風景をや活動光景写真を掲載
47	2014～15	中島 陽子	今井 武男	・クラブ会長からの「会長のひとりごと」を46回掲載
48	2015～16	上村 承生	今井 武男	・週報を通して、今後の事業予告を掲載
49	2016～17	上村 承生	松下 明史	・週報を通して、今後の事業予告を掲載・例会及び諸事業を写真に収め記録として残す
50	2017～18	布施 栄一	牧野 誠司	・創立50周年年度の年でもあり、週報を通して情報掲載に努めた

記録委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	竹市 泰和	阿部 勲	・様々な場면을写真で保存
27	1994～95	高谷 寿一	福住 清之	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真。奉仕員合同のライフアドバンス講座に記録係として参加し、結果を例会時に掲示しレポート発表。講座録音収録
28	1995～96	植野 清富	山本 敏雄	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真収録保存する
29	1996～97	松井 信五	江川 寿明	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真で保存
30	1997～98	高山 雄	手塚 石雲	・今年度は創立30周年を迎え、記念事業を詳細に記録保存
31	1998～99	福住 清之	井上 澄男	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真で保存
32	1999～2000	植野 清富	高山 雄	・様々な場면을写真で保存。新竹RC創立45周年記念式典や合同事業を写真保存
33	2000～01	六車 雄二	吉藤 宣男	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真を撮り保存
34	2001～02	小山 信一	宮本 博史	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真撮影し保存
35	2002～03	柴垣 正彦	名筋 淳二	・本年度からデジタルカメラで撮影収録し、週報にも写真掲載される
36	2003～04	平岡幹之助	柴垣 正彦	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真撮影し保存
37	2004～05	福住 清之	福田 正長	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真撮影し保存
38	2005～06	今井 武男	柴垣 正彦	・本年度は会報・規定審議の委員会が統合され、様々な場面写真記録
39	2006～07	今井 武男	柴垣 正彦	・本年度は会報・雑誌の委員会と統合される。様々な場面写真記録
40	2007～08	柴垣 正彦	今井 武男	・今年度は創立40周年を迎え、記念事業を詳細に記録保存
41	2008～09	柴垣 正彦	今井 武男	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真撮影し保存
42	2009～10	野村 清孝	小野 富造	・本年度は会報と記録の委員会が合同、様々な場면을写真収録
43	2010～11	福留 幸一	安澤 英治	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真撮影し保存
44	2011～12	岸 弘祐	平岡幹之助	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真撮影し保存
45	2012～13	岸 弘祐	今井 武男	・今年度は創立45周年を迎え、記念事業を詳細に記録保存
46	2013～14	岸 弘祐	今井 武男	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真撮影し保存
47	2014～15	上村 承生	今井 武男	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真撮影し保存
48	2015～16	中島 陽子	今井 武男	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真撮影し保存
49	2016～17	上村 承生	松下 明史	・例会・クラブ行事・R行事の記録写真撮影し保存
50	2017～18	布施 栄一	牧野 誠司	・創立50周年年度の記録写真を詳細に記録保存

姉妹クラブ委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	西村正一郎	鈴木 敏治	・8/24金沢南RCへ表敬訪問 ・3/6～7金沢南RC創立25周年記念式典に参加(会員、家族50名) ・6/12～15新竹RCとの姉妹クラブ更新調印に訪問し、第83回RI国際大会台北に出席(16名)
27	1994～95	西尾 重雄	平田 清嗣	・7/12金沢南RCへ表敬訪問し姉妹クラブ提携20周年記念合同例会について協議 ・8/2金沢南RCの表敬訪問を受ける。合同記念例会を3/24開催に決定 ・12/11～14新竹RC創立40周年記念式典に参加(28名) ・3/24金沢南RC姉妹提携20周年合同例会は、阪神淡路大震災で中止する
28	1995～96	鈴木 敏治	内海 正三	・8/8金沢南RCの表敬訪問を受ける。昨年度中止になった合同記念例会について協議 ・8/29金沢南RCへ表敬訪問 ・3/22金沢南RCより72名の出席により、姉妹提携20周年記念合同例会開催当日、桂離宮など観光、翌日は裏千家などへ引率
29	1996～97	小野 富造	村田 佳弘	・7/16金沢南RCへ表敬訪問。今後の活動方法等をディスカッション ・提携委員長との定期的な異見交換を実施 ・新竹RCとの姉妹クラブ更新調印に訪問(10名) ・9/3金沢南RCから表敬訪問を受ける
30	1997～98	鈴木 敏治	佐藤富士男	・7/29金沢南RCへ表敬訪問しクラブ創立30周年記念式典に出席をお願い ・9/26金沢南RCから表敬訪問を受ける ・1/19～21新竹RCへ訪問し、クラブ創立30周年記念式典に招聘 ・4/8記念式典翌日、金沢南RC*25名)を法界寺・誕生院・万福寺と中村翠嵐工房へ、新竹RC(7名)を平安神宮参拝後、わらびの里で会食
31	1998～99	城山健太郎	塩路 徹	・7/14金沢南RCへ表敬訪問 ・8/4金沢南RCの表敬訪問を受ける。 ・3/2金沢南RC創立30周年記念式典に41名参加する
32	1999～2000	坂田 均	井上 武雄	・8/24金沢南RCへ表敬訪問 ・12/10～13新竹RCクラブ創立45周年式典に参加(15名) ・4/7～9新竹RC主催の年次大会に会長、副幹事、国際奉仕副委員長参加
33	2000～01	西村正一郎	野村 泰三	・8/8金沢南RCへ表敬訪問 ・9/12金沢南RCの表敬訪問を受ける。
34	2001～02	浅見五郎助	竹市 泰和	・8/21金沢南RCの表敬訪問を受ける。 ・10/23金沢南RCへ表敬訪問
35	2002～03	今村 晋平	杉崎 則夫	・7/30金沢南RCの表敬訪問を受ける。 ・8/26～7金沢南RCへ表敬訪問。クラブ創立35周年式典に出席依頼 ・3/25クラブ創立35周年記念式典に、新竹RCから4名、金沢南RCより5名隣席頂き、委員会が接待
36	2003～04	渡辺 剛士	城山健太郎	・3/2金沢南RC創立35周年記念式典に1泊2日で訪問(会員・家族31名)
37	2004～05	木村 安輝	井上 春峰	・8/31金沢南RCへ表敬訪問 ・10/12金沢南RCの表敬訪問を受ける。 ・4/5姉妹クラブ提携30周年記念合同例会を金沢南RC会員・夫人45を迎え開催し、翌日ゴルフコンペ組(瀬田GC)、観光組(京町屋・永観堂・松栄堂)
38	2005～06	塩路 徹	村元 健真	・互いに表敬訪問をし、交流を図る
39	2006～07	知公 智之	六車 雄二	・11/21金沢南RCへ表敬訪問 ・2/11～14グアムのタモンベイRCへ視察団派遣(会員・家族23名)し姉妹クラブを増やす目的で

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
40	2007～08	井上 春峰	鈴木 敏治	・7/31金沢南RCへ表敬訪問 ・12/11～13新竹RCクラブへ表敬訪問
41	2008～09	西尾 修	大藤 光夫	・7/29金沢南RCへ表敬訪問 ・11/18金沢南RCの表敬訪問を受ける。当クラブ創立40周年に出席依頼
42	2009～10	西村 孝之	鈴木 敏治	・金沢南RCの姉妹クラブ、大阪堺南RCの例会に金沢南RCと一緒に出席
43	2010～11	小森 直之	今井 晋平	・8/31金沢南RCへ表敬訪問 ・10/16金沢南RCの表敬訪問を受ける。
44	2011～12	竹之内米貴	鈴木 敏治	・8/23金沢南RCの表敬訪問を受ける。 ・10/18金沢南RCへ表敬訪問 ・12/5～7新竹RCクラブへ表敬訪問。第9回姉妹提携更新式。当クラブ創立45執念念記念式典に出席を依頼
45	2012～13	森里 秀夫	鈴木 敏治	・8/28金沢南RCへ表敬訪問 ・4/16東山RC創立45周年記念式典に新竹RC7名、金沢南RC27名の出席を迎え、委員会が接待、翌日エクスカーション(金閣寺拝観)を実施
46	2013～14	本田 修造	小坂 文男	・10/22金沢南RCへ表敬訪問 ・11/19金沢南RCの表敬訪問を受ける。前日午前夜キャメロンで懇談 ・3/4金沢南RC45周年記念式典に(会員・夫人・事務局30名)参加 - 翌日エクスカーションが行なわれる(金沢卯辰山工工房見学)
47	2014～15	清水 泰博	鈴木 敏治	・8/26金沢南RCへ表敬訪問 ・11/18金沢南RCの表敬訪問を受ける。前夜に訪問受けキャメロンで懇談 ・12/23～25新竹RCクラブ創立60記念式典に14名が参加 ・4/7～8姉妹クラブ提携40周年記念事業十実施(留学生に論文投稿事業)26名の出席。翌日金沢市内観光
48	2015～16	平野 俊雄	鈴木 敏治	・8/25金沢南RCへ表敬訪問 ・10/26金沢南RCの表敬訪問を受ける。前日訪問され、八千代で懇親会 ・12/29～30新竹RCクラブへ表敬訪問。 ・4/12～13姉妹クラブ交流を催す。初日はアサヒビール向上見学し八千代で懇親。翌日はゴルフ組(比良GC)・観光組(大徳寺拝観)
49	2016～17	布施 栄一	鈴木 敏治	・8/29金沢南RCへ親善訪問し、翌日表敬訪問を行う ・10/24金沢南RCの訪問を受け親善の夕べを催す、翌日表敬訪問を受ける ・4/22金沢RCとの交流親睦会を「るば甚」で開催 ・4/23片山津ゴルフ倶楽部組と観光組で交流 ・12/13新竹RC62周年記念式典に参加
50	2017～18	今村 晋平	安澤 英治	・8/550周年特別記念講演「山中伸弥先生」に、金沢南RC会員を招待 ・8/29金沢南RCへ表敬訪問し ・12/12台湾新竹ロータリー創立63周年記念式典に参加 ・4/2クラブ創立50周年記念式典に、金沢南RC会員18名・新竹RC会員20名の登録 ・4/3エクスカーション 金沢南RC会員16名を(琵琶湖疏水通船、永観堂拝観 新竹RC会員を、山科地域名所めぐり 両クラブ合同で「南禅寺八千代」にて昼食懇談会(44名)

ニコニコ箱委員会

年 度		委員長	副委員長	例会数	会員数	協力金額	摘 要
26	1993～94	高倉 信夫	西出・福住	47回	111名	5,707,215円	・目標額は5, 200, 000円
27	1994～95	西村正一郎	植野 清富	47回	108名	5,444,100円	・目標額は5, 400, 000円
28	1995～96	手塚 石雲	渡辺 剛士	47回	106名	5,949,750円	
29	1996～97	竹市 泰和	六車 雄二	47回	108名	5,232,000円	・目標額は4, 800, 000円
30	1997～98	塩路 徹	安倍 秀風	47回	103名	5,510,648円	
31	1998～99	平田 清嗣	今村 晋平	46回	95名	4,587,000円	・日本経済減速と会員減少が影響
32	1999～2000	柴垣 正彦	西尾 重雄	47回	89名	4,616,500円	
33	2000～01	岩橋 忠昭	木村 茂	47回	93名	4,787,300円	・目標額は5, 000, 000円
34	2001～02	岩本 一	城山健太郎	48回	93名	4,369,171円	・目標額4,700,000円に対し達成率93%
35	2002～03	木村 安輝	佐貫 将一	46回	88名	4,307,500円	・目標額は4, 400, 000円
36	2003～04	福住 清之	横井 康治	45回	86名	4,120,000円	
37	2004～05	村田 佳弘	岸 信太郎	45回	83名	4,029,500円	・目標額は4, 200, 000円
38	2005～06	薮下 清三	横井 康治	47回	80名	3,859,000円	
39	2006～07	宮本 博史	石井 重基	47回	80名	3,522,783円	
40	2007～08	中嶋 克美	川中 丈嗣	44回	81名	4,155,000円	・創立40周年を迎え会員協力が顕著に
41	2008～09	清水 泰博	富永 泰彰	45回	78名	3,876,000円	・目標額は4, 000, 000円
42	2009～10	渡辺 剛士	佐貫 将一	44回	80名	3,544,000円	・目標額は4, 000, 000円
43	2010～11	野村 清孝	名筋 淳二	45回	78名	3,269,000円	
44	2011～12	村田 佳弘	植野 清富	46回	78名	3,450,200円	・目標額は3, 500, 000円
45	2012～13	安澤 英治	植野 清富	46回	83名	3,614,000円	・目標額は3, 000, 000円
46	2013～14	村田 好謙	岸 弘祐	44回	77名	3,136,000円	・目標額は3, 000, 000円
47	2014～15	西尾 修	小山 信一	45回	76名	3,055,100円	・目標額は3, 000, 000円
48	2015～16	松下 明史	西村 孝之	44回	73名	3,247,000円	・目標額は3, 000, 000円
49	2016～17	竹之内米貴	関根 淳子	48回	70名	3,045,000円	・目標額は3, 000, 000円
50	2017～18	郡 正樹	清水 泰博	46回	69名	2,808,000円	・目標額は3, 800, 000円

雑誌委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	中村 翠嵐	佐貫 将一	・「ロータリーの友」の関心度についてのアンケートを実施
27	1994～95	磯田 好計	野村 泰三	・「ロータリーの友」を読んでもらう啓蒙活動と投稿依頼を促がす
28	1995～96	平田 清嗣	坪井 嘉蔵	・「ロータリーの友」掲載記事を抜粋し、例会で紹介し、投稿依頼を促がす
29	1996～97	塩路 徹	山本 久義	・「ロータリーの友」掲載記事を抜粋し、例会で紹介し、投稿依頼を促がす
30	1997～98	松井 信五	黒澤 巖	・「ロータリーの友」に杉崎会員投稿記事が掲載され、会員の購読が高まった
31	1998～99	西尾 重雄	稲本 初弥	・4月の雑誌月間には、週報に講読の大切さを掲載し、読むことを喚起した
32	1999～2000	増田 紘明	内海 貴夫	・「ロータリーの友」を留学生寮・山科学園に寄贈しロータリーの理解を促がす
33	2000～01	井上 勝	橋本 幸男	・広報委員会と一緒に編成され一緒に活動、会員にロータリー雑誌の講読PR
34	2001～02	杉崎 則夫	内海 貴夫	・広報委員会と一緒に編成され一緒に活動
35	2002～03	岩井 文彦	内海 貴夫	・広報委員会と一緒に編成され一緒に活動
36	2003～04	高谷 寿一	村元 健眞	・広報委員会と一緒に編成され活動。RIガバナー関連記事を紹介
37	2004～05	小林 一恵	西出 澄弘	・広報委員会と一緒に編成され「ロータリー100周年」関連記事を紹介
38	2005～06	片山 好司	小森 直之	・広報・インターネット委員会と一緒に活動
39	2006～07	今井 武男	柴垣 正彦	・本年度は会報・記録委員会と一緒に活動
40	2007～08	柴垣 正彦	今井 武男	・本年度も会報・記録委員会と一緒に活動
41	2008～09	柴垣 正彦	今井 武男	・前年に引き続き会報・記録委員会と一緒に活動
42	2009～10	坂田 均	辻中 正雄	・会員への雑誌に対する興味を喚起
43	2010～11	福留 幸一	平岡幹之助	・「ロータリーの友」投稿を会員に呼びかけた
44	2011～12	名筋 淳二	西村 孝之	・広報・インターネット委員会と一緒に活動
45	2012～13	郡 正樹	村田 佳弘	・「ロータリーの友」「ガバナー月信」掲載記事を抜粋し、例会で紹介 ・「ロータリーの友」に〈京都マラソンボランティア〉〈宝ヶ池ファミリーマラソン〉記事投稿掲載
46	2013～14	郡 正樹	村田 佳弘	・「ロータリーの友」の購読を会員に呼びかけた
47	2014～15	植野 清富	安倍 秀風	・「ロータリーの友」投稿を会員に呼びかけた
48	2015～16	中塚 浩	植野 清富	・「ロータリーの友」投稿を会員に呼びかけた
49	2016～17	岸 弘祐	佐々木虚室	・「ロータリーの友」の購読を会員に呼びかけた
50	2017～18	福川 敦子	植野 清富	・「ロータリーの友」の購読を会員に呼びかけた

会員選考委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	宇野 久夫	稲本 初弥	・江川寿明・岩本 一・坂田 均・辻野幸二の4名を選考入会なる
27	1994～95	城山建太郎	宮元 博史	・2名の候補者の選考の内、中井辰昭のみ選考入会なる
28	1995～96	岸 信太郎	細谷正八郎	・岩井文彦・横井康治・岩橋忠昭・水内喜廣・水道 啓の5名を選考入会
29	1996～97	木村 茂	大木 博	・小坂文夫・金子永次郎・柴垣正彦・清水邦昭・中井勝の5名を選考入会
30	1997～98	今村 晋平	稲本 初弥	・名筋淳二・高橋泰行・小森直之・辻中正雄の4名を選考
31	1998～99	戸田 義高	田中 久雄	・柴田義典・宮下博司・山口博の3名を選考入会
32	1999～2000	佐貫 将一	堀部 素弘	・岩井文彦・本田修造・吉藤宣夫の3名を選考入会
33	2000～01	中村 弘吉	辻中 正雄	・平塚幹之助・片山好司・西尾修・渡辺民雄・天野公朗の5名を選考入会
34	2001～02	鈴木 敏治	高谷 寿一	・千代島道生・薮下清造・山本富雄の3名を選考入会
35	2002～03	横井 康治	高倉 信夫	・福田正長・清水泰博の2名を選考入会
36	2003～04	竹市 泰和	石原 隆光	・石井重基の候補者を選考入会なる
37	2004～05	小原 晃	村本 健真	・今年度は1名の候補者も無く活動機会が無かった
38	2005～06	* 本年度は当委員会に職業分類委員会が併合される。		
		小林 一恵	手塚 石雲	・水野雄三候補者を選考入会。3名の退会者が出たが職業分類空白無し
39	2006～07	竹市 泰和	井上 澄男	・中塚浩・福留幸一・野村清孝・宮川孝広・東方田寿一・と名が泰彰の6名を選考入会。7名の退会者が出、sy公卿分類に5つ未充填が出来る
40	2007～08	* 本年度は当委員会から職業分類委員会がはずれる。		
		安倍 秀風	磯田 好計	・平野俊雄・井川正隆・岸弘祐・森里秀夫・中部健の5名を選考入会
41	2008～09	村元 健真	井上 澄男	・坂田 均・村田好謙・竹之内米貴の3名を選考入会
42	2009～10	西村正一郎	西出 澄弘	・吉田武雄・長尾眞志・豊田恵美・中島陽子の4名を選考入会
43	2010～11	木村 茂	井上 武雄	・郡 正樹・岡武和暁・大木義秀・関根淳子の4ネイを選考入会
44	2011～12	井上 武雄	末松 哲夫	・橋本幸司・上村承生・中川公孝・佐々木虚室・松下明史の5名選考入会
45	2012～13	小林 一恵	吉田 良武	・布施栄一・中西敏之・福川敦子の3名を選考入会
46	2013～14	木村 茂	中川 公孝	・谷口浩三候補者を選考し入会なる
47	2014～15	谷川 博造	吉田 吉武	・山田幸一郎・青山真由美・深海季生・寄本猛の4名を選考入会
48	2015～16	小坂 文夫	大藤 光夫	・安倍秀風・加藤晃久・茂山良暢・田村旭彦の4名を選考入会
49	2016～17	今村 晋平	小林 一恵	・内藤葉子・渡邊恭章の二名を選考入会
50	2017～18	薮下 清三	井上 武雄	・本年度は入会候補者が無く、活動はありませんでした

ロータリー情報委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	若山 敬祐	野村 泰三	・2名の新入会員候補者インフォメーションを12/20・1/11・1/18の3回開催 ・3/29入会3年目の8名を対象に情報勉強会を開催 ・4/26入会2年目の8名を対象に情報勉強会を開催 ・2名の新入会員候補者インフォメーションを5/24・6/7・6/14の3回開催
27	1994～95	吉田 良武		・1名の新入会員候補者インフォメーションを10/25・11/8・11/15の3回開催 ・2/28地区ロータリー情報委員会より要請の会員意識調査アンケート実施
28	1995～96	谷口 良三	中村 粹嵐	・10月に2名の、2月に3名の新入会員候補者のインフォメーション7執り行う
29	1996～97	中村 粹嵐	城山健太郎	・4名の新入会員候補者インフォメーションを8/27・9/3の2回開催 ・10/16昨年度入会の3名を対象に情報勉強会を開催 ・3/11本年度入会の4名を対象に情報勉強会を開催
30	1997～98	城山健太郎	嶋村 昭平	・7/8昨年度から引継ぎ第2回目のインフォメーションを開催 ・2名の新入会員候補者インフォメーションを9/16・9/30の2回開催 ・2名の新入会員候補者インフォメーションを12/2・12/9の2回開催 ・3/24に4名の新入会員候補者の第3回目のインフォメーションを開催
31	1998～99	堀部 素弘	廣田長三郎	・3名の新入会員候補者インフォメーションを7/28・8/11の2回開催 ・2名の新入会員候補者インフォメーションを4/27・5/11の2回開催
32	1999～2000	井上 勝	村元 健眞	・3名の新入会員候補者インフォメーションを8/31・9/7・1/25の3回開催 ・ロータリー理解月間に因み、1/25増田パストガバナーの卓話を小冊子で刊行
33	2000～01	村元 健眞	木村 安輝	・4名の新入会員候補者インフォメーションを8/1・8/8の2回開催 ・1名の新入会員候補者インフォメーションを10/31・11/7の2回開催 ・地区大会当日の「新会員セミナー」に本年度入会者5名を参加させる
34	2001～02	今村 晋平	石原 隆光	・11/13入会5年未満の会員に「ロータリー情報」勉強会を開催 ・2名の新入会員候補者インフォメーションを12/25・1/8の2回開催 ・2名の新入会員候補者インフォメーションを4/16・4/23の2回開催 ・4/23地区大会当日「新会員ロータリーセミナー」に参加させる
35	2002～03	石原 隆光	横田 治男	・2名の新入会員候補者インフォメーションを7/8・7/9の2回開催
36	2003～04	横田 治男	小林 一恵	・1名の新入会員候補者インフォメーションを3/30・4/6・6/8の3回開催
37	2004～05	小野 富造	稲本 初弥	・「聞いて納得 知って得する」のロータリー情報を7回に亘り発刊 ・8/21「関西ロータリー研究会」に参加 ・9/28入会3年未満の会員に「ロータリー情報」勉強会を開催
38	2005～06	横田 治男	城山健太郎	・1名の新入会員候補者インフォメーションを12/13・1/10・4/4の3回開催
39	2006～07	城山健太郎	村元 健眞	・2名の新入会員候補者インフォメーションを7/11・7/18の2回開催 ・2名の新入会員候補者インフォメーションを9/26・10/17の2回開催 ・2名の新入会員候補者インフォメーションを5/15・5/22の2回開催
40	2007～08	村元 健眞	堀部 素弘	・4名の新入会員候補者インフォメーションを7/3・7/10の2回開催 ・1名の新入会員候補者インフォメーションを12/4・1/8の2回開催 ・4名の新入会員候補者インフォメーションを3/18・3/25の2回開催 ・6/10本年度入会者9名、入会3年未満会員6名の「ロータリー勉強会」開催
41	2008～09	横田 治男	山中 鎧一	・坂田 均入会候補者は、再入会のためインフォメーションを7/15の1回のみ ・2名の新入会員候補者インフォメーションを3/17・3/24の2回開催 ・6/9入会3年未満会員の「ロータリー勉強会」開催
42	2009～10	小林 一恵	小原 晃	・1名の新入会員候補者インフォメーションを7/28・8/4の2回開催 ・2名の新入会員候補者インフォメーションを12/1・12/8の2回開催 ・1名の新入会員候補者インフォメーションを6/8・6/15の2回開催
43	2010～11	安倍 秀風	佐貫 将一	・3名の新入会員候補者インフォメーションを10/12・10/19の2回開催

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
43	2010～11	安倍 秀風	佐貫 将一	・2名の新入会員候補者インフォメーションを12/7・12/14の2回開催 ・3/15入会3年未満会員の「ロータリー勉強会」開催 ・入会3年未満の会員11名にアンケートを実施
44	2011～12	今村 晋平	安倍 秀風	・1名の新入会員候補者インフォメーションを9/20・10/4の2回開催 ・3名の新入会員候補者インフォメーションを12/13・12/22の2回開催 ・2名の新入会員候補者インフォメーションを5/8・5/15の2回開催 ・6/19入会3年未満会員と座談会を開催
45	2012～13	城山健太郎	井上 武雄	・3名の新入会員候補者インフォメーションを9/18・9/25の2回開催 ・3名の新入会員候補者インフォメーションを1/29・2/5の2回開催 ・1名の新入会員候補者インフォメーションを5/14・5/28の2回開催
46	2013～14	横田 治男	佐貫 将一	・1名の新入会員候補者インフォメーションを11/12・11/26の2回開催 ・5/27入会3年未満会員10名の「ロータリー勉強会」開催
47	2014～15	稲本 初弥	小野 富造	・9/8ロータリー情報委員会担当のクラブフォーラム開催 ・1名の新入会員候補者インフォメーションを2/16・3/1の2回開催 ・5名の新入会員候補者インフォメーションを5/27・6/7の2回開催
48	2015～16	中村 翠嵐	稲本 初弥	・会長方針のロータリーやクラブにたいする会員の意見や知識の向上を図る『ロータリーサロン』を3回に亘り担当 ・1名の新入会員候補者インフォメーションを7/1・7/8の2回開催 ・3名の新入会員候補者インフォメーションを6/9・6/30の2回開催
49	2016～17	小野 富造	井上 武雄	・新入会員候補者(渡辺恭章)のインフォメーションを、第1回目7/19・第2回目8/2に開催し、終了後入会を果たす ・新入会員候補者(内藤葉子)のインフォメーションを、第1回目8/23・第2回目9/6に開催し、終了後入会を果たす ・年初活動計画に掲げた入会3年未満会員対象の〈ロータリー情報研修会〉は、RI規定変更に伴う、我がクラブの方針が定まっていないため、開催を断念した
50	2017～18	中村 弘吉	小坂 文夫	・今年度は新入会員が無くインフォメーション活動はありませんでした - クラブ細則・内規が改定されたので、その情報に努めましたb

規定審議委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	磯田 好計	小澤 利夫	・1994年度版を、内規に会計処理要綱を追加して作成配布
27	1994～95	布垣 裕嗣	小林 一恵	・5/23,6/27の2回に亘り、“指名委員会”設置を検討、提案し決議は次年度へ申し送る
28	1995～96	小野 富造	高谷 寿一	・RI規定審議会改定に基づき、併せて”理事・役員の選挙方法の変更”の改正案を提出し6/4のクラブ総会で可決され、くら部細則・内規を変更
29	1996～97	井上 勝	布垣 裕嗣	・部分修正可能な「クラブ定款・細則・内規・会計処理」を作成し実行する
30	1997～98	谷川 博造	田中 久雄	・5/12等委員会担当のクラブフォーラムを開催”定款・細則クイズ”を行なう
31	1998～99	小原 晃	小坂 進	・1998年に開催されたRI規定審議会からの改定要項を「クラブ定款・細則・内規」の改正を検討提案し、クラブ承認の後、改訂版冊子を作成
32	1999～2000	小野 富造	木村 茂	・前年度作成された「クラブ定款・細則・内規」に多岐に亘り不備な箇所があり、R情報委員会と協議検討の結果修正案を提出、承認され修正版を作成配布する
33	2000～01	* 本年度は規定審議委員会が設置されなかった。理由は不明		
34	2001～02	坂田 均	井上 澄男	・RIにおける標準RC定款等の改正に伴い、「クラブ定款・細則・内規」改正
35	2002～03	城山健太郎	村元 健真	・本年度委員会での取り上げる活動はなし
36	2003～04	井上 澄男	高倉 信夫	・当委員会に関わる案件はありませんでした
37	2004～05	井上 武雄	高谷 寿一	・RIからの標準RC定款等の改正に伴い、「クラブ定款・細則・内規」改正し、承認後冊子作成寸前に、CLP導入が持ち上がり、冊子作成は中止
38	2005～06	今井 武男	柴垣 正彦	・本年度、会報・記録の委員会と統合され、CLPの審議等で混迷
39	2006～07	木村 安輝	西村 孝之	・当委員会に関わる案件はありませんでした
40	2007～08	西出 済弘	吉田 良武	・本年度は当委員会に関わる案件はありませんでした
41	2008～09	小野 富造	竹本 昌生	・2003、2006にRI規定審議会の変更事項を放置したまま今年を迎えた。全内容を精査し、クラブの定款・細則・内規の改正を提出し、3/1にクラブアツェンブリが開催され承認の後、「クラブ定款・細則・内規」冊子を作成
42	2009～10	今村 晋平	川中 丈嗣	・特になし
43	2010～11	戸田 義高	中村 弘吉	・RI規定審議会の改定を精査、改正必要事項は①4大奉仕から5大奉仕(新世代奉仕)②直前会長は理事メンバーに③出席免除会員条件は65才以上が条件④例会出席率方法変更(出席免除会員を除く)3/29,6/7クラブアツェンブリが開催、審議される
44	2011～12	坂田 均	中村 弘吉	・クラブ定款・細則・内規を修正し、冊子にまとめる
45	2012～13	安倍 秀風	戸田 義高	・①長期欠席者の会費軽減②IAC提唱のためクラブ内規に規定。5/21にクラブアツェンブリで承認され、改正「クラブ定款・細則・内規」を刊行、配布
46	2013～14	植野 清富	村田 佳弘	・RI規定審議会からの定款等の改正に伴い、「クラブ定款・細則・内規」変更事項を理事会に答申(11月)。クラブアツェンブリで承認(5月)。6月に改正版を刊行配布
47	2014～15	今村 晋平	杉崎 則夫	・内規事項の指名委員会の内容に追加事項、修正事項を答申。承認
48	2015～16	中村 弘吉	木村 茂	・特になし
49	2016～17	木村 茂	上村 承生	・RI規定審議会からの定款等の改正に伴い、「クラブ定款・細則・内規」変更事項を理事会に答申(3月)。クラブアツェンブリで承認(5月)。6月に改正版を刊行配布
50	2017～18	小野 富造	坂田 均	・前年ばクラブ定款・細則・内規改訂版に不備な内容項目があり理事会答申し承認を経てクラブアツェンブリーにて会員の承認を得て、内容修正を図る

高齢者委員会(26年度～32年度)

年 度	委員長	副委員長	活 動 内 容
26 1993～94	植野 清富	中村 弘吉	・社会奉仕委員会と連携し「高齢者問題の現状と課題」をテーマに例会でスピーチを行なう
28 1995～96	内海 貴夫	村元 健眞	・特別の活動なし
29 1996～97	宮本 博史	槇原 一雄	・「日本の心再発見」のクラブイベントで留学生に「お年寄りの知恵袋」のパンフレットを作成し、配布
30 1997～98	岸 信太郎	小山 信一	・東山六区の老人福祉委員会の活動(80歳以上の高齢者・独居老人に高齢者向け弁当を配布)を協賛
31 1998～99	小山 信一	佐貫 将一	・活動計画が諸般の事情で実行出来なかった
32 1999～2000	西村 孝之	岸 信太郎	・特別の活動ができなかった * 次年度から委員会は無くなる

ボランティア委員会(33年度～38年度)

年 度	委員長	副委員長	活 動 内 容
33 2000～01	岩本 一	川中 丈嗣	・11/3山科合同福祉センターの「障害者の秋まつり」に協力参加
34 2001～02	村田 佳弘	六車 雄二	・11/3山科合同福祉センターの「障害者の秋まつり」に協力参加
35 2002～03	浅見五郎助	平岡幹之助	・11/17山科合同福祉センターの「障害者の秋まつり」に協力参加
36 2003～04	宮本 博史	岸 信太郎	・山科合同福祉センターの障害者の「やったね秋まつり」に協力参加
37 2004～05	小山 信一	柴田 正彦	・11/14山科合同福祉センターの「障害者の秋まつり」に協力参加 ・12/5「山科歩こう会」に多数の会員参加し、ゴール地点で参加者にロータリーネーム入りのスポーツタオルを配布
38 2005～06	中村 翠嵐	橋本 幸男	・恒例の障害者対象の「やったね秋まつり」が中止になり、活動できず * 当委員会は本年度で廃止される

環境保全委員会(33年度～38年度)

年 度	委員長	副委員長	活 動 内 容
33 2000～01	小野 富造	井上 澄男	・年初に活動計画を立てたが活動資金が承認されず、実行できず
34 2001～02	小坂 文男	村元 健眞	・1/15例会で地区環境保全副委員長を招き「環境行政に従事して」を聴講
35 2002～03	戸田 義高	中村 弘吉	・活動計画は実行不発となった
36 2003～04	小山 信一	松井 信五	・京都市山科少年センター、山科区役所が活動する「山科ホタルネットワーク」に参加
37 2004～05	横尾 浩志	小山 信一	・「山科ホタルネットワーク」会合に参加し活動を協力 ・6/5山科川制そう活動実施
38 2005～06	横尾 浩志	井上 澄男	・「山科ホタルネットワーク」会合に参加し活動を協力

健康管理委員会(26年度～32年度)

年 度	委員長	副委員長	活 動 内 容
26 1993～94	坪井 嘉蔵	浅田喜八郎	・会員、家族の健康管理をアドバイス。前期・後期に栄養ドリンク配布
27 1994～95	坪井 嘉蔵		・健康に関するパンフレットを例会に配布。9/27小澤会員による健康診断実施
28 1995～96	中村 弘吉	小澤 利夫	・「乗鞍サマーキャンプ」イベントでさんか児童に事前健康診断を実施
29 1996～97	小山 信一	平田 清嗣	・例会で「私の食事」をテーマに健康法についてスピーチ依頼
30 1997～98	太田 美実	中村 弘吉	・会員に健康の自己管理の大切さを説くことを充填に活動
31 1998～99	岸 信太郎	太田 美実	・例会日に健康に関する本やパンフレットを配布
32 1999～2000	今井 武男	中村 弘吉	・特別の活動ができなかった * 次年度から委員会は無くなる

奉仕プロジェクト委員会

年 度	委員長	副委員長	活 動 内 容
＊CLP制度採用により、2006～2009まで〈社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕・新世代・青少年奨学金(東山基金)ローターアクト・ニコニコ箱・米山奨学・姉妹クラブ〉の各委員会が配下になる			
39	2006～07	横尾 浩志	・当委員会配下の9委員会とコミュニケーションを取り活動の成果に励む
40	2007～08	竹市 泰和	・当委員会配下の9委員会と共に、クラブ創立40周年事業に邁進
41	2008～09	戸田 義高	・当委員会配下の9委員会に、十分なサポートができたかどうか……
42	2009～10	谷川 博造	小山 信一 ＊本年度より、社会奉仕委員会と合併され、青少年育成・RC・新世代との3委員会が当委員会の配下となる
43	2010～11	手塚 石雲	竹市 泰和 ・配下の3委員会と十分廉価意を取って活動
44	2011～12	渡辺 剛士	・本年度から社会奉仕委員会が奉仕プロジェクト委員会から離れ活動することになる
45	2012～13	中村 弘吉	安澤 英治 ＊本年度再び社会奉仕委員会と合同隣、青少年育成基金委員会のみ配下
46	2013～14	塩路 徹	森 俊次 ・社会奉仕委員会と一緒に奉仕事業を実行
47	2014～15	横尾 浩志	川中 丈嗣 ・11/24「地域子ども達に歓声と笑顔の一日を」のイベントを全面運営
48	2015～16	薮下 清三	川中 丈嗣 ・4/10「魚つかみと昔遊びわくわく体験」イベントを企画運営 ・「熊本地震被災者支援プロジェクト緊急支援」に350万円を大分キャピタルRCに
49	2016～17	坂田 均	小山 信一 ・本年度の中核事業「ネパームにおける医療支援活動」が、受け入れ先のクラブ状況、奉仕の方法等の諸事情により断念
50	2017～18	木村 安輝	岡武 和暁 ・創立50周年実行委員会から提案された記念事業に対し、奉仕プロジェクト関連委員会全体として、協力・支援することに集約しました ・インターアクト地区大会ホストクラブとしての仕切りを果たした

職業奉仕委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	西尾 重雄	大木 博	・10/19職業奉仕月間に因み京都薬大、木曾良明教授のスピーチを聴衆 ・3/7職場見学会を実施
27	1994～95	井上 澄男	末松 哲夫	・8/18月間に因み職業奉仕諮問委員長、羽根實パストガハナーを招き「職業奉仕」についてスピーチを聞く ・5/20「ライフアトバンス講座」と称し《社会人の心構え》の講座を開催(208名)
28	1995～96	井上 武雄	塩路 徹	・職業奉仕月間に会員の岡村 博氏に“会社の経営方針や人間関係”聴衆
29	1996～97	石原 隆光	大藤 光夫	・月間にツォラムを開催し、パズセッション方式で会員間で討議 ・3/9クラブ統一事業「再発見 日本の心」と題した体験教室で留学生に'京都の文化'を職業を通して紹介
30	1997～98	戸田 義高	村田 佳弘	・8/5委員長の職業(僧侶)を通し、大徳寺(大慈院)で早朝例会を開催し、般若心経を唱和し物故者追悼を実施(70名)
31	1998～99	西村正一郎	横尾 浩志	・毎月クラブデーでメンバーによる職業自己紹介して頂き、「企業理念集・職業紹介編」を刊行 ・10/20職業ほうしフォーラムをかいさいし、ミヤマミュージックプロダクションの宮原啓子氏を招き音楽を通し、温かい社会への一助の機会を提供
32	1999～2000	横尾 浩志	中嶋 克美	・[職業奉仕に際しての考察]と題し、ノルウェーのロータリアンが提案した倫理に関する資料を会員に配布 ・職業奉仕フォーラムを開催し、高校生のインターシップ実施について討議
33	2000～01	内海 貴夫	石原 隆光	・特別な活動はできなかった
34	2001～02	西出 澄弘	戸田 義高	・各奉仕委員会のイベントで、会員の職業を通し奉仕活動に協力
35	2002～03	小山 信一	横尾 浩志	・11/5尾の会員を講師に職業奉仕フォーラムを開催 ・11/17「やったね秋祭り」ボランティア委員会に協力
36	2003～04	岩橋 忠昭	橋本 幸男	・地域で職業を通し、長年活躍されている、聾啞者福祉センターの栄養士の西村真理子氏の「手話」活動、身障者に絵画を教えているアトリエ・ウェブの主宰者の酒谷佳子氏に奨励金を贈呈 ・クラブフォーラムを開催し、永年「前立腺」の啓蒙活動されている、中川修二医院長の講演を聴衆
37	2004～05	中嶋 克美	宮本 博史	・職業奉仕フォーラムを開催し、歴代の委員長の話を聞く
38	2005～06	福住 清之	佐貫 将一	・職業奉仕フォーラムを開催し、松尾寺住職松尾心空氏に日本の倫理感を新渡戸稲造の「武士道」を引用した職業奉仕のあり方を拝聴
39	2006～07	浅見五郎助	戸田 義高	＊本年度より奉仕プロジェクトの配下になり、理事会を外れる ・具体的な活動は出来ませんでした
40	2007～08	横田 治男	名筋 淳二	・9/13地区職業奉仕担当者協議会に出席 ・10/16月間に因み、職業奉仕に関する記事を週報に掲載 ・10/16フォーラムを開催 ・入会3年未満の会員に「四つのテスト」の盾を配布 ・1/26職業奉仕の講演会(京都テルサ)に出席
41	2008～09	川中 丈嗣	名筋 淳二	・7/6・7/22地区の正副委員長会議に出席「決議23-34に関するアンケート」 ・9/20グループ別職業奉仕担当研修会(メルパルク京都)に出席 ・12/2「職業奉仕に因んで」のタイトルで週報に掲載 ・1/24「職業奉仕講演会」(京都テルサ)に参加
42	2009～10	清水 泰博	平岡幹之助	＊本年度から理事会メンバーに復帰 ・8/29グループ別職業奉仕担当研修会(メルパルク京都)に出席 ・10/13「職業奉仕かくあるべき」のタイトルで週報に掲載

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
42	2009～10	清水 泰博	平岡幹之助	・2/9フォーラムを開催 ・2/20 ・2/20「職業奉への私の思い～ロータリーは人づくり～」と題し、パストガハナー渡邊好政氏の講演会に参加
43	2010～11	中塚 浩	中村 翠嵐	・8/7グループ別職業奉仕担当研修会に出席 ・9/28「職業奉仕についての記事を週報に掲載 ・10/12クラブフォーラム開催『石田梅岩』のDVDを活用し、職業の基本理念研修 ・1/22地区開催の職業奉仕講演会に出席
44	2011～12	西尾 修	岡武 和暁	・8/21グループ別職業奉仕担当研修会(メルパルク京都)に出席 ・10/11クラブフォーラム開催中江藤樹記念館長に中江藤樹の『襲えに学ぶ』の講演を拝聴
45	2012～13	坂田 均	平岡幹之助	・10/9クラブフォーラムを開催。井上勝会員に対談方式で起業から現在の話聞く
46	2013～14	清水 泰博	平岡幹之助	・7/14グループ別職業奉仕担当研修会(メルパルク京都)に出席 ・10/22「職業奉仕に因んで」のタイトルで週報に掲載 ・10/22クラブフォーラムを開催。井上武雄・福留・村田好謙の3名の会員に「職業奉仕観」を語ってもらう ・2/2地区開催の職業奉仕講演会に出席(京都テルサ)
47	2014～15	岸 弘祐	井上 勝	・10/14職業奉仕月間に因み、クラリネット奏者、稲本氏を招き、職業奉仕への厚い想いを演奏と共にお話を聞く
48	2015～16	吉田 武雄	小山 信一	・9/6グループ別職業奉仕担当研修会に出席 ・1/19「日本人の職業倫理」の記事を寄稿し週報に掲載 ・1/26クラブフォーラムを開催。 ・1/31地区開催の「職業奉仕活動の現況」講演会に出席
49	2016～17	平野 俊雄	稲本 初弥	・9/11RI2650地区の職業奉仕委員会議に出席 ・1/17クラブ週報に「私の職業奉仕」を寄稿 ・1/13職業奉仕フォーラムを開催
50	2017～18	村田 好謙	磯田 好計	・7/29ロータリー職業奉仕研究会に参加(メルパルク京都) ・9/3職業奉仕担当者懇談会に参加(キャンパスプラザ京都) ・1/14職業奉仕活動委員会に参加(京都テルサホール) ・1/23～27「モノ作りを職業とする会員による展示会」を開催(京都東RC会員も協賛)

国際奉仕委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	川中 丈嗣	知公 智之	・8/29地区委員長会議(長浜ロイヤルホテル) ・9/25国際少年交換学生応募者面接(宮田由紀) ・11/30クラブフォーラムで『外国人留学生よもやま話』留学生館長、宮武健二郎 ・12/15山科留学生寮歳末パーティーの参加 ・1/13留学生交流ボーリング大会(ロイヤルホール)。安兵衛で懇親会 ・4/3国際少年交換「帰国派遣学生報告会」(目が濱ロイヤルホテル) ・5/15青少年・社会奉仕合同で「スピーチコンテスト」開催(東山閣) ・6/12～15台湾国際年次大会及び新竹RC姉妹クラブ提携更新式に参加
27	1994～95	井上 武男	石原 隆光	・11/29クラブフォーラムで「国際理解を深めるためには」の話しMr.ハル・コールド氏 ・12/11～14新竹RC姉妹クラブ創立40周年記念式典に参加交流する ・1/12留学生交流ボーリング大会(ロイヤルホール)。 ・クラブ推薦の佐々木美由紀氏がGSEに合格。37日間フランス・リールへ研修旅行 ・地区青少年交換奨学生にクラブ推薦の宮田道人君をブラジル派遣。交換学生としてブラジルの高校生ルイス君を受け入れ
28	1995～96	末松 哲夫	井上 幸次	・クラブ事業「乗鞍登山」に国際留学生寮生10名、松本RC留学生10名招待 ・1月に留学生交流ボーリング大会(ロイヤルホール)。 ・交換留学学生ウェリントン君を受け入れ(カウンセラー井上武雄) ・カルガリー国際大会に、末松・増田紘明の2名が参加
29	1996～97	手塚 石雲	高山 雄	・アジア大会に10名が参加(バンコク) ・山科留学生寮歳末パーティーの参加 ・留学生交流ボーリング大会(ロイヤルホール)。 ・オーストラリア9640地区4クラブ調査、Robne WoodRCヨリ打診受ける
30	1997～98	中村 翠嵐	渡辺 剛士	・11/18クラブフォーラムで地区社会奉仕委員長に「ラオスでの小学校建設」講話を聞き、例会食を「ラオスランチ」と称し節食例会にして差額を学校建設に寄付 ・12月上旬に創立30周年事業「留学生日本語小論文」を募集 ・12/16年忘れ家族会に留学生6名を招待 ・1/19～21新竹RC姉妹クラブに、当クラブ創立30周年式典参加を招請 ・1/19留学生交流ボーリング大会に33名を招待(ロイヤルホール)。 ・4月に山田三郎がバナーより、留学生の小論文冊子を地区大会に配布要請
31	1998～99	高山 雄	佐貫 将一	・7/28国際奉仕関連委員会に出席(都ホテル) ・9/1ハプアニューギニア津波被害に義捐金送金(105,000円) ・11/17クラブフォーラムで「私の見た日本」をテーマに3名の留学生を交え開催 ・1/22留学生交流ボーリング大会に25名を招待(ロイMKホール)。 ・6/15ポリオプラス寄付募集活動実施(84,000円)
32	1999～2000	松井 信五	鈴木 敏治	・9/24地区合同国際奉仕委員長会議に出席 ・11/6国際交流会館10周年記念事業に寄付 ・9/24地区合同国際奉仕委員長会議に出席 ・11/30クラブフォーラムで「ポリオプラス2000年根絶について」の話しを地区世界社会奉仕委員長を招き聴講 ・12/11～13新竹RC姉妹クラブ創立45周年式典及び姉妹提携更新式に出席 ・12/14山科留学生寮歳末パーティーの参加 ・1/21留学生交流ボーリング大会に30名を招待(ロイMKホール)。 ・4/7～9新竹RC主催の3500地区大会に参加
33	2000～01	植野 清富	稲本 初弥	・「チベットでの小学校建設」事業を通して神前綱領卯を図る ・10月「西太平洋地域ポリオ根絶京都会議」の出席 ・12月山科留学生寮クリスマスパーティーの参加 ・1月留学生交流ボーリング大会を開催し、留学生を招待(ロイMKホール)。
34	2001～02	塩路 徹	平田 清嗣	・12/21山科留学生寮歳末パーティーの参加 ・「留学生が見た日本」をテーマに写真コンテスト開催に協力

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
35	2002～03	渡辺 剛士	宮本 博史	・10/27「留学生と共に体験する座禅と聞香」を大徳寺で開催し13名招待。終了後ホームビジットを会員家庭に招き夕食 ・11/12クラブフォーラムで「カンボジアの悲劇と報道」を元朝日新聞社カンボジア特派員、井川一久氏の講演を夫人同伴例会で公聴 ・5/27ポリオプラス節食ラントを実施し差額+10万円を拠出
36	2003～04	西村正一郎	平岡幹之助	・「ロータリークラブ」をテーマに留学生にレポートを募集(22名)入選者に奨学を授与 ・クラブフォーラムで「ロータリークラブ」テーマレポートの発表と意見について討論を行う ・11月には新竹RC姉妹クラブに同行
37	2004～05	名筋 淳二	村田 佳弘	・7/27強と国際交流会館に訪問し、館長と懇談 ・10/3洛東RCとの合同家族会(琵琶湖)に留学生招待(14名) ・12/14～16新竹RC創立50周年式典及び姉妹クラブ提携更新式に参加 ・12/22「留学生との懇親会」に参加 ・1/25クラブフォーラムで「NGO活動の現状と危機管理」の講演を「アイユーゴー」代表理事新田幸夫氏を招く ・4/3ロータリー100周年記念で、新竹RCより贈られた「友愛の桜」と記念碑を京都市に寄贈贈呈式を実施 ・ロータリー100周年記念にポリオプラス財団基金に寄付 ・中国語同好会を通し国際理解を推進
38	2005～06	小坂 文夫	鈴木 敏治	・中国語同好会を通し国際理解を推進
* 本年度よりCLP採用により、奉仕プロジェクト委員会配下に配属される				
39	2006～07	岩本 一	小原 晃	・2/11～14姉妹クラブ委員会合同でグアム「タモンベイRC」を訪問
40	2007～08	宮本 博史	竹本 昌生	・新竹RC姉妹クラブ活動の要請を受けマッチンググラント実施 \$ 1000を拠出 ・「国際留学生寮写真コンテスト」に協賛(50,000円) ・JICAで活躍のRAC卒業生、河津那宜君のトンガ高校へ活動費(25,000円)
41	2008～09	井上 武雄	木村 茂	・3/31～4/2国際理解と国際平和推進目的に香港のRCに訪問(16名)
42	2009～10	手塚 石雲	名筋 淳二	・新竹RC姉妹クラブ提携更新を行なう ・クラブフォーラムを行い「海外姉妹クラブのありかた」を討議
* 本年度より再び奉仕プロジェクト委員会より、離れ理事会メンバーに復帰				
43	2010～11	小森 直之	西村 孝之	・新竹RC姉妹クラブ例会に表敬訪問
44	2011～12	小森 直之	小野 富造	・新竹RC姉妹クラブ提携更新を行なう ・クラブフォーラムを行い「WCOのありかた」を討議
45	2012～13	平野 俊雄	塩路 徹	・5/17～18広島で開催の「世界平和フォーラム」に出席(6名) ・6月開催のリスボン国際大会に5名が参加
46	2013～14	今村 晋平	井上 勝	・東福寺で開催される「施餓鬼会」臨済宗講話の留学生8名を招待 ・クラブフォーラムで「留学生が望む国際奉仕」について、2名の留学生意見聞く
47	2014～15	安澤 英治	城山健太郎	・「ケール京都」をテーマに留学生に論文募集、入賞者に奨学金・金沢旅行招待 ・金沢南RCと合同で、金沢、京都の留学生の交流を実施 ・新竹RC姉妹クラブ例会に表敬訪問
48	2015～16	安澤 英治	井上 武雄	・クラブフォーラムで、勧告留学生2名と文化・風習・週間等にゆいて討論 ・新竹RC姉妹クラブ例会に表敬訪問 ・ソウル国際大会に参加 ・スウェーデン・アメリカ・中国・韓国・インドネシアの留学生を招き天竜寺で座禅、精進料理の体験を実施
49	2016～17	安澤 英治	戸田 義高	・7/31国際奉仕セミナーに出席 ・12/13台湾新竹RC創立62周年記念式典に出席 ・5/20「留学生と日本文化体験会」事業を実施:大徳寺大慈院にて参加留学生:中国5名・ベトナム4名・インドネシア2名・米国1名・イタリア1名・ギリシャ1名・韓国1名
50	2017～18	吉田 武雄	関根 淳子	・7/22 2650地区国際奉仕セミナー参加(京都商工会議所) ・11/11国際大会説明会に2名参加(京都市リサーチパーク) ・5/20「Do You Know『奉仕(Ho No)』?」開催(豊国神社本殿・拝殿・宝物館及び茶室)14か国31名の大学生が参加

社会奉仕委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	細谷正八郎	竹市 泰和	・「ふれあい山科'94区民まつり」に協賛 ・職業ほうし・国際奉仕・青少年等委員会と合同で「明日の生活、仕事に対して前向きな自分を発見する”ライフアドバイザー講座”」を開催
27	1994～95	今川 武志	植野 清富	・災害義捐金に協力(北海道南西沖地震・バングラデッシュ痴呆等3カ国・鹿児島豪雨及びミシシッピー水害・米ロスアンゼルス均衡地震) ・1/25社会奉仕担当フォーラムに京都市民生高齢化担当村田清氏の話聴衆
28	1995～96	城山健太郎	西村洋一郎	・818～20クラブ統一事業(乗鞍登山と合同サマーキャンプの集い)に協力 ・「年忘れ家族会」で親睦の協力を得て、オークションを実施(682,000円)
29	1996～97	安倍 秀風	川中 丈嗣	・7/6「ふれあい山科」に協賛金寄贈 ・11/2地区社会奉仕委員会に出席 ・12/2地区骨髓バンク援助基金へ寄贈 ・1/19日本海原油流失ボランティア高校生へ物品寄付、2/18支援金拠出 ・3/23山科少年消防クラブへ防火立看板を寄贈
30	1997～98	杉崎 則夫	谷川 博造	・5/10ボランティア委員会と合同で知的障害者70名余「琵琶湖シガン」に招待
31	1998～99	川中 丈嗣	六車 雄二	・9/12強と南地区社会奉仕委員長会議に参加 ・9/23「ふれあい山科」に参加。10/20例会で「ふれあい山科98」協賛金 ・10/27山科RC例会において「社会奉仕について」を会員がスピーチ ・11/7地区社会奉仕委員長会議に出席(ホテル京阪) ・1/19当委員会クラブフォーラムで「地球環境と私達」テーマで浅岡美恵氏(気候フォーラム代表)の講演を拝聴 ・4/13当委員会企画運営の京都市「東部山間埋立地」見学し講演を聞く
32	1999～2000	宮本 博史	竹市 泰和	・7/17職業奉仕委員会と合同で、やまのな学園の知的障害者を「祇園祭山鉦巡行観賞」に招待 ・1/18当委員会担当のラルフォーラムで「水」を取り上げ環境問題を考える
33	2000～01	中嶋 克美	小森 直之	・9/23「チベットの教育の花を咲かそう」チャリティーコンサートに協力 ・9/23・11/23地区社会奉仕委員長会議に参加 ・10/18「三宅島災害義捐金」寄付。10/31「京都府共同募金会」に寄付 ・11/3山科学園「やったね秋まつり」に参加。売上(132,050円)を寄付 ・11/28「鳥取西部地震災害義捐金」。2/27「エルサルバドル・イント」地震義捐金 ・1/23社会奉仕フォーラムで「ハンディのある子もない子と共に」講師 谷内文子氏
34	2001～02	手塚 石雲	井上 春峰	・西野小学校で作陶指導及び野焼きを行なう ・清水焼団地の「楽陶祭」に地域の幼稚園児を保護者同伴で招待 ・東部文化会館での「教育のひろば」で作陶品を展示、表彰する ・点訳サークル「コスモス」の地下鉄構内展示地図作成に協力 ・クラブフォーラムで「環境行政に従事して」スピーチを聴衆(舞鶴RC会員荒木邦雄)
35	2002～03	岩橋 忠昭	六車 雄二	・35周年の節目に《山科駅前の桜の名盤・牛尾山の防火看板》メンテナンス ・社会奉仕フォーラムで「私立学校における児童・生徒の現状と課題」の講演を聴衆(教育委員会生徒指導課長) ・西野小学校が市の「伝統産業の息吹にふれる」活動に「陶芸教室一本焼きにチャレンジ」に協力 ・3/2山科少年活動センターへ「雛人形」を寄贈し、講演会を開催
36	2003～04	横尾 浩志	小山 信一	・4/18「ハートフルPOPコンサートin山科・醍醐」を開催、総勢460名(東部文化会館)
37	2004～05	松井 信五	横尾 浩志	・11/14「山科合同福祉フェスタ」やったね秋まつり」の後援 ・12/5「山科区民歩こう会」を主催し、参加者450名の区民と触れ合う ・4/3環境保全委員会と合同で山科川の環境ウォーク実施 ・社会奉仕フォーラムで「山科区と体振の関わりと区民歩こう会」の後援を聴衆(山科区体育振興会会長山口幸秀氏)

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
38	2005～06	西村正一郎	横尾 浩志	・クラブが過去に行なった事業のメンテナンスを11/23新竹RCから寄贈の、勸修寺公園の「桜の苗木」に保護柵、山科川に植樹に協力した園児の名盤 ・2/19山科駅前の「しだれ桜」に『柵』を寄贈
39	2006～07	中嶋 克美	薮下 清三	・11/23「ふれあい山科区民まつり」に協力参加 ・12/3「区民歩こう会」・1/9「大宅一里塚保全事業」・5/27「子供文化フォーラム」に協力参加 ・5/13「山科ホテルネットワーク」ホテル飼育箱へ助成
40	2007～08	村田 佳弘	稲本 初弥	・地域社会活動に助成協力。7/7「山科ホテルネットワーク」・11/23「ふれあい」山科2007区民まつり・12/2「区民歩こう会」・2/10「山科区民栄誉賞」・4/8山科老人クラブ連合会発行冊子「やましの団地」・6/8「子供文化フォーラム」
41	2008～09	中村 弘吉	木村 茂	・10月「山科ホテルネットワーク」・1月「やましの九人栄誉賞」・5月「子供文化フォーラム」の各事業に助成協力 ・12月ロータリー外活動事業「院内学級クリスマス会」に協力
42	2009～10	谷川 博造	小山 信一	・10/24「留学生のための体験フェスティバル」を開催(国際交流会館)参加100名 ・「ふれあい」山科「2009区民まつり」に、協賛(50,000円)
43	2010～11	手塚 石雲	竹市 泰和	・11/21「子ども達に素敵な1日を」新世代委員会と合同で開催(東部文化会館)会員44,R関係者12,協力団体38、龍大ボランティア18、招待者87,一般者300 ・「ふれあい」山科「2010区民まつり」に、協賛(50,000円)
44	2011～12	森里 秀夫	横尾 浩志	＊本年度新設された環境保全委員会が社会奉仕委員会と合同で活動 ・「山科かるた」を地域の子ども達育成の一環として、制作に取り組む ・「山科醍醐子供ひろば」主催の〈町たんけん〉活動に協賛
45	2012～13	中村 弘吉	安澤 英治	・45周年事業「障害のある人もない人も一緒に走る」宝ヶ池ファミリーマラソンに委員会上げて活動 ・「ふれあい」山科「2012区民まつり」・「やましの栄誉賞」に協賛 ・京都市教育委員会と共催の「コンサート」に寄付
46	2013～14	塩路 徹	森 俊次	・2/8、9・2/22,23「小・中学生による作陶&茶会」に100名の参加者
47	2014～15	坂田 均	今村 晋平	・奉仕プロジェクト指示のもと、「地域の子ども達に歓声と笑顔の一日を」の事業に委員会挙げて活動(東部文化会館)〈かるた取り大会・映画鑑賞・子ども劇〉の3部構成で開催、ホール満席の大成功(550人)
48	2015～16	郡 正樹	磯田 好計	・奉仕プロジェクト委員会指導の下、「魚つかみと昔遊びのわくわく体験」イベントに委員会挙げて活動 ・「熊本地震被災者支援プロジェクト緊急支援」に350万円を大分キャンピタルRCに ・ロータリー外奉仕事業「院内学級およびリレーフォーライフ」に活動協力
49	2016～17	安澤 英治	戸田 義高	・活動計画の「ネパール医療ミッション」でグローバル補助金を申請・獲得に全力で取り組みましたが、諸事情により実施を断念したことは誠に残念です ・「山科区民ふれあい事業」に協賛
50	2017～18	本田 修造	名筋 淳二	・「山科区民ふれあい事業」に協賛・やましの栄誉賞協賛金(50,000円)

青少年奉仕委員会〈青少年委員会⇒新世代委員会(2012～)⇒青少年委員会(2014～)⇒新世代委員会(2016)

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	木村 安輝	小林 一恵	・11/22・123・28第12回「学童野球大会」開催(勸修寺グラント)21チーム、420名 ・5/15「語りたいことを」テーマにスピーチコンテスト開催。12名の留学生・若者参加 ・9/21クラブフォーラムで平安女学院大学の日高正宏先生の講演を聞く ・5/27～29地区主催「次世代を担うリーダー育成セミナー」に参加(厚生年金センター)
27	1994～95	川中 丈嗣	佐貫 将一	・9/20クラブフォーラムで「親の心、子の心」テーマで元小学校校長小笹次夫氏の講演を聞く ・11/20・123・27第13回「学童野球大会」開催(勸修寺グラント)22チーム、440名
27	1994～95	川中 丈嗣	佐貫 将一	・4/23「消防クラブ」入会式で小学生40名に制服を寄贈(山科消防署於) ・5/20「ライフアドバイザー講座」に協賛
28	1995～96	佐貫 将一	西村 孝之	・8/18～20「乗鞍登山サマーキャンプ」事業に協力活動 ・9/26クラブフォーラムで「青少年と共に」テーマで京都市少年消防クラブ佐藤良一氏の講演を聞く
29	1996～97	橋本 幸夫	渡辺 剛士	・8/10～24第15回「学童野球大会」開催(勸修寺グラント)18チーム、400名 ・「野球をしていて楽しかったこと、よかったこと」をテーマに学童野球選手の作文を募集し、入選者を表彰(投稿者118名)小冊子を刊行
30	1997～98	内海 正三	知公 智之	・9/16クラブフォーラムで「委員会事業活動について」討議 ・10/14山科少年消防クラブへ制服50着を寄贈 ・11/16・124・12/7第15回「学童野球大会」開催(勸修寺グラント・宇治川グラント) ・5/15～17地区主催ライラに同行参加
31	1998～99	今井 武男	井上 春峰	・9/22クラブフォーラムで「福祉の道に進んだ動機や抱負」をやましな学園指導者、竹内竜也氏の話を聞く ・11/13・15第17回「学童野球大会」開催(勸修寺グラント) ・5/14～16地区主催ライラに同行参加
32	1999～2000	知公 智之	名筋 淳二	・9/26クラブフォーラムで「新世代問題について」RAC会員参加で討議 ・10/24・11/3・7第18回「学童野球大会」開催(勸修寺グラント)27チーム ・5/19～21地区主催ライラに同行参加
33	2000～01	手塚 石雲	浅見五郎助	・8/21・7/7山科百々小学校で小学生対象に、陶器作り・野焼きを実施 ・10/3クラブフォーラムを開催 ・5/18～20地区主催ライラに同行参加
34	2001～02	植野 清富	江川 寿明	・10/9クラブフォーラムで「地球と結ばれた教育」を教育委員会の花嶋しよ詳宜氏の講演と質疑応答 ・11/11・23・12/16第19回「学童野球大会」開催(勸修寺・宇治川グラント) ・12/16「新世代のためのコミュニケーション」をテーマに会議開催 ・5/17地区主催のライラに同行参加
35	2002～03	西村正一郎	本田 修造	・10/20・11/4・10第20回「学童野球大会」開催(勸修寺グラント) ＊今回を持って、学童野球大会事業を終了する ・12/24山科少年活動センター主催『山科DEサタ』協力・支援 ・5/16～18地区主催のライラに同行参加
36	2003～04	井上 春峰	浅見五郎助	・11/26,27京都私立西野山小学校生徒に「焼き物制作」の指導を実施 ・12/24山科少年活動センター主催『山科DEサタ』協力・支援 ・3/26～28地区主催のライラに同行参加 ・4/18「ハートフルPOPコンサートin山科・醍醐」事業えお社会奉仕委員会と合同で開催(東部文化会館)障害者達470名招待
37	2004～05	戸田 義高	手塚 石雲	・11/1,2京都私立西野山小学校生徒に「陶器作り」の指導を実施 ・12月に山科少年活動センター主催『山科DEサタ』協力・支援 ・5/13～15地区主催のライラに同行参加

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
38	2005～06	西尾 修	今村 晋平	・11/15～12/6開催された日本学生支援機構主催「写真展」に資金協力 ・12/24山科少年活動センター主催『山科DEサタ』協力・支援 ・4/1山科音羽川グリーンゾーン・ピオークにベンチ・枝垂桜寄贈 ・5/12～14地区主催のライラに同行参加 ・6/8勸修寺音羽川桜並木に石柱・陶器製名盤を設置
* 本年度CLP採用により奉仕プロジェクト委員会配下に所属し理事会メンバーをはずれる				
39	2006～07	小森 直之	柴田 義典	・11/18～19地区主催のライラに同行参加 ・12月山科少年活動センター主催『山科DEサタ』参加
40	2007～08	西村正一郎	末松 哲夫	・7/14地区主催の「新世代担当会議」に出席 ・以前実施していた「学童野球大会」に関するアンケート実施 ・12月山科少年活動センター主催『山科DEサタ』参加・協力 ・4/13・5/16～18地区主催のライラに同行参加
41	2008～09	柴田 義典	知公 智之	・「学童野球大会」を開催 ・12月山科少年活動センター主催『山科DEサタ』参加・協力 ・地区主催のライラに同行参加
42	2009～10	横尾 浩志	植野 清富	・10/12NPO山科・醍醐こどもの広場「こども創作劇」に協賛(100,000円) ・12/22月山科少年活動センター主催『山科DEサタ』参加・協賛(100,000円) ・4/23～25地区主催のライラに同行参加
43	2010～11	岸 弘祐	西尾 修	・7/10第1回・1/11第2回「新世代担当会議」出席 ・7/29「新世代・青少年交換担当委員長会議」出席 ・5/20～22地区主催のライラに同行参加
44	2011～12	柴田 義典	長尾 眞志	・5/18～20地区主催のライラに同行参加
* 本年度より、青少年奉仕から新世代奉仕に名称変更され、理事会メンバーとなる				
45	2012～13	福留 幸一	西尾 修	・各所属委員会会議に出席 ・5/17～19地区主催のライラに同行参加
46	2013～14	森 俊次	名筋 淳二	・7/6第1回・1/18第2回「新世代担当会議」出席 ・5/16～18地区主催のライラに同行参加 ・6月「子どもの文化フォーラム」に協賛
47	2014～15	中塚 浩	西村 孝之	・9/16クラブフォーラムで福留会員による「IACカンボジア滞在報告」を聞く ・11/24「地域のこどもたちに歓声と笑顔の1日を」の事業の活動協力 ・1/17青少年担当者会議に出席 ・2月RACより海外研修(シンガポール)に補助金拠出 ・5/15～17地区主催のライラに同行参加
48	2015～16	竹之内米貴	小林 一恵	・7/12「地区青少年グループ会議」・「1/16青少年奉仕担当会議」出席 ・4/10「魚つかみと昔遊びわくわく体験」事業に合同協力 ・5/17クラブフォーラムで「APRRC2016報告」を聞く ・5/20～22地区主催のライラに同行参加
49	2016～17	郡 正樹	西村 孝之	・7/16「祇園祭ごみゼロ大作戦」のボランティア活動に参加 ・7/23青少年奉仕委員長会議に出席 ・5/19～21RYLAにRAC会員の亀井敦史君・北野勇樹君が参加に委員長同行 ・5/23青少年奉仕月間にクラブ・フォーラムを開催 ・「希望の風」寄付boxを設置し寄付を募る
50	2017～18	岡武 和暁	山田幸一郎	・10/21,22IAC地区大会ホスト校の指導、協力に尽力 ・8/1～6海外研修生をカンボジアに1名派遣 ・2/18京都マラソン給水ボランティア活動にRAC・IAC会員を参加させる ・7/15祇園祭清掃ボランティアにIAC会員と共に活動 ・RACの院内学級(京都大学医学部附属病院)などで院内学級活動実施 ・4/17青少年奉仕委員会担当でフォーラムを開催 ・RYLA5/18～20に室岡大介君を参加させるため ・RACを当年度6月末で創立から35年間の幕を閉じる

ローターアクト委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	細谷正八郎	宮本 博史	・RAC活動「チャリティーパーティー」の収益金をJOCSに寄付活動のため、会員に商品の提供を依頼し協力を得た(244,796円) ・RAC協力活動「視覚障害者教会山科支部」5年表彰授受、委員会が支援
27	1994～95	佐貫 将一	木村 秀雄	・RAC例会に会員出席を喚起するため、次年度よりメーキャップ扱いが決定 ・RAC活動「チャリティーボーリング大会」の収益金を阪神大震災義捐金寄付の為会員に商品の提供を依頼し協力を得た(50万余円) 〈RAC会員23名〉
28	1995～96	西村 孝之	川中 丈嗣	・クラブ事業にRACの積極的参加を要請(年忘れ家族会・金沢南RC合同例会) ・RAC300回記念例会・サマーキャンプ・GSE勉強会・会員増強パーティー・春、夏合宿を身障者と共に染色を愉しむ催し)に支援協力参加
29	1996～97	阿部 勲	杉崎 則夫	・RACに対し会員の理解が深まり(年間110名出席)。地区からベスト提唱クラブ賞2位を授受 ・RAC活動に積極参加(夏合宿・カヌー例会・松茸バーベキュー・山科別院チャリティーハザー・「再発見 日本の心」体験教室)
30	1997～98	日比野 修	西村 孝之	・RAC創立15周年を迎え、提唱クラブにガハナー章・フレンドシップショウを授受 ・RAC例会の会員出席172名(年間)・15周年式典117名(婦人共)
31	1998～99	知公 智之	浅見五郎助	・RAC例会の会員出席159名(年間) ・RAC例会に会員が積極的にスピーチを実行
32	1999～2000	浅見五郎助	福住 清之	・「世界RA習慣認証参加 4つのプログラム」を実施 ①RAC未提唱RCに提唱を促がす②RAC例会にRC会員招待(15名) ③RC例会にRAC会員招待(7名)④RACと共同事業実施「山科川清掃」
33	2000～01	福住 清之	柴田 義典	・RAC例会の会員出席212名(年間)
34	2001～02	柴田 義典	本田 修造	・RAC例会に会員が積極的にスピーチを実行
35	2002～03	本田 修造	西村 孝之	・RACに対する活動に4つの小を授受①ガハナー賞(意義あるRAC活動賞) ②ベスト提唱RC出席率賞(3位) ③ベスト提唱RC出世奇数賞(1位) ④出席率優秀クラブ賞(1位)
36	2003～04	城山健太郎	西尾 修	・RAC500回記念例会・富士登山・「アクトの日」野外活動・バーベキュー例会・会員増強異業種交流合同例会・合宿例会・16RAC合同例会に協力参加
37	2004～05	西尾 修	藪下 清三	・RAC増強に協力し2名の新会員が誕生した
38	2005～06	藪下 清三	山本 真也	・綾部・亀岡RAC合同例会に同行参加
39	2006～07	清水 泰博	江川 寿明	・RAC活動に協力参加(「やましなふれあいフェスタ」・「西のふれあい広場」・「アクトの日」・石川県小松RAC京都訪問)
40	2007～08	岩本 一	清水 泰博	・RAC活動に協力参加(「ワイワイ広場」・「京都私立桃陽総合支援学校夏祭り」・アクトの日・ボウリング例会・兄弟病院「院内学級クリスマス・新年例会・「西のふれあい広場」・25周年記念事業「Wii体験」・「ヲタ文化」講座例会・ヒリヤード例会・RAC地区大会綾部) ・RAC例会に会員スピーチ((9/11浅見・11/13福留・1/22松井・4/8戸田座禅講座) ・4/22RAC創立25周年記念式典に会員44名が参加
41	2008～09	藪下 清三	岩本 一	・RAC例会・事業活動に積極的に参加協力支援。RAC会員数10名
42	2009～10	戸田 義高	富永 泰彰	・RAC例会・事業活動に積極的に参加(院内学級・大文字山清掃等)
43	2010～11	川勝 裕之	中部 健	・RAC例会・事業活動に積極的に参加協力支援
44	2011～12	川勝 裕之	山本 真也	・RAC例会(24回)・理事会(5回)・事業活動(京大院内学級・ハザー・ボウリング例会・ヤレヤレ会・5/25Aゾーン合同例会)参加、活動協力

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
45	2012～13	山本 真也	岡武 和暁	・RACの院内学級活動(京大病院・府立医大・第二日赤)に協力参加 ・RACの例会に会員が卓話(安倍・松下・森里・大木義・岸・岡武・山本) ・4/21RAC30周年記念式典に会員他120余名が参加(ウエスティン都ホテル)
46	2013～14	竹之内米貴	小森 直之	・RACの院内学級活動(京大病院・府立医大・第二日赤)に協力参加 ・RA第3回「リレー・オフ・ライフin京都」に協力参加 ・京都西RAC,京都紫野RAC合同例会に参加 ・東山IACと合同例会を開催
47	2014～15	岡武 和暁	中村 吉晴	・RAC例会、理事会に参加、支援 ・RACの例会に5名の会員が卓話 ・RACの院内学級活動の協力参加、支援。地区〈新世代育成基金奨励金〉受賞 ・RA第4回「リレー・オフ・ライフin京都」に協力参加 ・RA海外研修に支援(2月シンガポールへ木村君) ・RYLAにRACの福井君・安倍君・木村君を参加させる
48	2015～16	川勝 裕之	中西 敏之	・RAC例会、理事会に参加、事業活動にも協力支援 ・RACの例会に会員が協力し卓話を実施 ・RACの院内学級活動の協力参加、支援 ・RA第5回「リレー・オフ・ライフin京都」に協力参加 ・RYLAにRACの会員を参加させる
49	2016～17	中西 敏之	井上 正博	・7月:所信表明/京都東山RC合同納涼家族会/ソーン代表公式訪問 ・RACの院内学級活動の協力参加、支援 ・RACの例会に会員が協力し卓話を実施 ・「年忘れ家族合同例会」 ・「京都マラソン」給水ボランティアにRAC参加
50	2017～18	中村 吉晴	安倍 秀風	・京都大学医学部附属病院などで「飛び出す絵本」を院内学級の生徒と作成 ・京都伏見RAC/京都洛北RACと合同例会にて交流 ・創立35年をもって会員数減少で継続が困難になり、RACを終結に至る

インターアクト委員会

＊クラブ創立45周年事業の一環として、京都東山中学・高等学校インター・アクトクラブを提唱し、2012年11月25日に創立総会を挙行(設立に当たっては、木村 安輝会員の多大な努力があった)

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
46	2013～14	木村 安輝	福留 幸一	・7月祇園祭、清掃ボランティアに参加 ・9月学園祭に於いて、模擬裁判の指導を会員が行なう ・クラブ事業にAIC会員を参加させる(2月「抹茶茶碗作陶」・「京都マラソン給水ボランティア」・3月「RACフボウリング親睦例会」・「地区大会青年交流会」・4月RC「お抹茶例会」) ・4回のRAC例会に出席
47	2014～15	木村 安輝	布施 栄一	・7月祇園祭、清掃ボランティアに参加 ・クラブ事業にAIC会員を参加させる(2月「京都マラソン給水ボランティア」・4月RACフボウリング親睦例会」・「地区大会青年交流会」) ・8月IAC海外研修(カンボジア)に2名を支援参加させる ・11月IAC地区大会に同行参加。IAC例会2回参加
48	2015～16	中村 吉晴	木村 安輝	・7月祇園祭、清掃ボランティアに参加 ・8月IAC海外研修(カンボジア)に2名を支援参加させる ・11月IAC地区大会(奈良一乗高校)に同行参加。
48	2015～16	中村 吉晴	木村 安輝	・クラブ事業にAIC会員が参加する(2月「京都マラソン給水ボランティア」・4月クラブ活動事業(百々小学校)・8月クラブ例会に「海外研修カンボジア」報告スピーチ) ・熊本地震ボランティアに5名のIAC会員を参加させる。 例会3回参加
49	2016～17	岡武 和暁	中村 吉晴	・10/22例会に牧野誠司君・山田幸一郎君に卓話で交流 ・5/10例会に茂山良暢君に卓話で交流 ・11/22～23IAC地区大会のホストを無事務める。委員会として早くからあらゆるサポートを務めた ・7/30～8/5カンボジア海外研修に2名参加させる ・RC事業への参画/RCとの交流 2/19「京都マラソン給水ボランティア」:7/16「祇園祭清掃ボランティア」 ・3/14RAC例会にIAC会員を出席させ交流を図る
50	2017～18	山田幸一郎	山本 真也	・7/15、8/1、10/7、1/6に例会を開催 ・10/21,22に次年度地区IAC会長・6/17に幹事研修会をホスト校として開催 ・8/1～6カンボジアに海外研修へ1名参加 ・東ロータリークラブ事業〈50周年記念事業準備8/5・50周年記念式典での呈茶席協力4/2・京都マラソンボランティア活動2/18〉 ・祇園祭の清掃ボランティア活動7/15 ・IAC交流活動(東山・洛星・聖母・洛西)

会員増強委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	末松 哲夫	前林 正典	・前期2名(江川・岩本)、後期2名(坂田・辻野)の増強を納めた
27	1994～95	若山 敬祐	日比野 修	・9名増強計画は1名(中井辰昭)の入会に留まり、退会者、逝去が4名
28	1995～96	西尾 重雄	木村 茂	・前期2名(岩井・横井)後期3名(岩橋・水内・水道)増強。退会者7名
29	1996～97	佐貫 将一	内海 貴夫	・前期4名(小坂・金子・柴垣・清水)後期1名(中井)の5名増強
30	1997～98	末松 哲夫	布垣 裕嗣	・前期4名(中井・名筋・高橋・小森)4名の増強
31	1998～99	横井 康治	坂田 均	・4名の増強(柴田・宮下・山口・辻中〈再入会〉)。退会者が12名出た
32	1999～2000	平田 清嗣	竹本 昌生	・前期3名(岩井・本田・吉藤)0入会。退会者が9名
33	2000～01	岸 信太郎	知公 智之	・5名の増強9平岡・片山・西尾・渡辺民・天野)。退会者1名
34	2001～02	増田 紘明	小野 富造	・後期に3名増強(千代島・藪下・山本)。退会者3名
35	2002～03	* 本年度より会員退会防止委員会が新設され、増強委員会が兼務する。		
		竹市 泰和	井上 澄男	・入会者2名(福田・清水)。退会者5名(佐藤・千代島・水内・小坂・内海)
36	2003～04	木村 安輝	野村 泰三	・入会者1名(石井)。退会者3名(岡村・高倉・広岡)
37	2004～05	佐貫 将一	横田 治男	・本年度増強は0に終る。退会者2名が出る
38	2005～06	川中 丈嗣	六車 雄二	・入会者1名(水野)。退会者3名(石井・高谷・福田)
39	2006～07	* 本年度から退会防止委員会は無くなる		
		竹市 泰和	井上 澄男	・増強6名(中塚・福留・野村・宮川・東方田・富永)。退会者7名(金沢・六車・山本・水野・福住・岩井・片山)
40	2007～08	横尾 浩志	杉崎 則夫	・増強9名(川勝・森・山本・安澤・平野・井川・岸・森里・中部)。退会者8名(浅見・宮本・野村泰三・杉田・廣田・平田・井上春峰・説田)
41	2008～09	岩本 一	西出 澄弘	・岩橋増強理事の下、3名の増強(坂田〈再〉・村田・竹之内)に留まり、5名の退会者が出て、会員数は2名減となる
42	2009～10	末松 哲夫	中村 翠嵐	・5名の増強(吉田武・豊田・長尾・松木・中島)。退会者3名で純増2名
43	2010～11	松井 信五	塩路 徹	・4名の増強(郡・岡武・大木義・関根)も、6名の退会者で会員数2名減
44	2011～12	藪下 清三	中村 翠嵐	・5名の増強9橋本・上村・中川・佐々木・松下)。5名の退会者で純増)
45	2012～13	木村 安輝	佐貫 将一	・7名の増強(井上正・村岡・中村吉・布施・中西・福川・奥田)の成果。2名の退会者により、純増5名
46	2013～14	横尾 浩志	木村安・川勝	・増強は1名(谷口浩二)に留まり、退会者が7名も出、会員数が激減
47	2014～15	平野 俊雄	塩路 徹	・4名の増強(山田・青山・深海・寄本)で、青山真由美入会により、女性会員は4名となる。退会者が5名出て、純増は(一)1名
48	2015～16	坂田 均	井上 勝	・2名の増強(辻・牧野)。退会者が5名出たため、会員数は3名減
49	2016～17	本田 修造	横尾 浩志	・期首会員73名:期末会員70名/入会者6名:退会者8名(物故会員1名)
50	2017～18	川勝 裕之	青山真由美	・増強活動に努力すれど、まったく成果が出ない結果になりました

職業分類委員会

年 度		委員長	副委員長	会員総数	シニア会員	名誉会員	分類数	充填数	未充填	新設・抹消
26	1993～94	横田 治男	竹本 昌生	111	47	0	147	63	84	新設「不動産鑑定士」
27	1994～95	中村 翠嵐	横田 治男	108	48	0	149	59	90	新設「電信電話事業」 抹消「電気通信」
28	1995～96	竹本 昌生	前林 正典	106	51	0	153	54	89	新設「非鉄金属清造」 新設「商業弁護士」 新設「電気通信工業」 新設「スポーツ教育」
29	1996～97	前林 正典	小原 晃	108	57	0	155	50	105	新設「乾物卸」 新設「漬物清造」
30	1997～98	前林 正典	竹本 昌生	103	57	0	157	47	110	新設「百貨店」 新設「外食産業」
31	1998～99	宮元 博史	田村 和夫	95	55	0	158	39	119	新設「着物加工」
32	1999～2000	石原 隆光	若山 敬祐	89	51	0	159	37	122	新設「楽器販売」
33	2000～01	小山 信一	高倉 信夫	93	54	0	161	41	120	新設「建設請負業」 新設「住宅販売」
34	2001～02	高倉 信夫	谷川 博造	93	60	0	163	30	133	新設「和菓子小売」 新設「仏具清造」
35	2002～03	山中 鍬一	* 今年度よりシニア・アクティブ会員制度が廃止され会員・名誉会員のみとなる。							
			高谷 寿一	88		0	163	80	83	
36	2003～04	坂田 均	岩井 文彦	86		0	163	76	87	
37	2004～05	川中 剛嗣	井上 澄男	83		0	163	74	89	
38	2005～06	小林 一恵	* 今年度より会員選考委員会が職業分類委員会が兼務する事に変更される。							
			手塚 石雲	81		0	163	75	88	
39	2006～07	竹市 泰和	* 今年度よりC.L.P.導入に伴い会員増強が理事となり、職業分類部門がその配下と							
			井上 澄男	80		0	166	77	89	新設「布地販売」「獣医」 新設「クリーニング業」
40	2007～08	横尾 浩志	杉崎 則夫	81		0	168	75	93	新設「行政書士」 新設「スポーツ用品清造卸」
41	2008～09	岩本 一	西出 澄弘	78		0	169	73	96	新設「装粧品製造」
42	2009～10	末松 哲夫	中村 翠嵐	80		0	169	71	98	
43	2010～11	松井 信五	塩路 徹	78		0	170	74	96	新設「食料品販売」
44	2011～12	藪下 清三	中村 翠嵐	78		0	170	69	101	
45	2012～13	木村 安輝	佐貫 将一	83		0	172	69	103	新設「生花販売」 新設「高等教育」
46	2013～14	横尾 浩志	木村・川勝	77		0	173	70	103	新設「公務員」
47	2014～15	平野 俊雄	塩路 徹	76		0	174	64	110	新設「ITデザイン」
48	2015～16	坂田 均	井上 勝	73		0	175	67	108	新設「狂言師」 新設「土木業」
49	2016～17	本田 修造	横尾 浩志	70		0	175	61	114	
50	2017～18	川勝 裕之	青山真由美			0	175	61	114	

入会者及び退会者

年 度	入 会 者			退 会 者		
	入会月日	氏 名	推 薦 者	退会月日	氏 名	退 会 理 由
1993～94	1/18 1/18 6/ 7 6/ 7	江川 寿明 岩本 一 坂田 均 辻野 幸二	川中 丈嗣 ・ 六車 雄二 末松 哲夫 ・ 内海 正三 竹市 泰和 ・ 谷川 博造 今村 晋平 ・ 末松 哲夫	9/ 1 2/12 3/31	大野木繁夫 武田 文夫 那須 貞二	・逝去 ・逝去 ・健康上
1994～95	11/ 8	中井 辰昭	杉田 信夫 ・ 田村 和夫	11/ 5 11/10 1/27 2/20	茨木 弘三 宇野 久夫 西川 憲一 船越 和博	・逝去 ・逝去 ・逝去 ・勤務先転勤
1995～96	10/ 3 2/13	岩井 文彦 横井 康治 岩橋 忠昭 水内 喜廣 水道 啓	堀部 素弘 ・ 今井 武男 諏訪 蘇山 ・ 細谷正八郎 小林 一恵 ・ 横田 治男 竹市 泰和 ・ 知公 智之 高谷 寿一 ・ 大藤 光夫	1/31 2/14 3/ 2 6/ 7 6/30	今川 武志 山本 敏雄 矢口 一夫 谷口 良三 細谷正八郎 辻野 幸二 中井 辰明	・仕事繁忙のため ・逝去 ・逝去 ・逝去 ・逝去 ・一身上 ・一身上
1996～97	9/ 3	金子永次郎 小坂 文夫 柴垣 正彦 清水 邦明	野村 泰三 ・ 竹市 泰和 佐貫 将一 ・ 竹市 泰和 野村 泰三 ・ 阿部 勲 今村 晋平 ・ 小林 一恵	11/19 6/10	岩井 文彦 平塚 厚麿	・勤務先転勤 ・一身上
1997～98	7/ 8 9/30 12/ 9	中井 勝 名筋 淳二 高橋 泰行 小森 直之	堀部 素弘 ・ 佐貫 将一 川中 丈嗣 ・ 内海 正三 堀部 素弘 ・ 田中 久雄 小澤 利夫 ・ 小山 信一	7/ 6 2/16 3/30 4/ 1 5/31 6/ 1	砂崎 道夫 水道 啓 金子永次郎 浅田喜八郎 林 正良 中西美代蔵 布垣 裕嗣 槇原 一雄 嶋村 昭平	・逝去 ・勤務先転勤 ・一身上 ・逝去 ・一身上 ・逝去 ・一身上 ・一身上 ・一身上
1998～99	8/11 5/30	柴田 義典 辻中正雄(再) 宮下 博司 山口 博	武市 泰和 ・ 江川 寿昭 大木 博 ・ 若山 敬祐 高谷 寿一 ・ 大藤 光夫 小林 一恵 ・ 岩橋 忠昭	7/19 12/31 2/15 2/23 3/31 6/30	山本 久義 前林 正典 内海 正三 宮下 博司 川澄 正彰 日比野 修 清水 邦明 諏訪 蘇山 黒澤 巖 田村 和夫 村井 照男 高橋 康行	・逝去 ・一身上 ・一身上 ・勤務先転勤 ・一身上 ・一身上 ・勤務先転勤 ・逝去 ・健康上 ・一身上 ・一身上 ・勤務先転勤
1999～2000	9/ 7	岩井 文彦 吉藤 典男 本田 修造	堀部 素弘 ・ 今井 武男 田中 久雄 ・ 堀部 素弘 岩橋 忠昭 ・ 名筋 淳二	9/ 7 12/28 3/14 6/30	坪井 嘉蔵 西尾 重雄 小田 義彦 木村 秀雄 高山 雄 山口 博 阿部 勲 石本 常利 中井 勝	・一身上 ・一身上 ・逝去 ・逝去 ・一身上 ・勤務先転勤 ・一身上 ・一身上 ・勤務先転勤
2000～01	8/ 8	平岡幹之助 片山 好司 西尾 修	城山健太郎 ・ 横尾 浩志 竹市 泰和 ・ 柴田 義典 川中 丈嗣 ・ 江川 寿明	8/31	吉藤 典男	・勤務先転勤

年 度	入 会 者			退 会 者		
	入会月日	氏 名	推 薦 者	退会月日	氏 名	退 会 理 由
2000～01	8/ 8 11/ 7	渡辺 民雄 天野 公朗	増田 紘明 ・ 宮本 博史 田中 久雄 ・ 堀部 素弘			
2001～02	1/ 8 4/23	千代島道夫 藪下 清三 山本 富雄	小坂 文夫 ・ 岩井 文男 井上 武雄 ・ 今村 晋平 堀部 素弘 ・ 丈一 泰和	12/31 2/28 3/ 5 6/30	若山 敬祐 渡辺 民雄 天野 公朗 川崎 昭夫 増田 紘明	・一身上 ・勤務先転勤 ・勤務先転勤 ・勤務先転勤 ・一身上
2002～03	7/16	福田 正長 清水 泰博	小林 一恵 ・ 小原 晃 福住 清之 ・ 末松 哲夫	12/ 3 3/31 6/30	佐藤富士男 千代島道夫 水内 喜廣 小坂 進 内海 貴夫	・健康上 ・勤務先転勤 ・健康上 ・健康上 ・職務多忙
2003～04	4/ 6	石井 重基	小坂 文夫 ・ 松井 信五	9/30	岡村 博 高倉 信夫 広岡 泰	・健康上 ・健康上 ・健康上
2004～05				1/29 2/ 4 6/30	石原 隆光 田中 久雄 坂田 均	・逝去 ・逝去 ・一身上
2005～06	1/10	水野 雄三	名筋 淳二 ・ 本田修造	3/31 10/17 10/31	石井 重基 高谷 壽一 福田 正長	・勤務先転勤 ・逝去 ・退職
2006～07	7/18 10/17 5/22	中塚 浩 福留 幸一 野村 清孝 宮川 孝広 東方田寿一 富永 泰彰	佐貫 将一 ・ 末松 哲夫 小森 直之 ・ 中村 弘吉 井上 勝 ・ 渡辺 剛士 村元 健眞 ・ 竹市 泰和 橋本 幸男 ・ 渡辺 剛士 竹市 泰和 ・ 末松 哲夫	7/22 12/31 3/31 4/30 6/30	金沢三四造 六車 雄二 山本 富雄 水野 雄三 福住 清之 岩井 文彦 片山 好司	・逝去 ・一身上 ・勤務先転勤 ・勤務先転勤 ・健康上 ・退職 ・一身上
2007～08	7/17 1/ 8 4/ 1	川勝 裕之 森 俊次 山本 眞也 安澤 英治 平野 俊雄 岸 弘祐 森里 秀夫 中部 健 井川 正隆	柴田 義典 ・ 小森 直之 中村 翠嵐 ・ 井上 春峰 小野 富造 ・ 中村 翠嵐 小野 富造 ・ 渡辺 剛士 塩路 徹 ・ 稲本 初弥 木村 安輝 ・ 藪下 清三 山中 鏌一 ・ 渡辺 剛士 小森 直之 ・ 木村 茂 小森 直之 ・ 柴田 義典	12/31 4/ 8 6/30	浅見五郎助 宮本 博史 野村 泰三 杉田 信夫 平田 清司 廣田長三郎 井上 春峰 説田 武	・一身上 ・一身上 ・一身上 ・健康上 ・一身上 ・健康上 ・一身上 ・健康上

年 度	入 会 者			退 会 者		
	入会月日	氏 名	推 薦 者	退会月日	氏 名	退 会 理 由
2008～09	7/15 3/24	坂田 均(再) 村田 好謙 竹之内米貴	竹市 泰和・谷川 博造 中村 翠嵐・藪下 清三 杉崎 則夫・小森 直之	9/30	岸 信太郎	・健康上
				9/30	柴垣 正彦	・一身上
				10/31	増田 房二	・健康上
				1/31	江川 寿明	・一身上
				3/31	小沢 利夫	・一身上
				6/30	富永 泰彰	・一身上
2009～10	8/ 4 12/ 8 6/15	吉田 武雄 豊田 恵美 長尾 眞志 松木 一恭 中島 陽子	大木 博・太田 美実 藪下 清三・中村 翠嵐 柴田 義則・小森 直之 中村 翠嵐・手塚 石雲 今村 晋平・藪下 清三	7/ 1	橋本 幸男	・逝去
				1/31	宮川 孝広	・一身上
				3/31	東方田寿一	・退職
2010～11	01/19 12/14	郡 正樹 岡武 和暁 大木 義秀 関根 淳子	松井 信五・谷川 博造 小坂 文夫・本田 修造 松井 信五・井上 勝 木村 安輝・手塚 石雲	9/30	辻中 正雄	・健康上
				12/31	竹市 泰和	・職務多忙
				3/31	野村 清孝	・一身上
				6/30	村元 健眞	・一身上
					手塚 石雲	・健康上
2011～12	10/ 4 12/22 5/15	橋本 幸司 上村 承生 中川 公孝 佐々木虚室 松下 明史	渡辺 剛士・松井 信五 小野 富造・中村 翠嵐 川勝 裕之・小森 直之 中村 翠嵐・戸田 義高 清水 泰博・戸田 義高	9/30	松木 一恭	・一身上
					西村正一郎	・一身上
				10/13	中川 正文	・逝去
				12/31	豊田 恵美	・一身上
				3/31	井上 澄男	・一身上
2012～13	10/ 2 2/ 5	井上 正博 村岡 正浩 中村 吉明 布施 栄一 中西 敏之 福川 敦子 奥田 歓信	横田 治男・安倍 秀風 谷川 博造・小坂 文夫 城山健太郎・今村 晋平 川中 丈嗣・杉崎 則夫 中村 翠嵐・藪下 清三 川勝 裕之・柴田 義典 木村 安輝・横田 治男	12/31	長尾 眞志	・一身上
				6/30	村田 佳弘	・一身上
2013～14	11/26	谷口 浩二	井上 勝・横尾 浩丈	9/13	中嶋 克美	・一身上
				5/13	西出 澄弘	・逝去
				6/30	堀部 素弘	・一身上
					智公 智之	・一身上
					岩本 一	・一身上
					森 俊次	・一身上
					太田 美実	・健康上

年 度	入 会			退 会 者		
	入会月日	氏 名	推 薦 者	退会月日	氏 名	退 会 理 由
2014～15	7/29	山田幸一郎	岩橋 忠昭・森里 秀夫	6/30	平岡幹之助	・一身上
	6/ 2	青山真由美	鈴木 敏治・中塚 浩		西尾 修	・一身上
	6/ 2	深海 季生	川勝 裕之・福留 幸一	6/30	森里 秀夫	・一身上
2015～16					横田 治男	・一身上
	7/ 7	寄本 猛	川中 丈嗣・本田 修造	9/30	大木 博	・一身上
	11/12	辻 眞一	松井 信五・坂田 均	11/24	安倍 秀風	・逝去
	6/ 7	牧野 誠司	坂田 均・平野 俊雄	12/31	城山健太郎	・一身上
2016～17				3/31	小原 晃	・一身上
					中島 陽子	・転勤
					井上 勝	・一身上
	7/ 5	安倍 秀風	小森 直之・川勝 裕之	12/31	谷口 浩二	・一身上
		加藤 晃久	小森 直之・川勝 裕之		辻 眞一	・一身上
		茂山 良位	小森 直之・川勝 裕之	1/ 2	岩橋 忠昭	・逝去
		田村 旭彦	小森 直之・川勝 裕之	1/31	木村 茂	・一身上
	8/ 2	渡辺 恭章	奥田 歓信	3/31	山中 鉄一	・一身上
2017～18	9/ 6	内藤 葉子		6/30	横尾 浩志	・一身上
					竹本 昌生	・健康上
					塩路 徹	・一身上
2017～18				9/30	田村 旭彦	・一身上

物故会員 1993:7/1～2018:6/30

会員名	入 会	職 業 分 類	逝去(年齢)	ク ラ ブ 歴 内 容
大野木繁夫	68. 4. 2	合成機雑品製造	93. 9. 1(69)	第6代目会長
武田 文男	68. 4. 2	ホテル	94. 2. 12(58)	第25代目会長
茨木 弘三	79. 12. 4	地方銀行	94. 11. 5(56)	クラブ奉仕(理)
宇野 久夫	74. 12. 31	美容院	94. 11. 10(63)	青少年奉仕(長)
西川 憲一	79. 12. 4	寝具販売	95. 1. 27(57)	国際奉仕
山本 敏雄	92. 2. 18	石材業	96. 2. 14(56)	出席委員
矢口 一夫	89. 4. 25	古文化財修復	96. 3. 2(55)	規定審議委員
谷口 良三	75. 7. 10	陶芸	96. 6. 7(70)	第27代目会長
砂崎 道夫	71. 12. 28	電気器具製造	97. 7. 6(73)	第18代副会長
山本 久義	92. 12. 29	電気工事	98. 7. 17(51)	国際奉仕委員
小田 義彦	73. 7. 17	心理学教育	00. 1. 13(73)	第26代目会長
木村 秀雄	72. 12. 19	食材乾物販売	00. 1. 22(74)	第26代副会長
石原 隆光	82. 9. 7	華道	05. 1. 29(79)	第37代副会長
田中 久雄	70. 8. 4	京人形販売	05. 2. 4(74)	第28代目会長
岩橋 忠昭	96. 2. 13	電気通信工事		第48代目会長

職業分類表

(2018年7月現在)

索引	職業分類		会員名	会員名
農業・畜産 Agriculture and Forestry Animal Husbandry	警察犬訓練	Police Dog Training		
自動車工業 Automobile Industry	自動車整備	Automobile Adjustment		
	自動車販売	Automobile Dist.	磯田 好計	深海 季生
	タイヤコード製造	Tire Cord Mfg.		
化学工業 Chemical Industry	化学助材	Chemistry Assist Material		
	塗料販売	Paint Dist.	清水 泰博	松下 明史
	建築設計	Architecture	山田幸一郎	
	建築	Building Construction		
	建築材料販売	Building Material Dist.	布施 栄一	
	ビル総合管理	Building Maintenance	佐貫 将一	中川 公孝
	陶磁器原料製造	China Material Mfg.		
	建設機器リース業	Construction Machinery Lease		
	建設資材販売	Construction Material Dist.	鈴木 敏治	
	ディスプレイ	Display	末松 哲夫	
	総合建設業	General Contractor	名筋 淳二	寄本 猛
	建築内装工事	Interior Improvement		
	建設請負業	Architecture Construction		
	住宅販売	Housing Sale		
	造園	Landscape Service		
	砥之粉製造	Painting Material Mfg.		
	陶器販売	Pottery Dist.		
	石材業	Stone Cutting	山本 真也	
	土木業	Civil Engineering Industry	田村 旭彦(退)	
教育 Education	カルチャーセンター	Culture Center		
	児童文化学教育	Education-Child Culture		
	栄養学教育	Education Dietetics		
	経済学教育	Education Economics		
	電子工学教育	Education Electronics		
	美術教育	Education Fine Art		
	家政学教育	Education Home Economics		
	法学教育	Education Law		
	心理学教育	Education-Psychology		
	スポーツ教育	Education-Sporting		

索引	職業分類		会員名	会員名
教育 Education	認可小規模保育事業所	Small-scale authorized childcare center	澤田 敦子	
	高等教育	High School Education	奥田 歓信	
	幼稚園	Kindergarten	小林 一恵	
	薬学教育	Pharmaceutical Education		
	薬学研究	Pharmaceutical Research		
電気工事 ガス Electrical Industry Gas	電気通信工事	Electric Communication Construction		
	電気工事	Electric Construction		
	電気器具製造	Electric Instrument Mfg.		
	電子工業	Electronics		
	高圧ガス	Gas Service	植野 清富(退)	
	電信・電話事業	Telegraph & Telephone Service		
繊維・衣料・被服 雑貨 Fiber Dry Goods Clothing General Merchandise	装身具販売	Accessory Dist.		
	装粧品製造	Cosmetics Goods		
	呉服販売	Dry Goods Dist.		
	雑貨販売	General Merchandise Dist.		
	インテリア・アクセサリ販売	Interior Accessories Dist.		
	着物加工	Kimono Processing	柴田 義典	
	袋物製造卸	Ladies Bag Mfg.		
	レザー製品販売	Leather Art Dist.		
	麻糸製造	Linen Yarn Mfg.		
	ギフトグッズ製造	Memorials & Gifts Dist.		
	絹織物販売	Silk Goods Dist.		
	合成繊維品製造	Synthetic Textile Fiber Goods Mfg.		
	婦人服販売	Women's Clothing Dist.	渡辺 剛士(退)	
	布地販売	Textile Dist.		
金融・保険 Finance Insurance	商業銀行	Banking-Commercial		
	地方銀行	Banking-Local		
	消費者金融	Consumer Finance		
	信用金庫	Credit Association		
	損害保険	Damage Insurance	岡武 和暁	
	生命保険	Insurance-Life	岸 弘祐	
	短期金融	Short Term Loans		

索引	職業分類		会員名	会員名
施設・団体 Institution Association	ボーイスカウト	Boy Scouts		
	公務員	Civil servant		
	博物館	Natural History Exhibition		
法律及びビジネス サービス Law and Business Service	会計士	Accounting Service		
	民事弁護士	Civil Law Practice		
	刑事弁護士	Criminal Law Practice		
	商事弁護士	Corporate Law Practice		
	企業法務弁護士	Corporate Lawyer	坂田 均	
	司法書士	Judicial Scrivener		
	行政書士	Public Notary	安澤 英治	
	不動産賃貸業	Proprietary-Renting	川中 丈嗣	
	不動産売買	Real Estate Agency		
	不動産管理	Real Estate Maintenance	稲本 初弥	
	不動産鑑定士	Real Estate Valuation Service		
	土地家屋調査士	Surveying Engineer		
	税理士	Tax Service	大藤 光夫 井川 正隆	小坂 文夫
	経営コンサルタント	Tax Consultant		
	人材派遣業	Temporary Office Help Business	川勝 裕之	
機械及び製造 Machinery and Equipment	機械販売	Machinery Dist.		
	非鉄金属製造	Non-Ferrous Metal Mfg.	横井 康治(退)	
	精密機械製造	Precision Machinery Mfg.		
医療・保健 医薬品（化粧品） Medical treatment Health・Medicine	歯科医	Dentistry	中村 弘吉	
	皮膚科医	Dermatologist		
	耳鼻咽喉科医	Ear,Nose and Throat Doctor		
	消化器科医	Gastroenterology Internal		
	産婦人科医	Obstetrics and Gynecology		
	眼科医	Ophthalmology	小山 信一	
	小児科医	Pediatrics		
	薬局	Pharmacy		
	内科医	Physician		
	放射線科医	Radiologist		
	外科医	Surgeon	小森 直之	
	獣医師	Veterinarian	福留 幸一	
事務用品 Office Appliance Equipment and Stationery	事務用品販売	Office Supplies Dist.	小野 富造(退)	上村 承生

索引	職業分類		会員名	会員名
芸術・美術工芸・ 芸能 Fine Arts Fine and Applied Arts	芸術染色販売	Arts Dyeing and Weaving Dist.		
	美術品商	Arts Goods Ret.		
	金属工芸品卸売	Art Metals Dist.	西村 孝之	
	美術陶芸	Art Pottery		
	陶芸	Ceramic Pottery		
	陶磁器製造	China Mfg.		
	京人形製造	Kyoto Doll Mfg.	橋本 幸司	
	華道	Flower Arrangement		
	古文化財修復	Institute of Aged Art		
	人形販売	Doll Dist.	木村 安輝	
	漆器製造	Lacquer Ware Mfg.	井上 武雄	
	漆工芸	Lacquer Art	村田 好謙	
	楽器販売	Musical Instruments Dist.		
	詩吟	Shigin	安倍 秀風	
	茶道	Tea Ceremony	関根 淳子	
	茶道具販売	Tea Ceremony Goods Dist.		
	茶道陶芸	Tea Ceremony Goods Pottery	中村 翠嵐	佐々木虚室
	茶道研究	Tea Ceremony Research		
	伝統陶芸	Traditional Pottery		
	狂言師	kyogen	茂山忠三郎	
食品・菓子 嗜好飲料 Food Confectionery Taste Beverage	酒精飲料	Beverage Alcoholic		
	飲食品販売	Beverage & Food Sale	大木 義秀	
	和菓子販売	Confectionery Dist.		
	和菓子製造	Confectionery (Japanese) Mfg.	谷川 博造	
	和菓子小売	Confectionery (Japanese) Ret.		
	和菓子材料製造	Confectioner's Supplies (Japanese) Mfg.	今村 晋平	中村 吉晴
	洋菓子製造	Confectionery (Western) Mfg.		
	コンビニエンスストア	Convenience Store		
	珍味販売	Dainty Dist.		
	塩干卸	Dried Fish Wholesale		
	食品添加物製造	Food Additives Mfg.		
	水産卸業	Fisheries Wholesale		
	食料乾物販売	Groceries Dist.		
	京漬物製造販売	Kyoto pickles Mfg. & Dist.	加藤 晃久	
	土産菓子製造	Souvenirs Confectionery Mfg. (Japanese)		
燃料 Fuel	燃料販売	Fuel Dist.		
	精油製品販売	Refined Oil Products Dist.		
家具及び備品 Furniture and Furnishing	寝具販売	Bedding Dist.		
	仏具製造	Buddhist Goods Mfg.	薮下 清三	
	家具製造	Household Furniture Mfg.		

索引	職業分類		会員名	会員名
印刷・出版・広告 Printing Publishing Advertising Paper Industry	広告業	Advertising Service	郡 正樹	
	図書出版	Book Publishing		
	放送	Broadcasting Service		
	段ボールケース製造	Cardboard Mfg.		
	教育図書出版配布	Educational Books Dist.		
	食品包装資材	Foods Packing Material	今井 武男(退)	
	新聞社	Newspaper		
	肖像写真	Portrait Photography		
	写真機材販売	Photographic Equipment & Supplies Dist.		
	印刷	Printing		
	軟包装材販売	Soft Packing Case Dist.		
	IT デザイン	IT Design	青山真由美	
宗教 Religion	仏教	Buddhism	戸田 義高	渡邊 恭章
	神道	Shintoism	吉田 良武	吉田 武雄
観光 リクリエーション サービス業 Sightseeing Recreation Service	美容院	Beauty Parlour		
	百貨店	Department Store		
	クリーニング業	Dry Cleaner	中塚 浩	
	外食産業	Fast Food		
	生花販売	Flower Dist.	井上 正博	
	葬祭業	Funeral Service	松井 信五	
	総合スポーツクラブ	General Sports Club		
	ホテル	Hotel	内藤 葉子	
	旅館	Hotel (Japanese)	村岡 正浩	
	料理旅館	Hotel Restaurant	中西 敏之	
	日本料理	Japanese Restaurant		
	京料理	Kyoto Restaurant		
	喫茶店	Refreshment Parlour		
	レストラン	Restaurant	本田 修造	
	スポーツ用品販売	Sporting Goods Dist.		
	スポーツ用品製造卸	Sporting Goods Mfg.	平野 俊雄	
	スーパーマーケット	Supermarket		
運輸・倉庫 Transport Storage	ガレージ	Garage Service		
	貨物自動車運送	Motor Freight Transportation	竹之内米貴	
	倉庫業	Storage-Merchandise		
	タクシー業	Taxicab Service	杉崎 則夫	
木材工業 Wood Industry	材木販売	Lumber Dist.		

(順不同)

広報委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
26	1993～94	黒澤 巖	砂崎 道夫	・7/2市内21RC広報委員会に出席。パークホテルにて
27	1994～95	西出 澄弘	杉崎 則夫	・ガバナー月信への連絡文ならびにロータリーの友への連絡文
28	1995～96	井上 勝	川崎 照夫	・「乗鞍サマーキャンプ」事業をマスコミ報道依頼〈京都新聞・旭新聞・信濃テレビ・信濃毎日新聞・松本市民タイムス・ガバナー月信・ロータリーの友〉
29	1996～97	戸田 義高	田中 久雄	・2/20日委細の「日本の心 再発見」イベントを京都新聞に3/9掲載
30	1997～98	西尾 重雄	川崎 昭夫	・「私に広報委員長がハ務まるでしょうか」と題した勉強会に出席
31	1998～99	増田 紘明	川崎 昭夫	・7/25「情報発信する一表と裏」テーマの講演を地区広報委員長会に出席
32	1999～2000	中村 翠嵐	川崎 昭夫	・台湾大地震に対し新竹RCに義捐金を送った記事を京都新聞に掲載
33	2000～01	* 本年度から広報委員会と雑誌委員会が併合		
		井上 勝	橋本 幸男	・「チベットの教育の花を咲かそう」事業活動を京都新聞に12回掲載される朝日新聞・読売新聞・FM京都・KBS京都が各2回報道〈RI広報賞〉受賞
34	2001～02	杉崎 則夫	内海 貴夫	・ロータリーの友に廣田会員のロータリー活動暦を寄稿掲載
35	2002～03	岩井 文彦	内海 貴夫	・創立35周年事業の柔道家「山下泰裕」講演会の入場募集に広報 ・橋本幹事にガバナー月信に寄稿VOL10(2003. 4. 15)に掲載
36	2003～04	高谷 寿一	村本 建真	・「ロータリーの友」の購読を会員に促がす
37	2004～05	小林 一恵	西出 澄弘	・RI100周年記念事業を「科学大好き人間大集合」テーマに日本科学未来館毛利衛先生の講演会を広く広報し新世代の子供の入場者を図る
38	2005～06	* 本年度は新設されたインターネット委員会が当委員会に併合される。		
		片山 好司	小森 直之	・「ロータリーの友」の購読を会員に奨励。インターネットを活用し、他クラブの情報を収集するように奨励
39	2006～07	* 本年度から広報は理事として就任することになり、一層の重要ポストを担う。		
		井上 勝	名筋 淳二	・川中広報理事の下、雑誌、インターネットは当委員会から外れる 「生き生きシニア装いの集い」イベントを広くアピールし、KBSラジオ・KBSテレビ・京都新聞・毎日しんぶん・読売新聞に掲載 ・ロータリーの友:4月号に掲載・ガバナー月信2月号に掲載
40	2007～08	柴田 義典	木村 茂	・知公広報理事の下に、創立40周年記念に「渡辺淳一」講演会を渡辺氏自ら出演のテレビでもPR頂き、京都新聞にも予告掲載される
41	2008～09	塩路 徹	杉崎 則夫	・松井広報理事の下「障害者水泳フェスティバル」事業を京都新聞・旭新聞・毎日新聞・読売新聞に掲載。当日KBSテレビで放映
42	2009～10	松井 信五	井上 勝	・「留学生のための体験フェスティバル」イベントをKBS京都TV放映・京都新聞・旭新聞・毎日新聞・読売新聞・産経新聞に掲載
43	2010～11	福留 幸一	知公 智之	・「子供に素敵な一日を」のイベントをマスコミ媒体依頼、京都・朝日新聞掲載
44	2011～12	* 本年度は、広報・インターネット・雑誌各委員会を併合。		
		名筋 淳二	西村 孝之	・「青少年音楽コンクール」「山科かるた」両イベントをきょうとし・新聞社・テレビ局ラジオ局に報道依頼し、KBSTVで放映、京都新聞に掲載
45	2012～13	川勝 裕之	清水 泰博	・HPを友好活用するため、リニューアルしフェースブックを導入
46	2013～14	吉田 武雄	郡 正樹	・会員のSNSの活用や認知度をアンケート調査を実施し、今後の可能性探る
47	2014～15	川勝 裕之	名筋 淳二	・SNSを通し、増強活動に力を傾注
48	2015～16	岸 弘祐	坂田 均	・ソーシャルネットを活用し、ロータリーを分かり易く配信
49	2016～17	木村 安輝	山本 真也	・HPを精査し、欠落部分の事業を追加、修正:50周年特別記念講演会の応募掲載
50	2017～18	松井 信五	福留 幸一	・創立50周年年度の記念事業をHPを活用し、積極的に広報に努めた

ロータリー財団委員会

年 度		委員長	副委員長	普通寄付金(\$)	特別寄付金(\$)	ヘネファクター(\$)	合 計(\$)	総 累 計(\$)
26	1993～94	内海 正三	内海 貴夫	1,100	22,648.71		23,748.71	245,486.02
27	1994～95	安倍 秀風	中村 弘吉	1,100	28,101.50		29,201.50	274,687.52
28	1995～96	高倉 信夫	今川 武志	1,100	15,307.26	15,000	30,307.26	304,994.78
29	1996～97	末松 哲夫	村元 健眞	1,100	20,628.95	21,000	42,728.95	347,723.73
30	1997～98	六車 雄二	木村 茂	1,100	13,215.71	2,000	16,315.71	364,039.44
31	1998～99	植野 清富	坪井 嘉蔵	1,100	9,862.60	15,000	25,962.60	390,002.04
32	1999～2000	手塚 石雲	内海 貴夫	1,100	18,643.00	9,000	28,743.00	418,745.04
33	2000～01	松井 信五	西村 孝之	1,100	17,631.07	6,360	25,091.07	443,836.11
34	2001～02	辻中 正雄	横井 康治	1,100	12,784.72	15,000	28,884.72	472,720.83
35	2002～03	福住 清之	岸 信太郎	1,100	11,301.70	4,000	26,301.70	499,022.53
36	2003～04	岩本 一	六車 雄二	1,100	9,264.62	4,000	14,364.62	513,387.15
37	2004～05	浅見五郎助	小坂 文夫	860	9,630.05	2,000	12,490.05	525,877.20
38	2005～06	戸田 義高	西出 澄弘	830	12,795.33	0	13,625.33	539,502.53
* 本年度からCLP導入により、国際奉仕委員会配下より離れ、理事会メンバーとなる								
39	2006～07	小坂文夫(理)	西村正一郎(長)	830	12,363.93	0	13,193.93	552,696.46
40	2007～08	中村弘吉(理)	今村晋平(長)	800	19,375.38	0	20,175.38	572,871.84
41	2008～09	今村晋平(理)	村田佳弘(長)	810	16,972.42	5,000	22,782.42	595,654.26
42	2009～10	柴田 義典	竹市 泰和	770	17,748.63	0	18,518.63	614,172.89
43	2010～11	本田 修造	山本 真也	650	17,170.00	0	17,620.00	631,792.89
44	2011～12	横尾 浩志	本田 修造	780	17,813.53	1,000	19,593.53	651,386.42
45	2012～13	横尾 浩志	本田 修造	730	18,489.97	0	19,269.97	670,656.39
46	2013～14	中塚 浩	松下 明史	830	15,772.22	0	16,602.22	687,258.61
47	2014～15	福留 幸一	本田 修造	780	12,306.68	1,200	14,286.68	701,545.29
48	2015～16	清水 泰博	本田 修造	770	14,537.42	0	15,307.42	716,852.71
49	2016～17	藪下 清三	川中 丈嗣	770	14,187.45	2,000	16,957.45	733,810.16
50	2017～18	柴田 義典	茂山忠三郎	760	12,575.47	1,000	14,335.47	748,145.63

米山記念奨学委員会

年 度		委員長	副委員長	普通寄付金	特別寄付金	合 計	累 計	現況其の他
26	1993～94	井上 武雄	井上 勝	438,000	2,171,000	2,609,000	36,720,250	
27	1994～95	塩路 徹	田村 和夫	510,500	3,000,500	3,511,000	41,082,750	
28	1995～96	大藤 光夫	村田 佳弘	491,000	2,278,000	2,769,000	43,851,750	
29	1996～97	太田 美実	西尾 重雄	446,000	4,062,000	4,508,000	48,359,750	
30	1997～98	橋本 幸男	佐貫 将一	493,500	2,038,000	2,531,500	50,891,250	
31	1998～99	竹市 泰和	中村 弘吉	515,000	2,868,000	3,383,000	53,422,750	
32	1999～2000	大藤 光夫	小坂 文夫	447,500	2,060,000	2,507,500	55,930,250	
33	2000～01	水内 喜廣	戸田 義高	455,000	1,698,000	2,153,000	58,083,250	
34	2001～02	末松 哲夫	宮本 博史	465,000	1,232,000	1,697,000	59,780,250	
35	2002～03	坂田 均	片山 好司	457,500	1,047,000	1,504,500	61,284,750	
36	2003～04	名筋 淳二	小坂 文夫	435,000	1,260,000	1,695,000	62,979,750	表彰累計10万円に変更
37	2004～05	西村正一郎	平岡幹之助	430,000	852,000	1,282,000	64,261,750	
38	2005～06	竹市 泰和	岩橋 忠昭	412,500	1,639,000	2,051,500	66,313,250	
39	2006～07	塩路 徹	福住 清之	417,500	1,451,000	1,868,000	68,181,750	
40	2007～08	岩橋 忠昭	塩路 徹	405,000	1,518,000	1,923,000	70,104,750	
41	2008～09	植野 清富	鈴木 敏治	400,000	1,349,000	1,749,000	71,853,750	
42	2009～10	横田 治男	杉崎 則夫	395,000	1,642,000	2,037,000	73,890,750	
43	2010～11	藪下 清三	岩橋 忠昭	405,000	1,240,000	1,645,000	75,535,750	
44	2011～12	中塚 浩	井川 正隆	290,000	1,623,000	1,913,000	77,448,750	
45	2012～13	吉田 武雄	岩橋 忠昭	497,500	1,671,000	2,168,500	79,617,250	功労クラブ64回
46	2013～14	末松 哲夫	清水 泰博	415,000	1,357,000	1,772,000	81,389,250	功労クラブ65回
47	2014～15	佐々木虚室	井上 武雄	390,000	1,193,000	1,583,000	82,972,250	
48	2015～16	中川 公孝	末松 哲夫	377,500	1,206,000	1,583,500	84,555,750	
49	2016～17	福留 幸一	杉崎 則夫	385,000	1,512,000	1,897,000	86,452,750	
50	2017～18	井川 正隆	安澤 英治	347,500	938,000	1,325,500	87,778,250	

米山奨学生一覧

年 度		氏名及び国籍		大学及び選考学科	支給年度	カウンセラー	現況その他
26	1993～94	長 秋萍	(マレーシア)	立命館大学	11/4～12/9	前林 正典	
		金 善奉	(韓国)	京都大学		増田 房二	
		陳 愛莉	(マレーシア)	京都大学		井上 武雄	
27	1994～95	曾 道智	(韓国)	京都大学		井上 武雄	
28	1995～96	金 英淑	(韓国)	京都大学		小原 晃	
		金 範朱	(韓国)	同志社大学		野村 泰三	
29	1996～97	朱 秋而	(台湾)	同志社大学		塩路 徹	
30	1997～98	朱 秋而	(台湾)	同志社大学		塩路 徹	
31	1998～99	康 龍雲	(中国)	京都大学		木村 安輝	
32	1999～2000	張 桑	(中国)	京都大学		水内 喜廣	
33	2000～01	楊 青	(中国)	京都大学		大藤 光夫	
34	2001～02	呉 建宏	(台湾)	京都大学		末松 哲夫	
35	2002～03	孫 雲華	(中国)	京都大学		坂田 均	
36	2003～04	張 瓊云	(台湾)	京都大学		渡辺 剛士	
37	2004～05	再 洪波	(台湾)	京都大学		西村 孝之	
39	2006～07	郭 雅雯	(台湾)	京都大学		塩路 徹	
40	2008～09	蔡 呉鑫	(台湾)	京都大学		岩橋 忠昭	
41	2009～10	李 美智	(韓国)	京都大学		横田 治男	
42	2010～11	庄 冰冰	(中国)	京都大学		井上 武雄	
44	2011～12	ポーランド、マシユー・ジェイムス (カナダ)		龍谷大学		中塚 浩	
45	2012～13	李 泰憲	(韓国)	立命館大学		吉田 武雄	
46	2013～14	金 セナ	(韓国)	東北芸術工科大学		岩橋 忠昭	
47	2014～15	張 静楠	(韓国)	同志社女子大学 修士		森 俊次	
49	2016～17	金 ボラ	(韓国)	京都大学		井上 武雄	
50	2017～18	金 海元	(韓国)	京都大学大学院		井川 正隆	
	2017/4～	曾 彦翔	(台湾)	同志社大学 修士課程		井川 正隆	

青少年育成奨学基金委員会

＊クラブ創立25周年年度に危険事業として、青少年に役立てるための基金を設立し、その果実をもって、山科にあった国際留学生寮の生徒に奨学金を支給する事業が始められたが

年 度		委員長	副委員長	前年度繰越金	本年度寄付金	果実(利息)	奨学金支給額	次年度繰越金
26	1993～94	槇原 一雄	布垣 裕嗣	32,096,542 ・留学生5名に年額24万円を支給(1名は12月から減額)	1,283,000	841,715	1,120,000	33,101,257
27	1994～95	前林 正典	槇原 一雄	33,101,257 ・留学生5名に年額24万円を支給	892,842	578,499	1,200,000	34,572,598
28	1995～96	六車 雄二	西出 澄弘	34,572,598 ・留学生5名に年額24万円を支給	1,029,350	343,862	1,200,000	35,366,880
29	1996～97	内海 正三	高倉 信夫	35,366,880 ・留学生5名に年額24万円を支給	1,133,000	230,547	1,200,000	34,397,427
30	1997～98	高倉 信夫	村田 佳弘	34,397,427 ・留学生5名に年額24万円を支給。不足分はニコニコ財源から補助	957,000	220,145	957,000	34,617,572
31	1998～99	井上 春峰	末松 哲夫	34,617,572 ・留学生5名に年額24万円を支給	1,380,000	220,339	1,200,000	35,017,911
32	1999～2000	名筋 淳二	辻中 正雄	35,017,911 ・今年度は従来の奨学金支給者5名から、減額して10名に支給	973,000	210,684	1,307,000	35,061,595
33	2000～01	井上 武男	西出 澄弘	35,061,595 ・今年度も引き続き10名に支給。不足分はニコニコから充当	990,000	134,141	990,000	35,195,736
34	2001～02	井上 春峰	西村正一郎	36,195,736 ・今年度も引き続き10名に支給、尚、1名10万円に減額	939,000	84,146	1,000,000	35,279,882
35	2002～03	植野 清富	西出 澄弘	35,279,882 ・今年度も引き続き10名に支給、尚、不足分はニコニコより充当	821,000	189	821,000	35,280,080
36	2003～04	片山 好司	藪下 清三	35,280,080 ・今年度より支給対象者を5名に変更	749,000	249	749,000	35,280,329
37	2004～05	末松 哲夫	竹市 泰和	35,280,329 ・今年度より支給対象者を5名に支給	666,000	2,609	600,000	35,282,938
38	2005～06	木村 茂	杉崎 則夫	35,282,938 ・本年度は山科留学生寮が無くなり、支給対象者が無いため、活動を、一端停止	10,000	2,514	0	35,295,452
39	2006～07	岩橋 忠昭	植野 清富	35,295,452 ・本年度は京都国際交流会館の留学生5名に年額12万円を支給	610,000	2,401	600,000	35,307,853
40	2007～08	浅見五郎助	小林 一恵	35,307,853 ・本年度は京都国際交流会館の留学生10名に月額4万円を支給	649,000	24,017	480,000	35,500,870
41	2008～09	西村正一郎	岸 信太郎	35,500,870 ・本年度は京都国際交流会館の留学生3名に年額15万円を支給	431,000	32,188	450,000	35,507,915
42	2009～10	安倍 秀風	宮川 孝広	35,507,915 ・本年度は「留学生のための体験フェスティバル」論文募集し、賞金を授与	344,000	116,204	450,000	35,518,119
43	2010～11	清水 泰博	小野 富造	35,518,119繰入金 87,386 ・本年度から京都国際留学生寮が廃止され、活動対象者が無いため、活動出来ず、		23,579	0	35,629,084
* 創立25周年設立事業は、状況変化で困難になり、従来の基金を「東山RC基金」に変更が決定								
44	2011～12	福留 幸一	中嶋 克美	・「東山RC青少年音楽コンクーツ」事業に担当				
* 45年度～48年度まで、委員会は存在したが、実質活動対象が無いため、名目のみの委員会として存在し、辛うじて東日本震災の支援事業『希望の風』寄付担当を担うことになる。(49年度委員会廃止)								

京都東山RC基金(青少年育成奨学金)のルーツと経緯

- ロータリー創立70年を翌年に迎える1973年に〈青少年育成基金〉を100万円を基金としてスタート。

目的: 青少年の健全な育成に必要な事業を推進し、また、補助を行う

運営: イ) 活動に必要な資金は基金より生じる収益をもって充当する

ロ) 専門委員会を設け、毎年度初期にそのねんどの活動方針を決める

ハ) 委員会の構成は次の通り

委員長: 社会奉仕担当理事 委員: 社会奉仕委員 評議員: 歴代会長

- 1993年クラブ創立25周年記念事業の一環で、外国人留学生醒奨学金支給制度が発足

* 青少年育成基金委員会⇒青少年育成奨学基金委員会に変更

目的: 青少年活動の一環として青少年の育成奨学に必要な事業または助成する

運営: 活動に必要な資金は原則として基金より生じる果実をもって充当する

- 2006年度より、青少年育成奨学基金委員会⇒青少年育成奨学金委員会に改正

- 2012年度より、青少年育成奨学金を京都東山RC基金に変更

* 京都東山RC基金の活用について内規の第8条 財務 (C)項に規定

- 2016年度より青少年育成奨学金委員会が廃止される

京都東山RC基金(青少年育成奨学金)収支の推移表

年 度	寄付金額 (円)	果実(利息)(円)	支出金額 (円)	基金累計額 (円)
1993～94	1,283,000	841,715	1,120,000	33,101,257
1994～95	892,000	574,224	1,200,000	33,372,598
1995～96	1,024,000	343,862	1,200,000	33,823,018
1996～97	1,133,000	230,547	1,200,000	34,397,427
1997～98	957,000	220,145	1,200,000	34,610,757
1998～99	1,380,000	220,339	1,200,000	35,017,911
1999～00	1,140,000	210,684	1,200,000	35,228,595
2000～01	990,000	134,141	1,200,000	35,195,736
2001～02	938,000	84,146	1,000,000	35,279,882
2002～03	821,000	198	1,000,000	35,280,080
2003～04	729,000	249	700,000	35,280,329
2004～05	666,000	2,609	600,000	35,282,938
2005～06	10,000	2,514	600,000	35,295,452
* 支給金は国際奉仕委員会活動費より全額拠出				
2006～07	610,000	2,041	600,000	35,307,853
2007～08	649,000	24,017	480,000	35,500,870
2008～09	431,000	32,188	456,153	35,533,058
2012～13	45,635	42,647	780,000	34,841,340
* 東北大震災支援のために日本ロータリーが設立した「希望の風」基金に東山基金から拠出				
2013～14	0	29,029	0	34,870,369
2014～15	0	7,108	0	34,877,477
2015～16	0	8,237	0	34,885,714
2016～17	0	34,980	0	34,920,694
2017～18	0	16,260	0	34,936,954

京都マラソン実行委員会

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
44	2011～12	松井 信五	小森 直之	・第1回京都マラソン開催に際し、又、45周年記念事業のプレイベントとして「活力あるクラブ作りの基本は健康から」をテーマに「京都東山RC給水ブース」を解説しボランティア給水活動を実施
45	2012～13	中塚 浩	平野 俊雄	・3/10昨年に引き続き第2回京都マラソンボランティア参加（フィニッシュエリア給水・給食）活動会員59名・RAC5名・IAC5名・事務局員1名
46	2013～14	川勝 裕之	藪下 清三	・3月第3回京都マラソンボランティア参加（フィニッシュエリア給水）
47	2014～15	清水 泰博	西尾・柴田・井川	・2/15第4回京都マラソンボランティア参加。終了後「サ・ガーデン岡崎」にて慰労会福留会員がランナーとしてマラソン参加され完走
48	2015～16	井上 正博	山田幸一郎	・2/21第5回京都マラソンボランティア参加。終了後「サ・ガーデン岡崎」にて慰労会平野・中村佳弘会員2名がランナーとしてマラソン参加され見事完走
49	2016～17	山田幸一郎	村岡 正浩	・2/19第5回京都マラソンボランティア参加。終了後「南禅寺八千代」にて慰労会福留・中村佳弘会員2名がランナーとしてマラソン参加され見事完走 RAC・IACの若者が追う税参加され、活気溢れるボランティア活動が出来た
50	2017～18	中川 公孝	上村 承生	・2/18第6回京都マラソン給水ボランティア参加。インターア外協力参加。 福留・中村佳・郡会員がランナー参加され見事完走。 終了後「南禅寺八千代」にて慰労会

クラブ戦略策定委員会(クラブ長期計画策定委員会)

年 度		委員長	副委員長	活 動 内 容
44	2011～12	今村 晋平		・RI要請で今年度から「クラブ長期計画策定委員会」が新設され、手探りで7/26第1回委員会開催。8/2会員にアンケート実施。10/8第2回委員会。11/22第3回委員会。2/21第4回委員会。3/13クラブフォーラム開催
45	2012～13	今村 晋平	中村 翠嵐	・名称が「クラブ戦略策定委員会」と改名される。 ・当初、等委員会で計画した各担当部所の目標値が全てクリアされる
46	2013～14	今村 晋平	中村 翠嵐	・第1回会議では「公式訪問報告書」に各委員会の計画目標を纏め、改善シートに記入 ・第2回会議では委員会での意見を纏め、理事会に答申し承認を得る
47	2014～15	松井 信五	小森 直之	・8/12第1回会議開催。9/9クラブフォーラム開催。3/24第2回会議開催
48	2015～16	松井 信五	渡辺 剛士	・活動内容《・RLI受講生2名選出・10/20クラブフォーラム開催・等メンバーは指名委員会が選考することの要望及び、クラブ内規に定める提案・会員の意識調査アンケート実施》
49	2016～17	松井 信五	坂田 均	・8/9前期会合を開催し、50周年にむけての準備と計画を検討 ・11/8会員アンケート調査を踏まえフォーラムを開催 ・3/28後期会合を開催し、目標設定表を作成し、会員に配布する
50	2017～18	木村 安輝	坂田 均	・50周年以降の提案に特化しました 「活力あるクラブ」を目指し、〈高潔性・例会100%出席・同好会の充実・夜間例会の導入・スリムで地に着いた奉仕活動〉

創立 50 周年史によせて

50周年記念実行委員長
中 村 翠 嵐

創立50周年も記念事業、記念例会式典、祝賀会と会員皆様の御協力のもとに無事に終了となりました。残るは50周年年度の事業報告を含めた、我クラブの歩みを記載した記念史の発行のみとなりました。しかし、この記念史発行に当たっては、明記しておきたいことがありましたので、少し内容を記しておきます。

記念史部会長は今井委員に早くから依頼をしておりました。50周年年度に入って早々に、突然病に伏せられたとの報告があり、役職続行不能、面会謝絶との診断です。創立年度に入ってこれかという時でした。今井会員からは、見やすく写真を多く取り入れて等々、構想は出来上がっているような様子でした。

他の部会では、事業遂行に向かって順調に動き出した折でした。困った、困ったの中で副部会長の井上武雄会員に相談するも今井会員よりは未だ一切の報告を受けていないとのことでした。

そこで、小野副実行委員長、井上副部会長と話し合っ頂き、前任者との打合せのないままに初めからの立案、編集をお願いするにいたりしました。誠に申し訳ないことになってしまいましたが、さすがにロータリアン精神をもってお引き受け頂いたことを報告しておきます。

前置きが少し長くなりました。

そもそも今回の創立50周年実行委員会は、準備委員会の助足を経て2年半前に発足致しました。いつもの周年事業年度からしても早い時期からの発足になります。これには訳があり、従来の周年記念年度では、その時の執行部の中に実行委員会を設けておりました。その年度の執行部が全ての責任を負って事に当たっておりました。それでも25周年年度は違い、執行部とは別に早い時期より実行委員会が立ち上がっていました。これはロータリークラブがクォーター制を重視している為だと思いますが、創立50周年年度もそれを見習い、執行部には東山クラブの運営、経営、将来への展望に取り組んで頂き、実行委員会は50周年事業の立案、実行へのプロセスは実行委員会が担い、役割を分けて50年という節目の年を過去から未来へと進めたいと思い発足を早め、取り組んだ次第です。

その為には、50周年に取り組むに当たってのキャッチコピーを、会員へのアンケートを参考にし、『未来に繋がる東山』と決め、その合い言葉でこれからの東山クラブへの期待を表し、山科区、東山区全域をテリトリーとして地域に根ざした奉仕活動を目指す為の整理を致しました。

記念事業の第一の事業は、ノーベル賞受賞者の山中伸弥先生をお招きしました。ロームシアターに二千名の市民の方々をお迎えして『I.P.S.細胞がひらく新しい医学』を演題で御公演頂き、遠くは関東からも出席者があり、又、会場キャパの関係でやむなくお断りした方もおられ、ご迷惑をお掛け致しました。いかに多くの方々が、未来の医学、製薬にI.P.S. 細胞への期待されているかを実感いたしました。その時の様子は新聞等でも報道され、姉妹クラブであります金沢南クラブからも多数の方々が来られました。会場では参加者に呼びかけ、このI.P.S.細胞が難病で苦しむ人達の為に益々研究が進むようにと募金を募りました。

ご協力ありがとうございました。

第二の事業は、琵琶湖疏水通船事業への参画。大津市より京都蹴上迄の琵琶湖疏水は京都市にとっては命の水です。明治十八年に着工され五年の歳月を経て運河は完成、それを利用しての水力発電は日本初となっています。この命の水を検証する一環として二十年程前より、この疏水に船を通す計画がたてられました。疏水の持つ意義とそれに取り組んだ先駆的発想、これこそが今日の京都を支えてきた基礎の業績であり、今なおその使命を果たし続けているこの疏水に船を通し、観光と業績への再確認を行うことは永い間の夢でもありました。

そこで通船の為の船の建造費の一部と救命具を含む付属備品を寄贈致しました。ここに至る迄の木村部会長の心労を思うとただ感謝のみです。

有難うございました。

続いて創立記念のもう一つの柱でもあります式典、祝宴につきましては谷川博造部会長にオンブにダッコの状態で、アイデアあふれる指揮のもとに、本当にクラブ会員挙げての持て成しとなりました。猛特訓を繰り返し、当日の宴会の主役に躍り出たオヤジバンド、当日はモンゴル人歌手のバイヤー・ヤンジンさんの特別参加もあり、大いに盛り上げて頂きました。他方では、関根会員による呈茶席も参加者にとっては一時の清涼感漂う空間を演出できたと思います。

ただ少し御迷惑をお掛けしたと反省しておりますのが期日を四月二日（月）に決定したことです。私達としましては、この四月二日こそが創立記念日で50年前に産声をあげた日なのですが、こちらの配慮の足りなさから、この日が新年度の始まり第一週目の月曜日、役所に於いても会社に於いても人事異動等の初日と重なり、迷惑をお掛けした事申し訳ありませんでした。

そうした中を門川市長、田中ガバナー、千玄室大宗匠をはじめ二百八十七名の多くの方々にご出席賜り感謝しております。誠に条件の悪い中、有難うございました。創立50周年の仕上げをさせて頂きました。

お土産には我クラブの自画自賛になりますが漆芸家の村田好謙会員の力作を皆様にお持ち帰り頂きました。まだまだ名前を申し上げねばならぬ会員様は多いのでございますが、最後になり申し訳ありません。私が実行委員長職務を果たせたのは会員の皆様様の御協力あつての事と十二分に分かっております。

又、副実行委員長として二年半もの永い間支えて頂いた小野・松井両名には返す言葉もございません。

ただただ有難うございました。

ここまで書くとこれで良しとなりますが、創立50周年のキャッチコピーは『未来に繋がる東山』本年度の会長方針も『未来に繋がる東山』これでよかったんですかね？

このことを忘れずに次の50周年に向かいましょう!!

友ら集いて

作詞：増 田 房 二

作曲：大 栗 裕

1 春うららかに 風かおる
世に正しきを きづかんと
友ら集いて いざ語らん
真実の道 ロータリー

2 夏さんさんと 陽はそそぐ
世にかたよりを なくさんと
友ら集いて いざ語らん
公平の道 ロータリー

3 秋さわやかに 紅葉する
世に思いやり 深めんと
友ら集いて いざ語らん
友情の道 ロータリー

4 冬しずやかに 雪つもる
世に助けあい 強めんと
友ら集いて いざ語らん
奉仕の道 ロータリー

5 四季おりおりの 花を愛で
世に和らぎを 満たさんと
友ら集いて いざ語らん
親睦の道 ロータリー

京都東山ロータリー・クラブ50周年記念誌

平成三十年十二月発行

発行者 クラブ会報委員会

発行所 〒六〇五―〇〇五二
京都市東山区粟田口華頂町一

ウエスティン都ホテル京都 六階
電話（〇七五）七六二―五六三〇
FAX（〇七五）七五二―三三〇九

印刷所 日本特殊印刷株式会社

〒六〇〇―八〇六五
京都市下京区富小路通五条上ル
電話（〇七五）三四一―三二九一
FAX（〇七五）三四一―三三〇三



創立50周年記念品

村田 好謙 作

『水鏡』一輪挿し